

5. 子ども調査結果

子ども本人の有効回答数(1,955 件)は、生活困窮度別の集計による子どもの回答数(子どものみの回答を除き、小学1年保護者回答分を含め 3,033 件)と母数が異なるため、全体のパーセントにずれが生じる場合がある。

また、小学1年が含まれる設問と含まれない設問があり、小学1年が含まれている設問の回答は子どもの保護者の回答である。

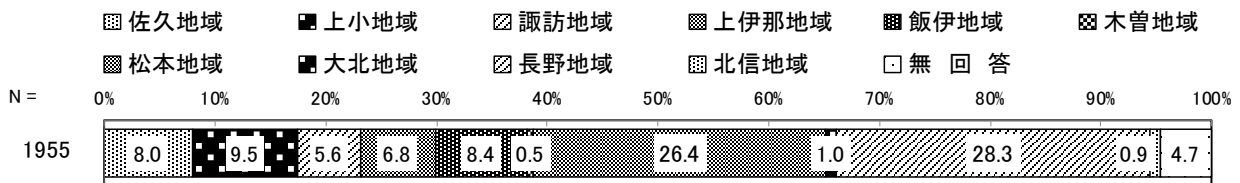
(1)属性・居住地域

1) 居住地域

問1 あなたが住んでいる市町村を教えてください。(小学1年以外)

長野地域が 28.3%で最も多く、次いで松本地域が 26.4%、上小地域が 9.5%である。

問1 居住地(10圏域) [%]

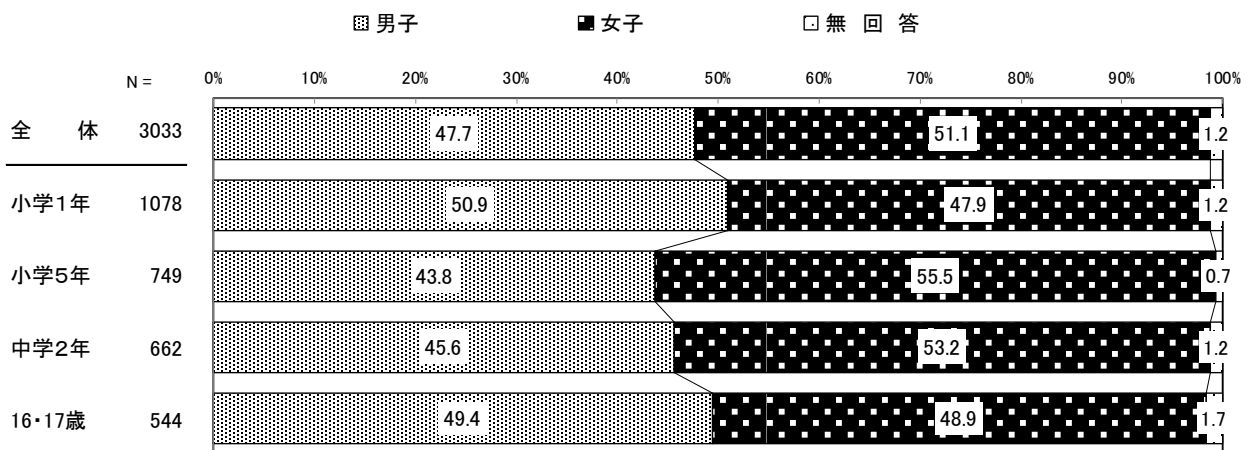


2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。

回答のあった子どもの性別は、「男子」が 47.7%、「女子」が 51.1%である。

問2 性別 [%]



3) 身長・体重

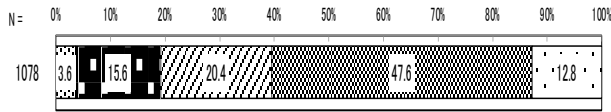
問3 あなたの身長・体重を教えてください。

小学1年の身長は、120 cm以上が 47.6%、体重は 20～25kg 未満が 49.6%、小学5年の身長は 140 cm未満が 32.3%、体重は 30kg 以上 35kg 未満が 30.2%、中学2年の身長は 160～170 cm 未満が 34.7%、体重は 45kg 以上 50kg 未満が 24.3%、50kg 以上 55kg 未満が 21.5%、16・17歳の身長は 160～170 cm未満が 35.5%、体重は 55kg 以上が 41.0%で、それぞれ多くいる。

[身長]

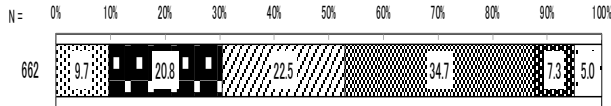
H1問37 子どもの身長(小学1年)(%)

☐110cm未満 □110~115cm未満 ▨115~120cm未満 ▩120cm以上 ◻無回答



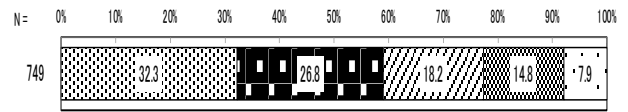
問3 身長(中学校2年生)(%)

☐150cm未満 □150~155cm未満 ▨155~160cm未満 ▩160~170cm未満 ▩170cm以上 ◻無回答



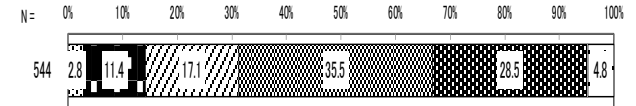
問3 身長(小学校5年生)(%)

☐140cm未満 □140~145cm未満 ▨145~150cm未満 ▩150cm以上 ◻無回答



問3 身長(16・17歳生)(%)

☐150cm未満 □150~155cm未満 ▨155~160cm未満 ▩160~170cm未満 ▩170cm以上 ◻無回答

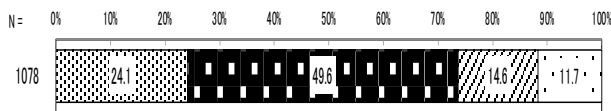


	平均身長(cm)	
	男子	女子
小学1年(保護者回答)	118.5	118.2
小学5年	116.5	113.6
中学2年	162.0	155.1
16・17歳	170.1	157.7

[体重]

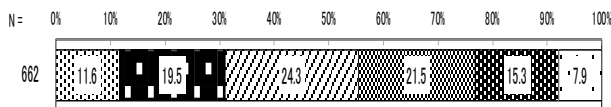
H1問37 子どもの体重(小学1年)(%)

☐20kg未満 □20~25kg未満 ▨25kg以上 ◻無回答



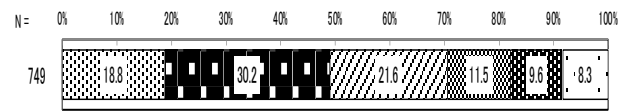
問3 体重(中学校2年生)(%)

☐40kg未満 □40kg以上45kg未満 ▨45kg以上50kg未満 ▩50kg以上55kg未満 ▩55kg以上 ◻無回答



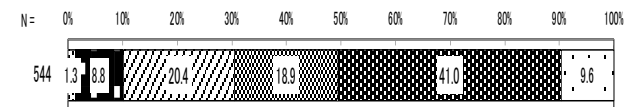
問3 体重(小学校5年生)(%)

☐30kg未満 □30kg以上35kg未満 ▨35kg以上40kg未満 ▩40kg以上45kg未満 ▩45kg以上 ◻無回答



問3 体重(16・17歳生)(%)

☐40kg未満 □40kg以上45kg未満 ▨45kg以上50kg未満 ▩50kg以上55kg未満 ▩55kg以上 ◻無回答



	平均体重(kg)	
	男子	女子
小学1年(保護者回答)	21.8	21.1
小学5年	34.7	35.2
中学2年	49.7	46.4
16・17歳	58.8	49.7

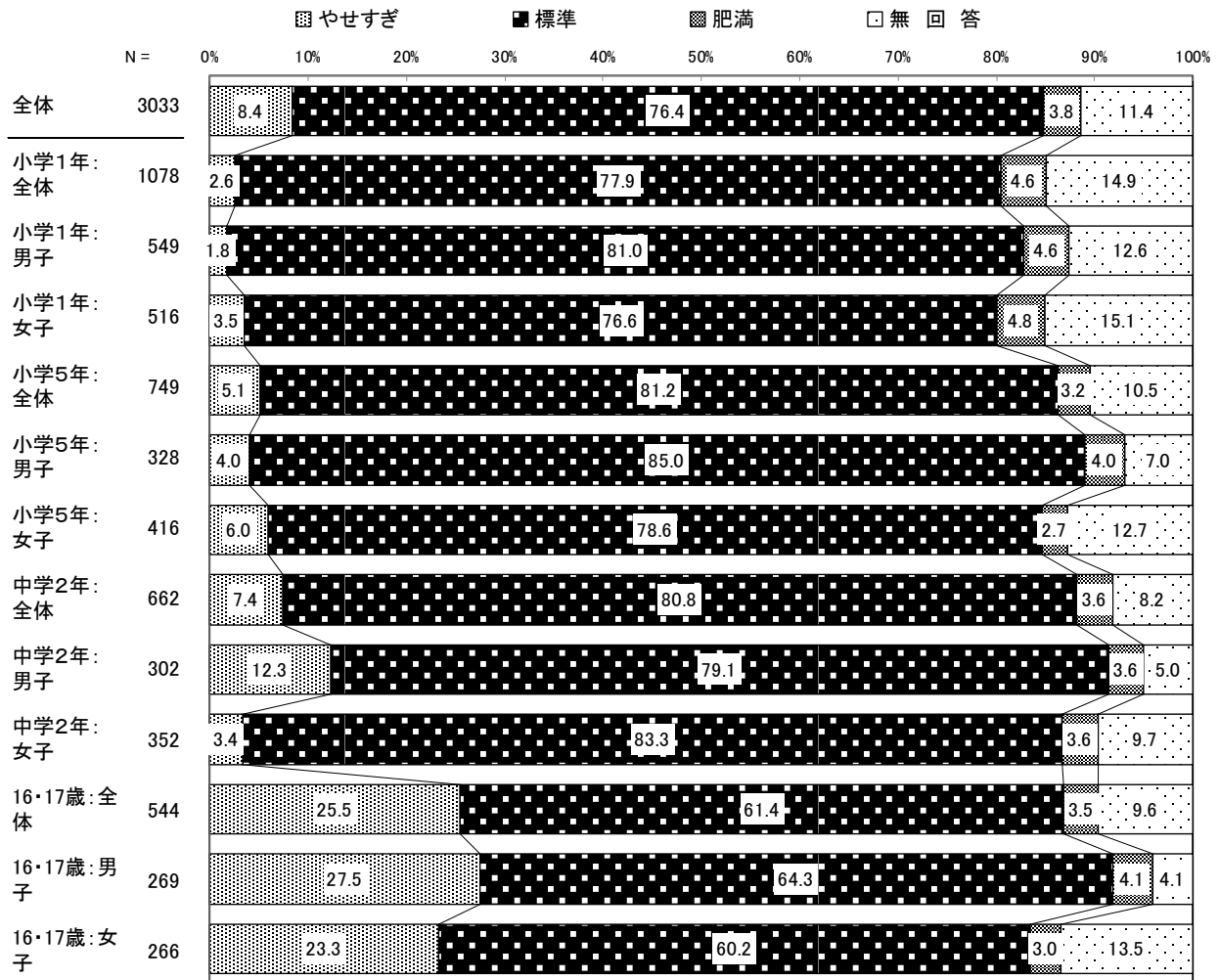
[肥満度（小学1年・小学5年・中学2年はローレル指数、16・17歳はBMI値）]

肥満度については、小学1年・小学5年・中学2年は「標準」が80%前後だが、16・17歳では61.4%と少なく、「やせすぎ」が25.5%と多い。

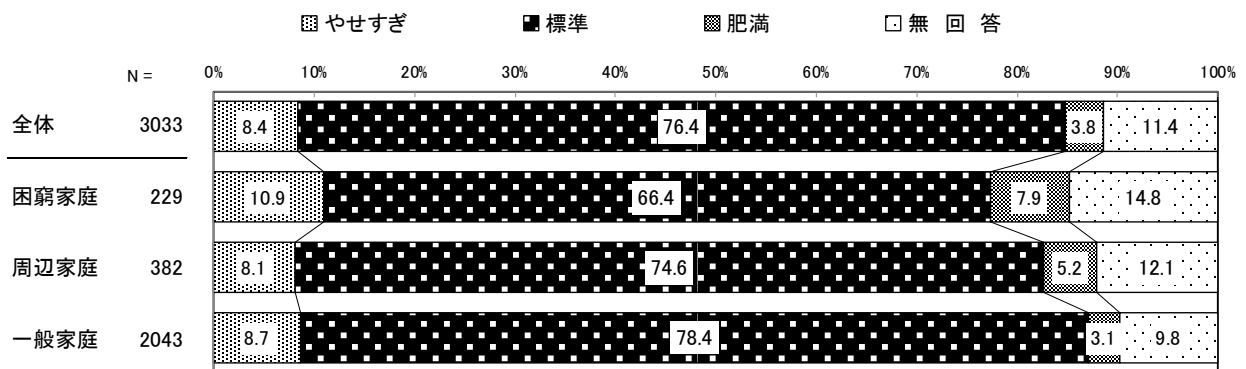
生活困窮度別では、「肥満」が困窮家庭で7.9%となっている。

注：肥満度は、ローレル指数（小学1年・小学5年・中学2年）：やせすぎ100未満、標準100～160未満、肥満160以上、BMI値（16・17歳）：やせすぎ18.5未満、標準18.5～25未満、肥満25以上

問3 肥満度（ローレル指数、BMI値）[%]



問3 肥満度（ローレル指数、BMI値）[%]

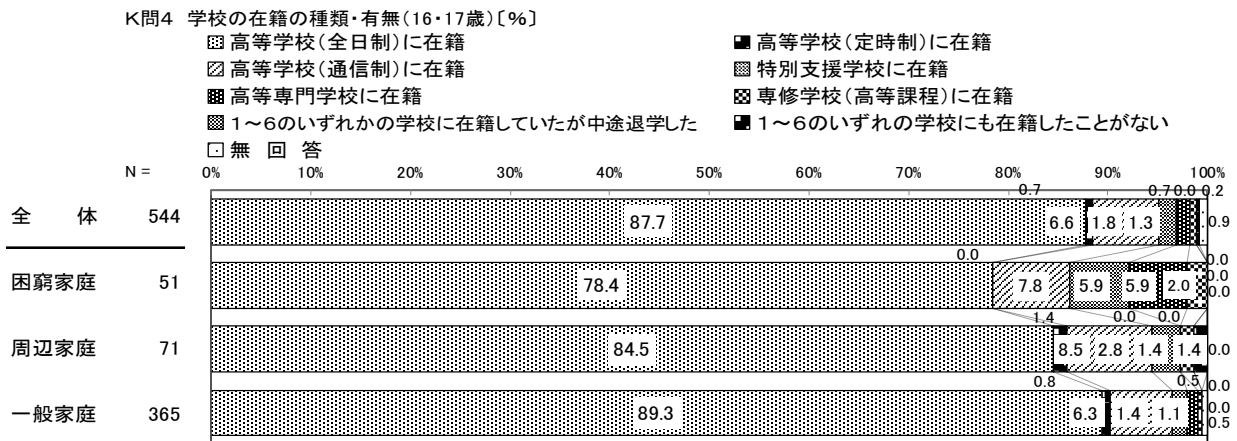


4) 通学・就職状況 (16・17歳のみ)

K問4 あなたは、現在学校に在籍していますか。(16・17歳のみ)

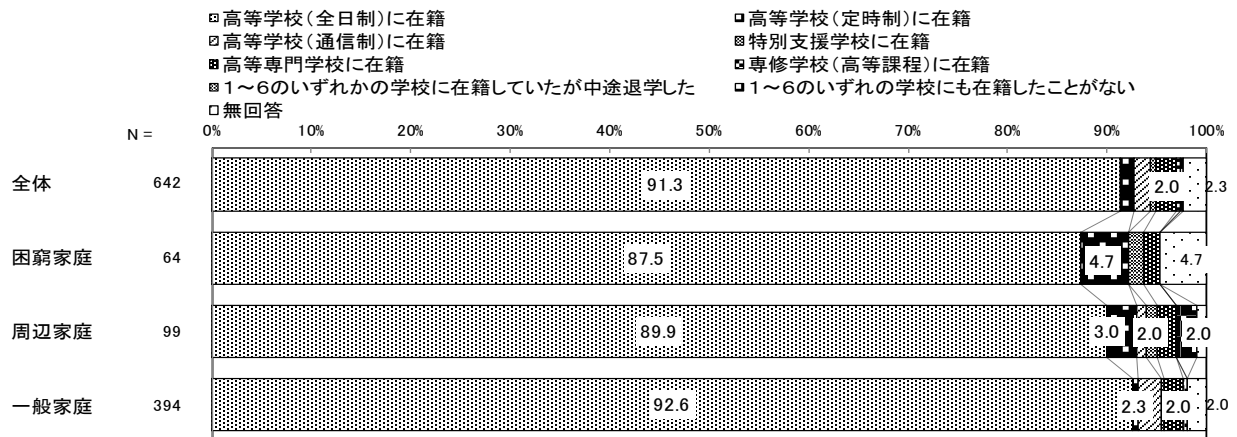
16・17歳の学籍状況は、「高等学校(全日制)に在籍」が87.7%、「高等学校(通信制)に在籍」が6.6%などとなっている。前回と比べて、「高等学校(全日制)に在籍」がやや少なくなり、「高等学校(通信制)に在籍」がやや多くなっている。

生活困窮度別では困窮家庭で「高等学校(全日制)に在籍」が78.4%、「高等学校(通信制)に在籍」が7.8%みられる。前回と比べて、「高等学校(全日制)に在籍」が少なくなり、「高等学校(通信制)に在籍」がやや多くなっている。



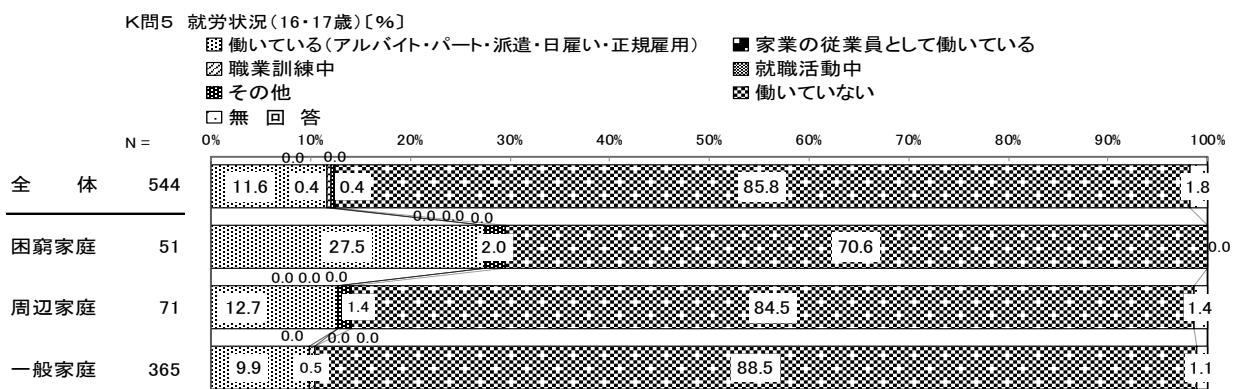
[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 学校の在籍の種類・有無[%]



K問5 あなたは、現在働いていますか。(16・17歳のみ)

16・17歳の就労状況は、「働いている(アルバイト・パート・派遣・日雇い・正規雇用)」は11.6%となっており、生活困窮度別では、困窮家庭で27.5%回答している。



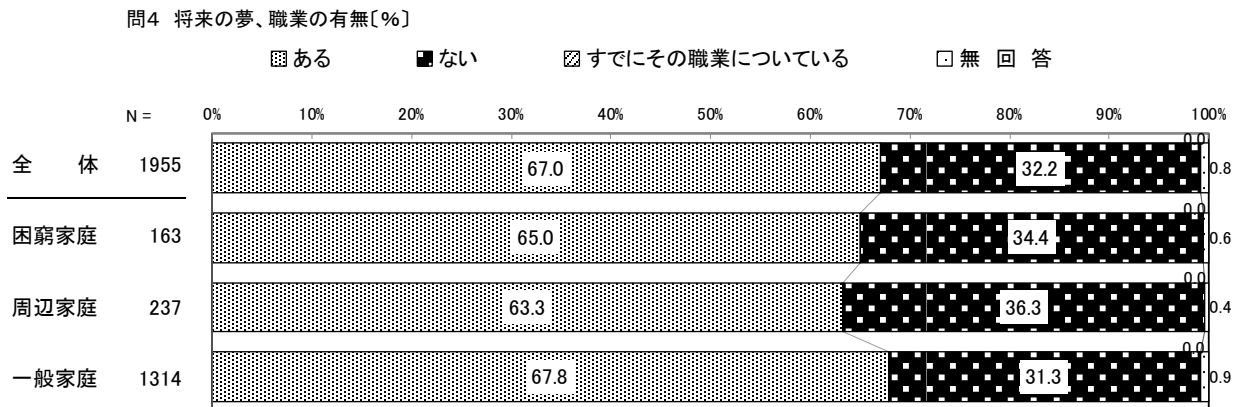
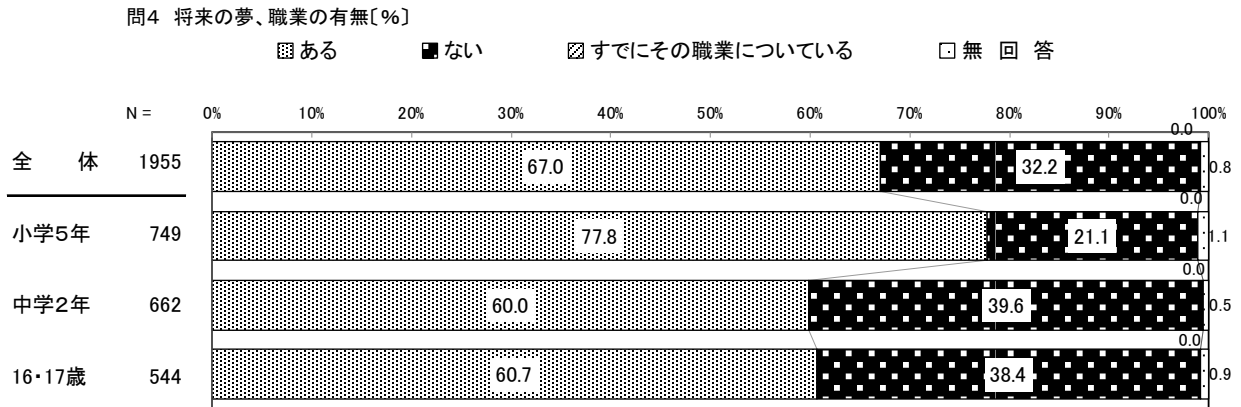
(2)将来のこと

①将来の夢(小学5年、中学2年、16・17歳)

問 4 あなたは、将来の夢(小学5年・中学2年)や将来なりたい職業(16・17歳)がありますか。(小学1年以外)

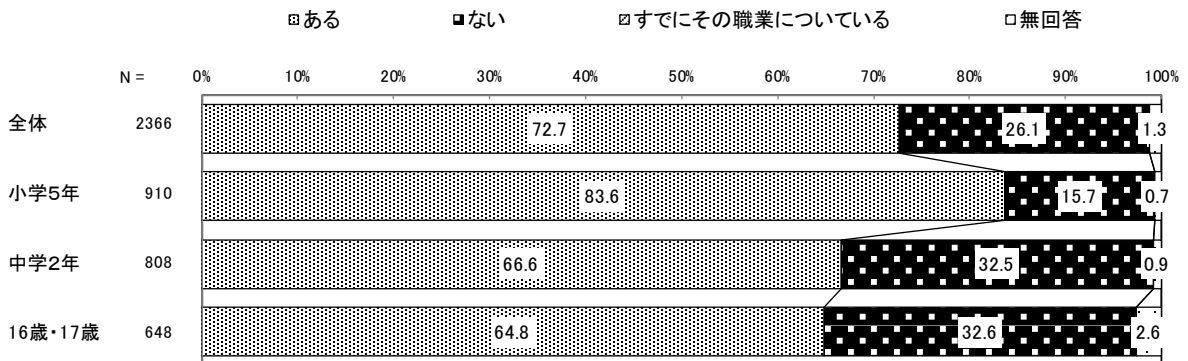
将来の夢・なりたい職業の有無については、「ある」が67.0%、「ない」が32.2%となっている。前回と比べると、「ある」が少なくなり、「ない」が多くなっている。

学年別では、「ある」と回答した割合は、小学5年77.8%、中学2年は60.0%、16・17歳は60.7%となっている。前回と比べて、全学年で「ある」と回答した割合が少なくなっている。

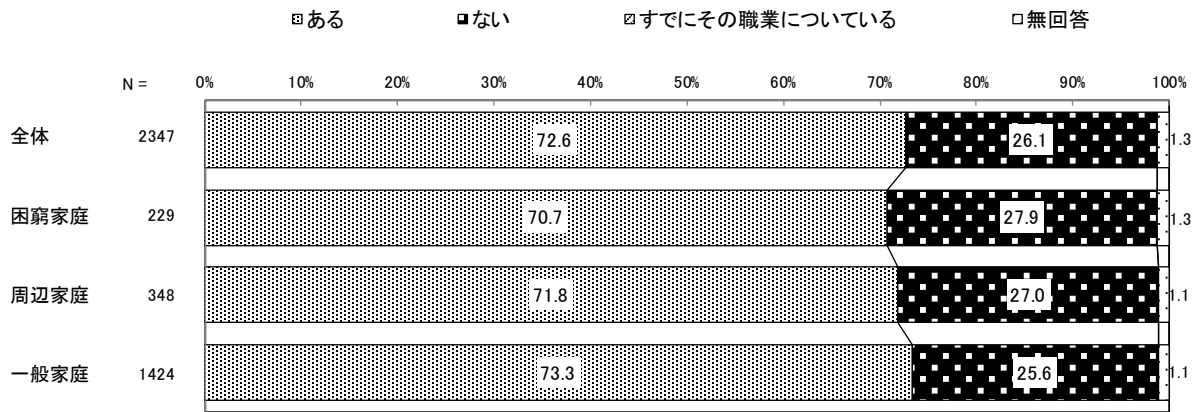


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 将来の夢、職業の有無[%]



(H29調査) 将来の夢、職業の有無[%]



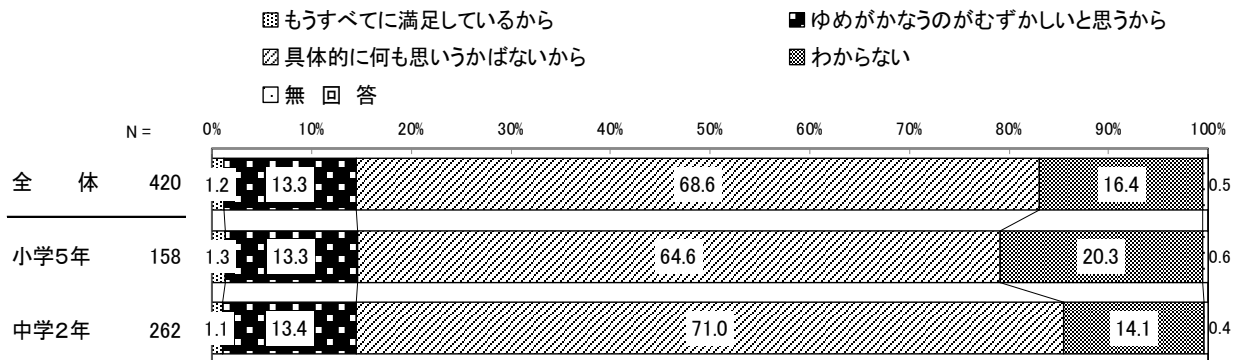
問 4-1 将来の夢(小学5年・中学2年)や将来になりたい職業(16・17歳)が「2 ない」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。(小学1年以外)

[小学5年・中学2年]

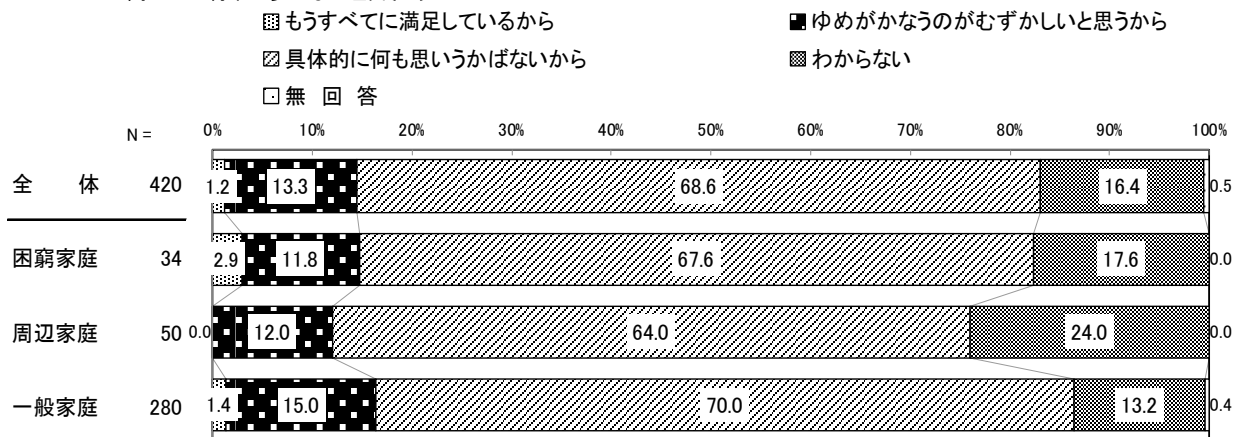
将来の夢がない理由と回答した理由としては、「具体的に何も思いうかばないから」が68.6%、「わからない」が16.4%、「ゆめがかなうのがむずかしいと思うから」が13.3%となっている。

生活困窮度別では、周辺家庭で「わからない」が24.0%と他の区分よりも多く回答されている。前回と比べて、「具体的に何も思いうかばないから」の回答割合が一般家庭と困窮家庭で多くなっている。

問4-1 将来の夢がない理由[%]

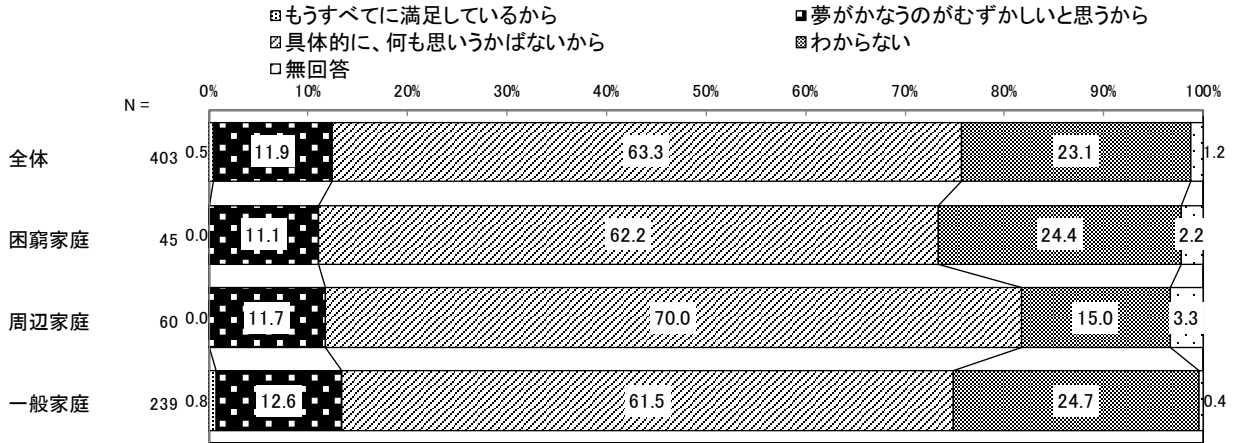


問4-1 将来の夢がない理由[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 将来の夢がない理由[%]

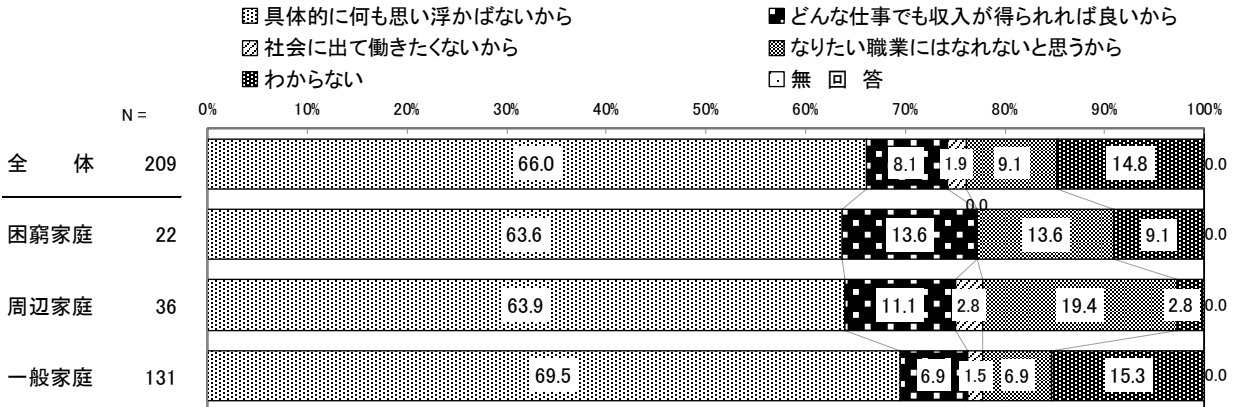


[16・17歳]

16・17歳の将来なりたい職業がない理由は、「具体的に何も思い浮かばないから」が66.0%、「わからない」が14.8%、「なりたい職業になれないと思うから」が9.1%などとなっている。

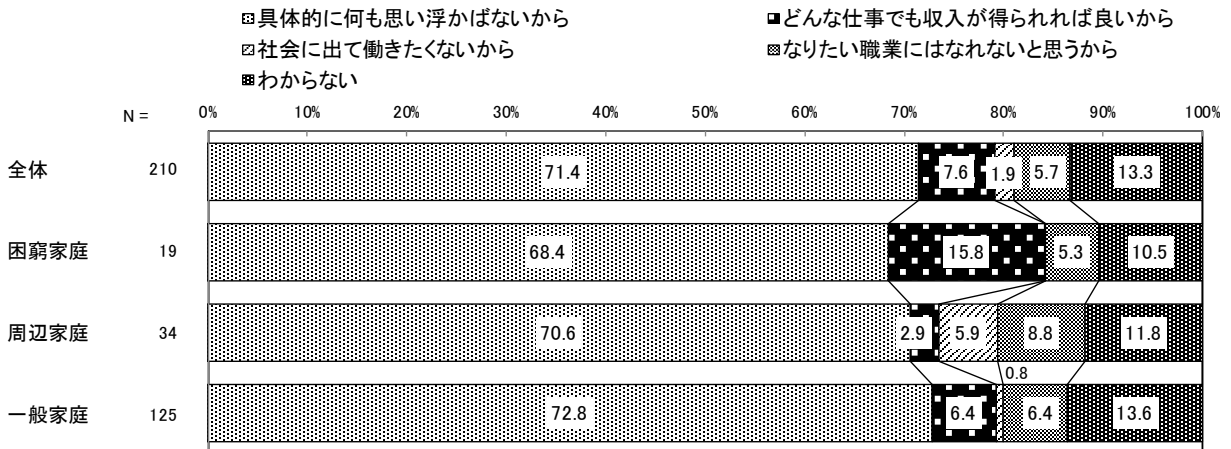
生活困窮度別では、「なりたい職業になれないと思うから」が全区分で前回よりも多く回答されている。

K問4-1 将来の夢がない理由(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 将来なりたい職業がない理由[%]

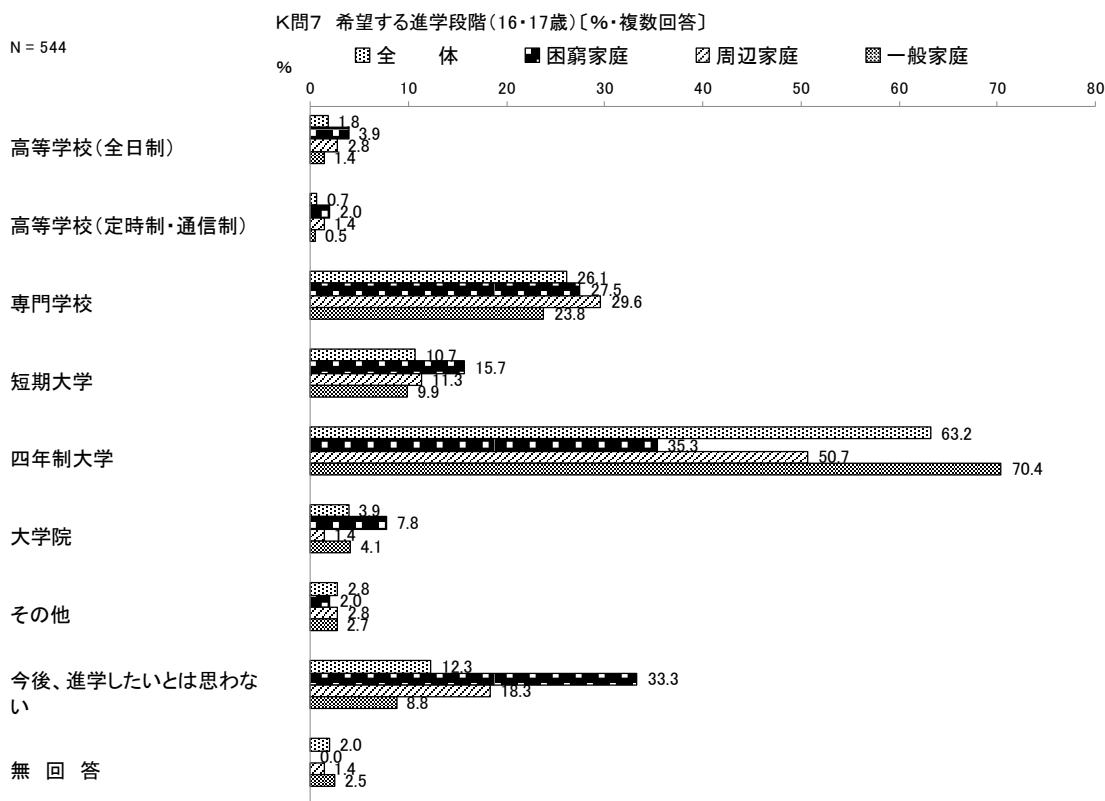


②進学希望(16・17歳のみ)

K問7 あなたは、今後、進学を希望する学校がありますか。(16・17歳のみ)

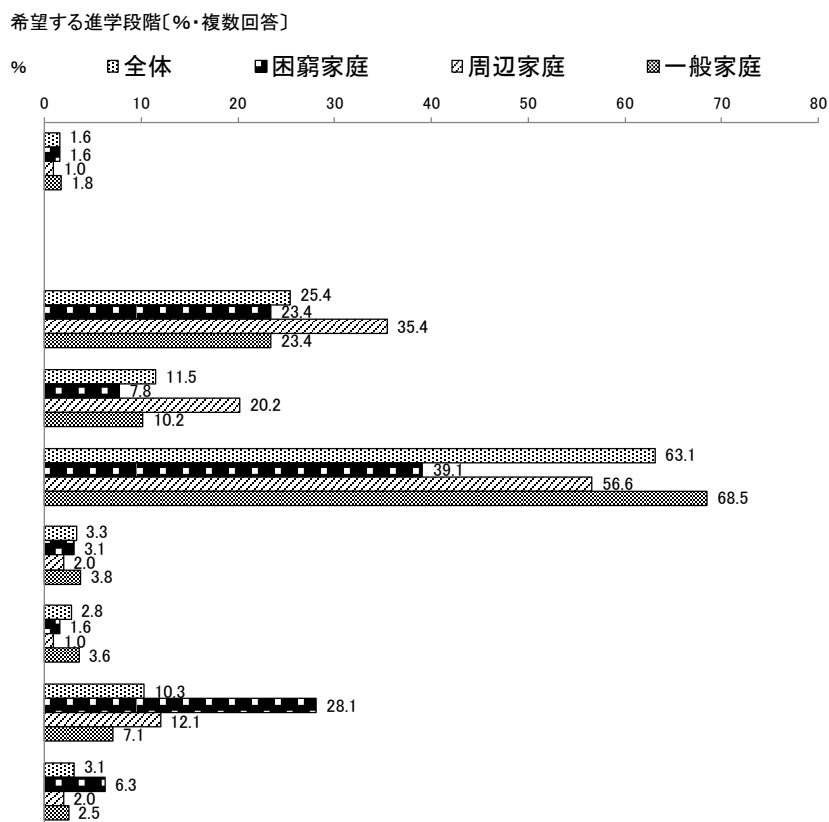
希望する進学段階について、「四年制大学」が63.2%、「専門学校」が26.1%、「今後進学したいと思わない」が12.3%となっている。

生活困窮度別では、「四年制大学」の回答割合が、一般家庭は70.4%、周辺家庭は50.7%、困窮家庭は35.3%となっており、一般家庭と生活困難家庭では大きな差がある。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査)
N = 642



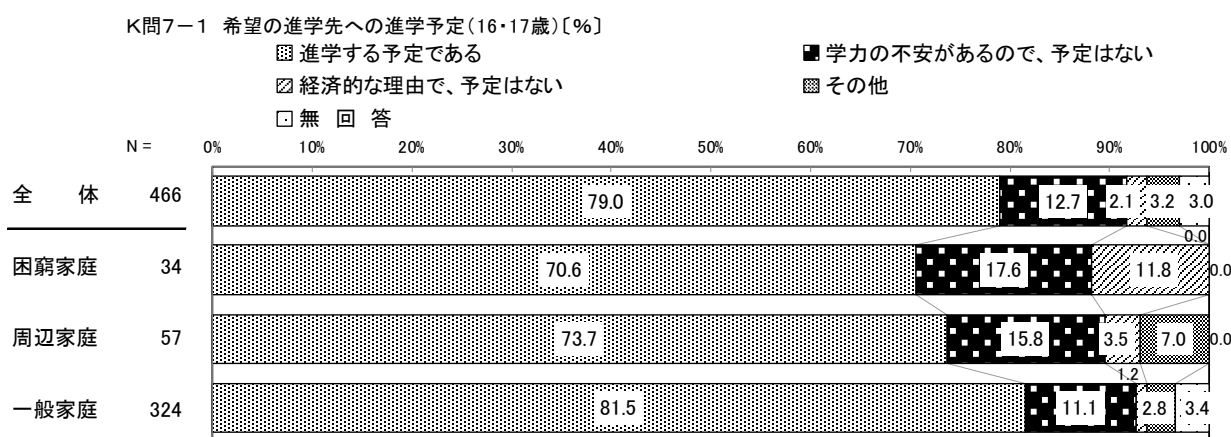
K 問 7-1 今後の進学を希望する人にお聞きします。希望する学校に進学する予定はありますか。
(16・17 歳のみ)

希望の進学先に進学する予定があるかについては、「進学する予定である」が 79.0%、「学力の不安があるので、予定はない」が 12.7%、「経済的な理由で、予定はない」が 2.1%などとなっている。

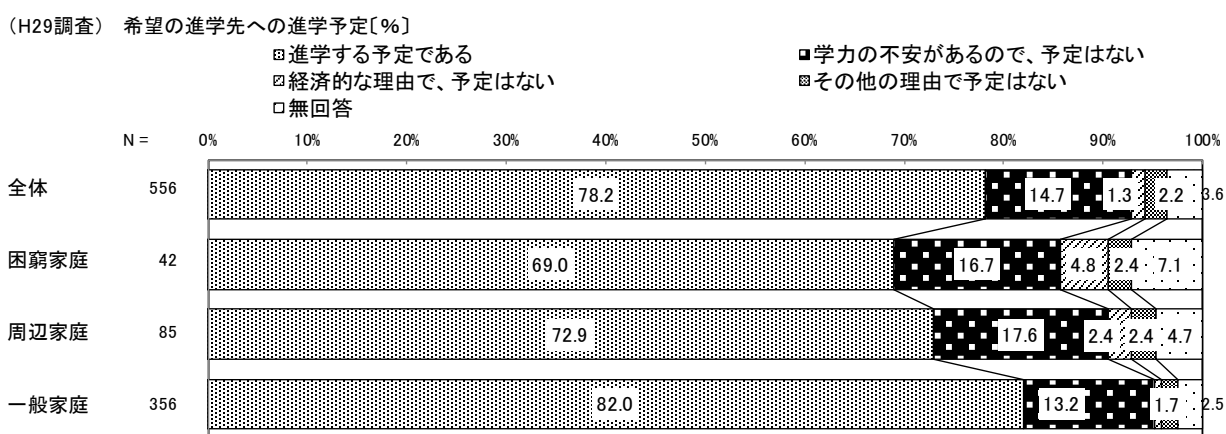
生活困窮度別では、困窮家庭では一般家庭や周辺家庭に比べて、「経済的な理由で、予定はない」の回答割合が多くなっている。

前回と比べて、「進学する予定である」と「学力の不安があるので、予定はない」はどの区分でもほぼ同程度の回答割合となっているが、「経済的な理由で、予定はない」について、一般家庭と周辺家庭については、前回とほぼ同程度の一方、困窮家庭については前回の 4.8%に対し、今回は 11.8%と多くなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「進学する予定がある」が 70.6%、「学力の不安があるので、予定はない」が 17.6%となっており、ともに前回と同程度で、「経済的な理由で、予定はない」は 11.8%と前回よりも多い。



[参考: 前回調査結果]



(3)ふだんの生活

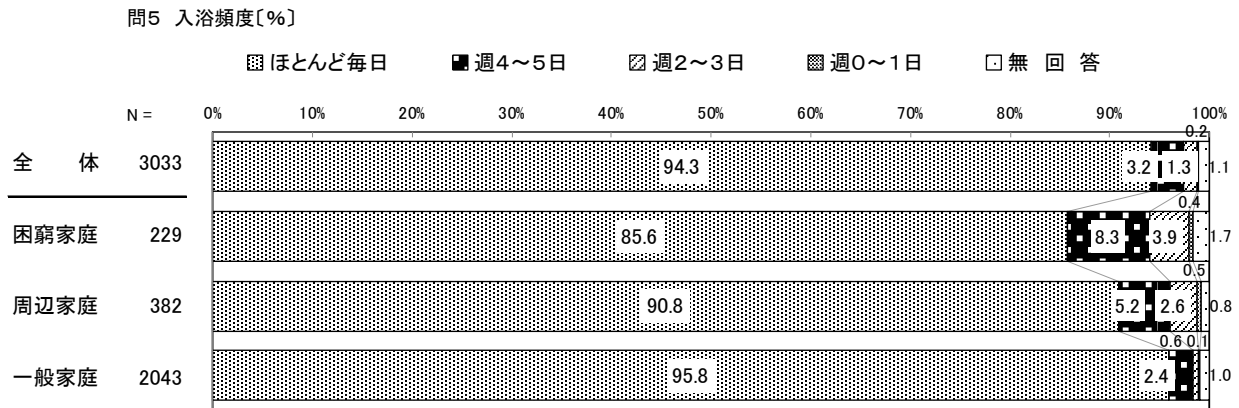
①入浴

問5 あなたは、週にどのくらい風呂に入りますか。(シャワーだけでも含みます)

入浴頻度は、「ほとんど毎日」が94.3%となっている。

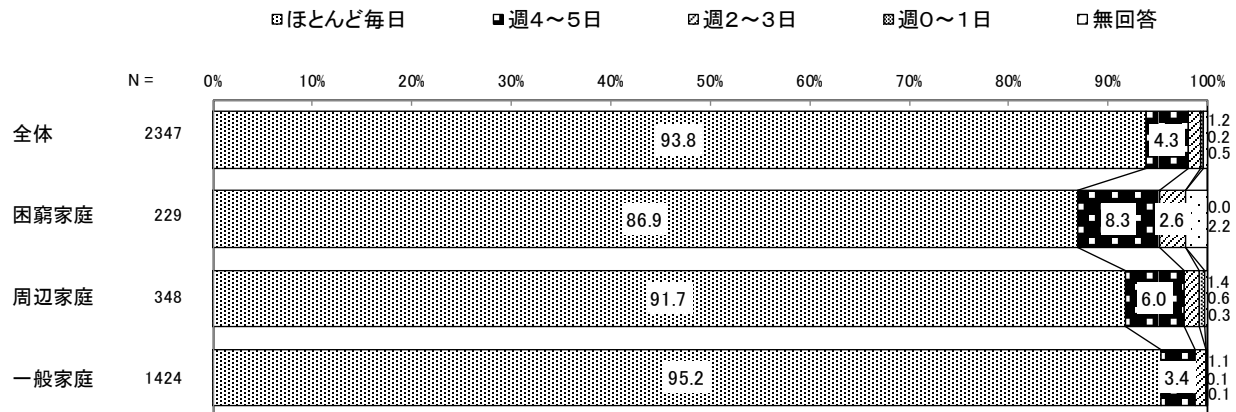
生活困窮度別では、「ほとんど毎日」と回答したのが、一般家庭で95.8%に対し、困窮家庭で85.6%となっており、「週4～5日」が他の区分よりもやや多くなっている。

生活困窮度別については、前回の回答割合とほぼ変化はなかった。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 問9 入浴頻度[%]



②放課後等の過ごし方

[放課後等を一緒に過ごす人・場所]

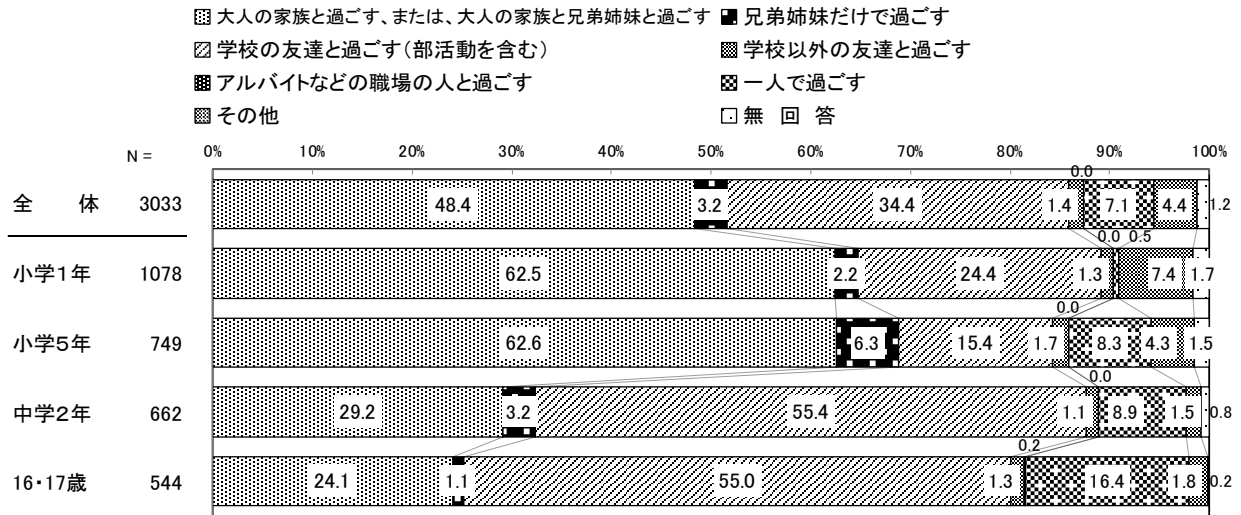
問6 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)の放課後や自由時間は、だれと一緒に過ごすことが一番多いですか。

平日の放課後や自由時間に一緒に過ごすことが多い人については、「大人の家族と過ごす、または、大人の家族と兄弟姉妹と過ごす」が48.4%と最も多く、次いで「学校の友達と過ごす(部活動を含む)」が34.4%、「一人で過ごす」が7.1%である。

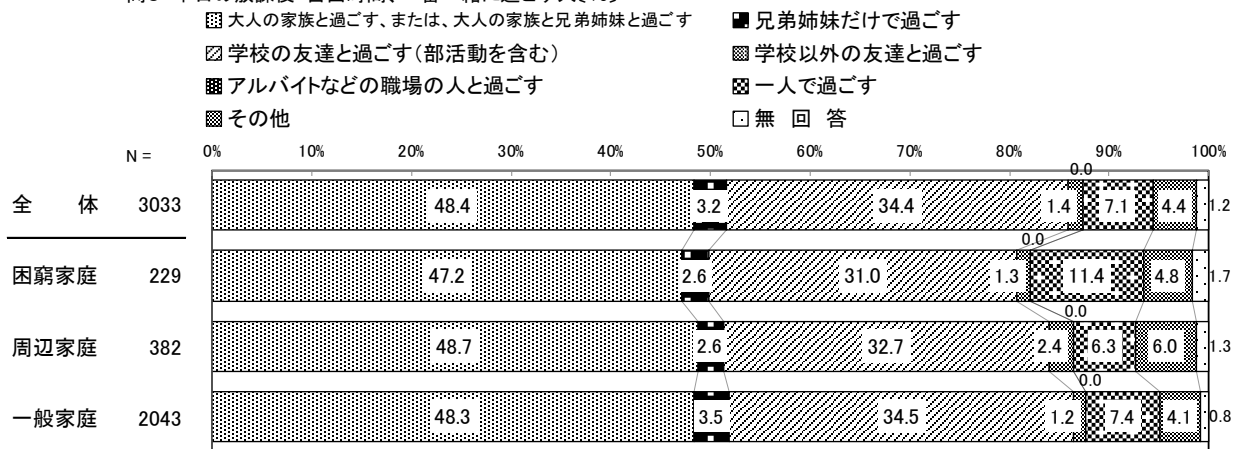
学年別では、小学1年と小学5年で「大人の家族と過ごす、または、大人の家族と兄弟姉妹と過ごす」がそれぞれ60%台で最も多く回答されているが、中学2年と16・17歳では「学校の友達と過ごす(部活動を含む)」が55%前後で最も多く回答されている。

前回の全体と比べて、「大人の家族と過ごす、または、大人の家族と兄弟姉妹と過ごす」が多くなり、「学校の友達と過ごす(部活動を含む)」が少なくなっている。

問6 平日の放課後・自由時間、一番一緒に過ごす人[%]

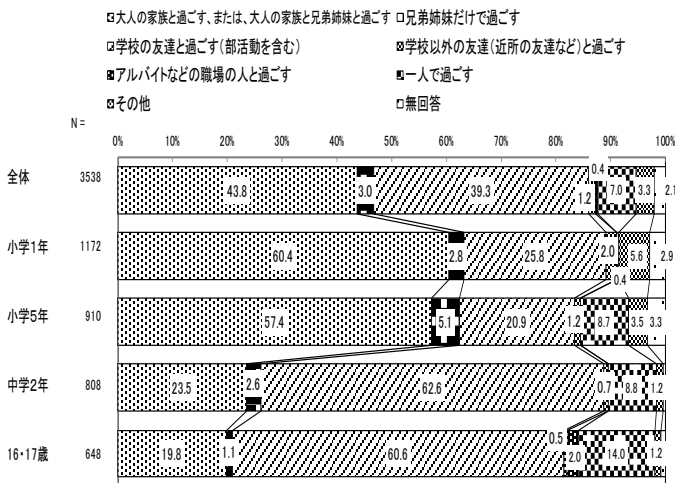


問6 平日の放課後・自由時間、一番一緒に過ごす人[%]

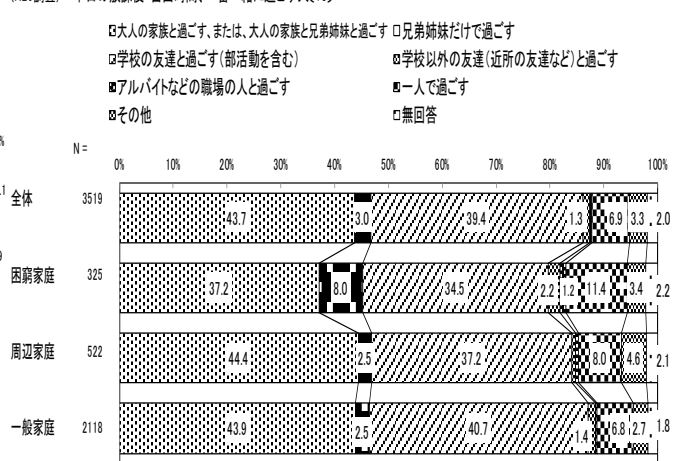


[参考: 前回調査]

(H29調査) 平日の放課後・自由時間、一番一緒に過ごす人[%]



(H29調査) 平日の放課後・自由時間、一番一緒に過ごす人[%]

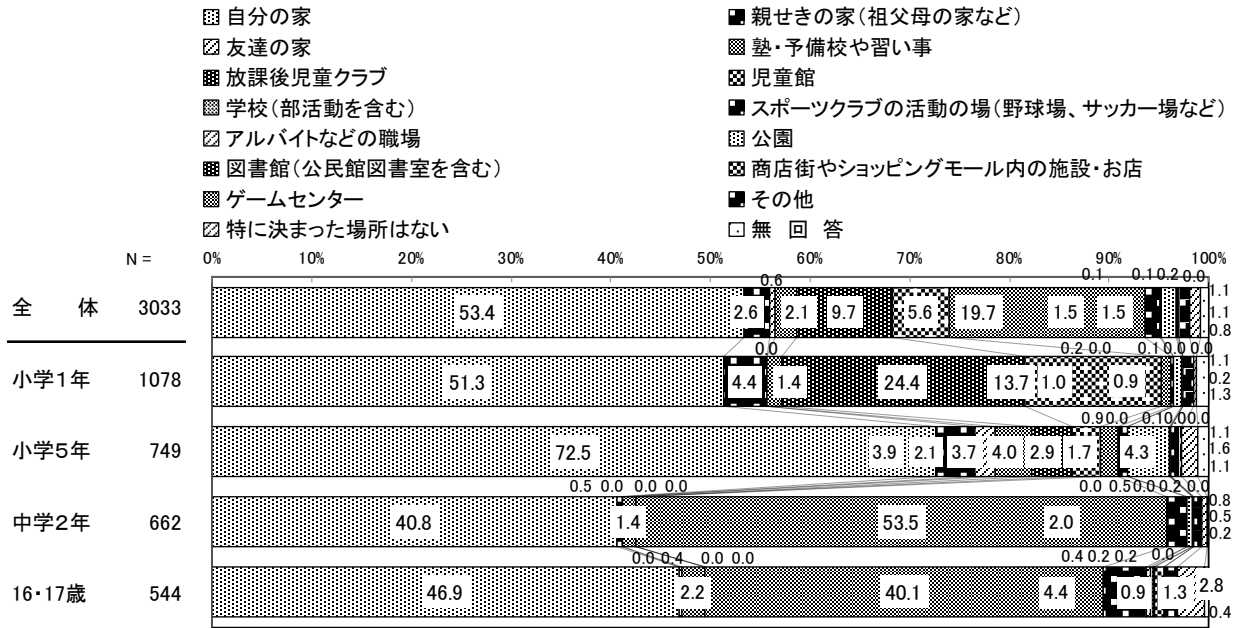


問7 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)の放課後や自由時間は、どこで過ごすことが一番多いですか。

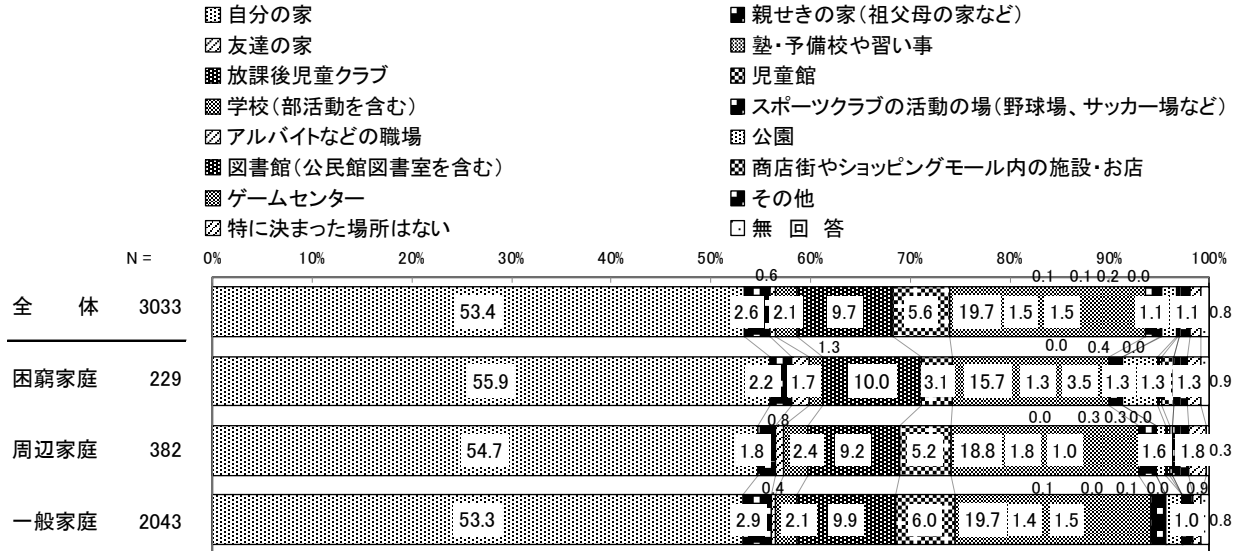
平日の放課後や自由時間に過ごすことが多い場所は、「自分の家」が 53.4%と最も多く、次いで「学校(部活動を含む)」が 19.7%である。

学年別では、小学1年で放課後児童クラブが 24.4%となっている。また、小学5年で「自分の家」が 72.5%となっており、学年が上がるにつれ「学校(部活動を含む)」が多くなり、中学2年、16・17歳でそれぞれ 53.5%、40.1%である。

問7 平日の放課後・自由時間、一番過ごす場所【%】



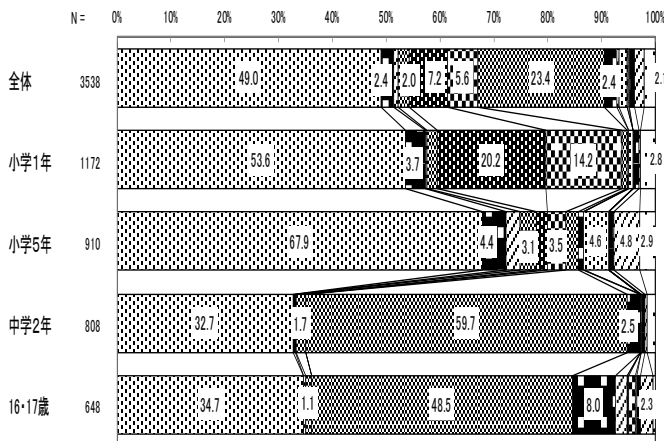
問7 平日の放課後・自由時間、一番過ごす場所【%】



[参考: 前回調査]

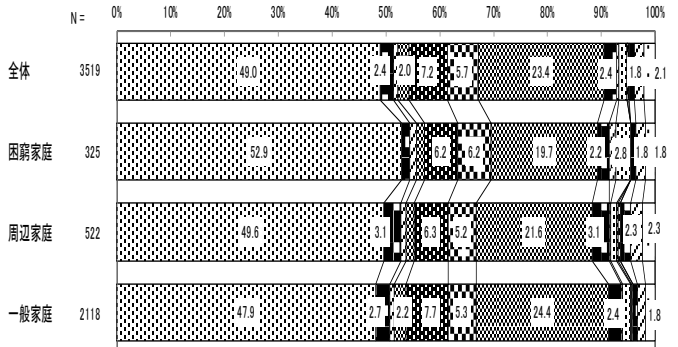
(H29調査) 平日の放課後・自由時間、一番過ごす場所【%】

- 自分の家
- 友達の家
- 放課後児童クラブ
- 学校(部活動を含む)
- アルバイトなどの職場
- 図書館(公民館図書室を含む)
- ゲームセンター
- 特に決まった場所はない
- 親せきの家(祖父母の家など)
- 塾・予備校や習い事
- 児童館
- スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)
- 公園
- 商店街やショッピングモール内の施設・お店
- その他
- 無回答



(H29調査) 平日の放課後・自由時間、一番過ごす場所【%】

- 自分の家
- 友達の家
- 放課後児童クラブ
- 学校(部活動を含む)
- アルバイトなどの職場
- 図書館(公民館図書室を含む)
- ゲームセンター
- 特に決まった場所はない
- 親せきの家(祖父母の家など)
- 塾・予備校や習い事
- 児童館
- スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)
- 公園
- 商店街やショッピングモール内の施設・お店
- その他
- 無回答

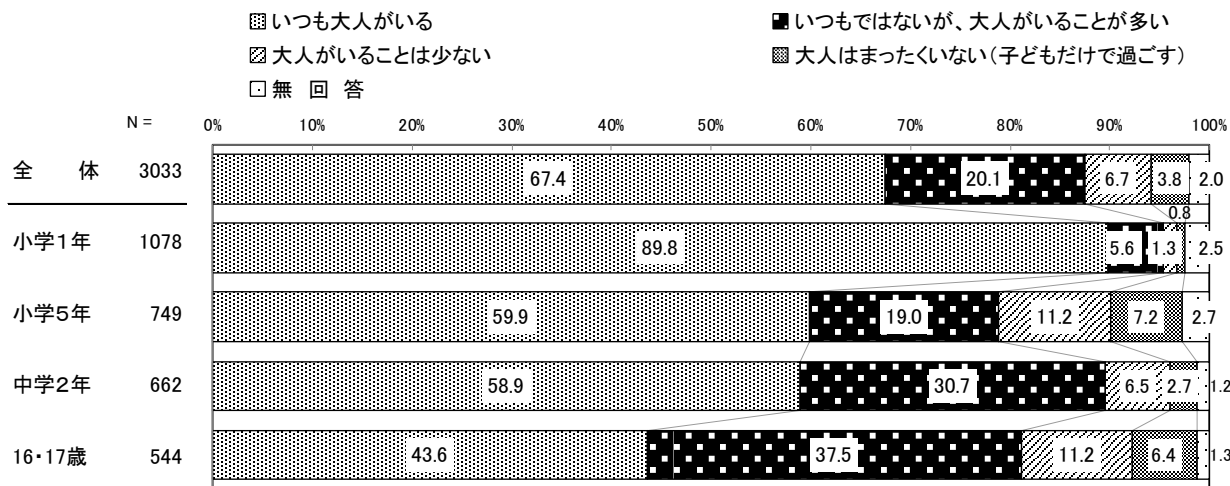


問 8 前問で答えた、あなたが平日(学校や仕事に行く日)の放課後や自由時間を過ごす場所に、大人はいますか。

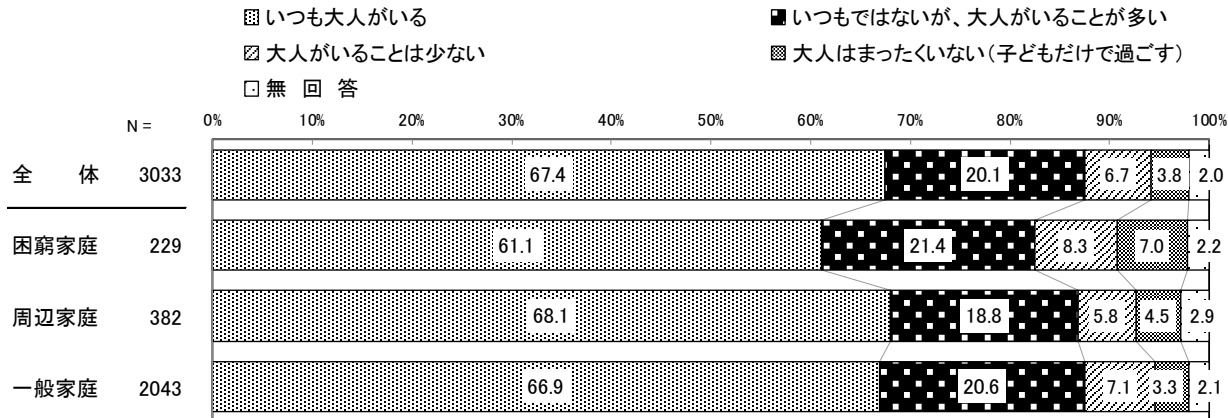
平日の放課後や自由時間に過ごす場所での大人の有無については、「いつも大人がいる」が67.4%と多く、次いで「いつもではないが、大人がいることが多い」が20.1%、「大人がいることは少ない」が6.7%である。

学年別では、小学1年で「いつも大人がいる」が89.8%と多い。

問8 放課後・自由時間を過ごす場所での大人の有無[%]

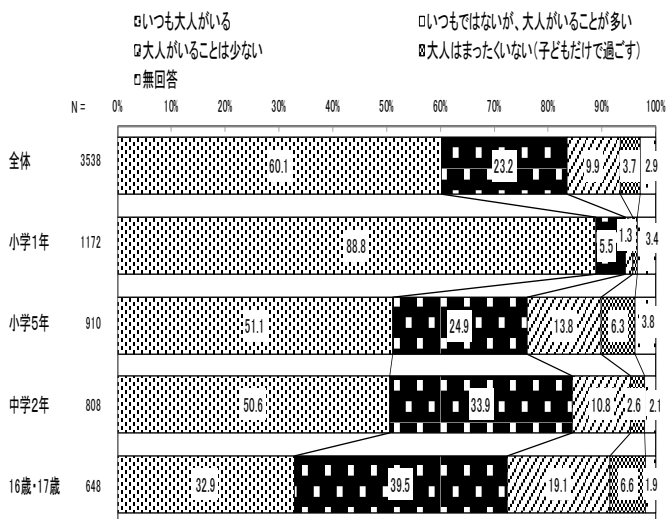


問8 放課後・自由時間を過ごす場所での大人の有無[%]

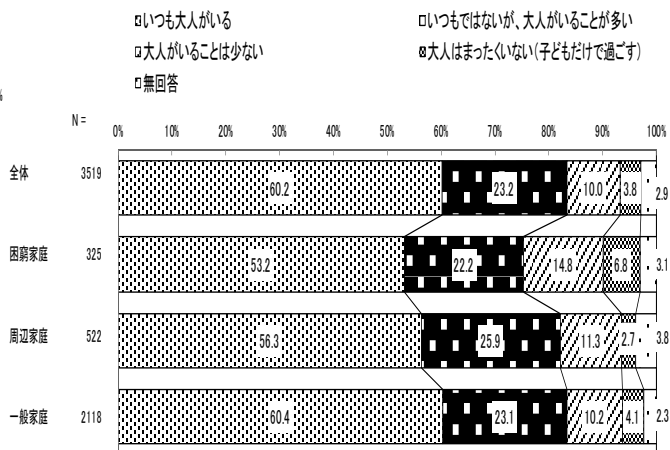


[参考: 前回調査結果]

(H28調査) 平日の放課後・自由時間に過ごす場所への大人の有無[%]



(H29調査) 平日の放課後・自由時間に過ごす場所への大人の有無[%]

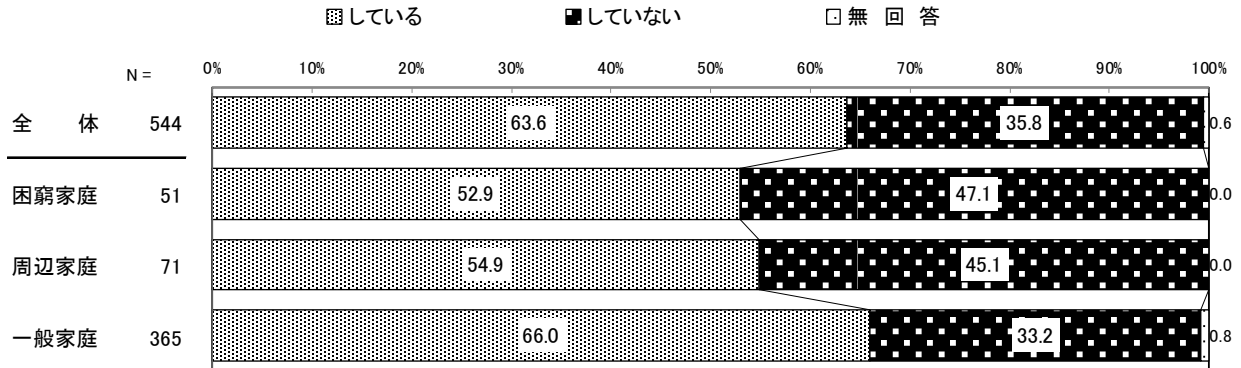


[クラブ等への参加（16・17歳のみ）]

K問 12 あなたは、学校や職場・地域のクラブやスポーツ活動に参加していますか。

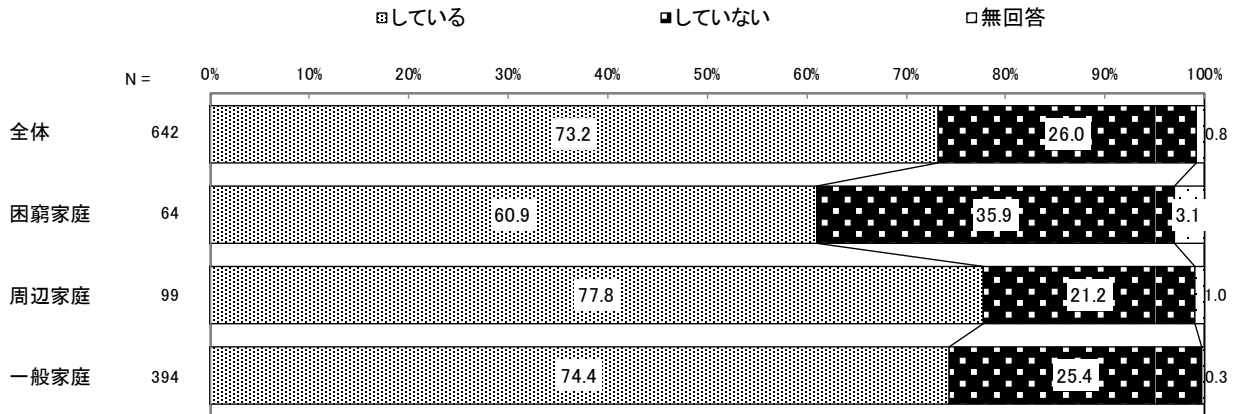
16・17歳の学校や職場・地域のクラブ等への参加状況は、「している」が63.6%、「していない」が35.8%となっている。

K問12 学校や職場・地域のクラブ等への参加状況(16・17歳) [%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 学校や職場・地域のクラブ等への参加の有無 [%]



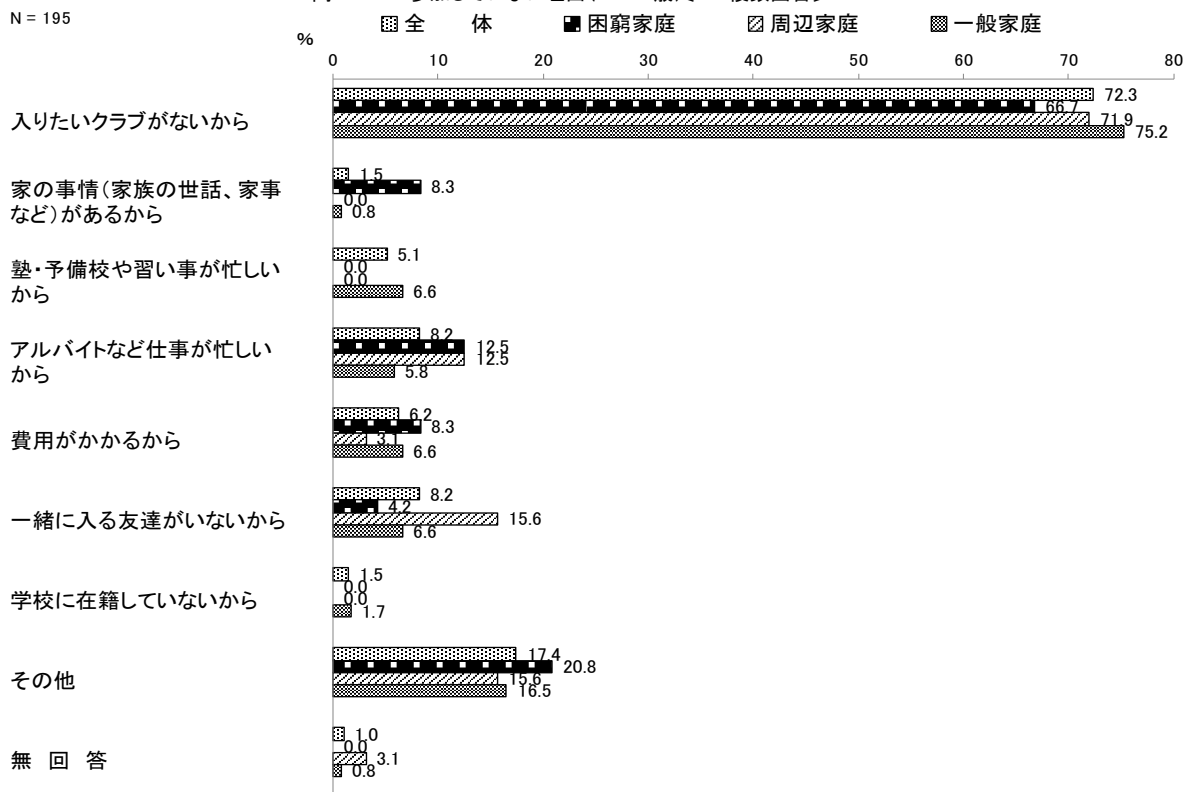
K問 12-1 前問で「2 していない」と答えた人にお聞きます。参加しない理由は何ですか。

16・17歳の学校や職場・地域のクラブ等へ参加しない理由は、「入りたいクラブがないから」が72.3%と多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「入りたいクラブがないから」と「その他」の他、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」と「費用がかかるから」がともに8.3%、困窮家庭と周辺家庭で「アルバイトなど仕事が忙しいから」がともに12.5%などとなっている。

N = 195

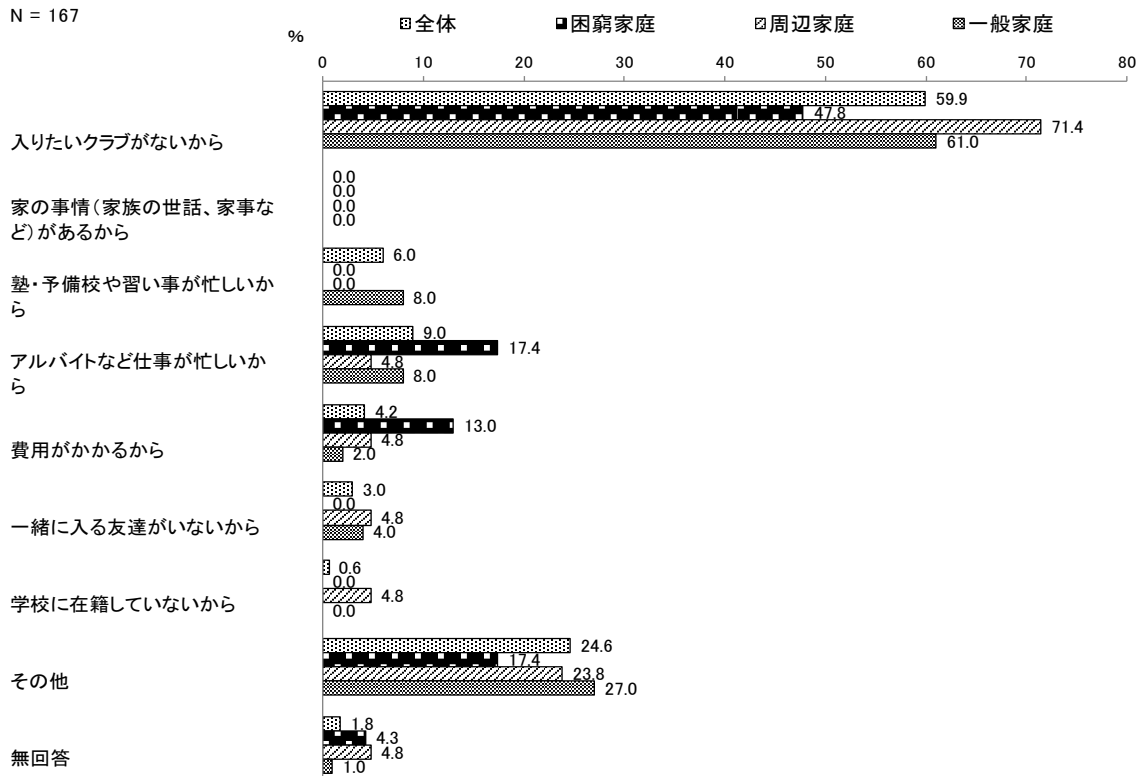
K問12-1 参加していない理由(16・17歳)[%・複数回答]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査)
N = 167

参加しない理由[%・複数回答]



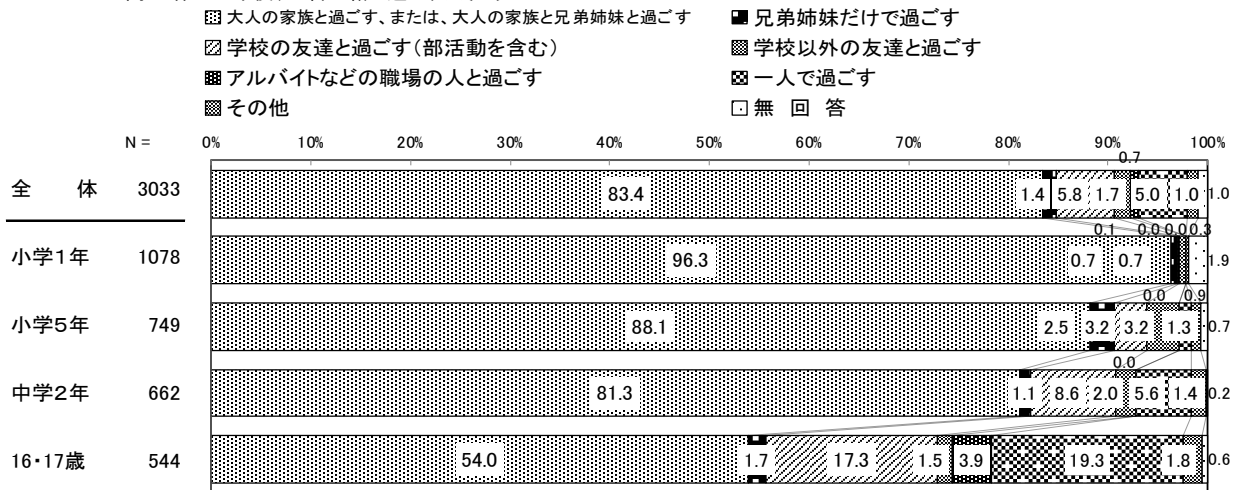
[休日と一緒に過ごす人・場所]

問 9 あなたは、休日(学校や仕事がお休みの日)の午後は、だれと一緒に過ごすことが一番多いですか。

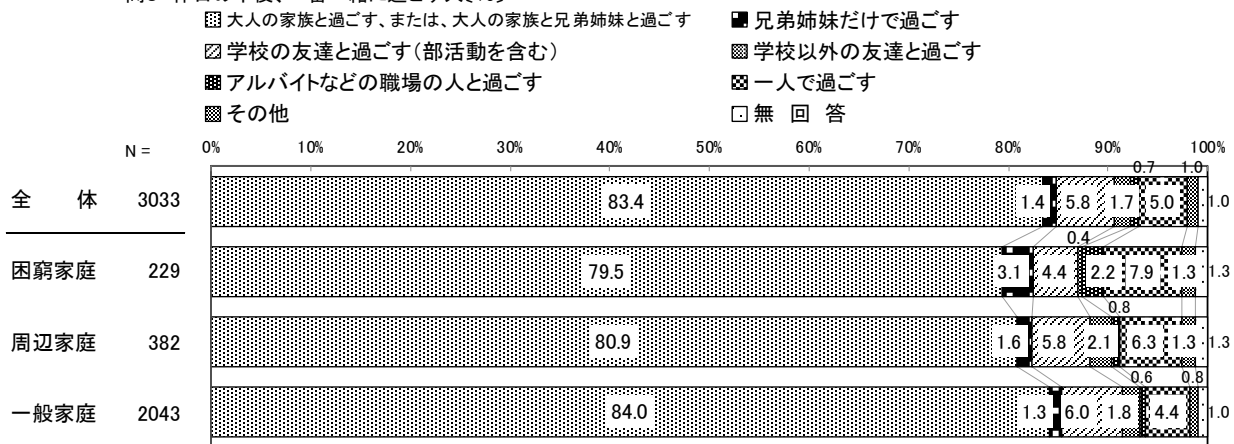
休日の午後一緒に過ごすことが多い人については、「大人の家族と過ごす、または、大人の家族と兄弟姉妹と過ごす」が 83.4%と最も多く、次いで「学校の友達と過ごす(部活動を含む)」が 5.8%となっている。

学年別では、小学1年で「大人の家族と過ごす、または、大人の家族と兄弟姉妹と過ごす」が 96.3%となっており、学年が上がると「学校の友達と過ごす(部活動を含む)」が多くなっている。

問9 休日の午後、一番一緒に過ごす人〔%〕

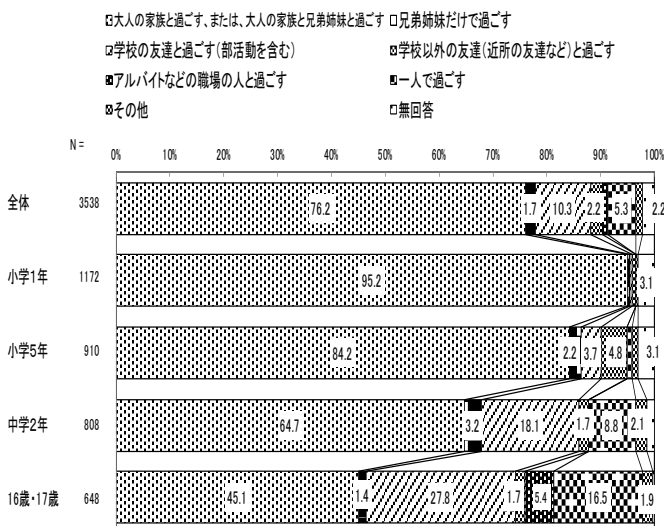


問9 休日の午後、一番一緒に過ごす人〔%〕

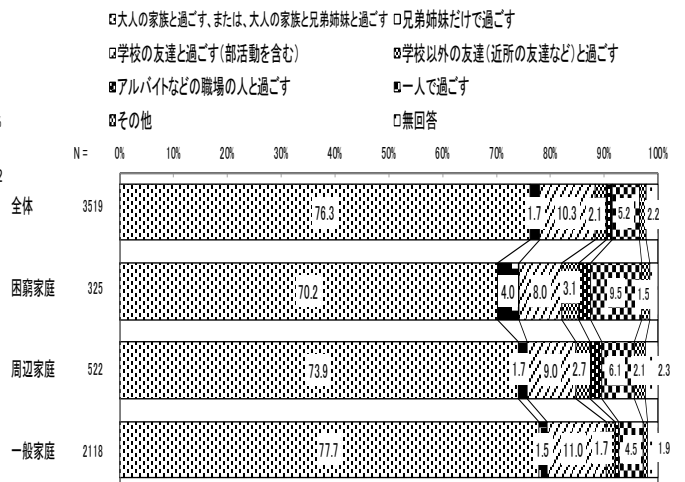


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 休日の午後、一番一緒に過ごす人〔%〕



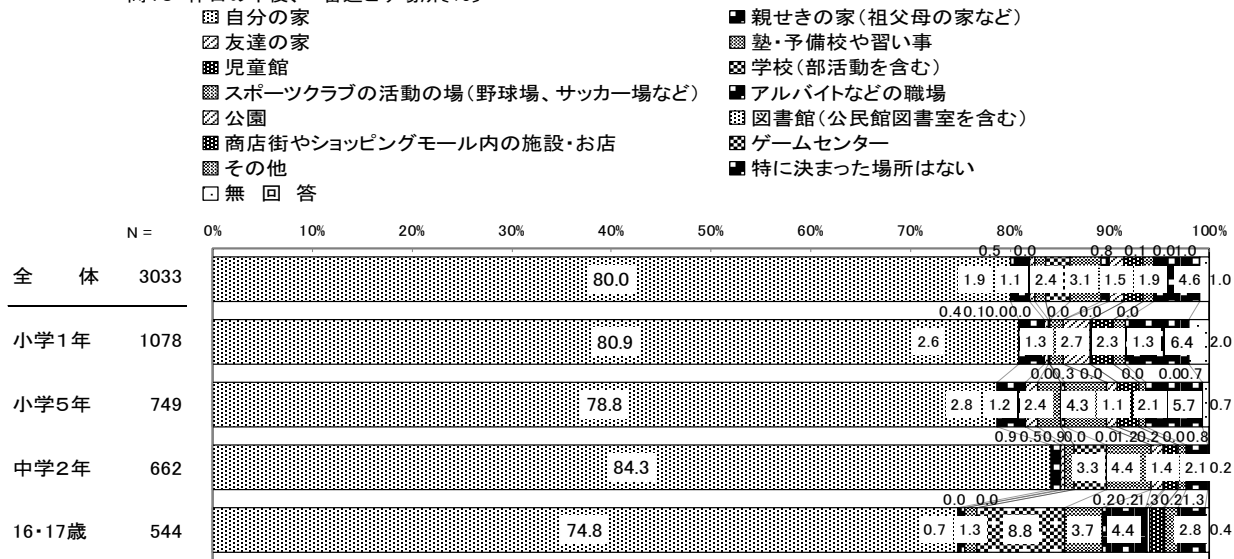
(H29調査) 休日の午後、一番一緒に過ごす人〔%〕



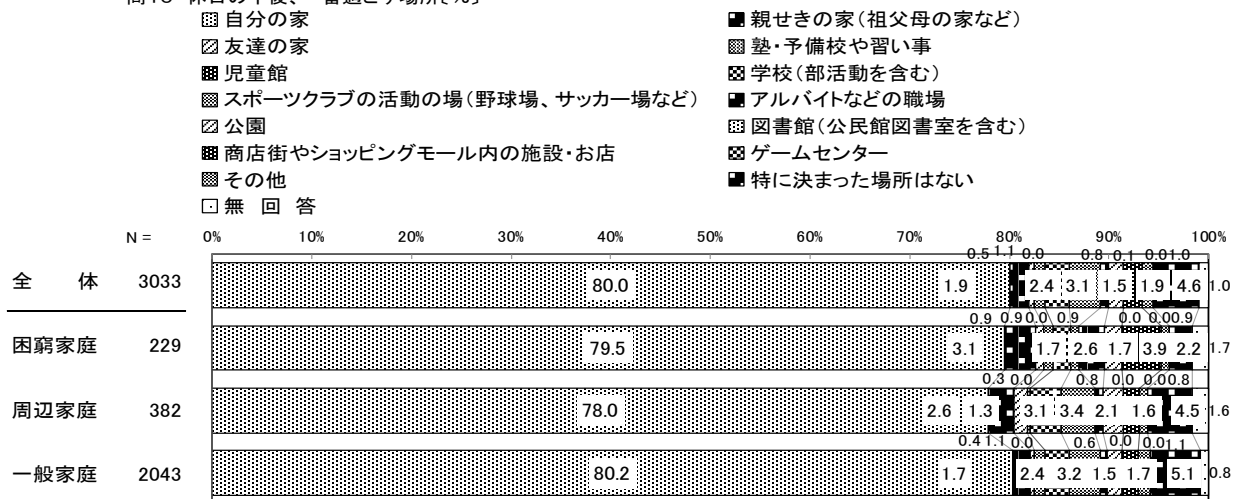
問 10 あなたは、休日(学校や仕事がお休みの日)の午後は、どこで過ごすことが一番多いですか。

休日の午後に過ごすことが多い場所は、「自分の家」が 80.0%と最も多い。学校(部活動含む)が 2.4%で、前回よりも回答割合が少なくなっている。

問10 休日の午後、一番過ごす場所〔%〕

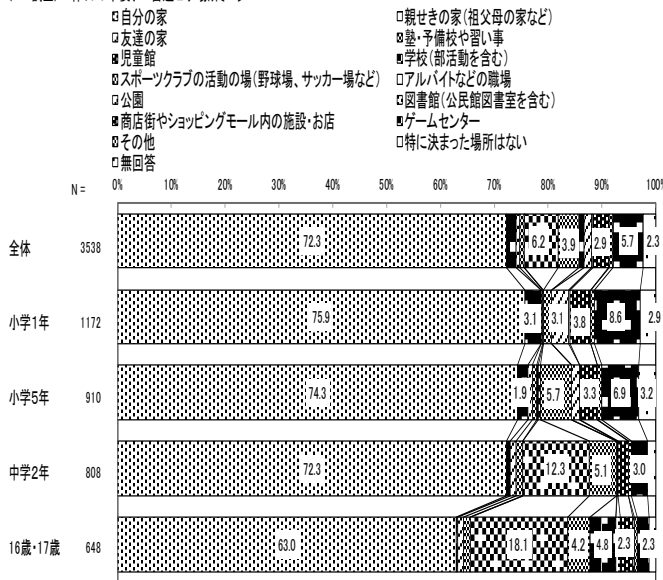


問10 休日の午後、一番過ごす場所〔%〕

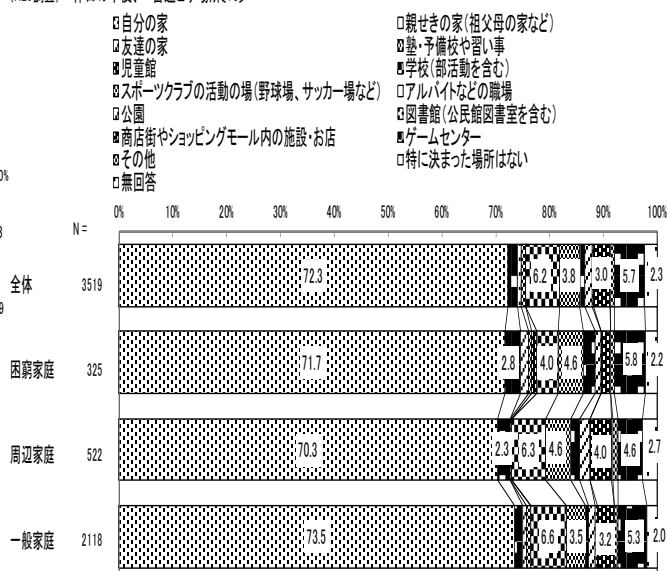


【参考: 前回調査結果】

(H29調査) 休日の午後、一番過ごす場所〔%〕



(H29調査) 休日の午後、一番過ごす場所〔%〕

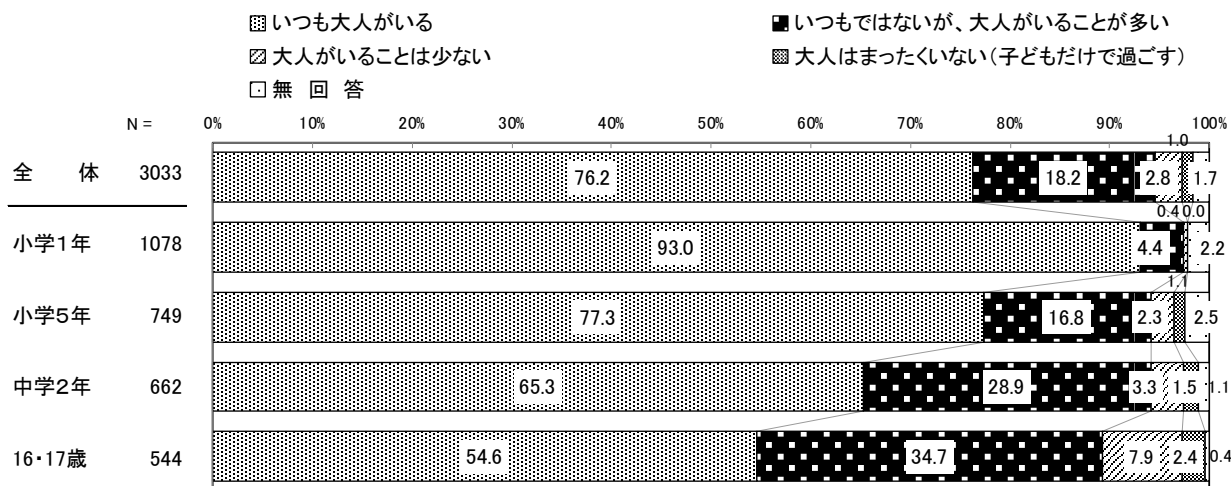


問 11 前問で答えた、あなたが休日(学校や仕事がお休みの日)の午後過ごす場所に、大人はいますか。

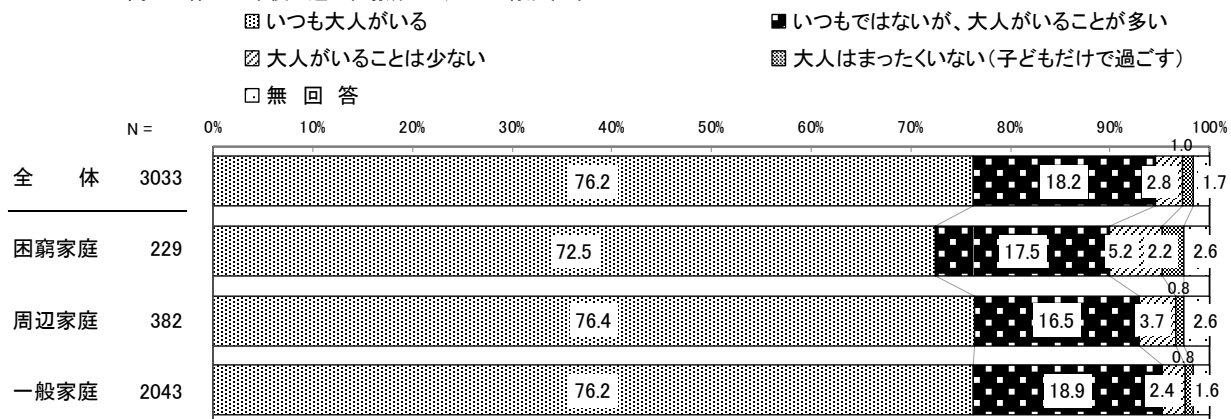
休日の午後に過ごす場所での大人の有無は、「いつも大人がいる」が 76.2%と最も多く、次いで「いつもではないが、大人がいることが多い」が 18.2%、「大人がいることは少ない」が 2.8%となっている。

学年別では、小学1年で「いつも大人がいる」が 93.0%と多い。

問11 休日の午後に過ごす場所での大人の有無[%]

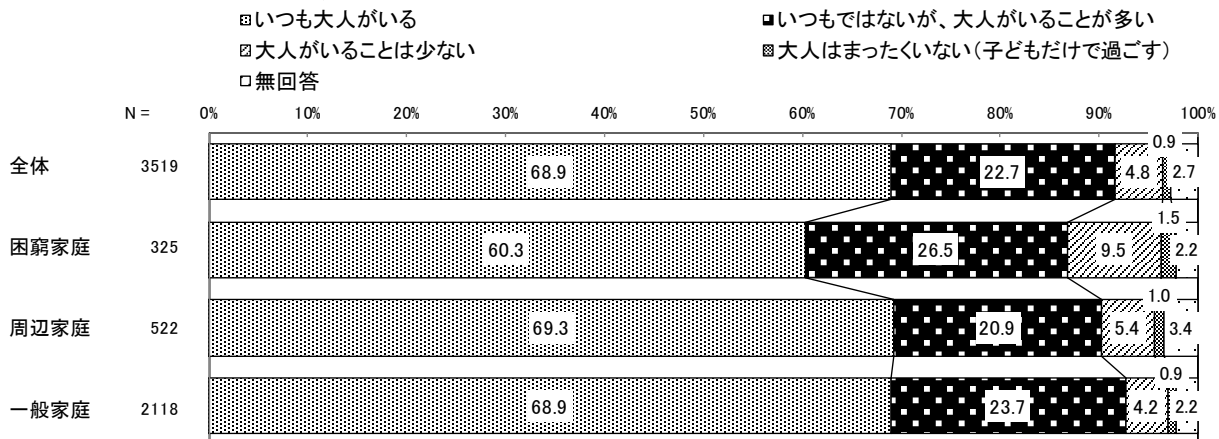


問11 休日の午後に過ごす場所での大人の有無[%]



[参考: 前回調査結果]

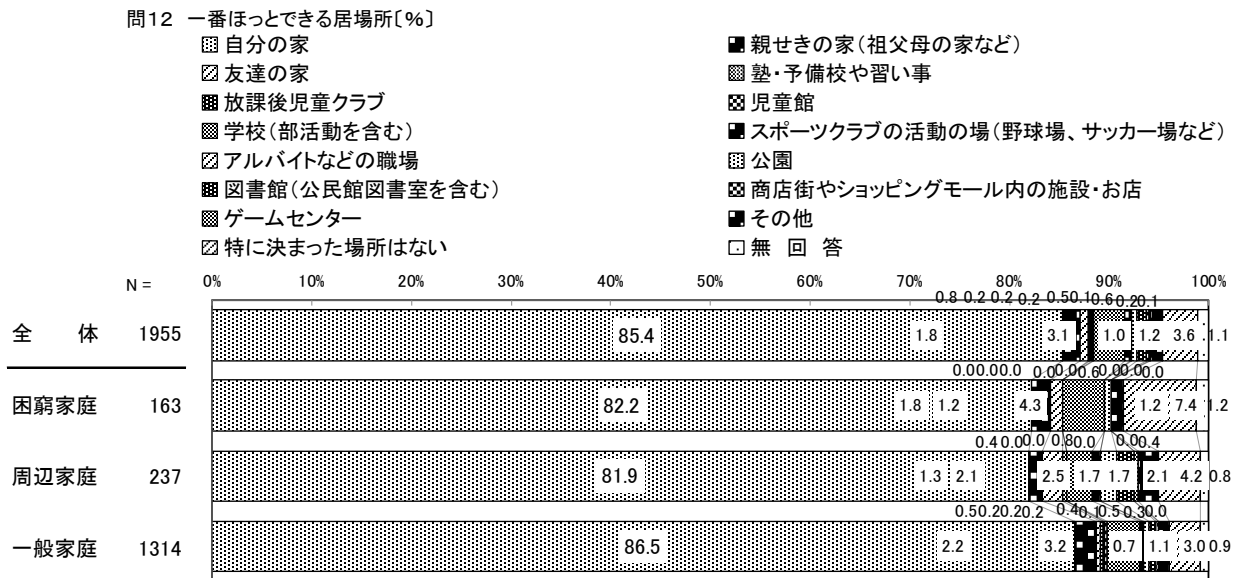
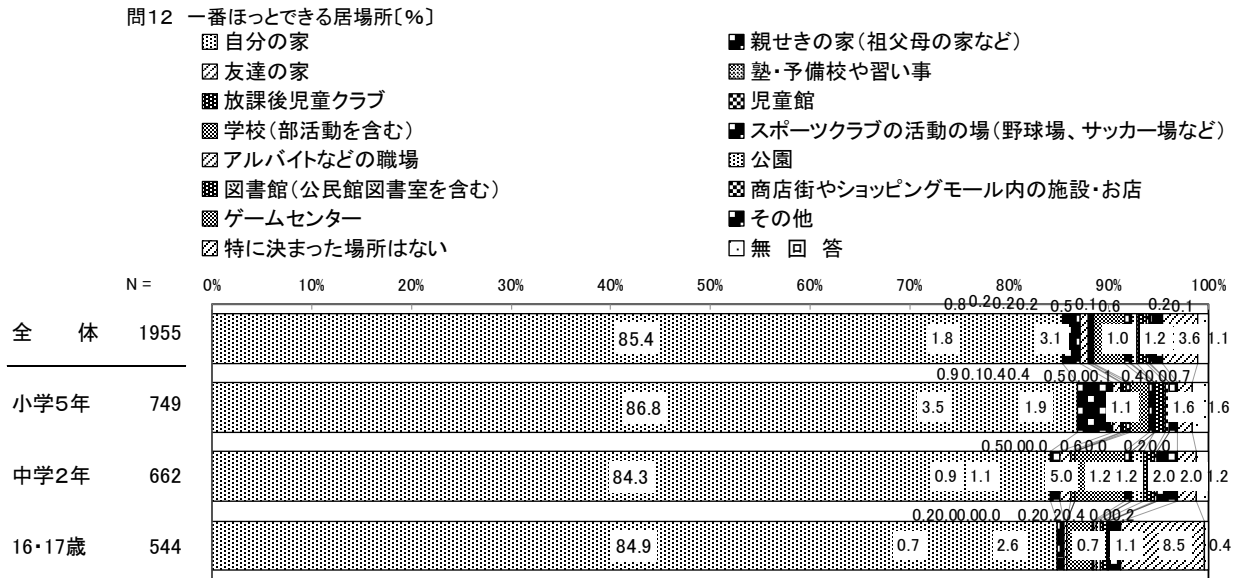
(H29調査) 休日の午後に過ごす場所への大人の有無[%]



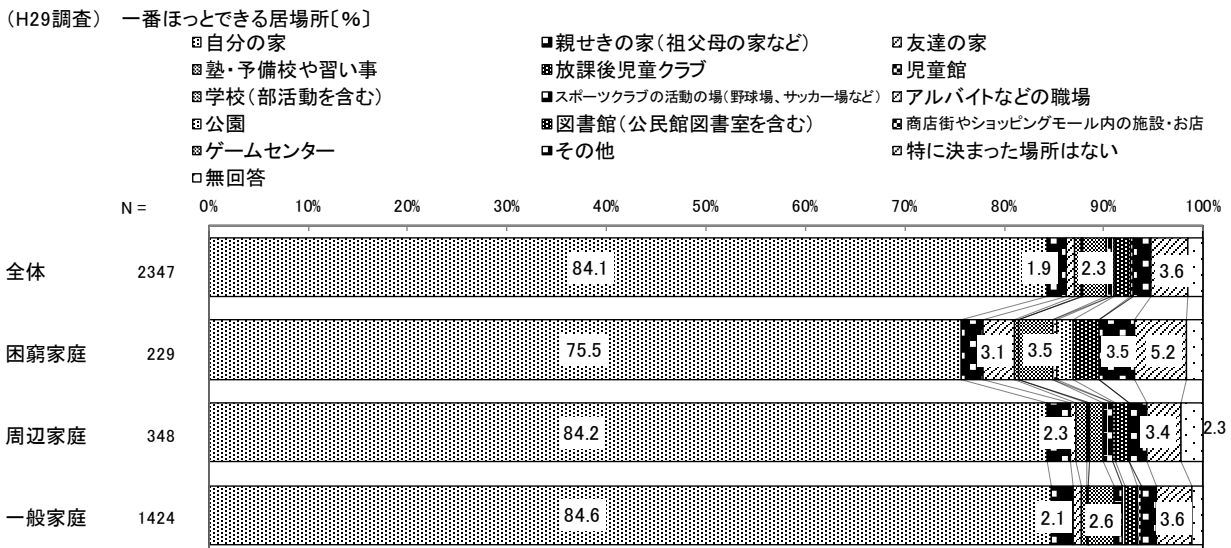
③居場所

問 12 あなたにとって、一番ほっとできる居場所はどこですか。(小学1年以外)

一番ほっとできる居場所は、「自分の家」が85.4%となっており、前回と同程度となっている。
生活困窮度別では、困窮家庭で「自分の家」が前回よりも多く回答されている。



[参考: 前回調査結果]



[放課後等によくやること]

問 13 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。

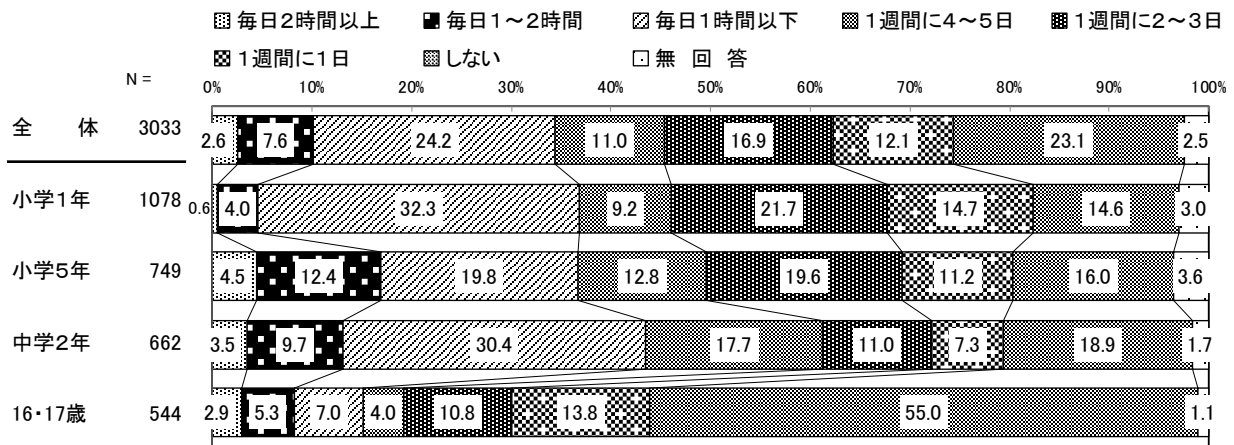
1) 読書

読書の習慣について、「毎日1時間以下」が 24.2%、「しない」が 23.1%、「1週間に2～3日」が 16.9%などとなっている。

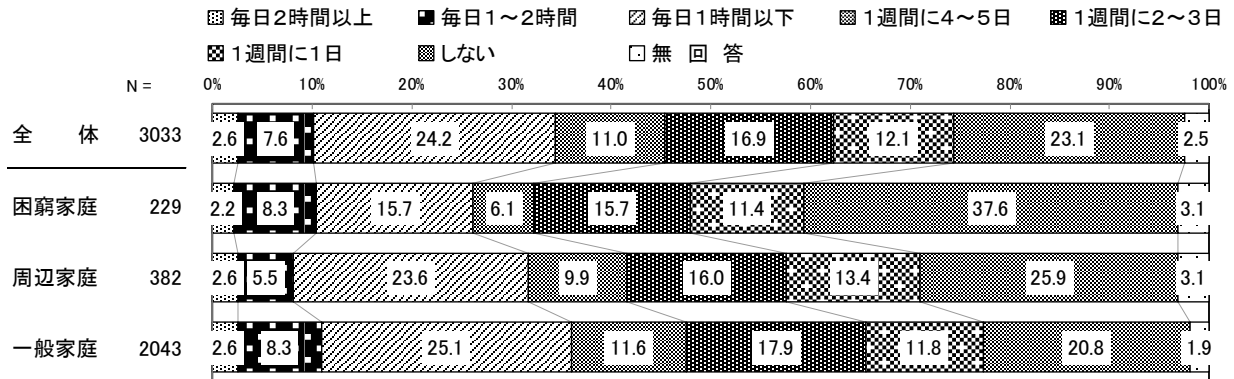
学年別では、学年によって回答が異なり、小学1年で「毎日1時間以下」が 32.3%と多く、中学2年で「毎日1時間以下」が 30.4%、16・17歳で「しない」が 55.0%と多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で『毎日読書をしている』（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」と「毎日1時間以下」の合計）という回答が 26.2%と一般家庭の 36.0%に比べて少ない。

問13普通の活動 ①読書[%]

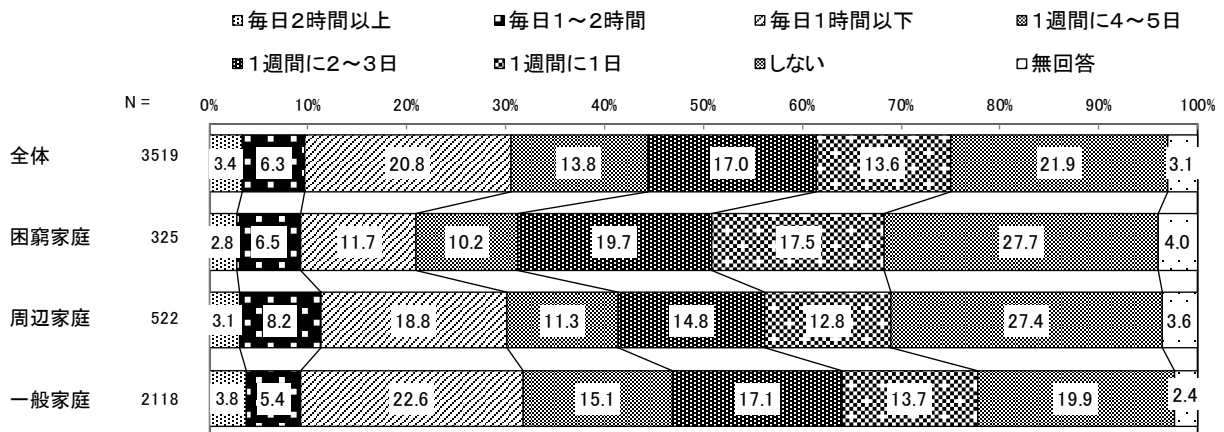


問13普通の活動 ①読書[%]



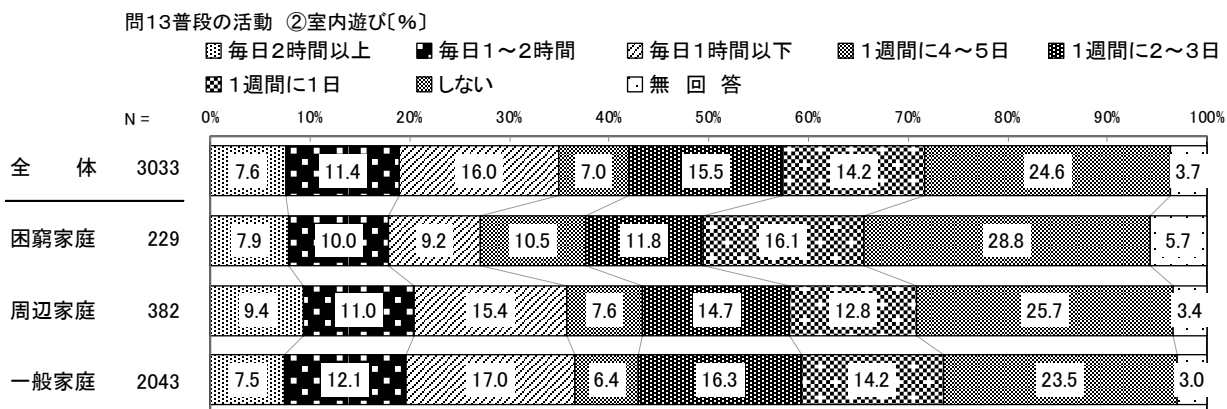
[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 読書[%]



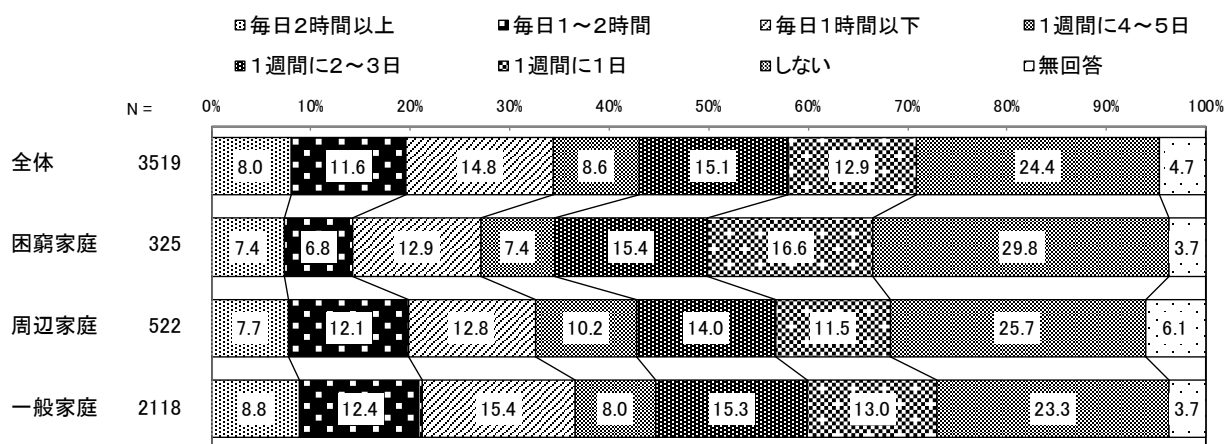
2) 室内遊び・室内での他の遊び

室内の遊び・室内での他の遊びについて、「しない」が 24.6%、「毎日1時間以下」が 16.0%、「1週間に2～3日」が 15.5%となっている。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 室内遊び[%]



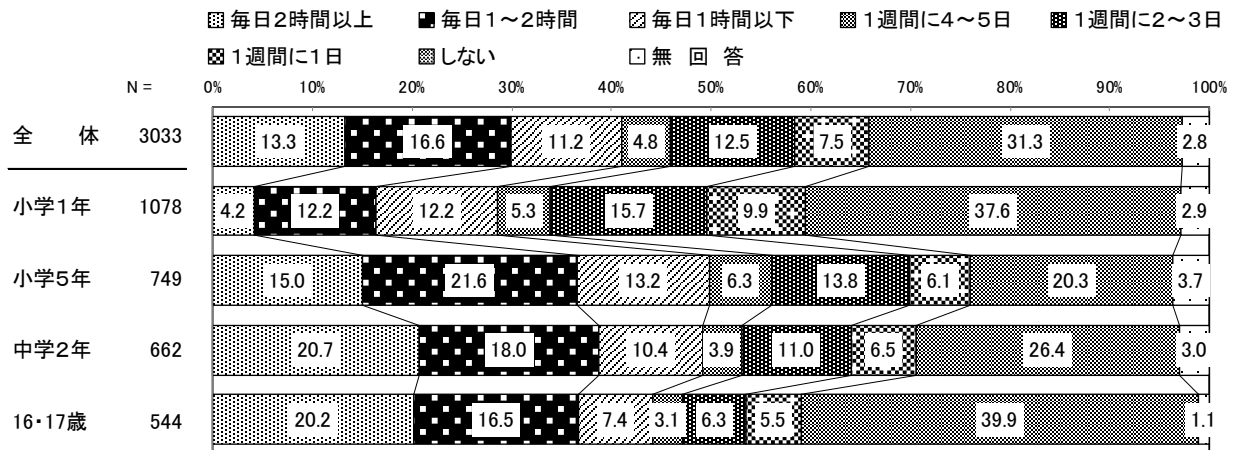
3) ゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶかについて、「しない」が 31.3%、「毎日1～2時間」が 16.6%、「毎日2時間以上」が 13.3%などとなっている。

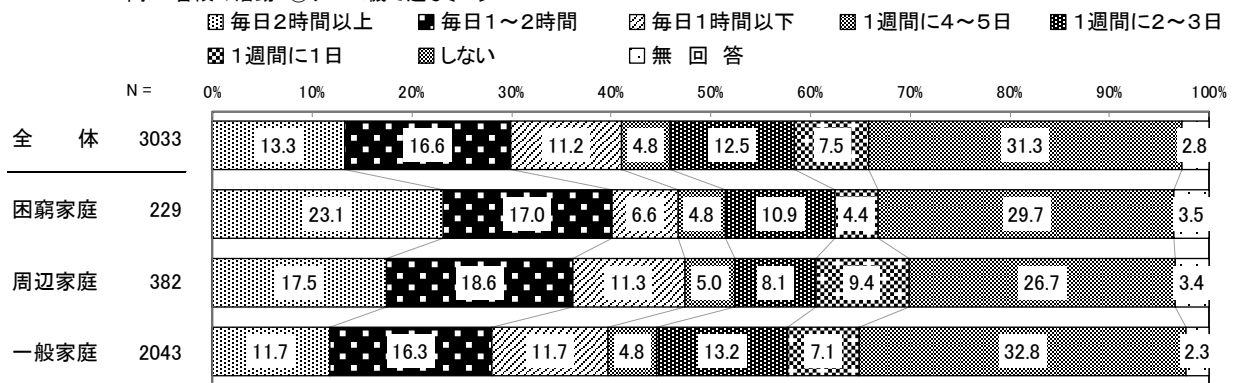
学年別では、「しない」が小学1年で 37.6%、16・17 歳は 39.9%となっている一方、小学5年は 20.3%、中学2年は 26.4%と少ない。

生活困窮度別では、困窮家庭で「毎日2時間以上」が 23.1%と一般家庭の 11.7%に比べて多い。

問13普段の活動 ③ゲーム機で遊ぶ[%]

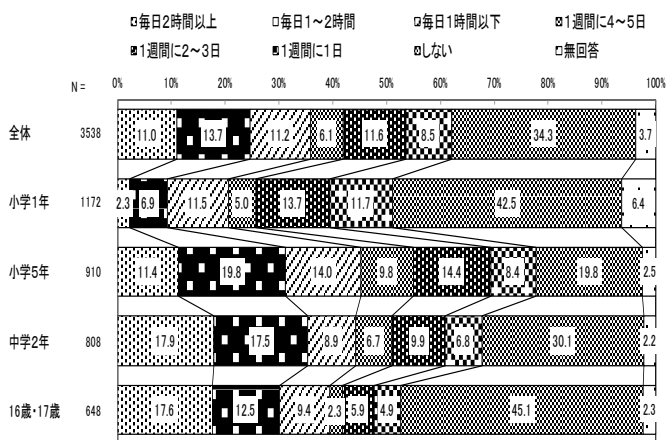


問13普段の活動 ③ゲーム機で遊ぶ[%]

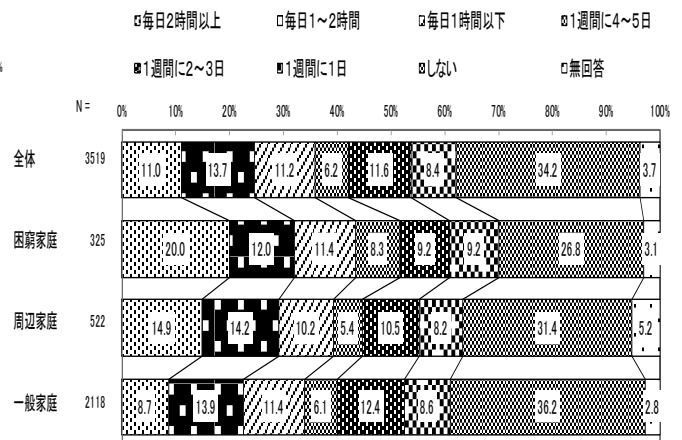


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) ゲーム機で遊ぶ[%]



(H29調査) ゲーム機で遊ぶ[%]

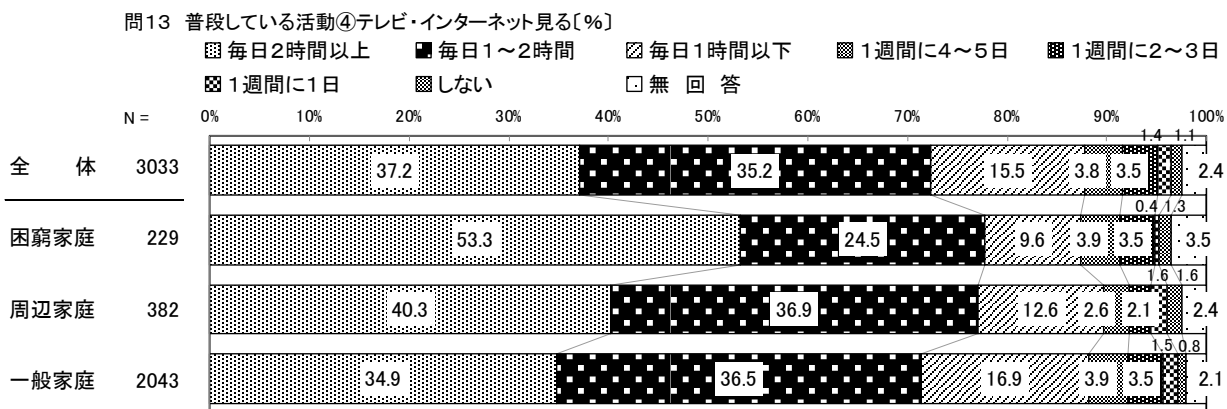
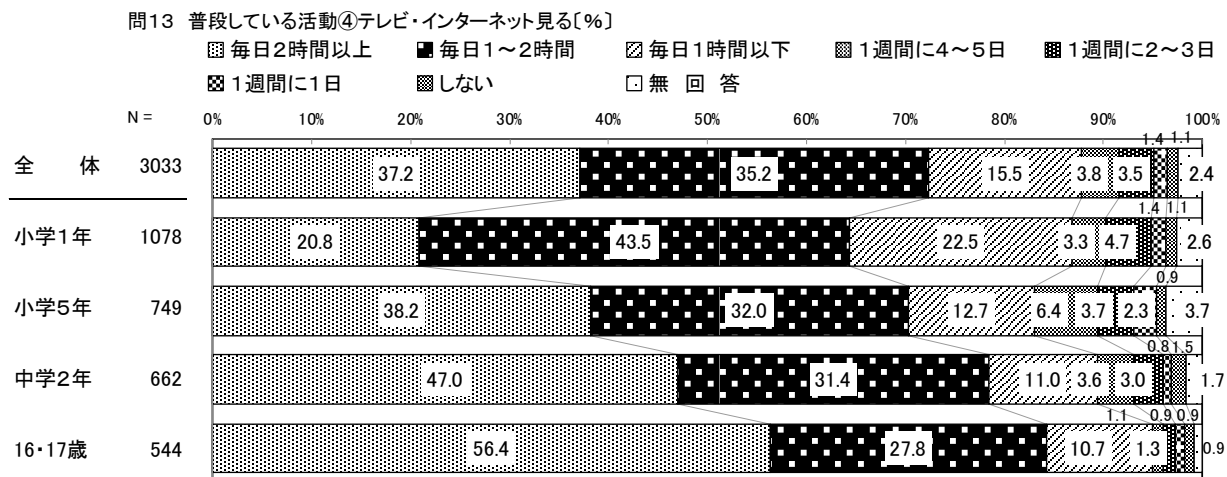


4) テレビ・インターネットを見る

テレビ・インターネットを見るかについて、「毎日2時間以上」は 37.2%、「毎日1～2時間」が 35.2% などとなっている。

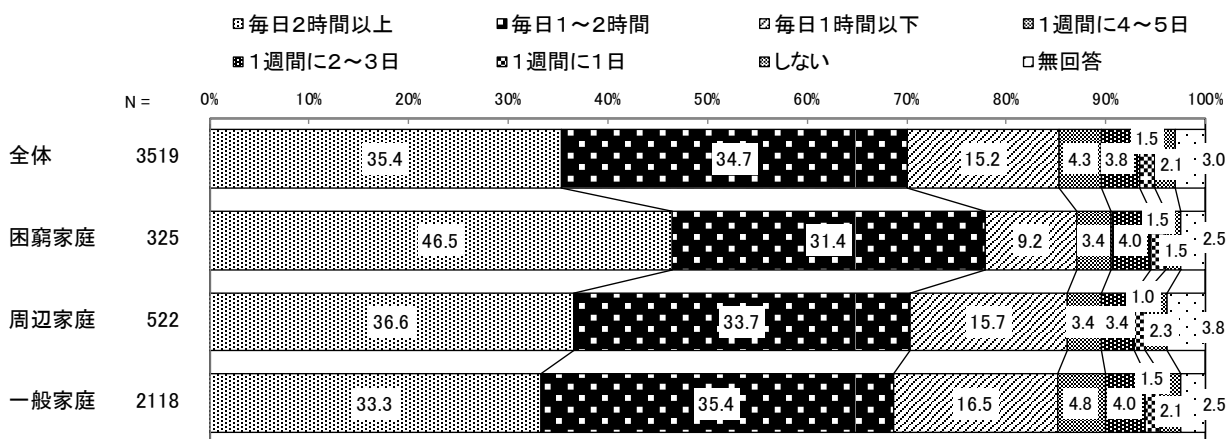
学年別では、「毎日2時間以上」は中学2年で 47.0%、16・17歳で 56.4%と多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「毎日2時間以上」が 53.3%と他の区分に比べて多く、「毎日1～2時間」は 24.5%と少ない。前回と比べて、「毎日2時間以上」が全区分で多くなっている。



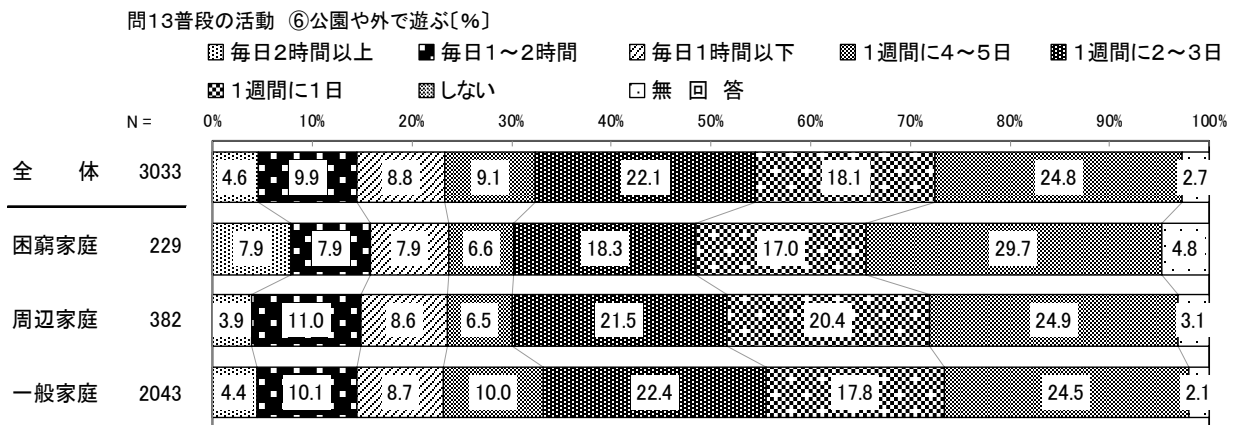
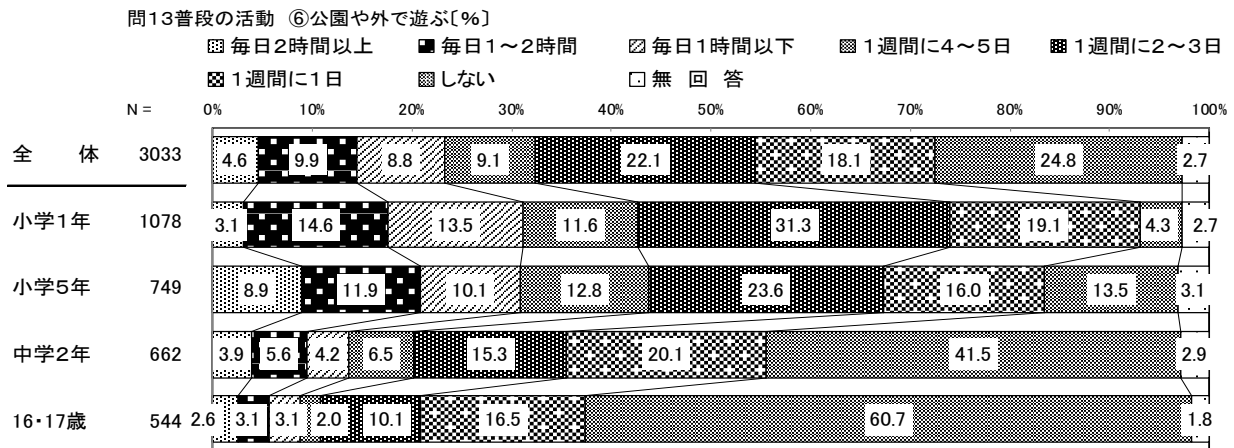
[参考: 前回調査結果]

(H29調査) テレビ・インターネットで遊ぶ[%]



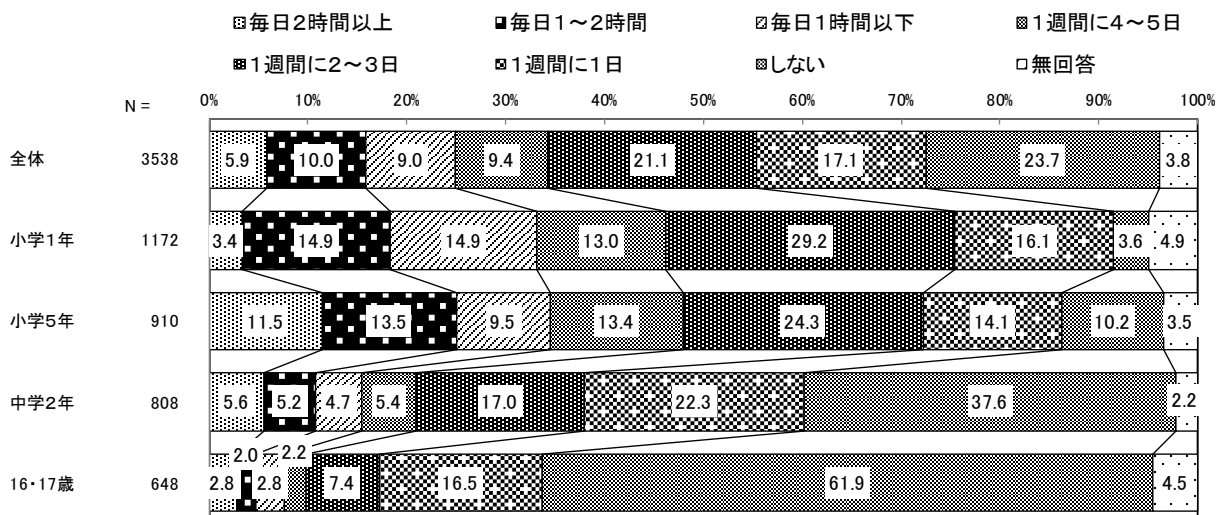
5) 公園や外で遊ぶ

公園や外で遊ぶかについて、「しない」が24.8%、「1週間に2~3日」が22.1%などとなっている。
 学年別では、「毎日2時間以上」は小学5年で8.9%みられる。



[参考: 前回調査結果]

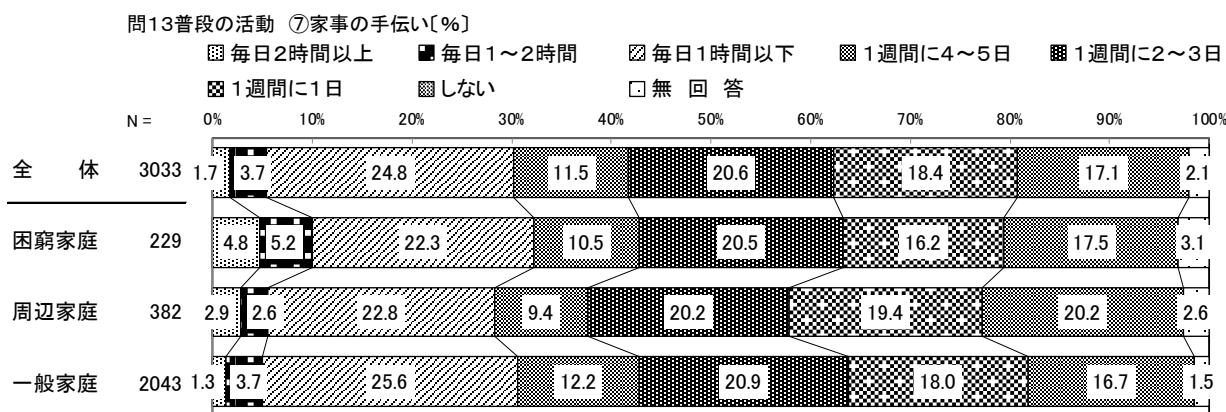
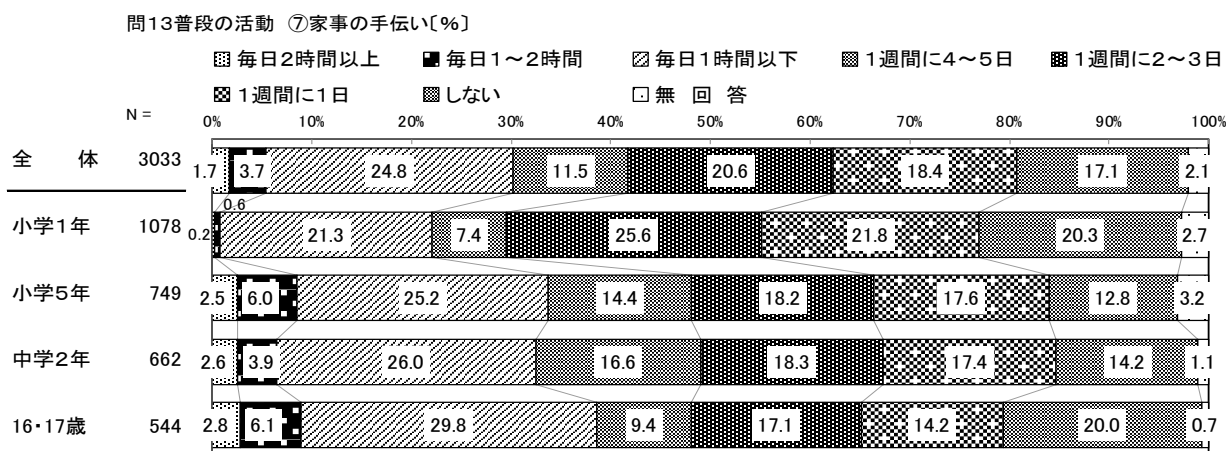
(H29調査) 公園や外で遊ぶ[%]



6) 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）の手伝い

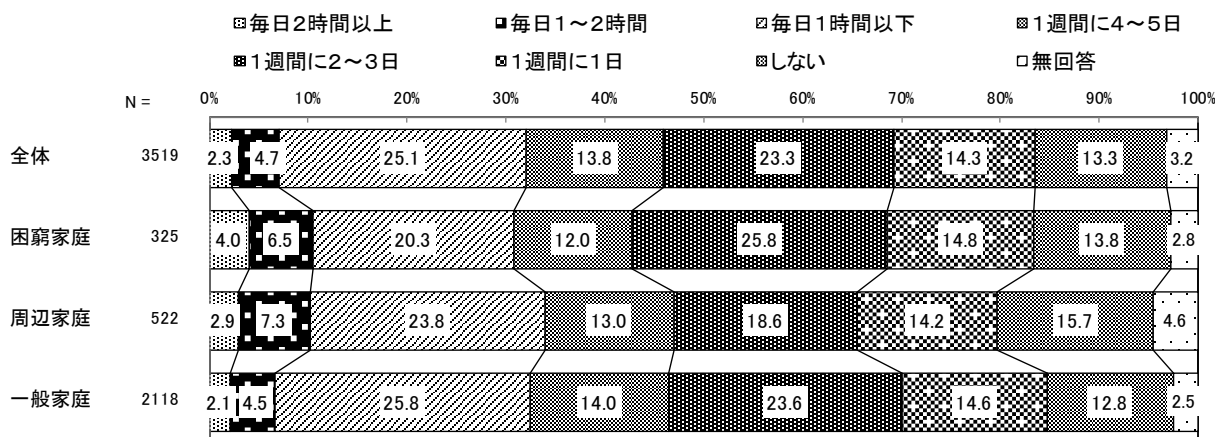
家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)の手伝いについて、「毎日1時間以下」が24.8%、「1週間に2～3日」が20.6%などとなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「1時間以上」(「毎日2時間以上」と「毎日1～2時間」の計)が10.0%と一般家庭に比べてやや多い。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 家事[%]

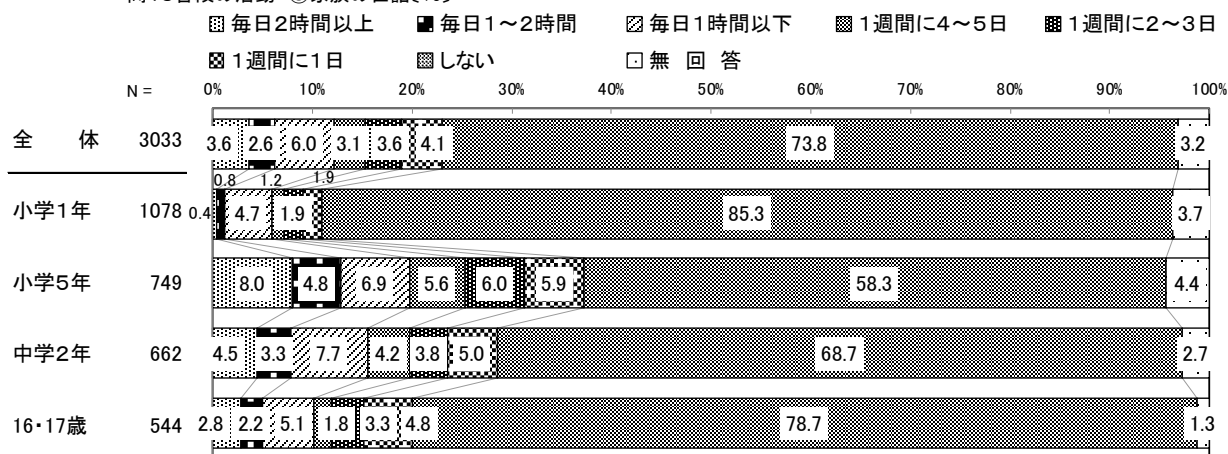


7) 家族（兄弟姉妹など）の世話

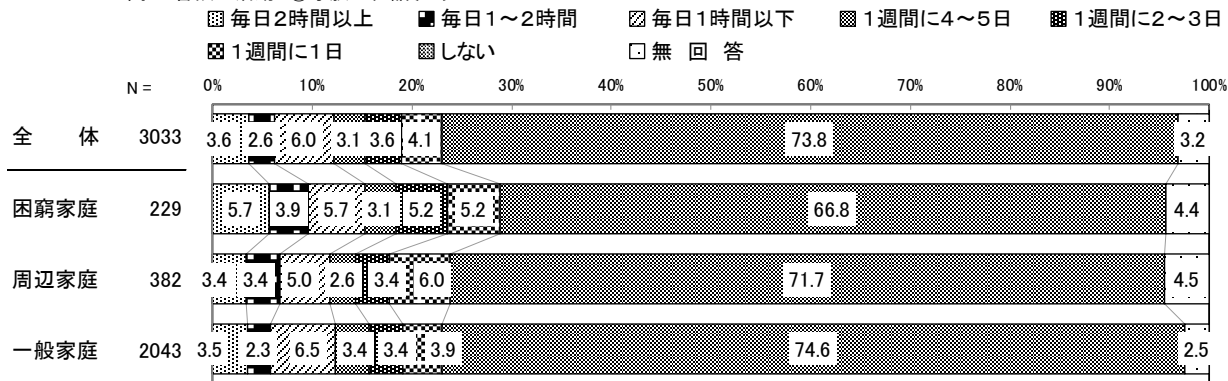
家族(兄弟姉妹など)の世話について、「しない」が 73.8%、「毎日1時間以下」が 6.0%などとなっている。

学年別では、「する」と回答した割合は、小学5年が最も多い。

問13 普段の活動 ⑧ 家族の世話 [%]

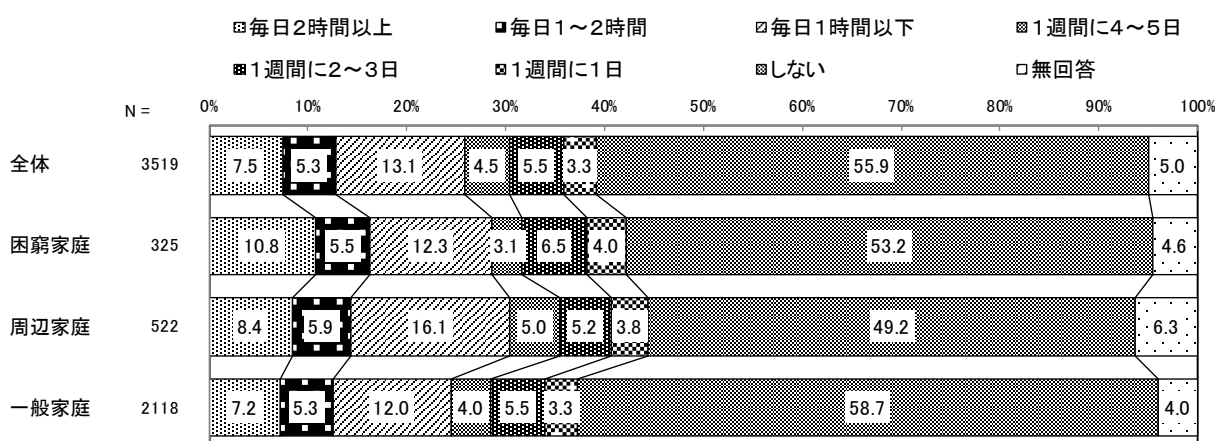


問13 普段の活動 ⑧ 家族の世話 [%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 兄弟姉妹などの世話 [%]



問 14 あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか。

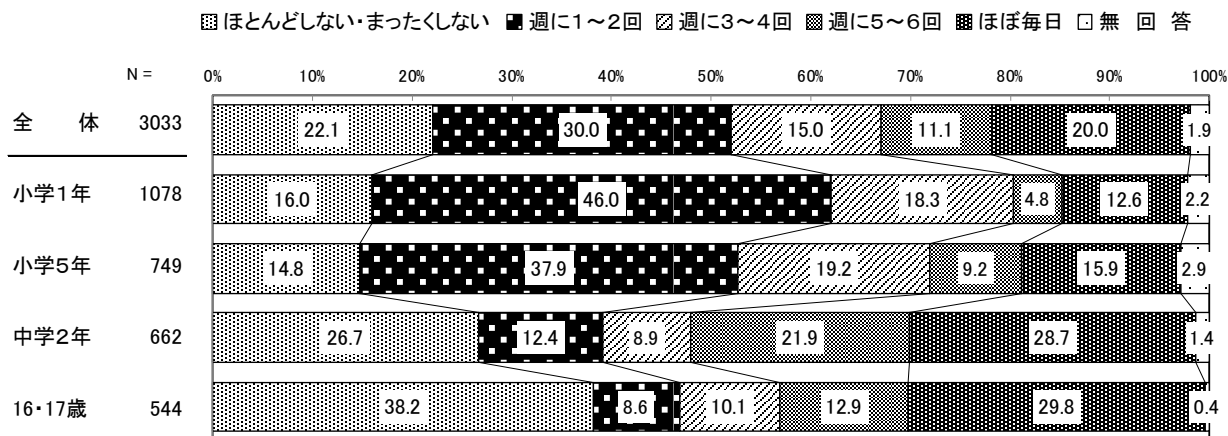
1週間あたりの30分以上の運動頻度は、「週に1~2回」が30.0%、「ほとんどしない・まったくしない」が22.1%、「ほぼ毎日」が20.0%などとなっている。

前回の全体と比べて、「ほとんどしない・まったくしない」「週に1~2回」の回答割合が多くなっている。

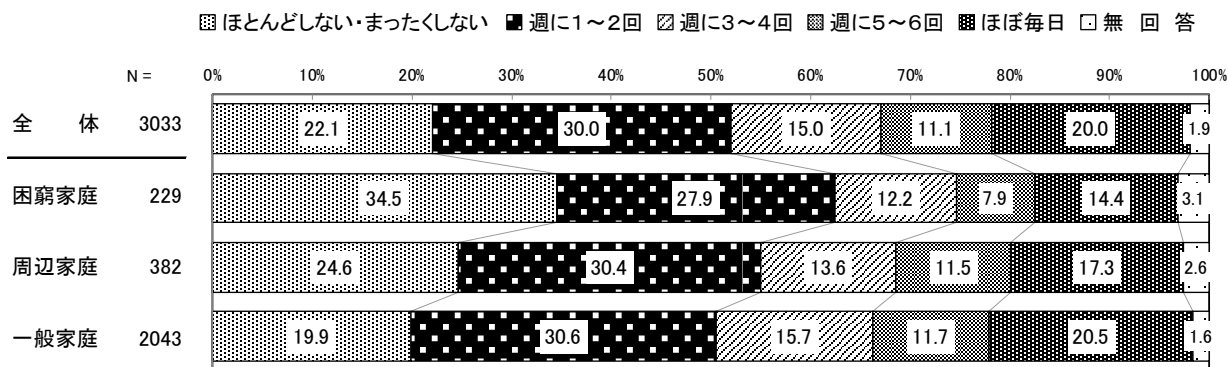
学年別では、「ほぼ毎日」は中学2年が28.7%、16・17歳が29.8%となっているが、前回と比べて少なくなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「ほとんどしない・まったくしない」が34.5%と他の区分に比べて多い。

問14 30分以上の運動頻度[%]

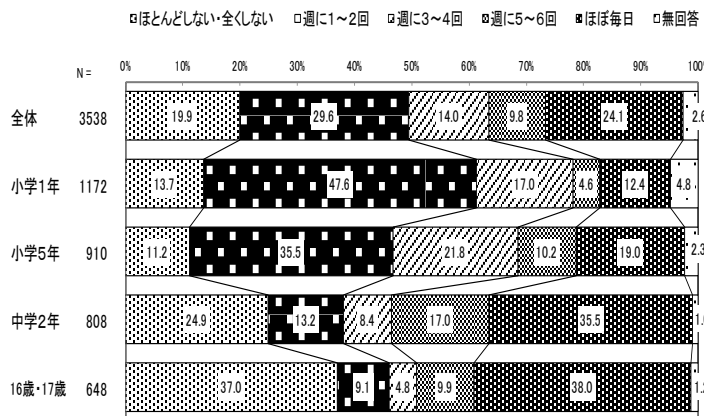


問14 30分以上の運動頻度[%]

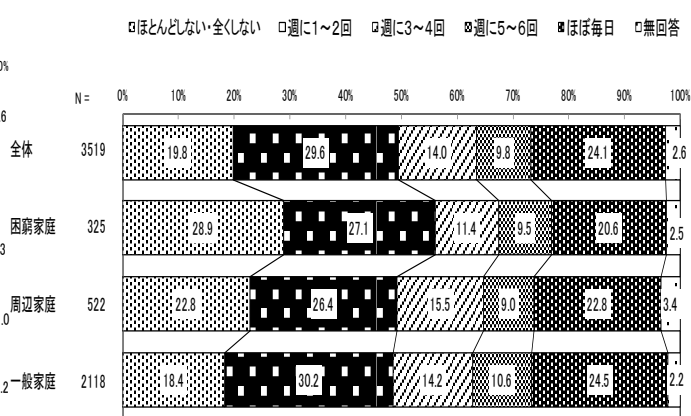


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 30分以上の運動の頻度[%]



(H29調査) 30分以上の運動の頻度[%]



(4)生活のことや食事・健康

①生活の満足度

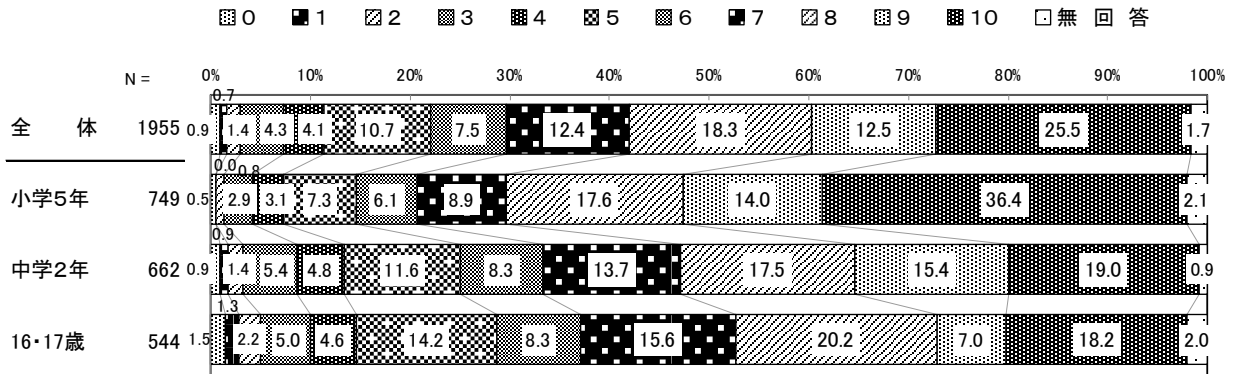
問 15 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(小学1年以外)

最近の生活の満足度(10段階)については、「0~2」に該当する割合が3.0%、「3~4」に該当する割合が8.4%、「5」に該当する割合が10.7%、「6~7」に該当する割合が19.9%、「8~10」に該当する割合が56.3%となっている。満足度の高い方の割合「6」以上が76.2%を占めている。

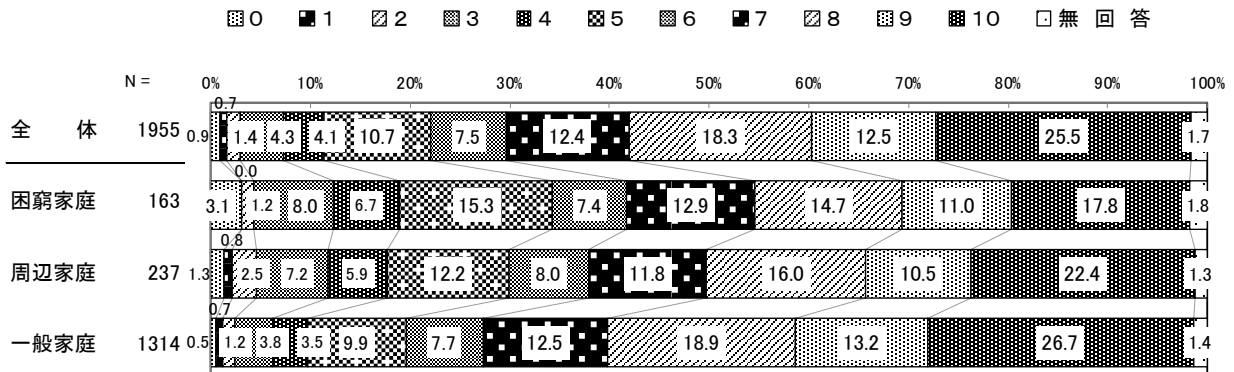
学年別では、「6」以上は小学5年が最も多く、学年が上がるにつれ、少なくなっている。

生活困窮度別では、「6」以上が周辺家庭は68.7%、困窮家庭は63.8%で、一般家庭と比べて生活満足度が低くなっている。

問15 最近の生活の満足度[%]



問15 最近の生活の満足度[%]



②食生活

問 16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

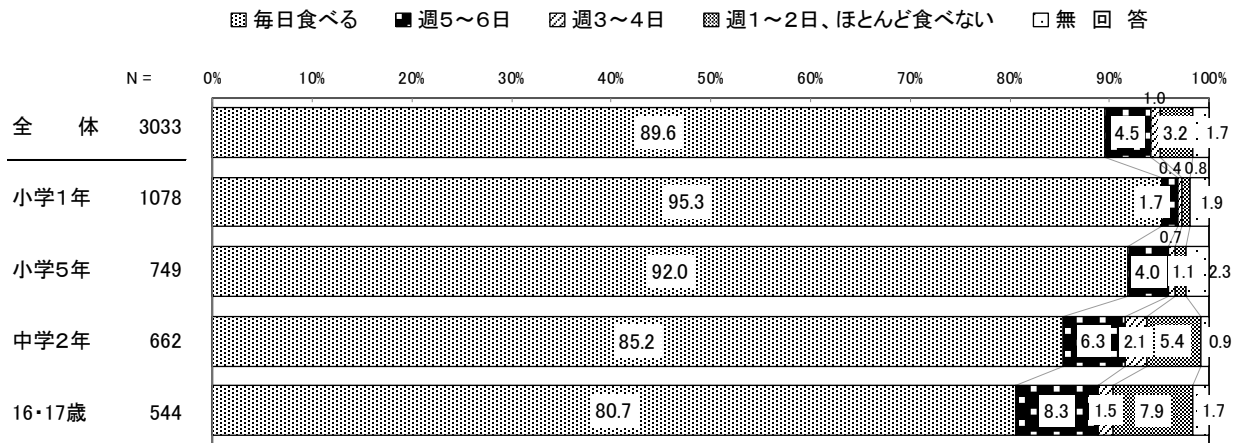
1) 朝食

朝食について、「毎日食べる」が89.6%、「週5～6日」が4.5%などとなっている。

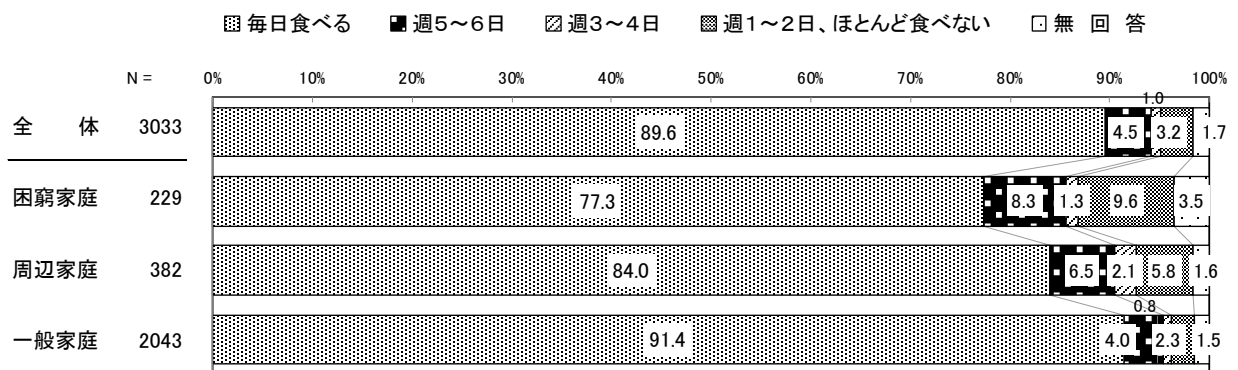
学年別では、「毎日食べる」は学年が上がるとともに緩やかに少なくなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「毎日食べる」が77.3%と他の区分に比べて少なく、「週1～2日、ほとんど食べない」は困窮家庭で9.6%、周辺家庭で5.8%である。

問16食習慣 ①朝食〔%〕

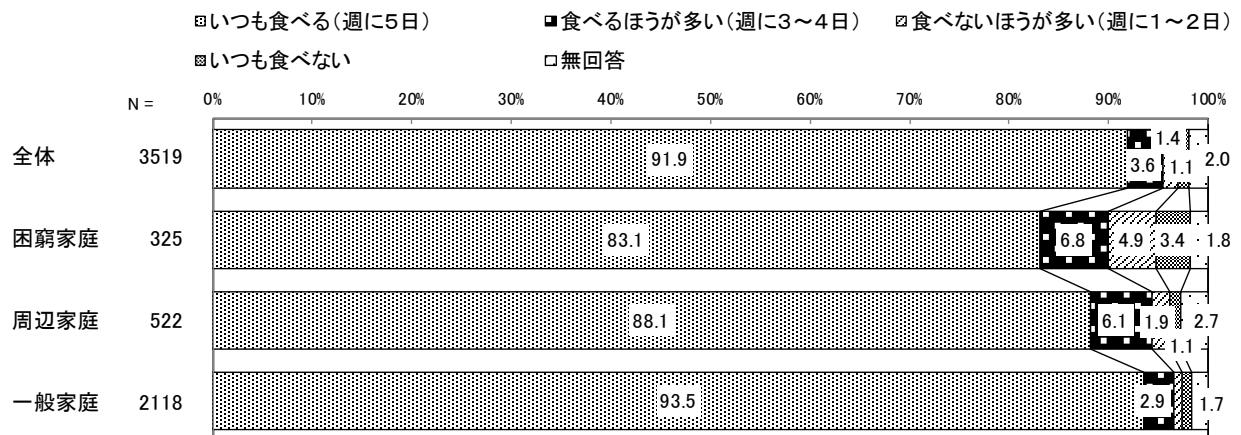


問16食習慣 ①朝食〔%〕



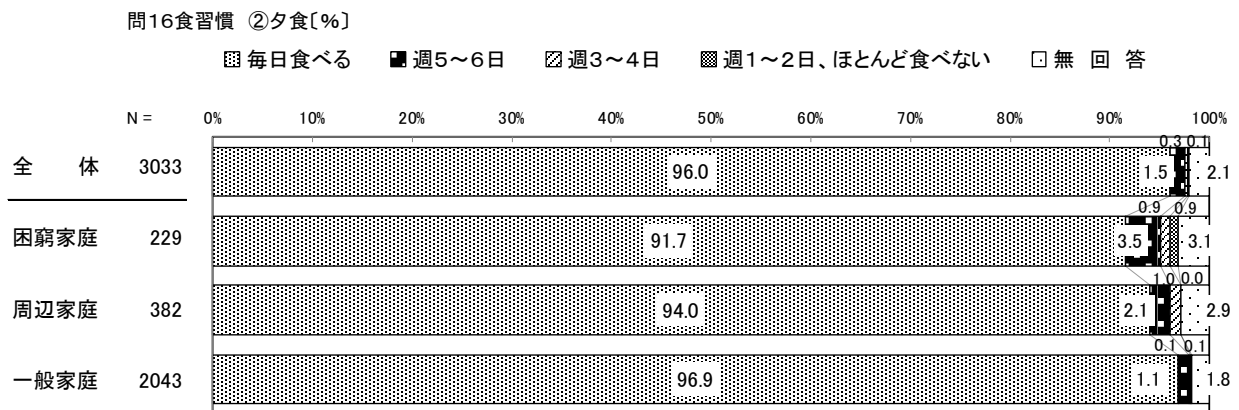
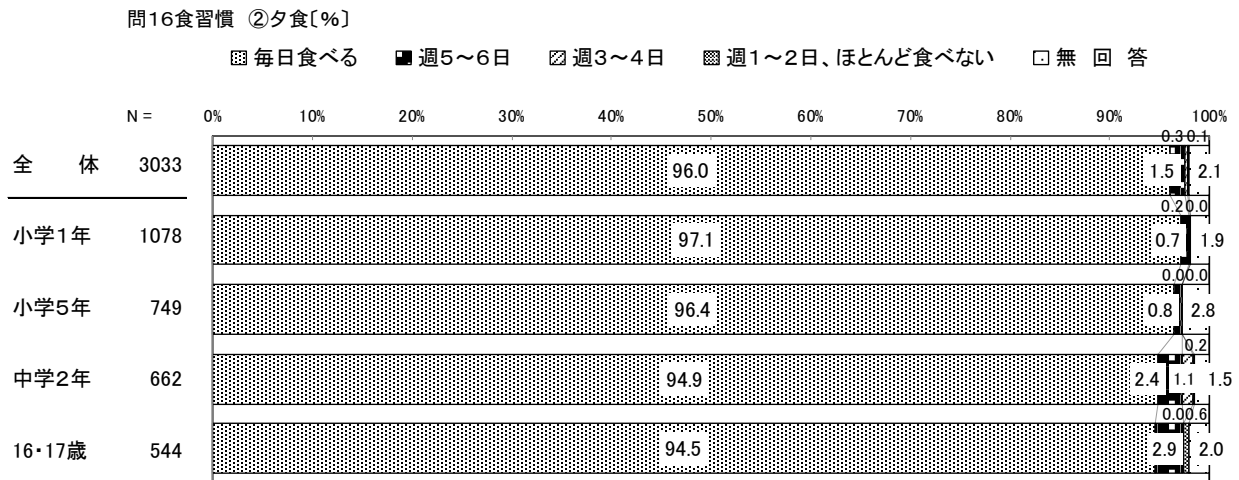
[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 平日の朝食の頻度〔%〕



2) 夕食

夕食については、「毎日食べる」が 96.0%、「週5～6日」が 1.5%、「週3～4日」が 0.3%、「週1～2日、ほとんど食べない」が 0.1%となっている。

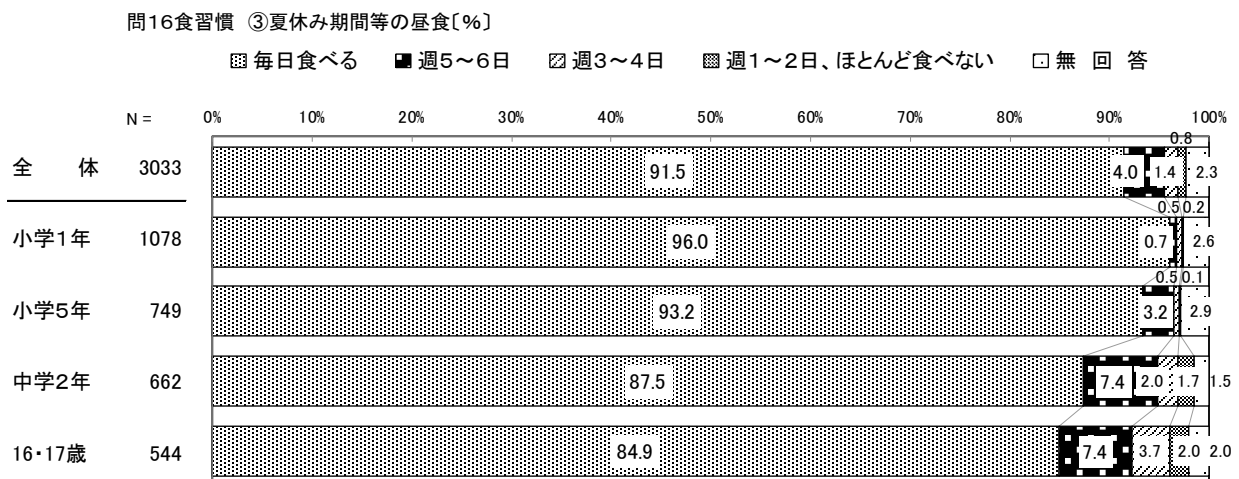


3) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

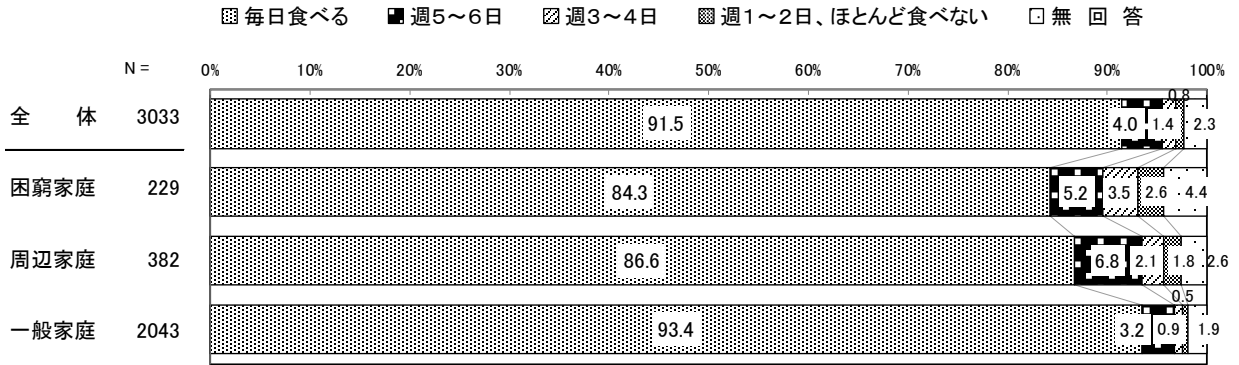
夏休み期間等の昼食について、「毎日食べる」が 91.5%、「週5～6日」が 4.0%、「週3～4日」が 1.4%、「週1～2日」が 0.8%となっている。

学年別では、『食べない日がある』(「週5～6日」、「週3～4日」と「週に1～2日、ほとんど食べない」の計)は小学1年で 1.4%、小学5年で 3.8%だが、中学2年は 11.1%、16・17歳は 13.1%と学年が上がるにつれ、多く回答されている。

生活困窮度別では、周辺家庭と困窮家庭で『食べない日がある』がそれぞれ 10.7%、11.3%と一般家庭の 4.6%と比べて多い。



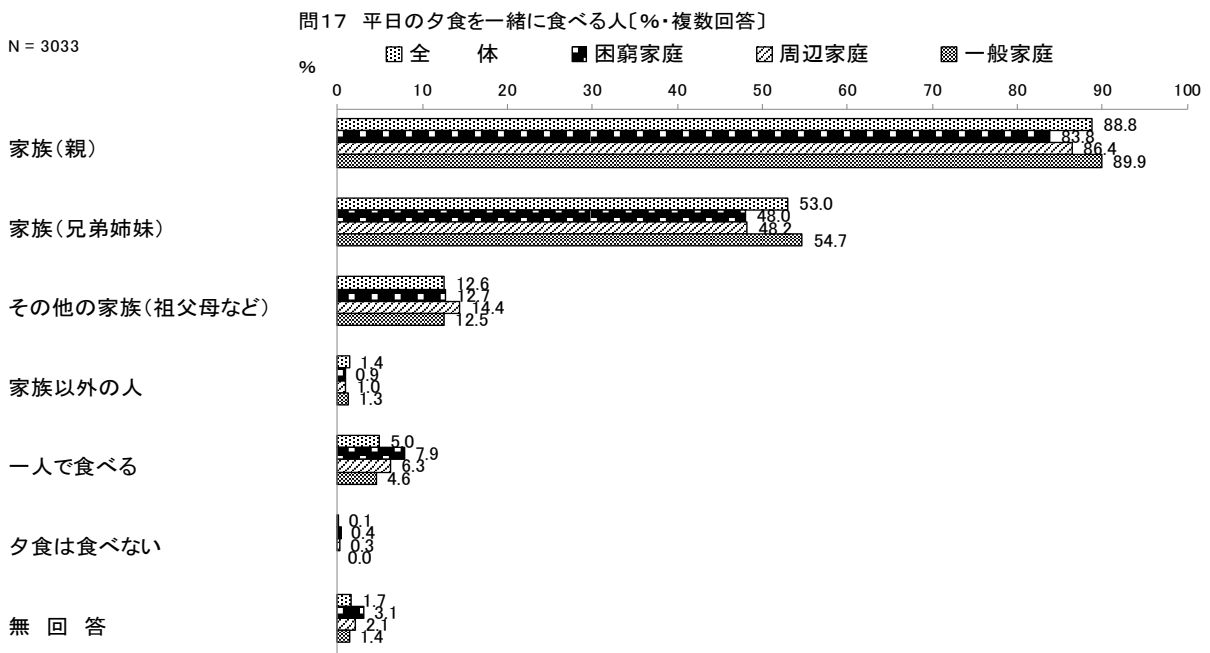
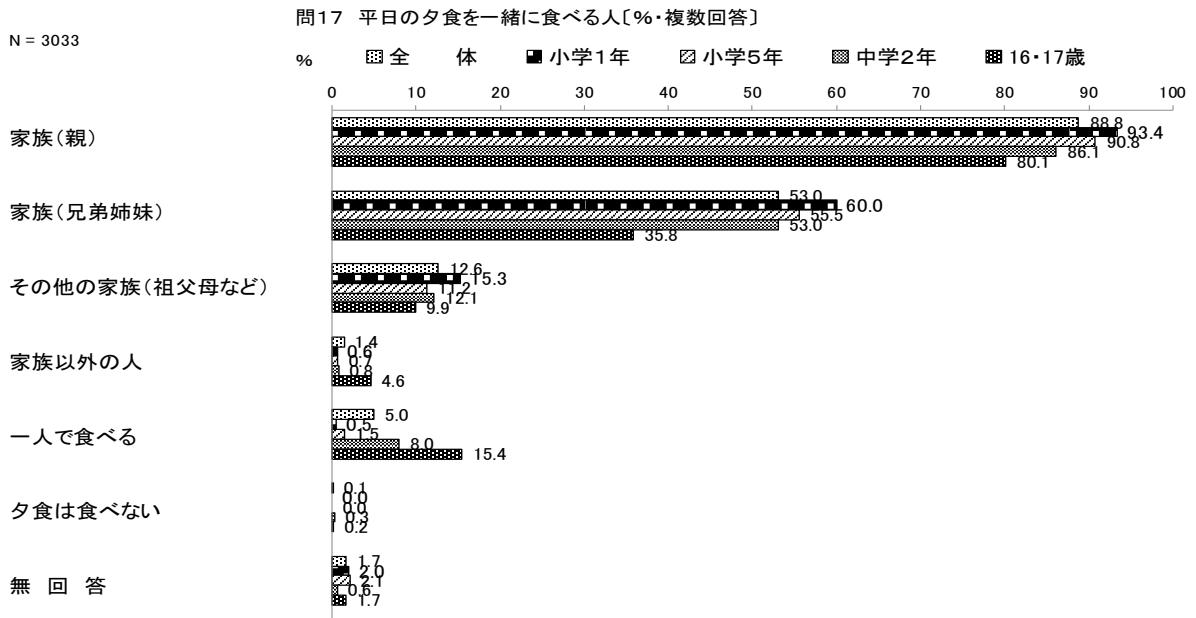
問16食習慣 ③夏休み期間等の昼食[%]



問17 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)の夕食をだれと食べますか。

平日の夕食と一緒に食べる人は、「家族(親)」が 88.8%と最も多く、次いで家族(兄弟姉妹)が 53.0%である。

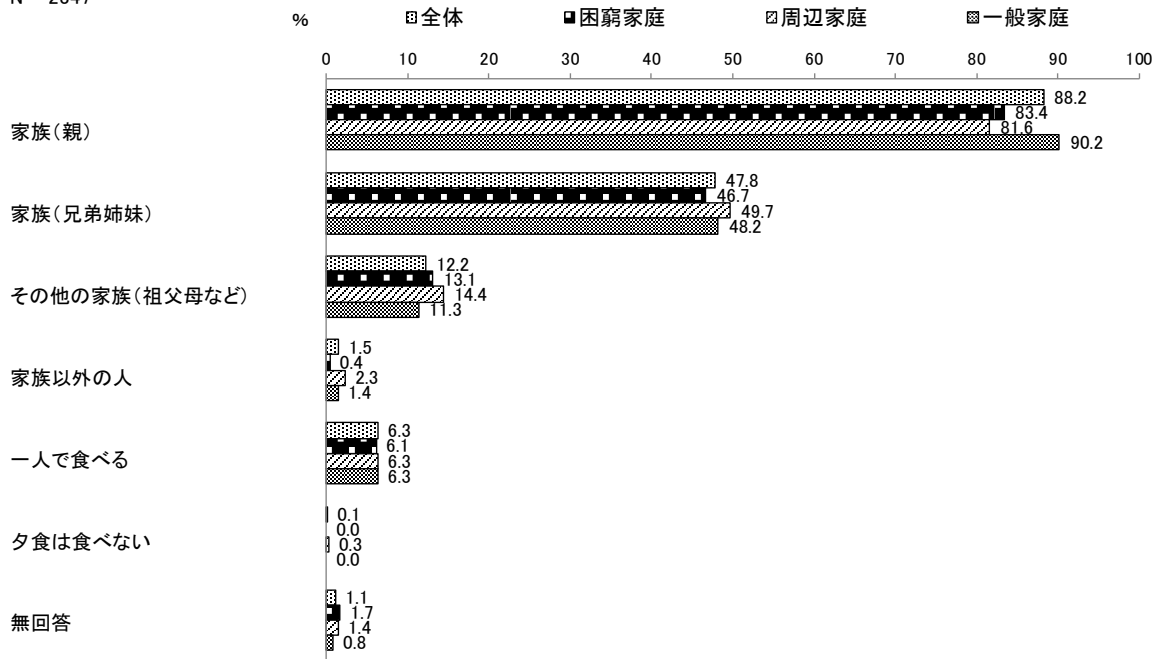
学年別では、16・17歳で「一人で食べる」が 15.4%と、他の学年に比べて多い。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査)
N = 2347

問23 平日の夕食を一緒に食べる人[%・複数回答]



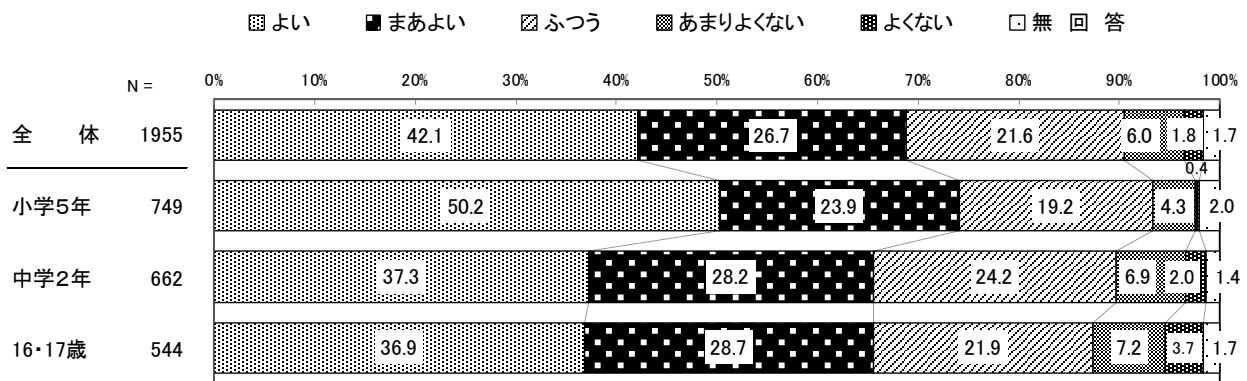
③健康状態

問 18 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(小学1年以外)

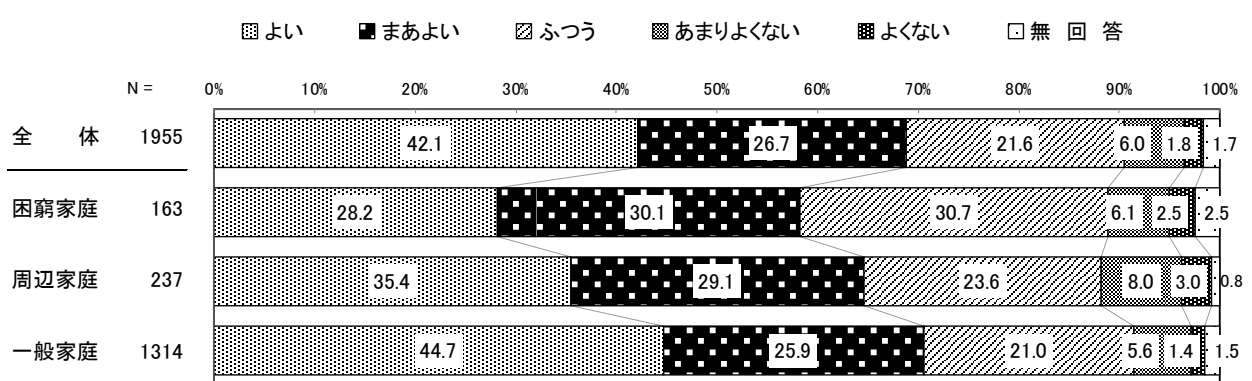
子どもの健康状態(子ども本人の回答)は、『よい』(「よい」と「まあよい」の計)が 68.8%、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」の計)が 7.8%となっている。

生活困窮度別では、『よい』は困窮家庭で 58.3%と他の区分よりも少なく、特に「よい」の回答割合が少ない。

問18 健康状態[%]

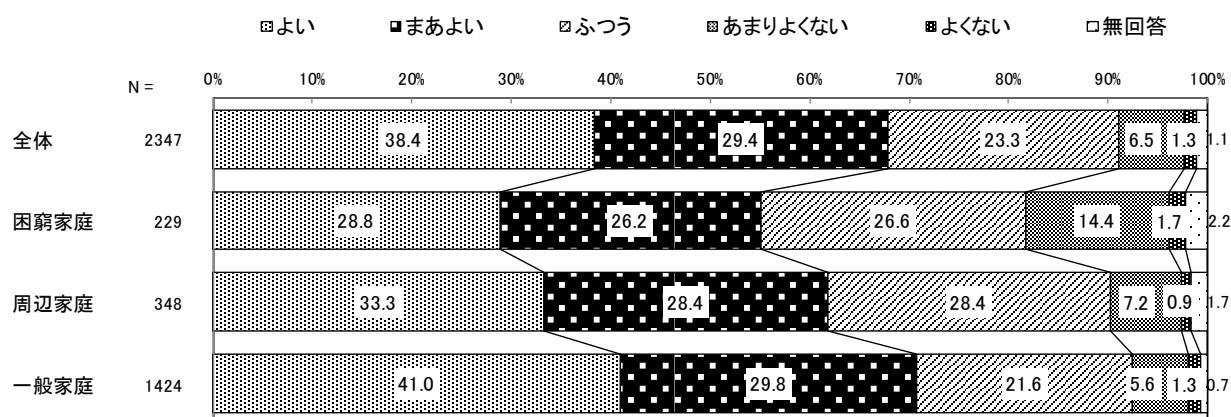


問18 健康状態[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 健康状態[%]



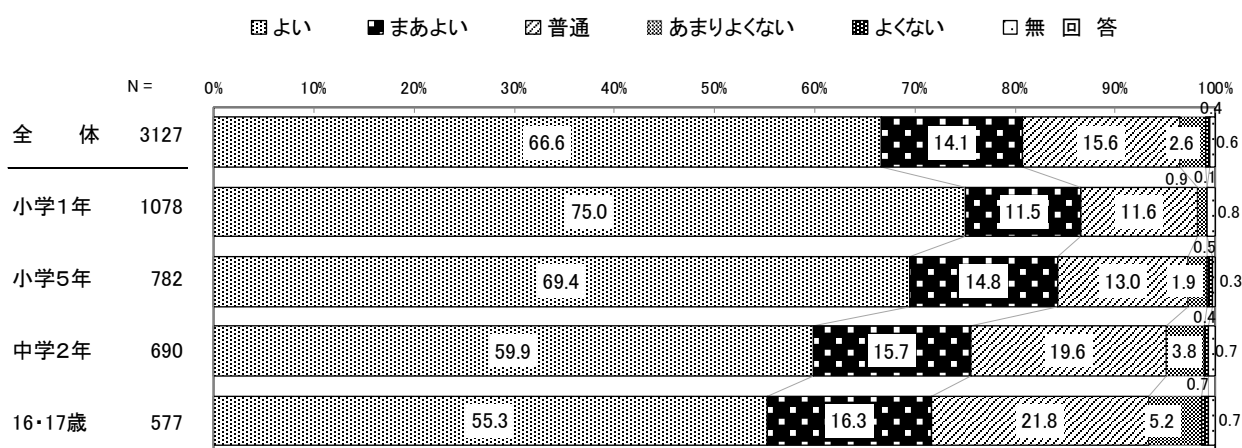
[保護者からみた子どもの健康状態]

保護者からみた子どもの健康状態は、『よい』(「よい」と「まあよい」の計)が 80.7%、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」の計)が 3.0%となっている。

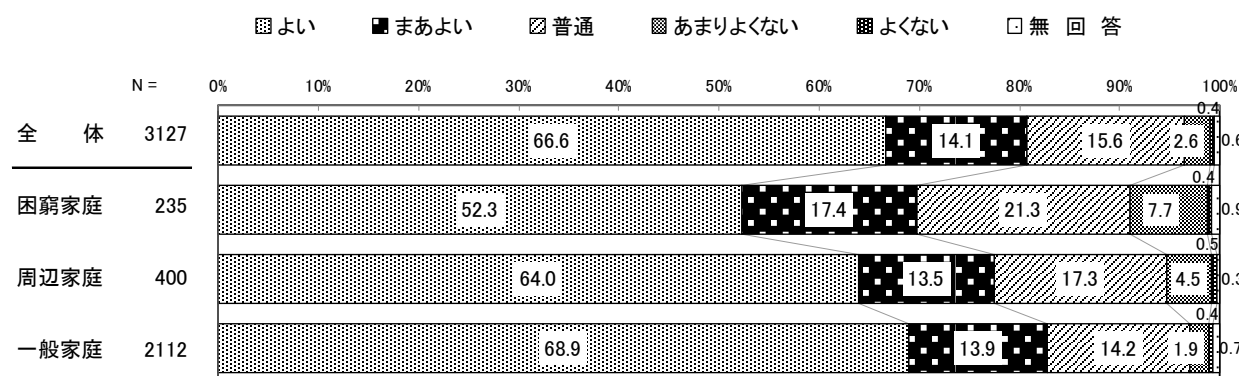
学年別では、『よい』の回答割合は学年が上がるとうなくなり、16・17 歳で 71.6%である。子ども本人が答える健康状態に比べて、『よい』が多く、『よくない』が少なくなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で『よい』が 69.7%と他の区分よりも少ない。

H問15健康状態 ②子ども[%]

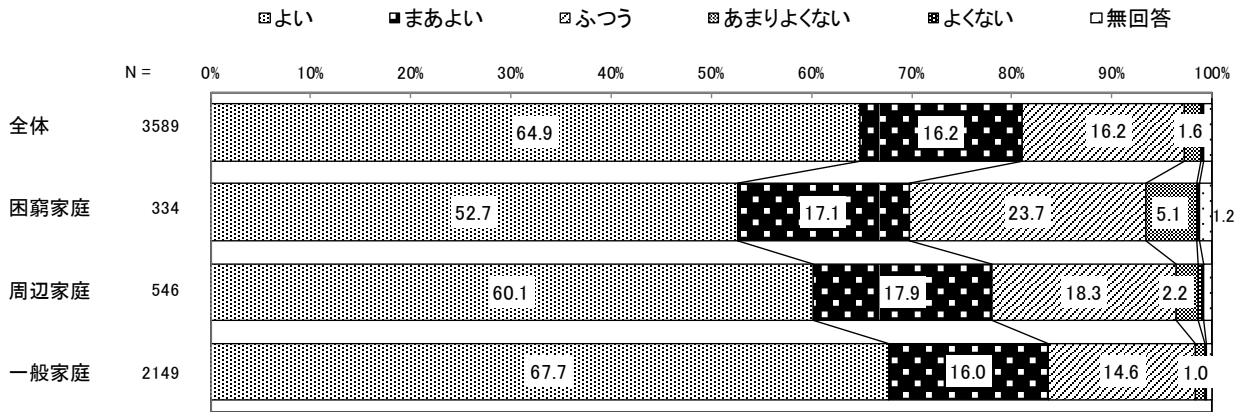


H問15健康状態 ②子ども[%]



[参考: 前回調査結果]

(H 29調査) 健康状態(子)[%]

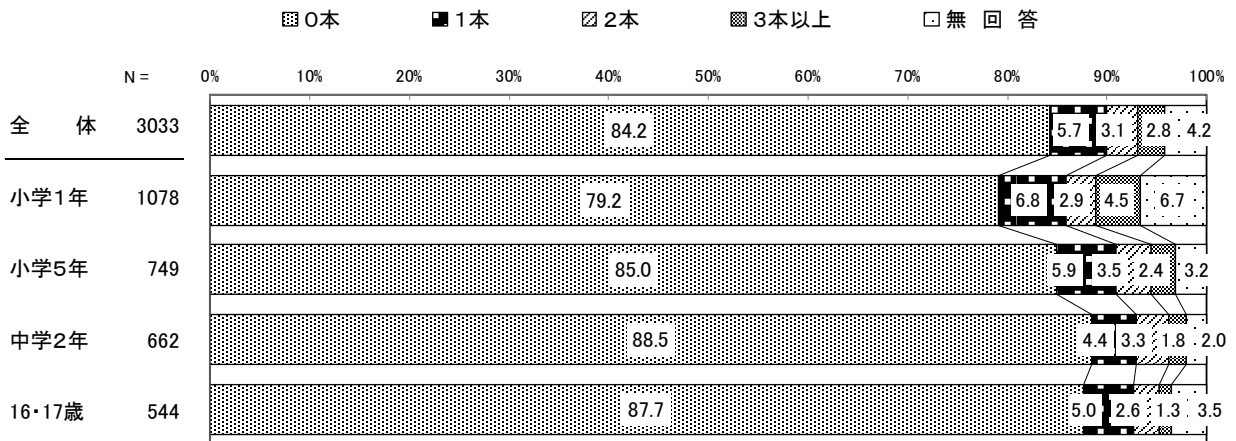


問 19 あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のもも含みます。

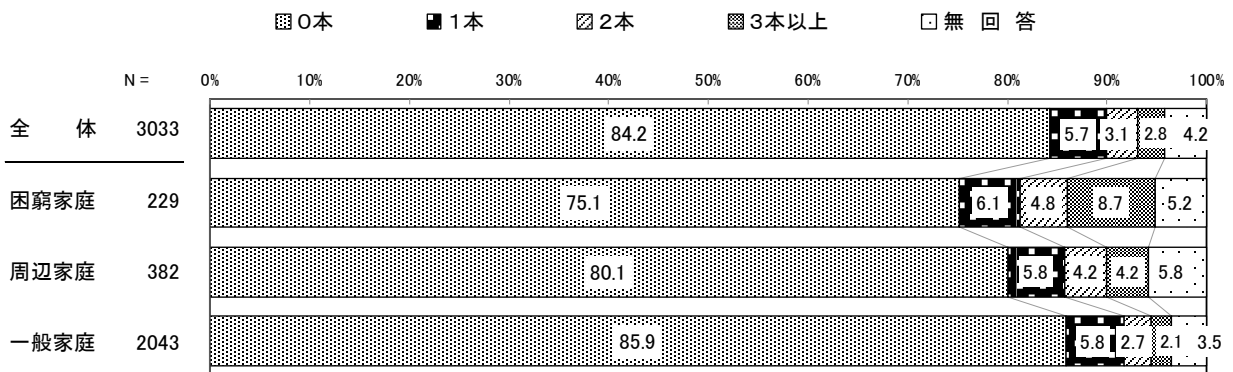
虫歯の有無は、『むし歯がない』(「0本」)が84.2%、『むし歯がある』(「1本」、「2本」と「3本以上」の計)という回答は11.6%で、平均0.3本である。

生活困窮度別では、困窮家庭で「0本」が75.1%と、他の区分に比べてやや少ない。

問19 虫歯の有無[%]



問19 虫歯の有無[%]



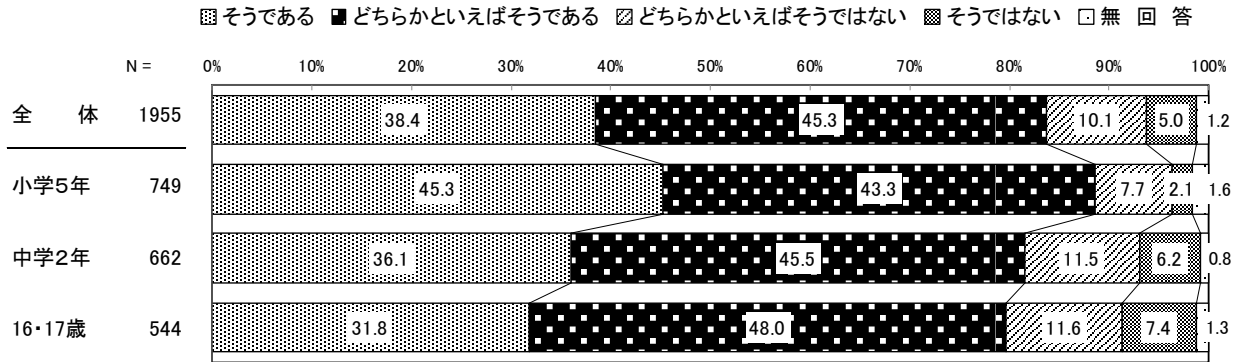
④睡眠

問 20 あなたは、平日(学校や仕事に行く日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(小学1年以外)

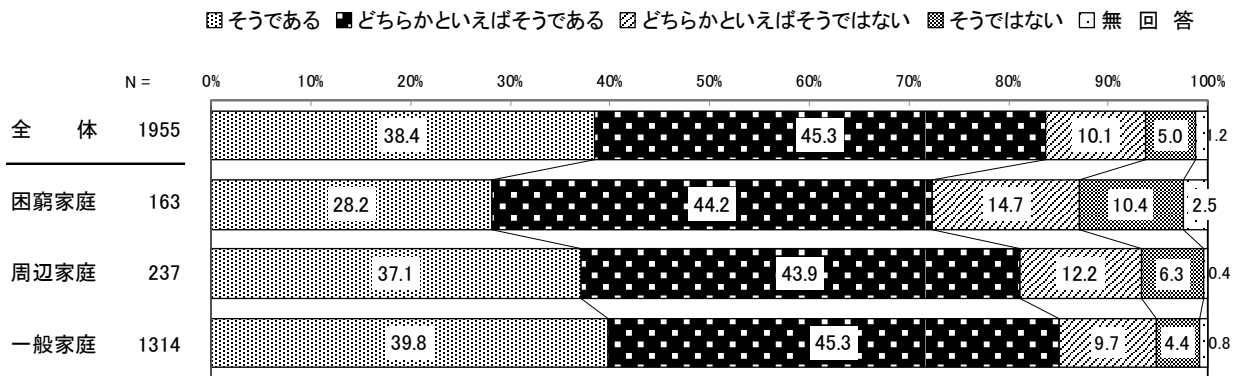
平日同じ時間に就寝しているかについては、『そうである』(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の計)が 83.7%、『そうではない』(「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」の計)が 15.1%となっている。

学年別では、『そうである』の回答割合が学年に上がるにつれ少なくなっている。

問20 平日同じ時間に就寝している〔%〕



問20 平日同じ時間に就寝している〔%〕



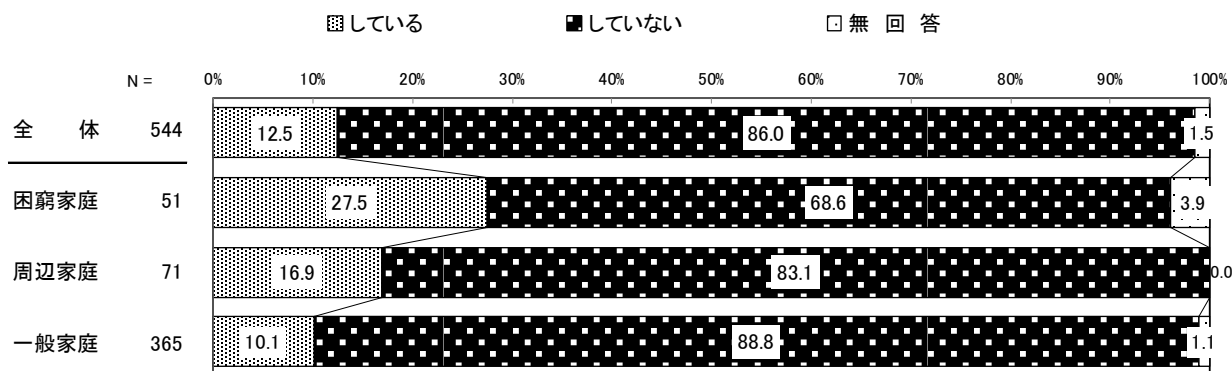
(5) アルバイトなどの仕事(16・17歳)

K 問 25 あなたの仕事の状況(学生アルバイトを含む)を教えてください。あなたは、収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしていますか。(16・17歳のみ)

16・17歳の仕事の状況は、「している」が12.5%、「していない」が86.0%となっている。

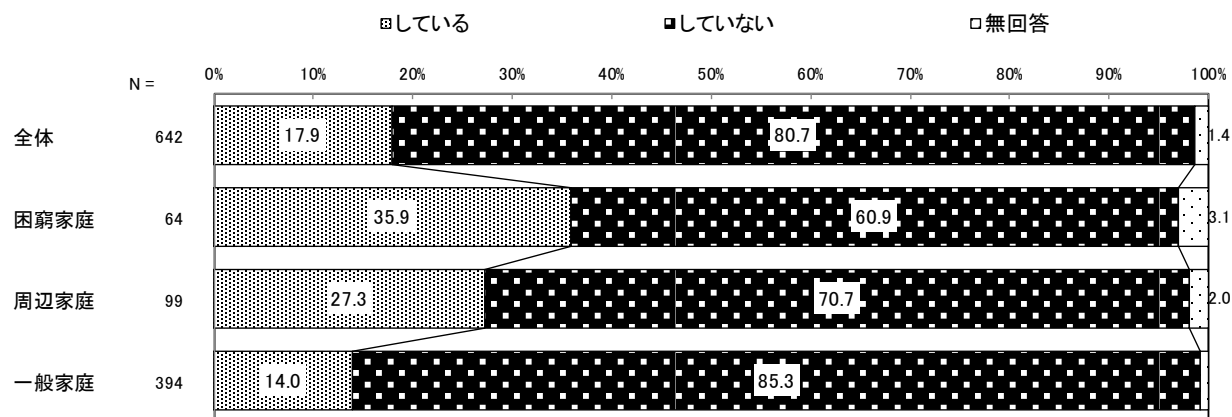
生活困窮度別では、「している」が一般家庭 10.1%に比べて、周辺家庭で 16.9%、困窮家庭で 27.5%と多くなっている。

K問25 仕事の状況(16・17歳) [%]



[参考: 前回調査結果]

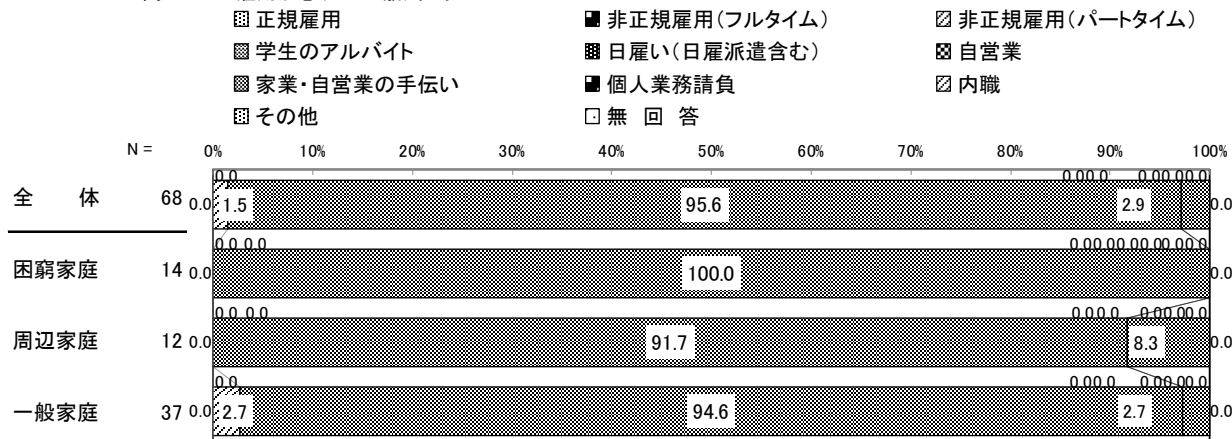
(H29調査) 仕事の状況 [%]



K 問 25-1 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(16・17歳のみ)

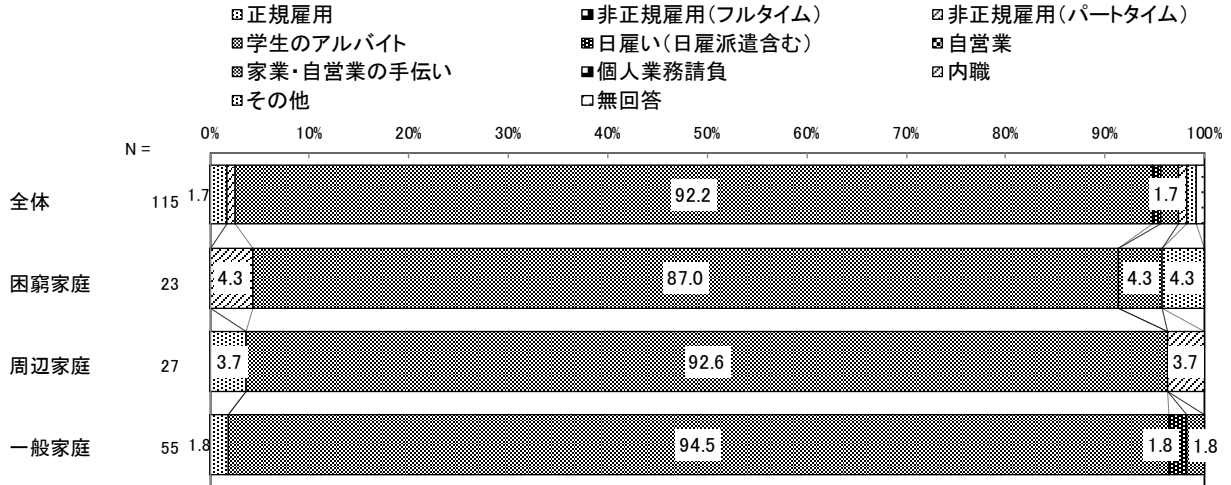
16・17歳の雇用形態は、「学生のアルバイト」が95.6%、「正規雇用」が1.5%などとなっている。

K問25-1 雇用形態(16・17歳) [%]



[参考: 前回調査結果]

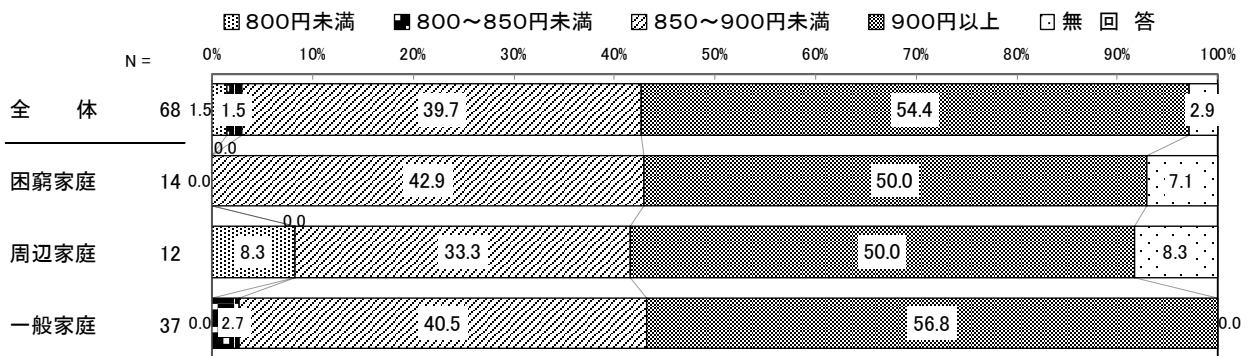
(H29調査) 雇用形態[%]



K 問 25-2 時給にするとどのくらいになりますか。(16・17 歳のみ)

16・17 歳の時給は、「900 円以上」が 54.4%、「850～900 円未満」が 39.7%となっており、平均 902.2 円である。前回の全体の平均時給 824 円から高くなっている。

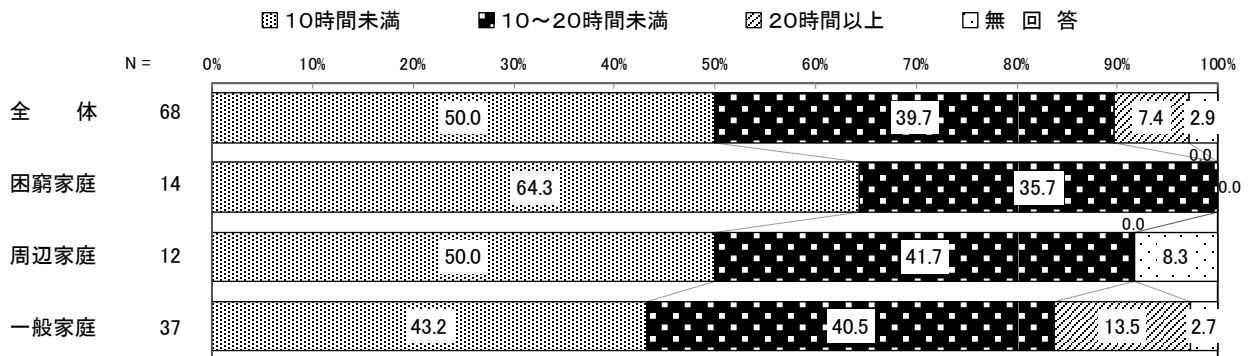
K問25-2 時給(16・17歳) [%]



K 問 25-3 現在は、1週間あたり、平均何時間働いていますか。残業時間を含めてお答えください。(16・17 歳のみ)

16・17 歳の1週間あたりの平均就労時間は、「10 時間未満」が 50.0%、「10～20 時間未満」が 39.7%、「20 時間以上」が 7.4%となっており、平均 10.2 時間である。

K問25-3 平均就労時間(16・17歳) [%]

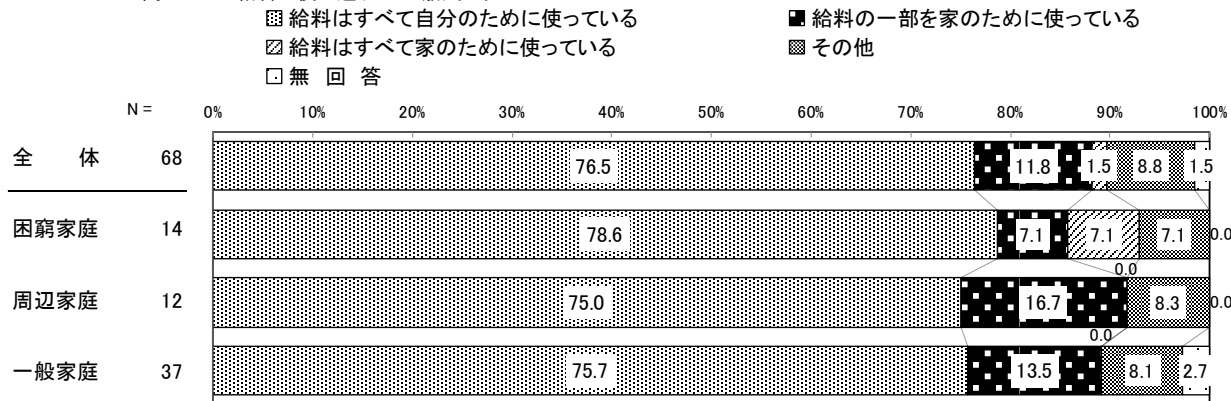


K問 25-4 収入を伴う仕事(学生のアパートを含む)をしている方全員にお聞きします。給料(アルバイト代)を何に使っていますか。

16・17歳の給料の使い道は、「給料はすべて自分のために使っている」が76.5%、「給料の一部を家のために使っている」が11.8%、「給料はすべて家のために使っている」が1.5%となっている。

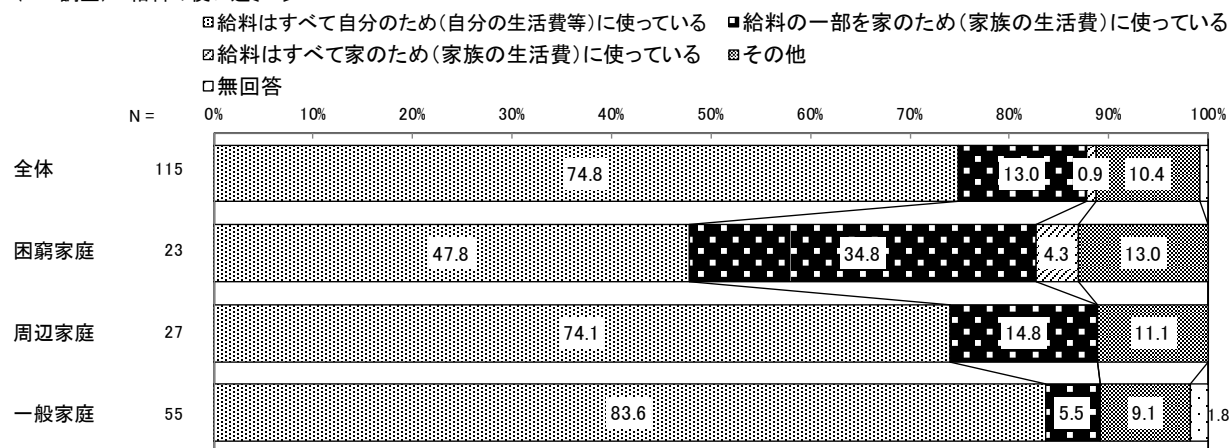
生活困窮度別では、困窮家庭で「給料はすべて家のために使っている」が7.1%みられる。

K問25-4 給料の使い道(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 給料の使い道[%]



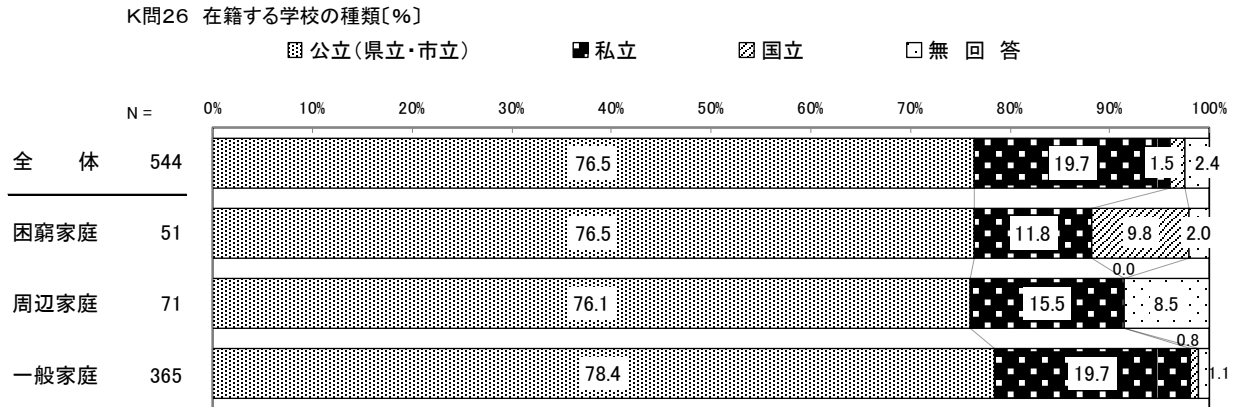
(6)学校や勉強・進学などに関すること(小学1年以外)

①現在の通学先(16・17 歳のみ)

K 問 26 あなたの在籍する(在籍していた)学校の種類を教えてください。(16・17 歳のみ)

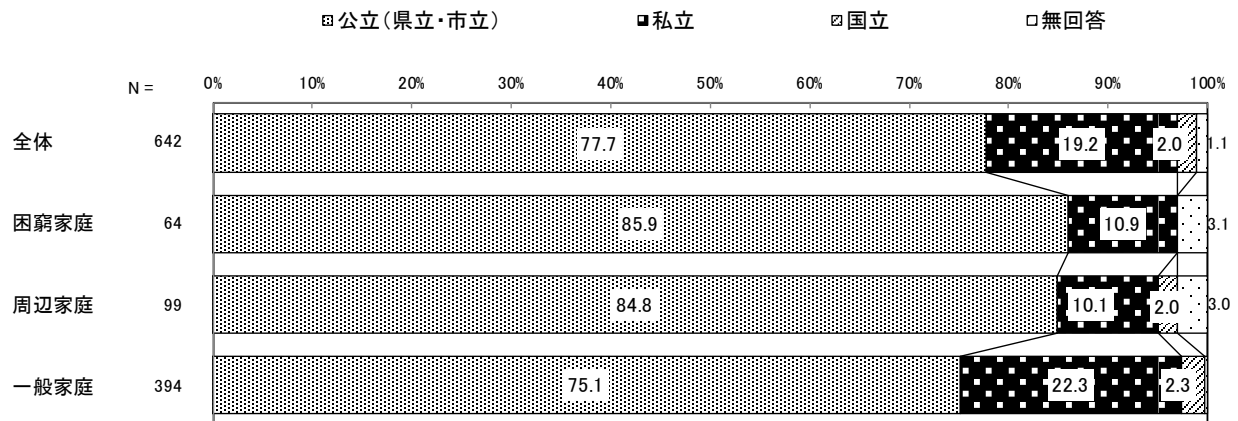
16・17 歳の在籍する(在籍していた)学校の種類は、「公立(県立・市立)」が 76.5%、「私立」が 19.7%、「国立」が 1.5%となっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「国立」が 9.8%みられる。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 在籍する学校の種類[%]

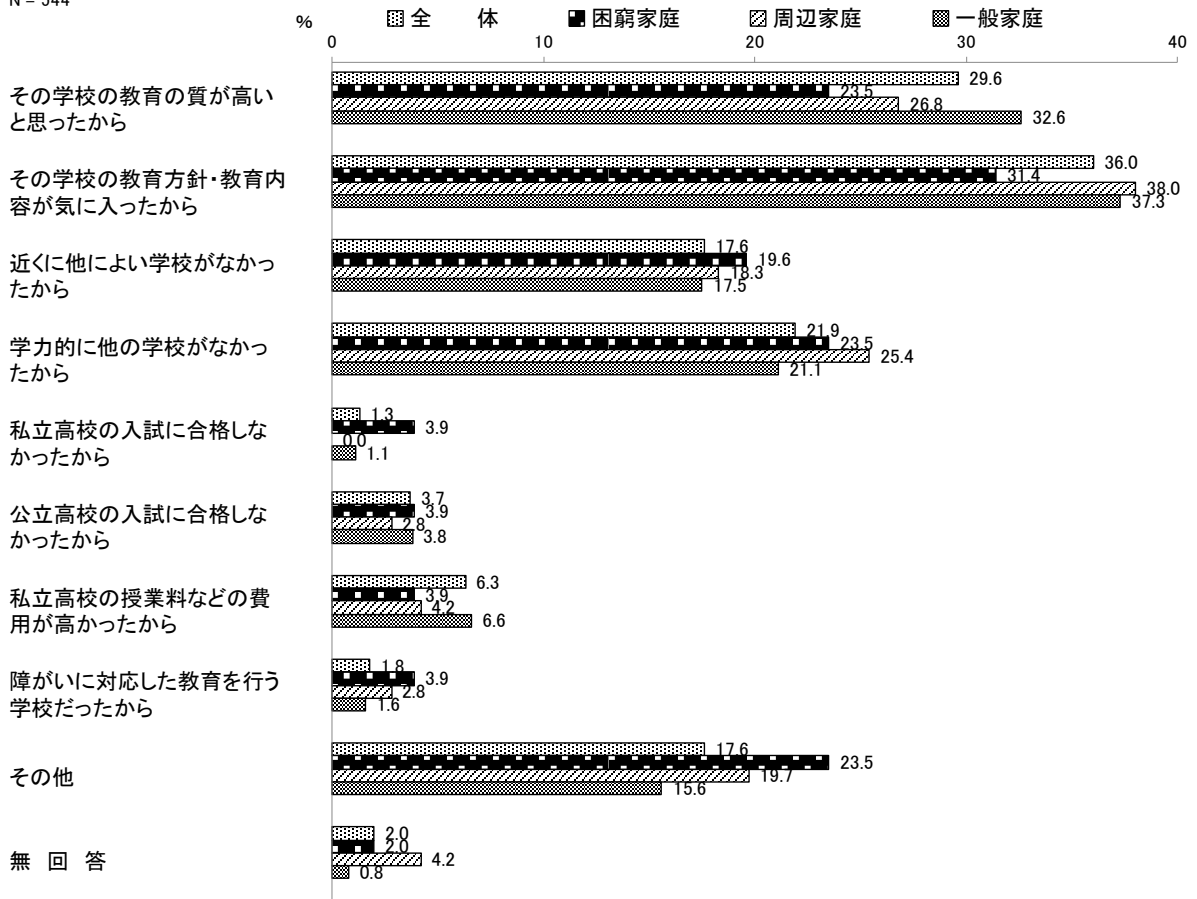


K 問 26-1 その学校に進学したのはなぜですか。(16・17 歳のみ)

16・17 歳の進学した理由は、「その学校の教育方針・教育内容が気に入ったから」が 36.0%、「その学校の教育の質が高いと思ったから」が 29.6%、「学力的に他の学校がなかったから」が 21.9%などとなっている。

N = 544

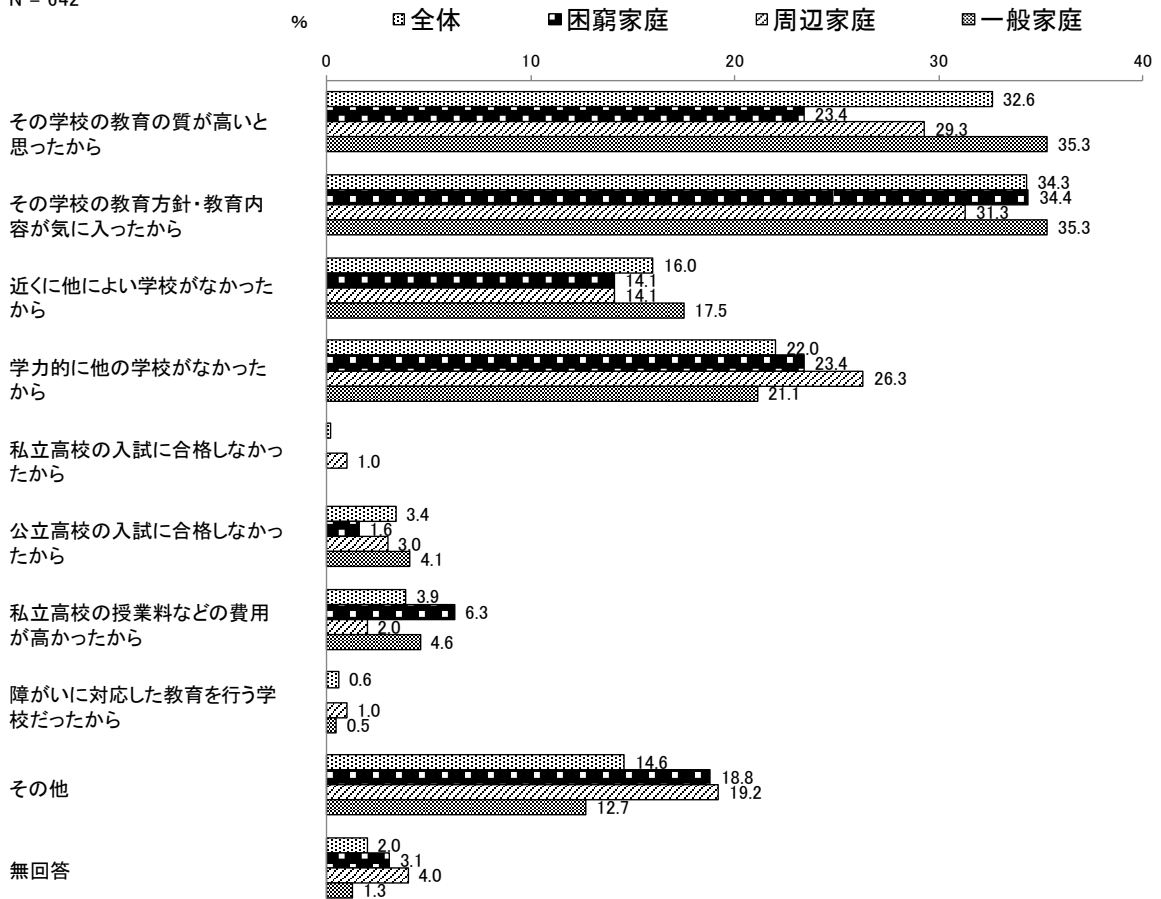
K問26-1 進学した理由(16・17歳)[%・複数回答]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査)
N = 642

進学した理由[%・複数回答]



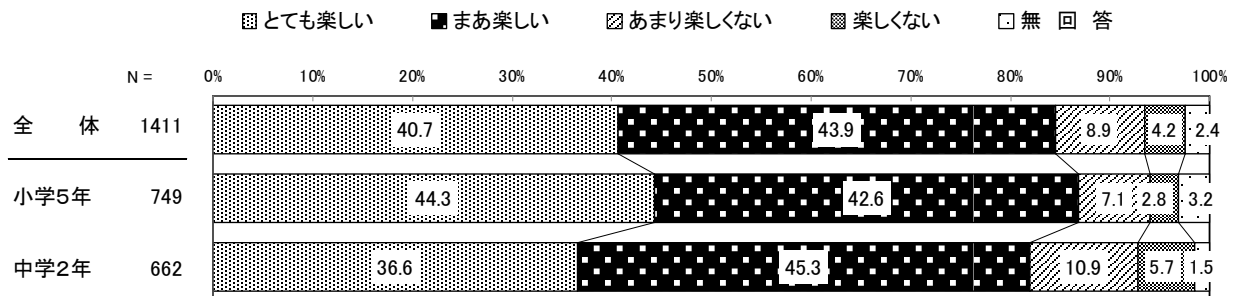
②学校生活

問 21 あなたは、学校生活が楽しい(楽しかった)ですか。(小学5年・中学2年のみ)

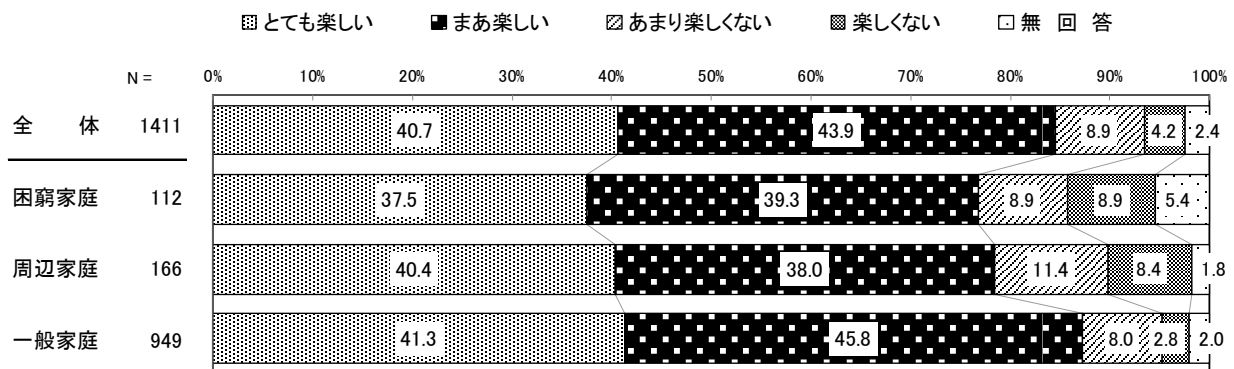
学校生活が『楽しい』(「とても楽しい」と「まあ楽しい」の計)は 84.6%であり、学年別では、小学5年で86.9%、中学2年で81.9%である。

生活困窮度別では、困窮家庭で『楽しい』が76.8%と全体に比べて少ない。

問21 学校生活が楽しい[%]

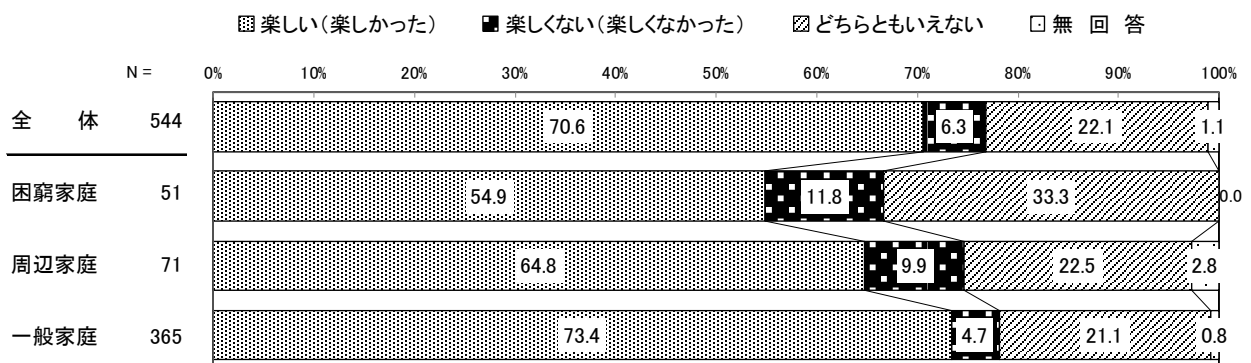


問21 学校生活が楽しい[%]



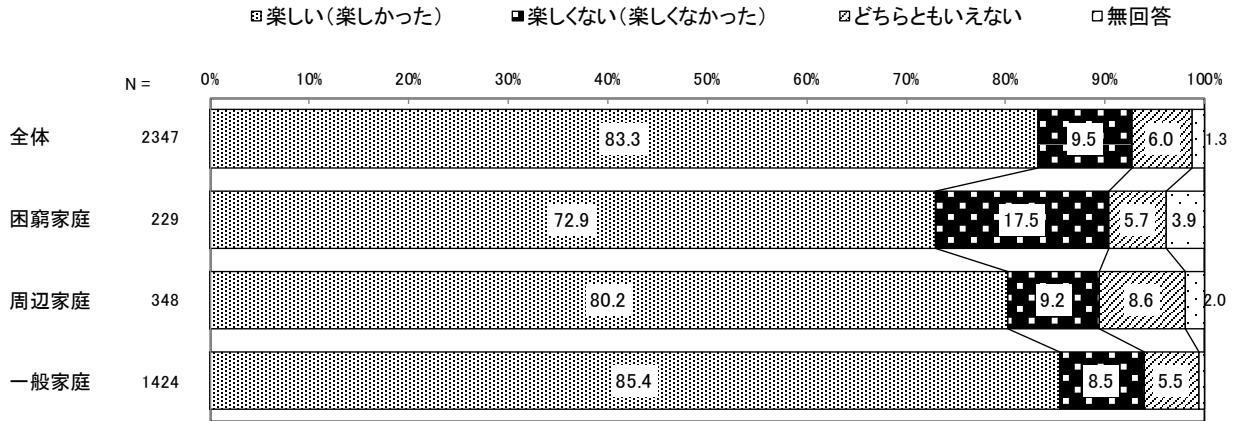
16・17歳では、学校生活が「楽しい(楽しかった)」は70.6%、「楽しくない(楽しくなかった)」は6.3%であるが、生活困窮度別では、困窮家庭は「楽しい(楽しかった)」が54.9%と少なく、「楽しくない(楽しくなかった)」が11.8%となっている。

K問27 学校生活が楽しい(楽しかった)(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 学校生活が好きか[%]

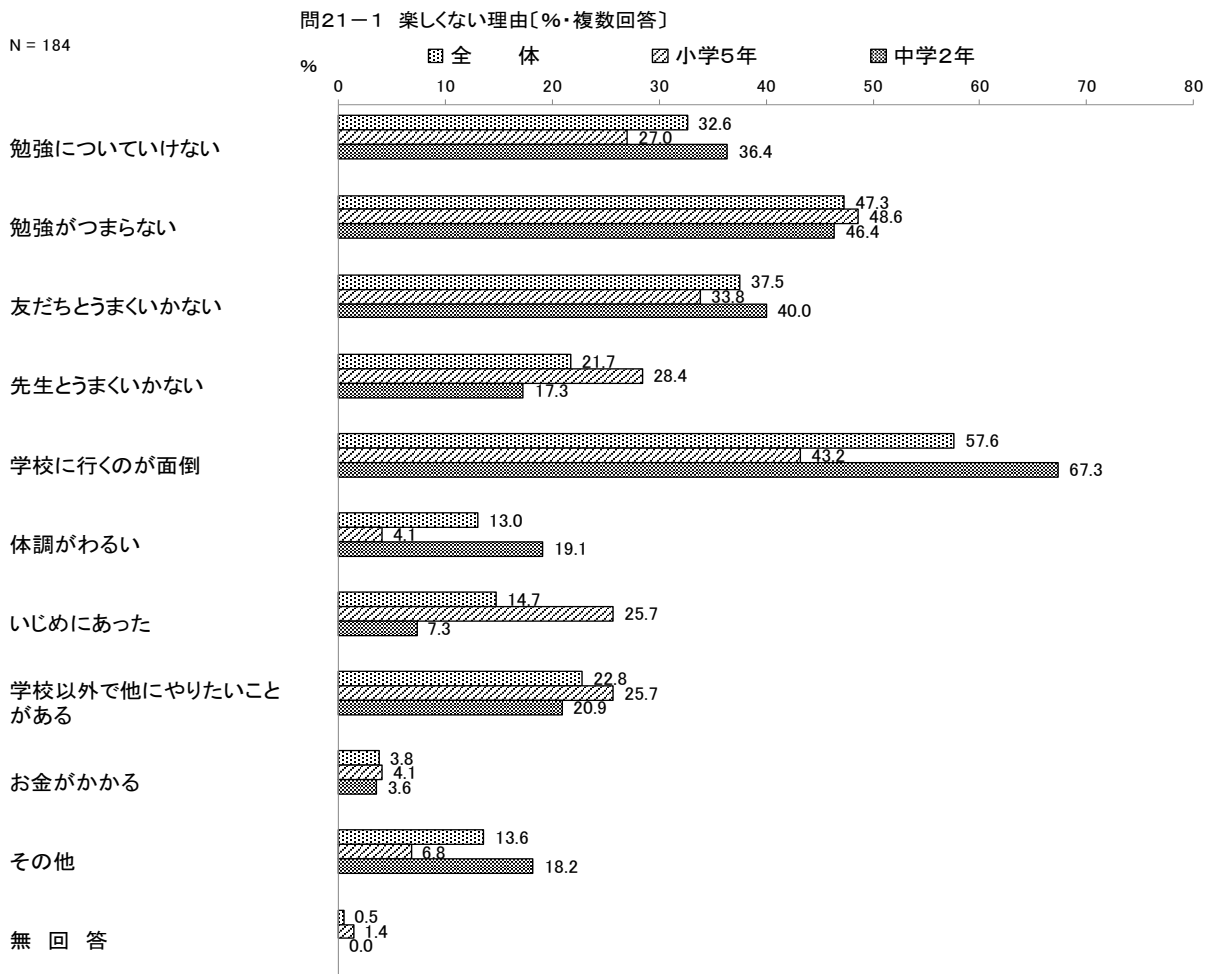


問 21-1 前問で「3 あまり楽しくない」、「4 楽しくない」と答えた人にお聞きします。学校が楽しくない理由は、何ですか。(小学5年・中学2年のみ)

学校が楽しくない理由は、「学校に行くのが面倒」が 57.6%、「勉強がつまらない」が 47.3%、「勉強についていけない」が 32.6%などとなっている。

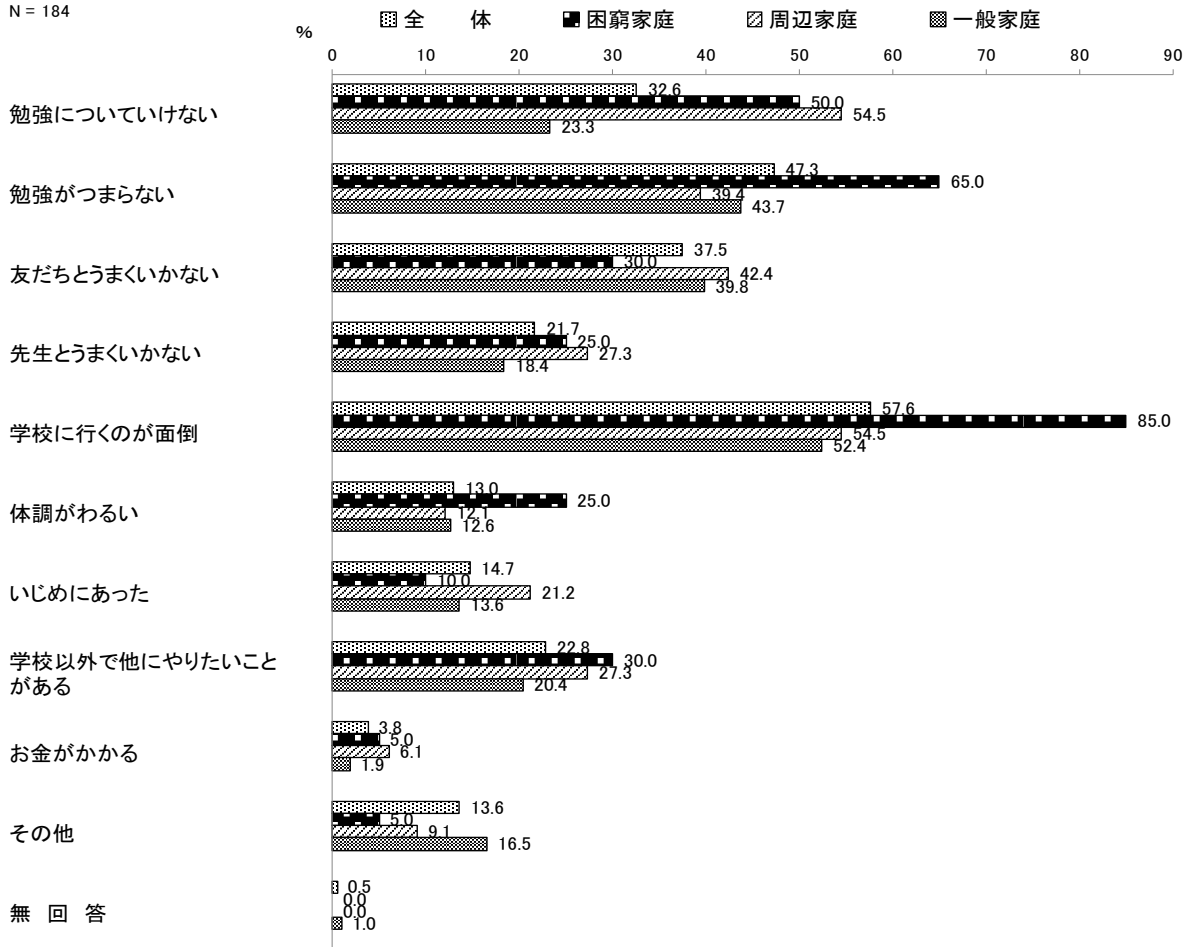
学年別では、小学5年で「先生とうまくいかない」が 28.4%、「いじめにあった」が 25.7%、中学2年で「学校に行くのが面倒」が 67.3%、「体調がわるい」が 19.1%回答されている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「学校に行くのが面倒」が 85.0%、「勉強がつまらない」が 65.0%、「体調がわるい」が 25.0%などとなっている。



N = 184

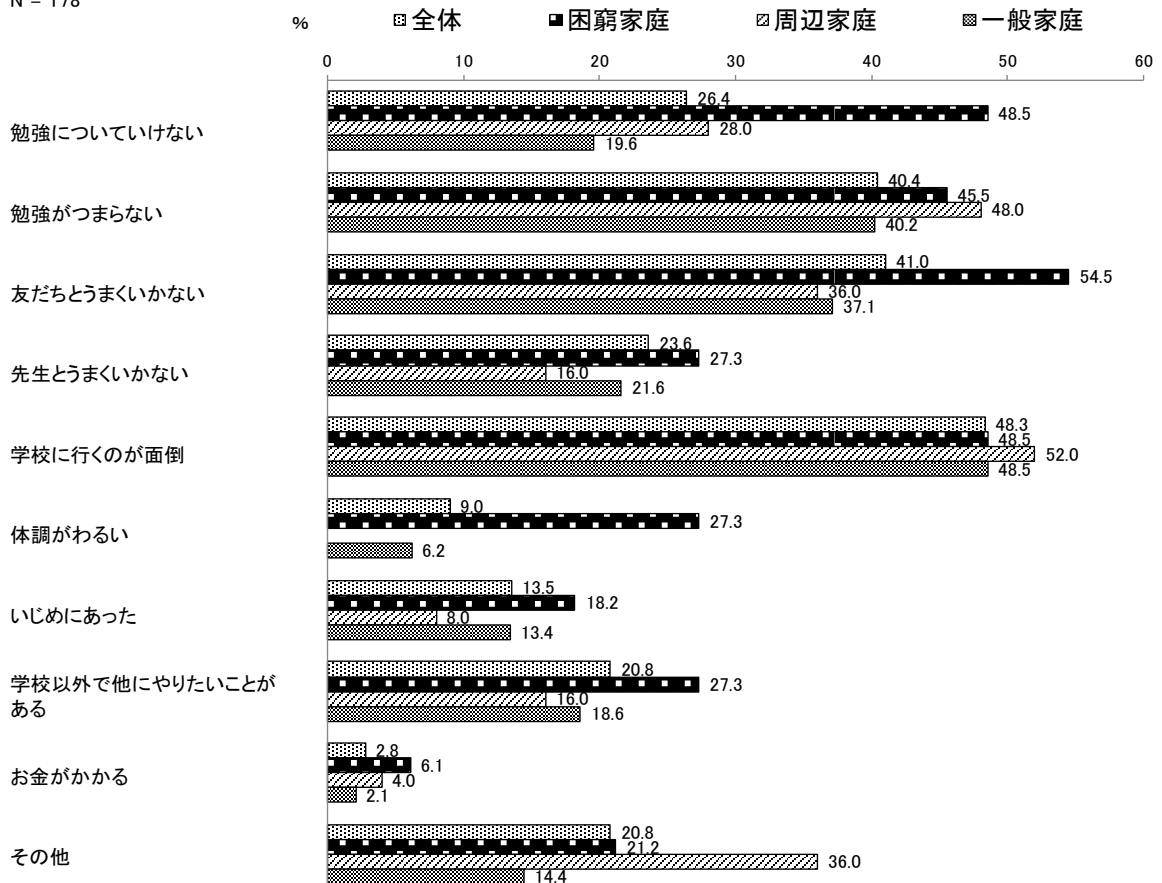
問21-1 楽しくない理由[%・複数回答]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査)
N = 178

楽しくない理由[%・複数回答]



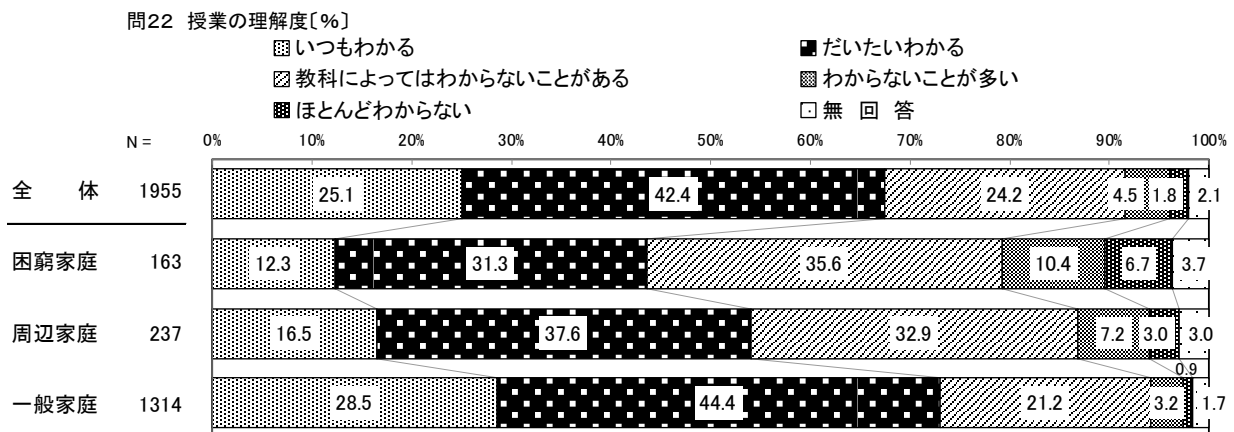
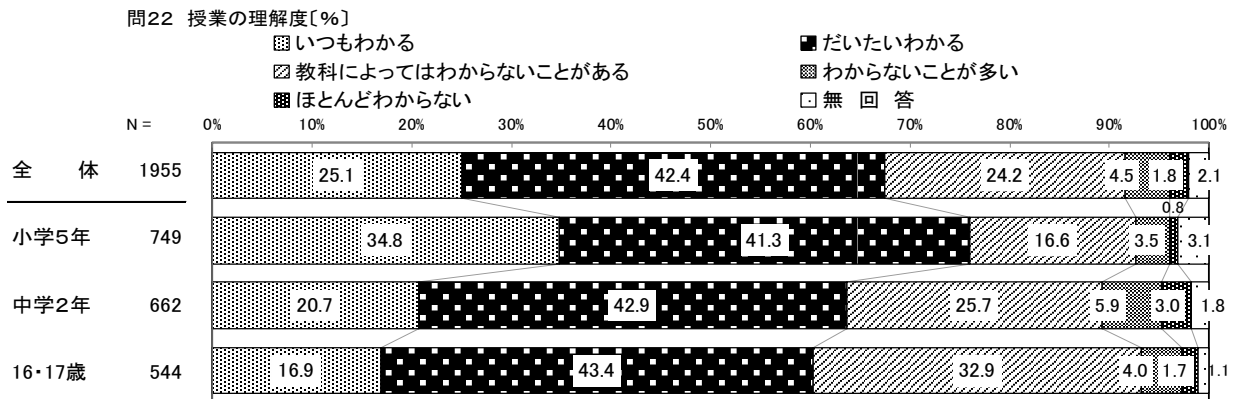
③授業の理解

問 22 あなたは、学校の授業がわかりますか。

学校の授業の理解状況については、『わかる』（「いつもわかる」と「だいたいわかる」の計）が67.5%、『わからない』（「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」の計）が30.5%となっている。

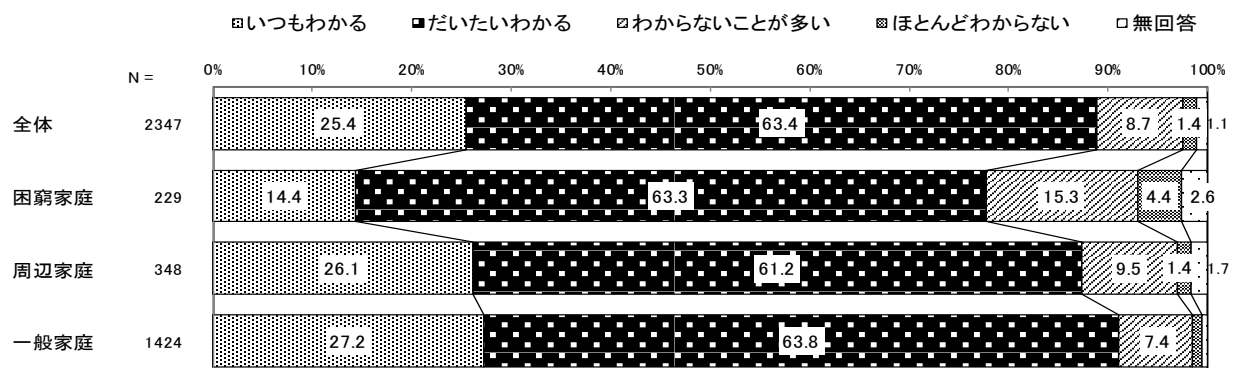
学年別では、『わかる』は小学5年で76.1%となっているが、学年が上がるとその回答割合は少なくなり、16・17歳では60.3%となっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で『わからない』が52.7%と他の区分よりも多い。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 授業の把握度[%]



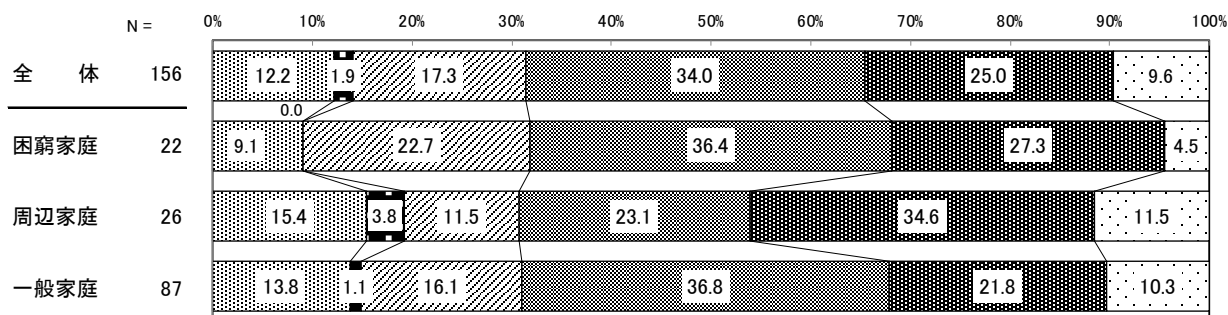
問 22-1 前問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた方にお聞きします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

授業がわからなくなった時期については、小学5年で『小学3・4年生のころ』(「3年生のころ」と「4年生のころ」の計)が 51.3%、中学2年では「中学1年生のころ」が 48.0%、16・17 歳では「高校1年生の頃」が 31.0%と最も多く回答されている。

生活困窮度別では、16・17 歳は「高校入学前」(「小学1・2年生の頃」、「小学3・4年生の頃」、「小学5・6年生の頃」、「中学1年生の頃」、「中学2年生の頃」と「中学3年生の頃」の計)が周辺家庭と困窮家庭でそれぞれ 54.9%、63.4%と一般家庭の 41.6%に比べて多い。

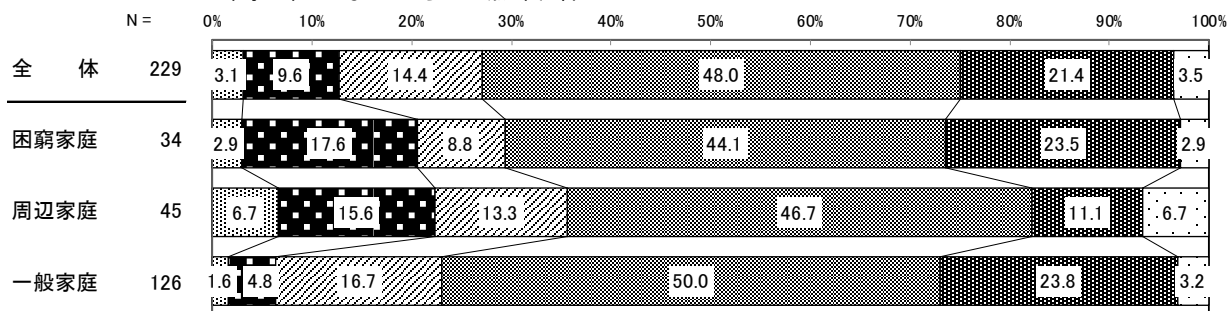
問22-1 授業がわからなくなった時期(小学校5年生)[%]

■ 1年生のころ ■ 2年生のころ ▨ 3年生のころ ▩ 4年生のころ ■ わからない □ 無回答



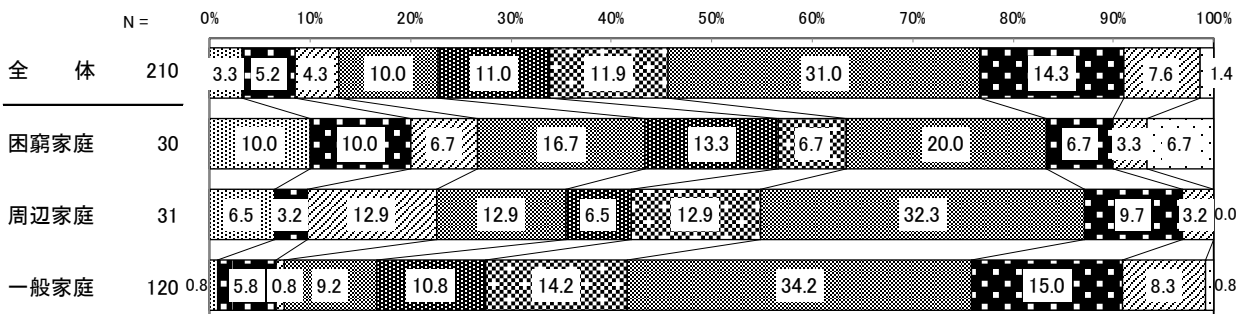
問22-1 授業がわからなくなった時期(中学校2年生)[%]

■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ ▨ 小学5・6年生のころ ▩ 中学1年生のころ
▨ 中学2年生になってから □ 無回答



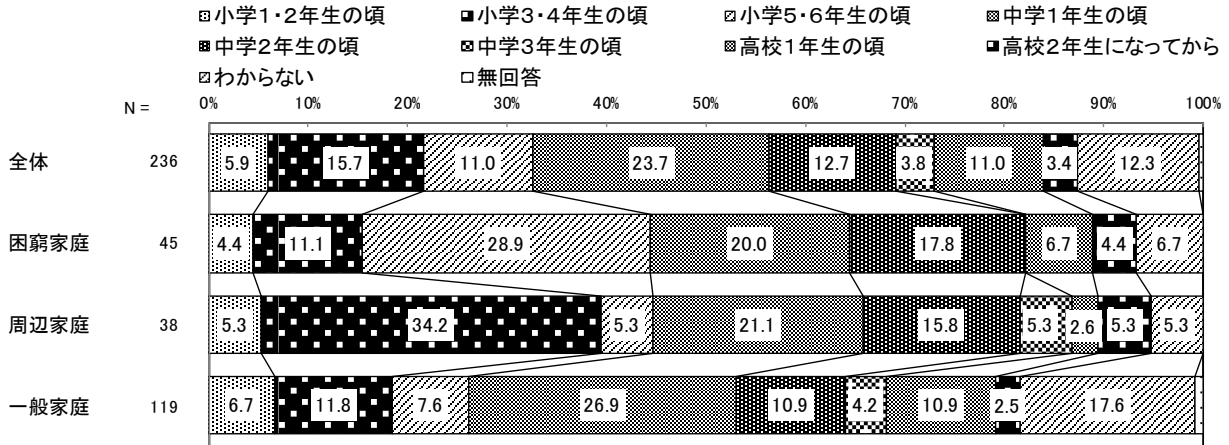
K問28-1 授業がわからなくなった時期(16・17歳)[%]

▨ 小学1・2年生の頃 ■ 小学3・4年生の頃 ▨ 小学5・6年生の頃 ▩ 中学1年生の頃
▨ 中学2年生の頃 ▨ 中学3年生の頃 ▨ 高校1年生の頃 ■ 16・17歳生の頃
▨ わからない □ 無回答



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 授業がわからなくなった時期[%]

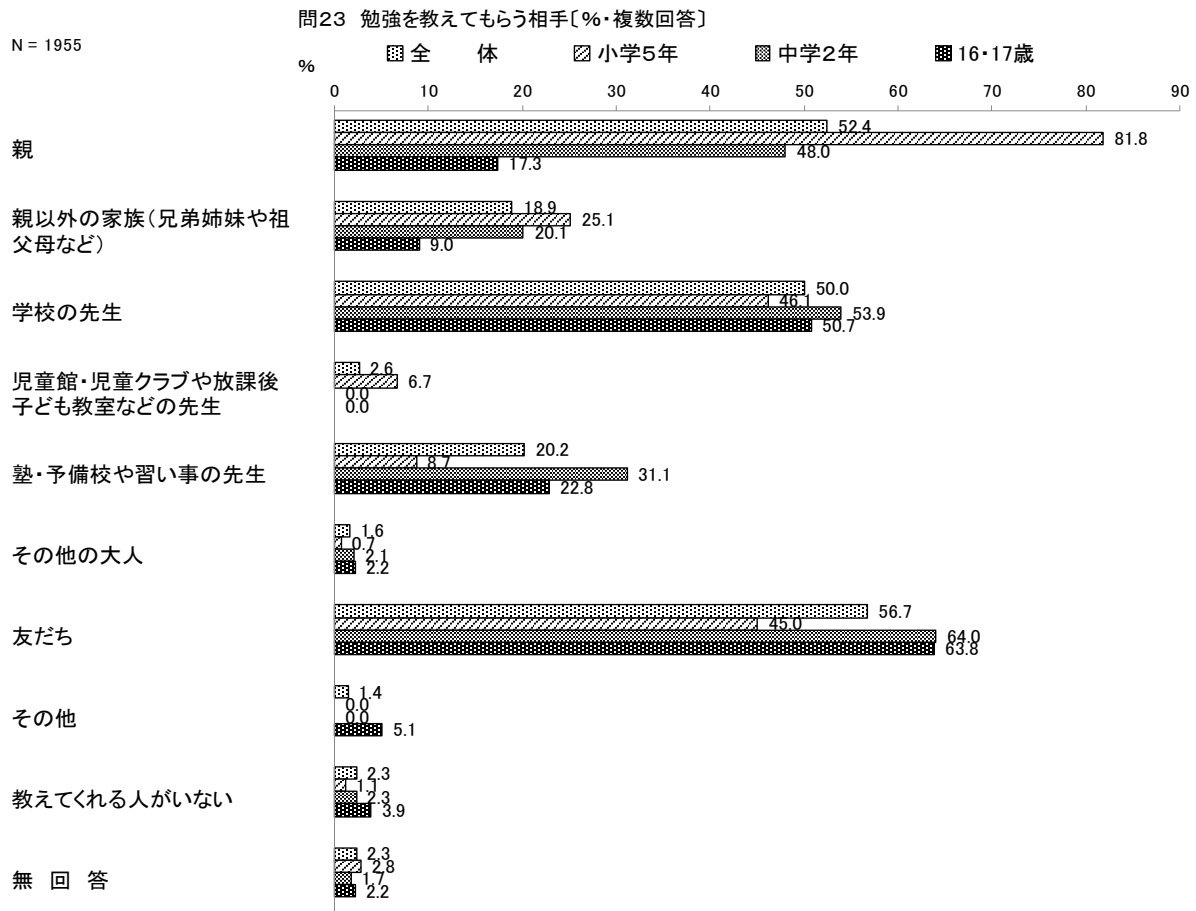


問 23 勉強がわからない時は、だれに教えてもらいますか(教えてもらいましたか)。

勉強を教えてもらう相手は、「友だち」が 56.7%、「親」が 52.4%、「学校の先生」が 50.0%などとなっている。

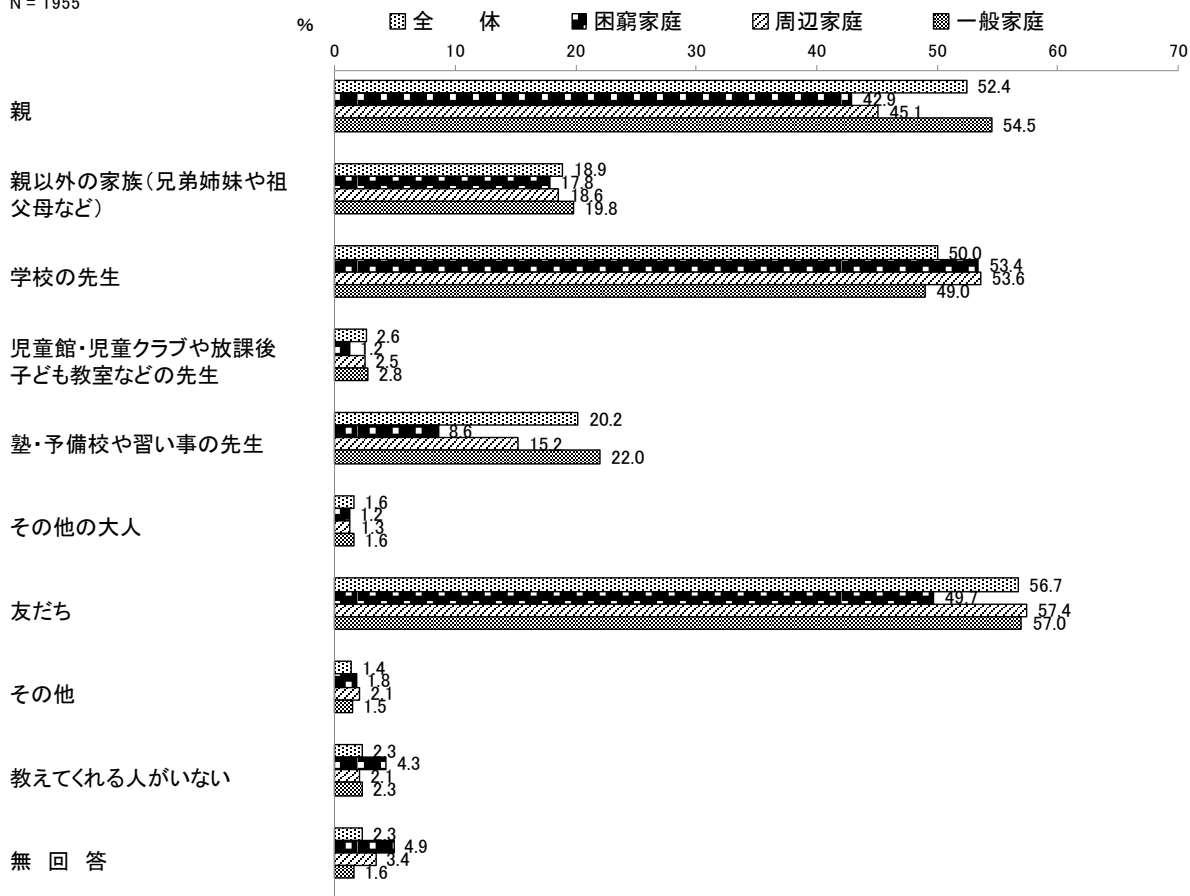
学年別では、「親」が小学5年で 81.8%と多いが、学年が上がるとその割合は少なくなり 16・17 歳では 17.3%である。中学2年、16・17 歳で「友だち」がそれぞれ 60%台、「塾・予備校や習い事の先生」がそれぞれ 31.1%、22.8%と多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「塾・予備校や習い事の先生」が 8.6%と全体の 20.2%に比べて少ない。



問23 勉強を教えてもらう相手[%・複数回答]

N = 1955

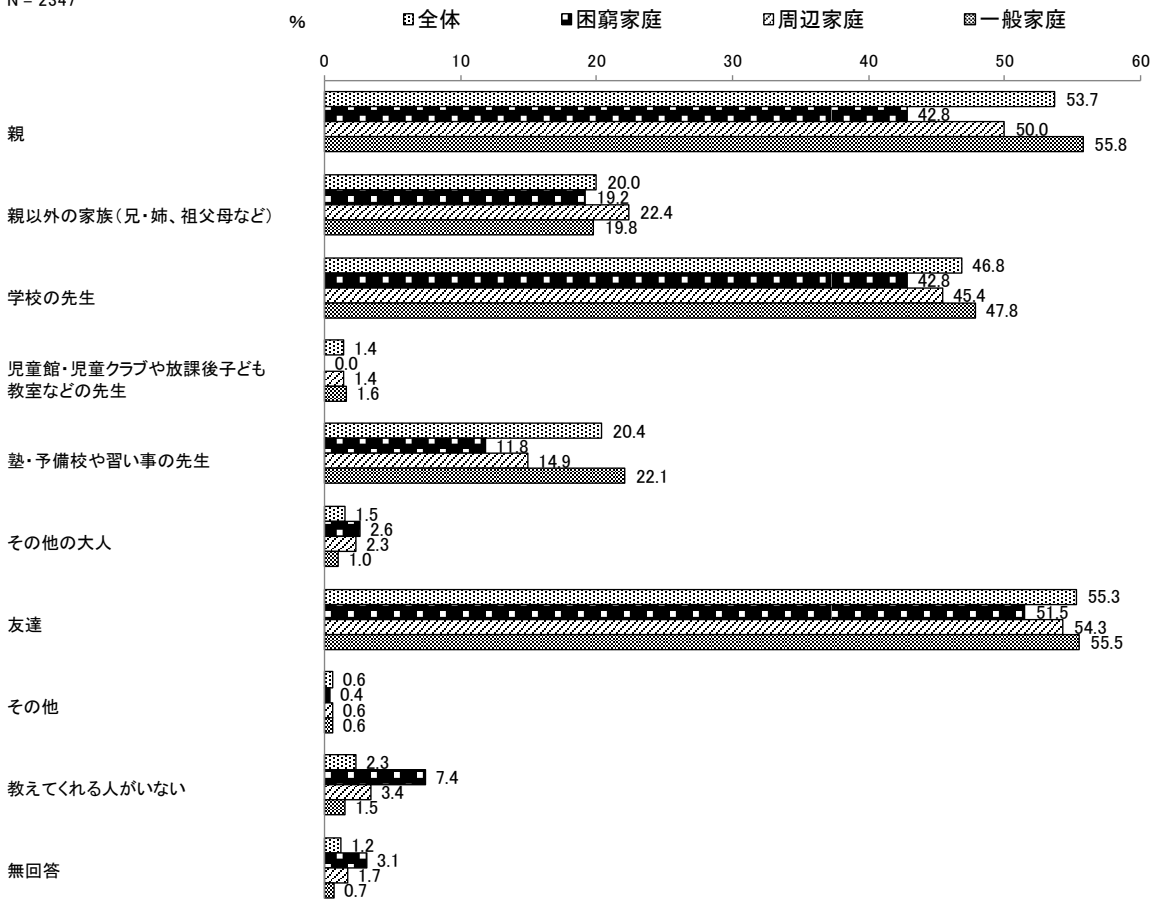


[参考: 前回調査結果]

(H29調査)

N = 2347

問32 勉強を教えてもらう相手[%・複数回答]



④希望の進学先(小学5年・中学2年のみ)

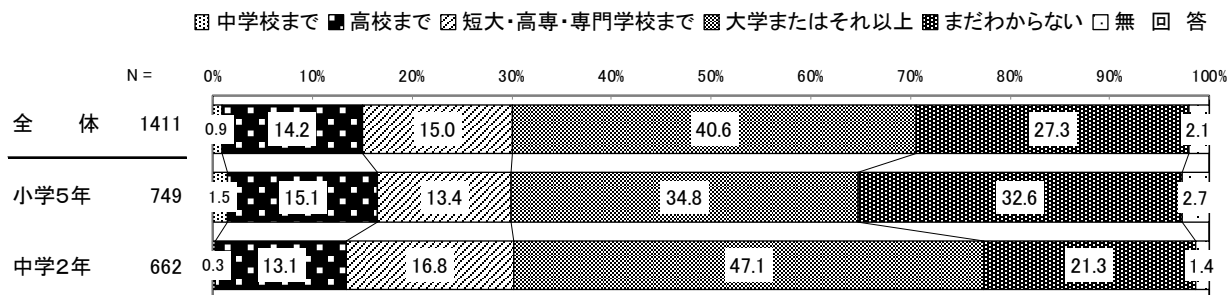
問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(小学5年・中学2年のみ)

小学5年と中学2年の希望の進学段階は、「大学またはそれ以上」が 40.6%、「まだわからない」が 27.3%、「短大・高専・専門学校」が 15.0%、「高校まで」が 14.2%、「中学まで」が 0.9%となっている。

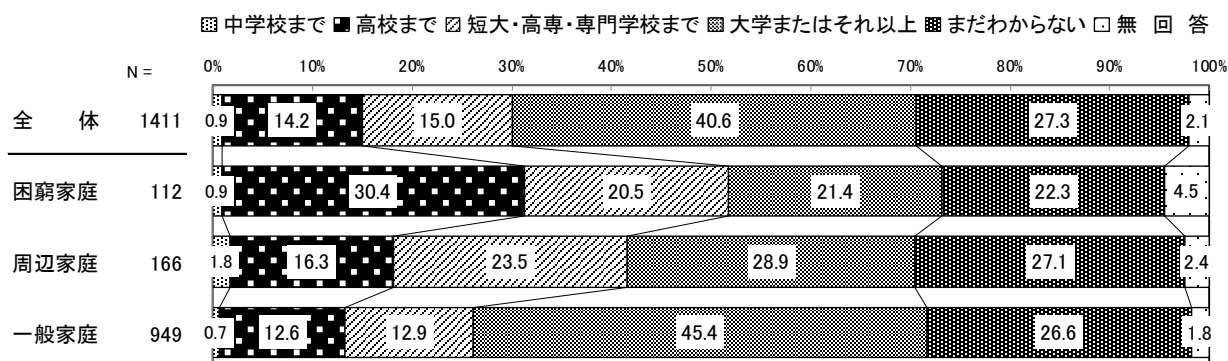
学年別では、小学5年は「大学またはそれ以上」が 34.8%、「まだわからない」が 32.6%と同程度となっており、中学2年は「大学またはそれ以上」が 47.1%となっている。

生活困窮度別では、「大学またはそれ以上」の回答割合は、一般家庭で 45.4%、周辺家庭で 28.9%、困窮家庭で 21.4%となっている。

問24 希望の進学段階[%]

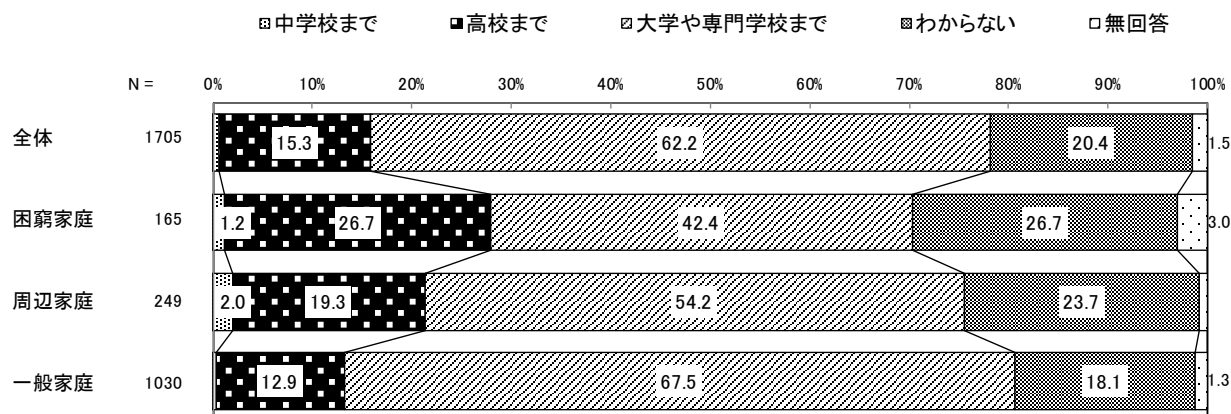


問24 希望の進学段階[%]



[参考: 前回調査結果]

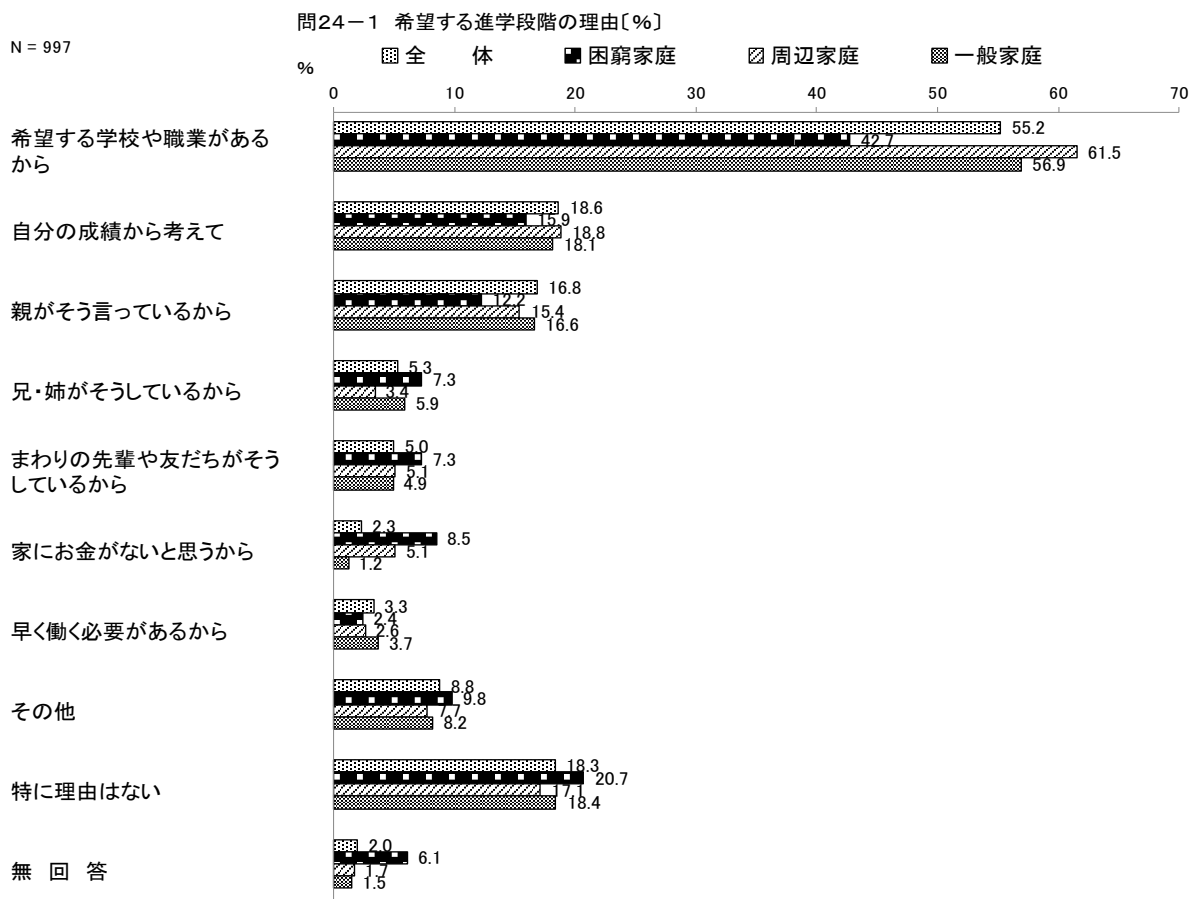
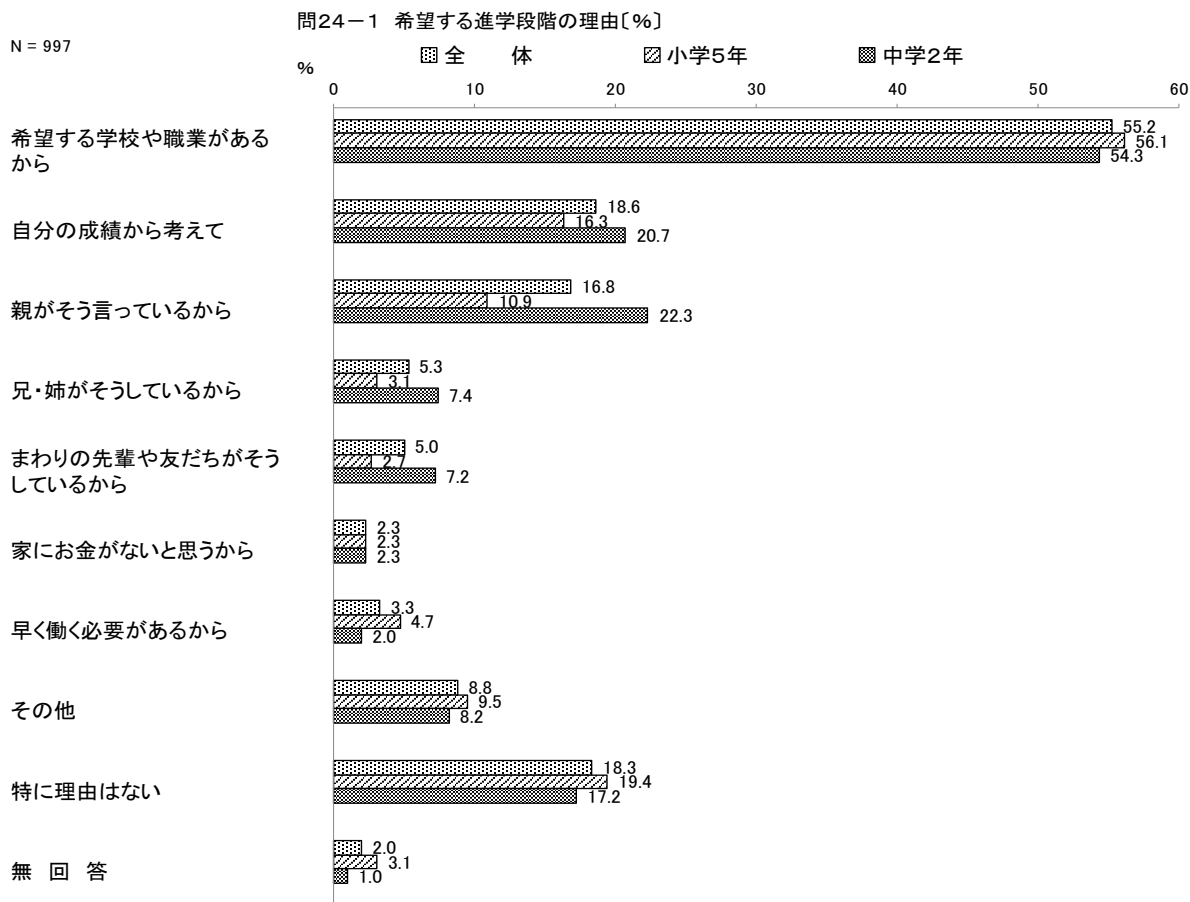
(H29調査) 希望進学段階[%]



問 24-1 前問で1～4と答えた場合、その理由を教えてください。(小学5年・中学2年のみ)

希望する進学段階の理由は、「希望する学校や授業があるから」が55.2%で最も多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「希望する学校や授業があるから」が他の区分に比べて少ない。



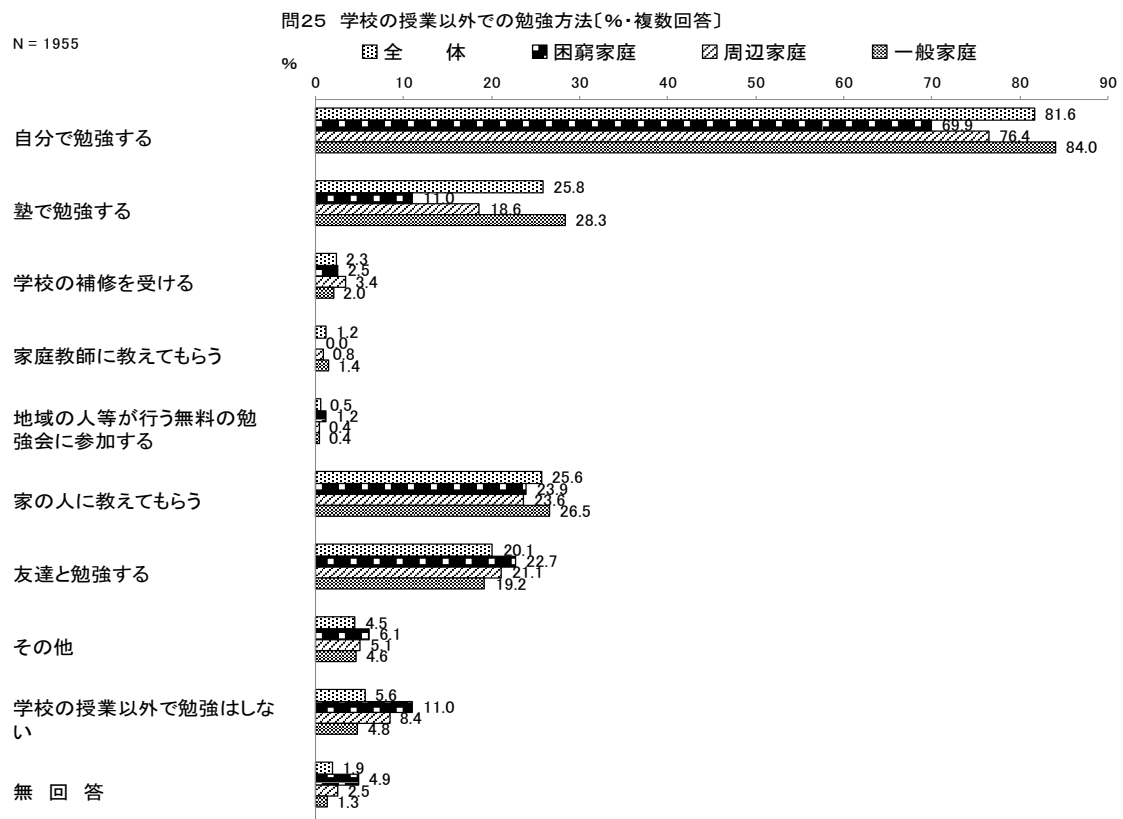
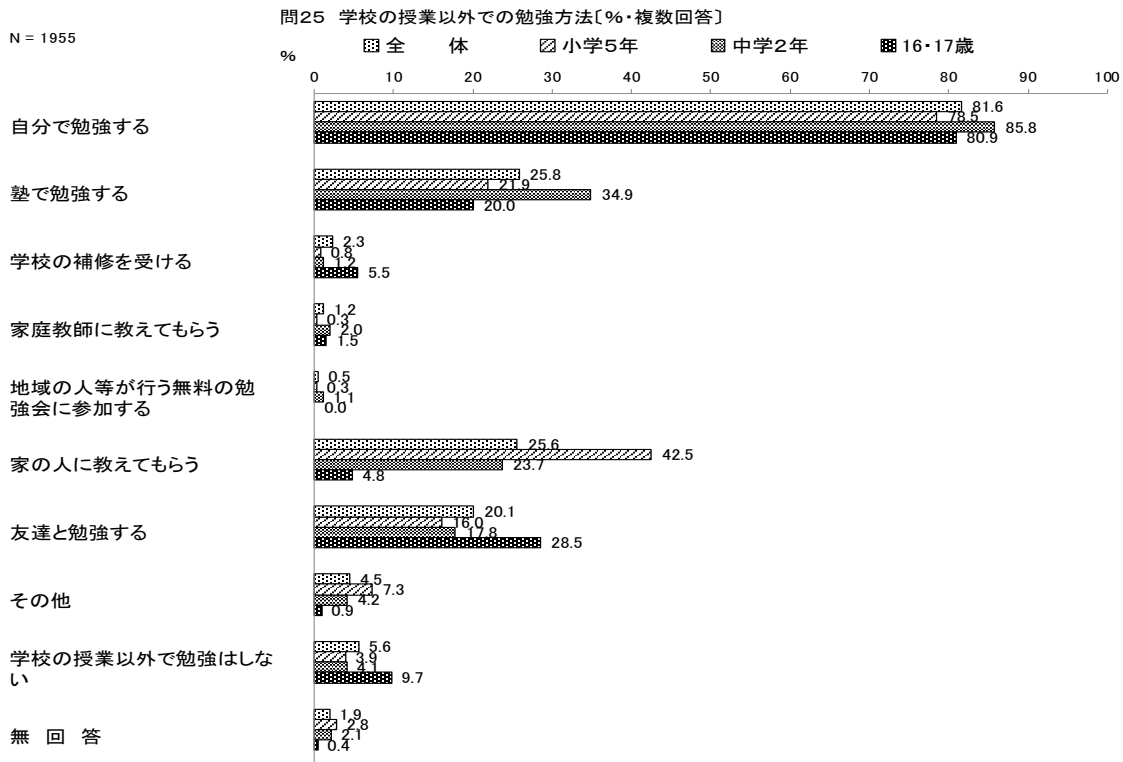
⑤勉強時間・成績等

問 25 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

学校の授業以外での勉強方法は、「自分で勉強する」が 81.6%と多く、「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」、「友達と勉強する」がそれぞれ 20%台回答されている。

学年別では、小学5年で「家の人に教えてもらう」が 42.5%、中学2年で「塾で勉強する」が 34.9%、16・17 歳で「友達と勉強する」が 28.5%と他の学年より多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「塾で勉強する」が 11.0%と他の区分よりも少ない一方、「学校の授業以外で勉強はしない」が 11.0%と他の区分よりもやや多い。

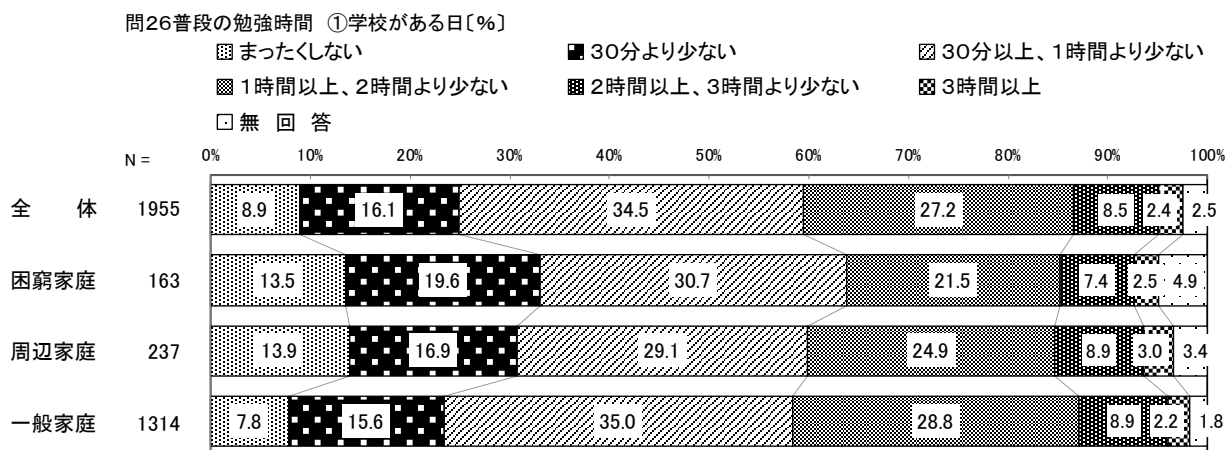
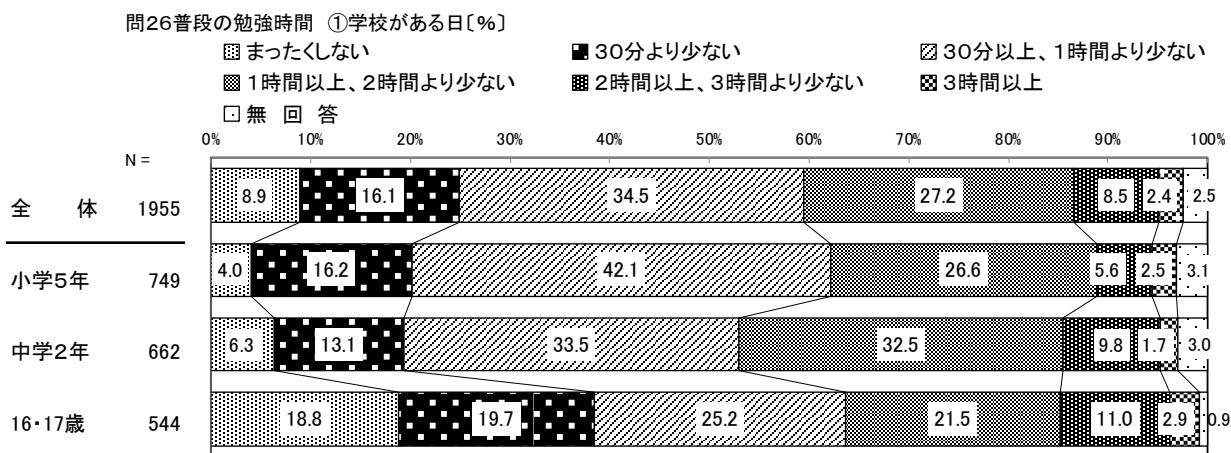


問 26 あなたは、ふだん、学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。

1) 平日（学校がある日）（小学5年、中学2年、16・17歳）

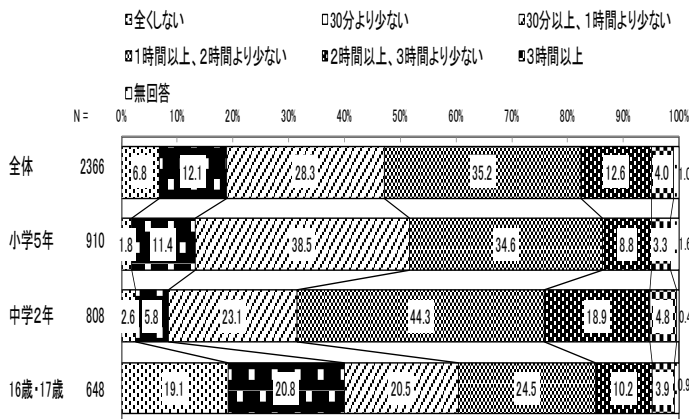
平日（学校がある日）の勉強時間は、「30分以上、1時間より少ない」が34.5%と最も多く、「1時間以上、2時間より少ない」が27.2%、「30分より少ない」が16.1%、「まったくしない」が8.9%となっている。

学年別では、「まったくしない」が小学5年で4.0%、中学2年で6.3%の一方、16・17歳が18.8%と他の学年よりも多い。

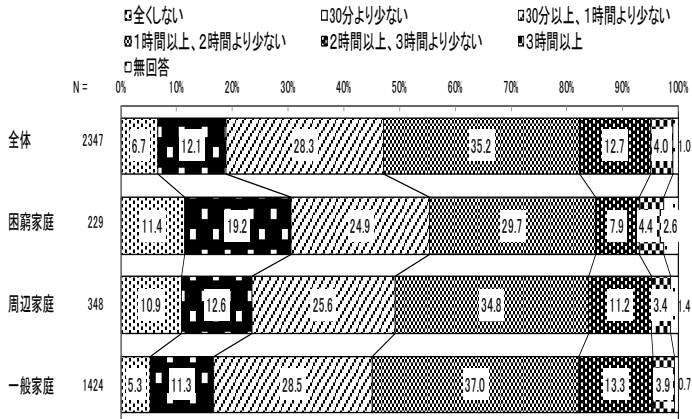


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 問34 授業以外の勉強時間〔%〕



(H29調査) 問34 授業以外の勉強時間〔%〕

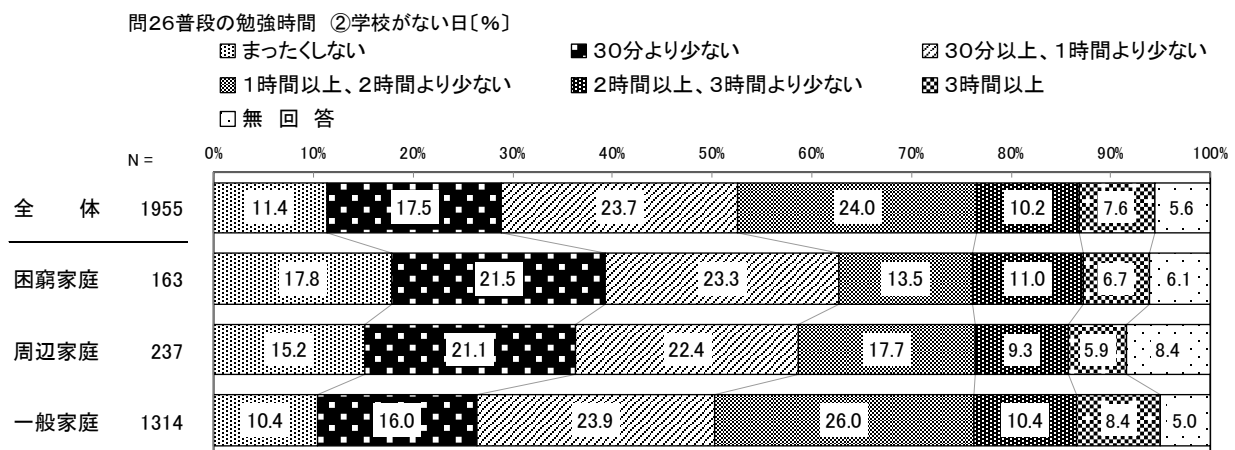
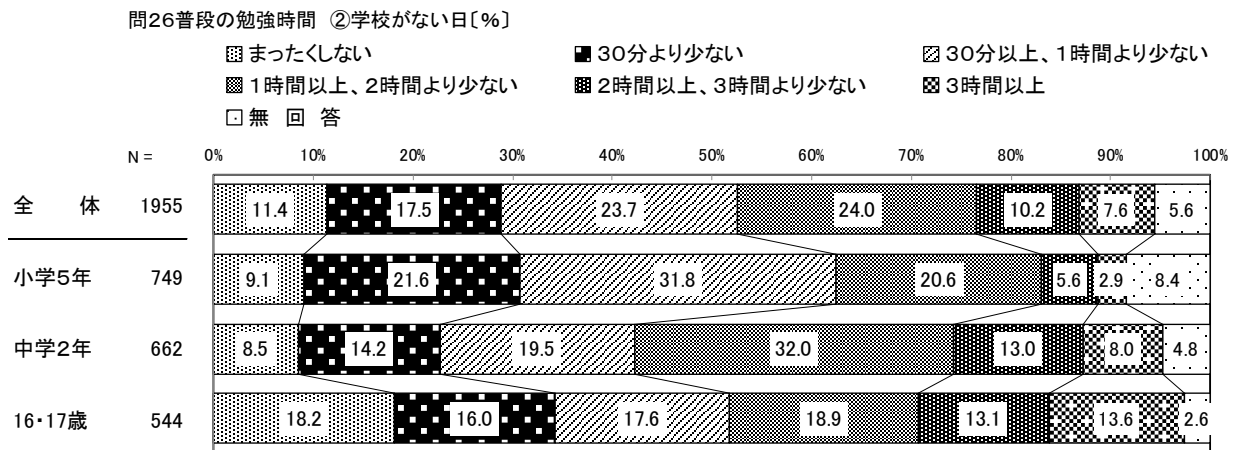


2) 休日(学校がお休みの日)(小学5年、中学2年、16・17歳)

休日(学校がお休みの日)の勉強時間は、「1時間以上、2時間より少ない」が24.0%、「30分以上、1時間より少ない」が23.7%、「30分より少ない」17.5%、「まったくしない」11.4%となっている。

学年別では、小学5年は「30分以上、1時間より少ない」が31.8%、中学2年は「1時間以上、2時間より少ない」が32.0%、16・17歳は「まったくしない」が18.2%、「3時間以上」が13.6%でそれぞれ他の学年より多い。

生活困窮度別では、「まったくしない」が一般家庭で10.4%に比べて、周辺家庭で15.2%、困窮家庭で17.8%とやや多くなっている。



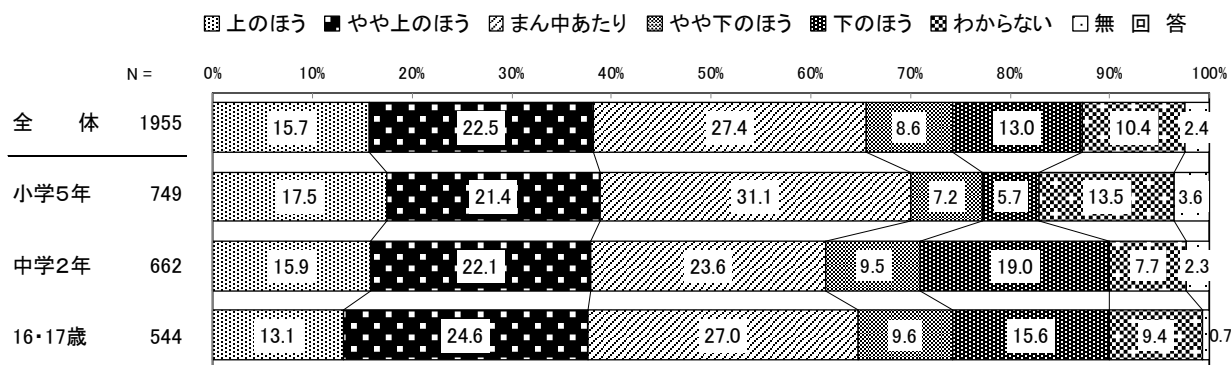
問 27 あなたの成績は、クラスの中でどれくらいだと思いますか。

クラス内での成績は、「まん中あたり」が27.4%と最も多く、次いで「やや上のほう」が22.5%、「上のほう」が15.7%が多い。

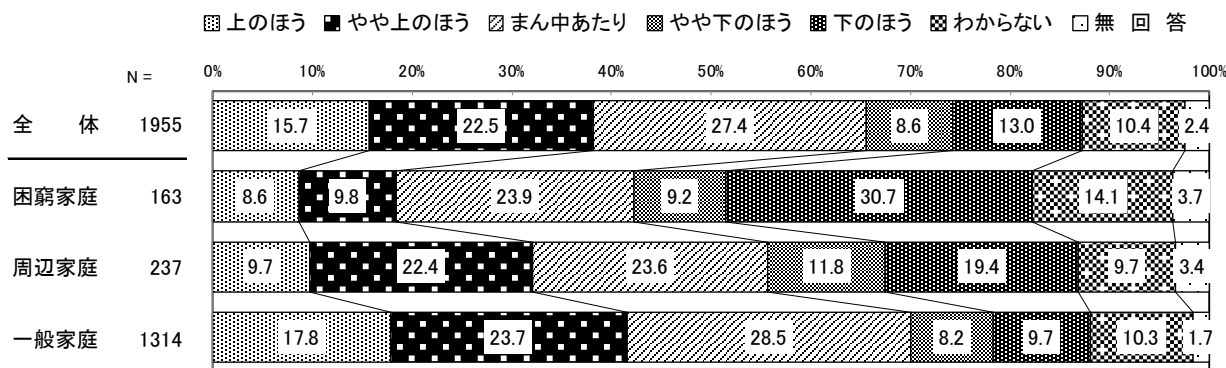
学年別では、小学5年で「まん中あたり」が31.1%、中学2年と16・17歳で「下のほう」がそれぞれ19.0%、15.6%と他の学年に比べて多い。

生活困窮度別では、『上のほう』（「上のほう」と「やや上のほう」の計）と回答した割合は、一般家庭で41.5%、周辺家庭で32.1%、困窮家庭で18.4%となっており、各区分で差が見られる。

問27 クラス内での成績[%]



問27 クラス内での成績[%]



(7)子どもの心身の状態(小学1年以外)

①自己肯定感・今の気持ち

問 28 あなたの思いや気持ちについて教えてください。

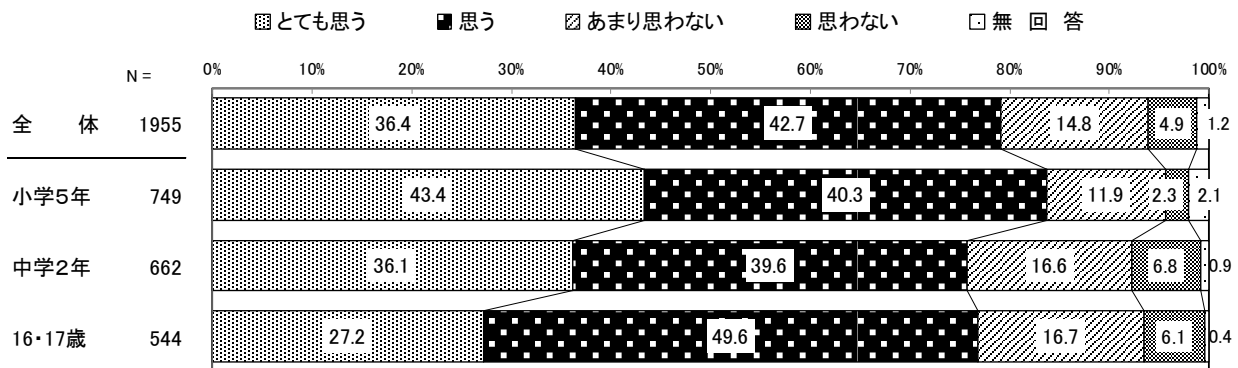
[自己肯定感]

1) 頑張れば、報われると思う

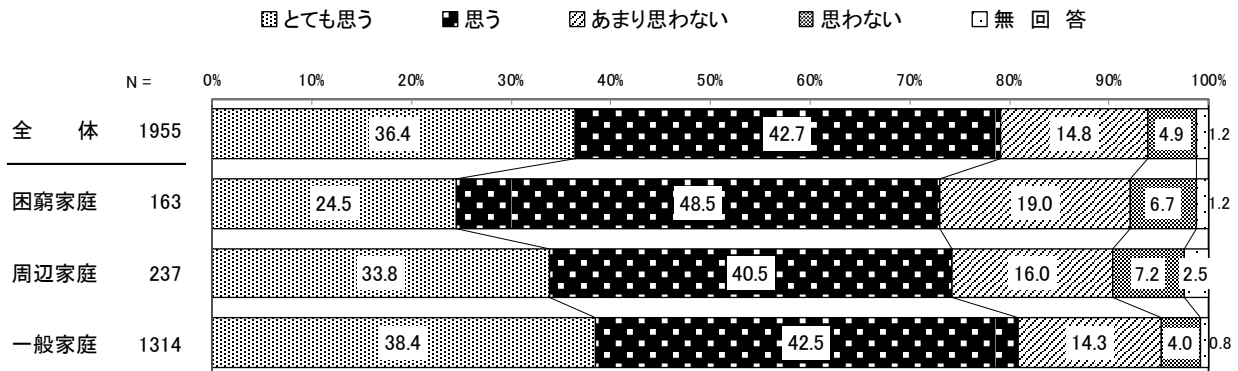
頑張れば、報われるかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が 79.1%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が 19.7%となっている。

学年別では、「とても思う」が小学5年で 43.4%だが、学年が上がると少なくなり、16・17 歳は 27.2%である。前回と比べて、若干の増減はあるものの、回答状況で大きな変化はなかった。

問28自身の気持ち ①頑張れば、むくわれる[%]

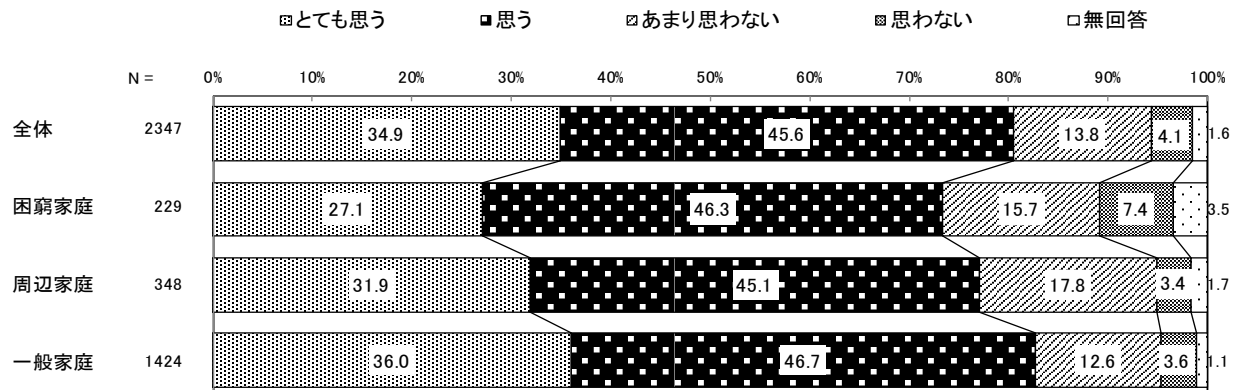


問28自身の気持ち ①頑張れば、むくわれる[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 頑張れば、報われると思う[%]



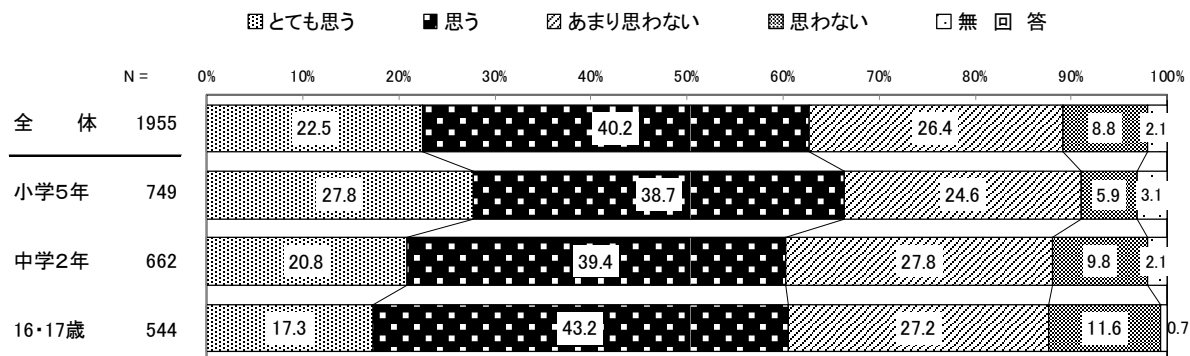
2) 自分は価値のある人間だと思う

自分は価値のある人間だと思うかについて、『思う』（「とても思う」と「思う」の計）が 62.7%、『思わない』（「あまり思わない」と「思わない」の計）が 35.2%となっている。

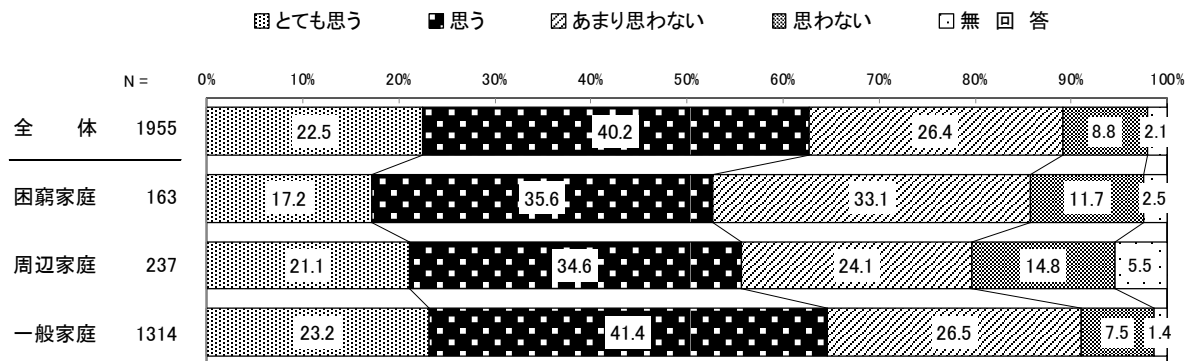
学年別では、「とても思う」が小学5年で 27.8%だが、学年が上がると少なくなり、16・17 歳は 17.3%である。

生活困窮度別では、『思う』が周辺家庭で 55.7%、困窮家庭で 52.8%と一般家庭の 64.6%に比べて少ない。前回と比べて、困窮家庭で「とても思う」が多くなったが、周辺家庭で「思わない」が多くなっている。

問28自身の気持ち ②自分は価値のある人間だ[%]

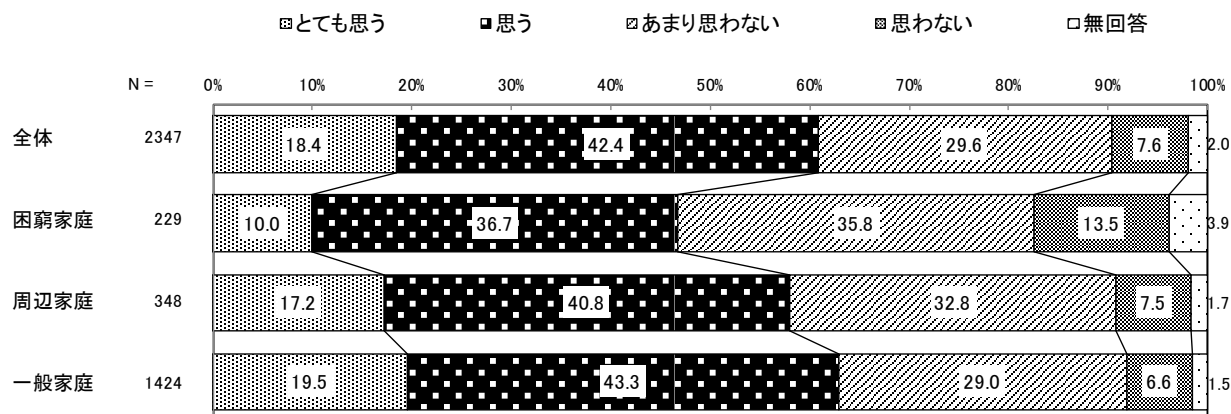


問28自身の気持ち ②自分は価値のある人間だ[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 自分は価値のある人間だと思う[%]

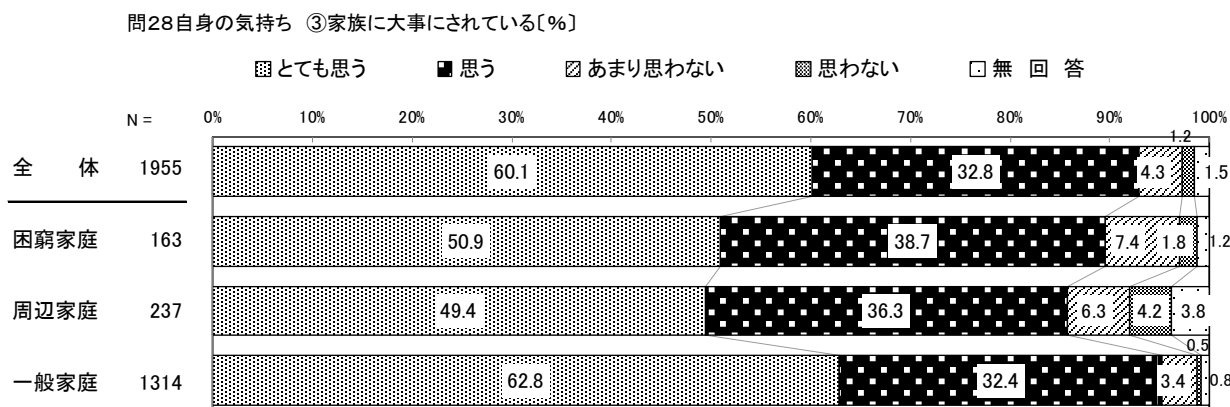
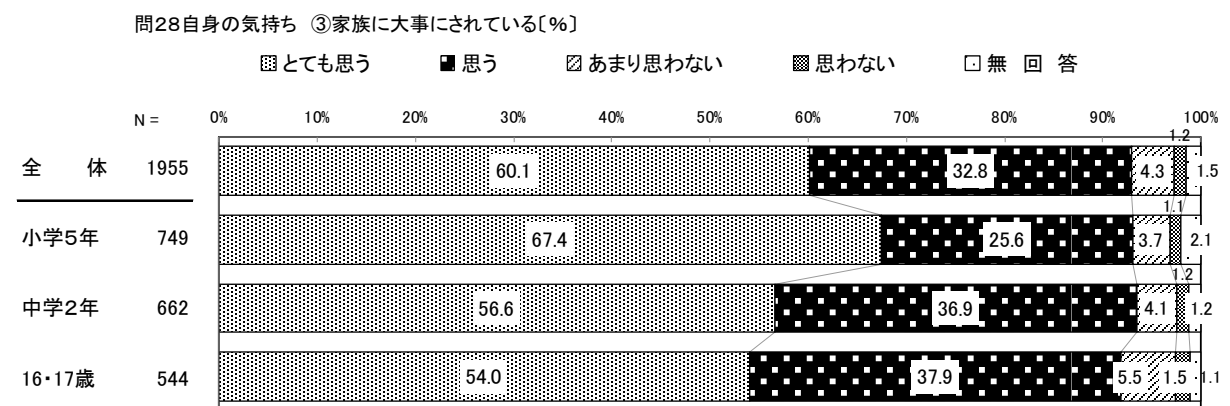


3) 自分は家族に大事にされていると思う

自分は家族に大事にされていると思うかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が 92.9%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が 5.5%となっている。

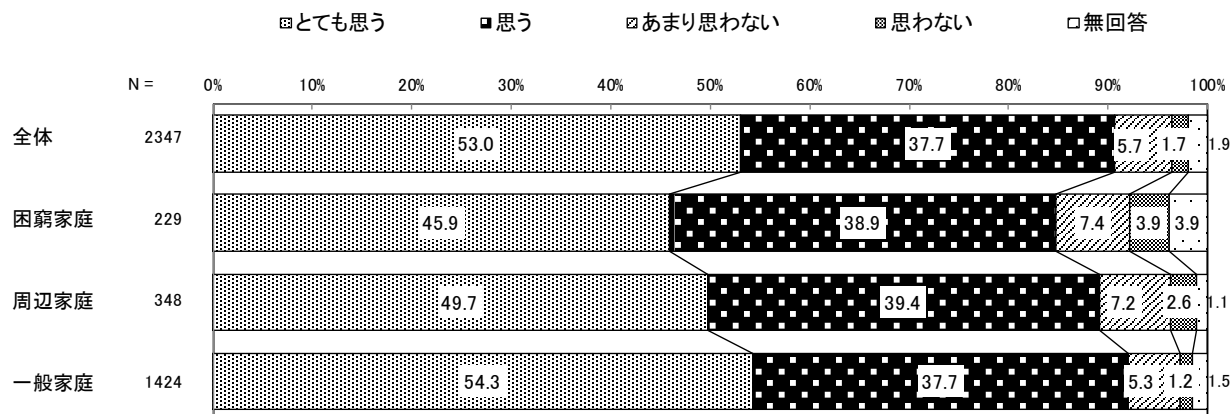
学年別では、「とても思う」が小学5年で 67.4%だが、学年が上がると少なくなり、16・17 歳で 54.0%である。

生活困窮度別では、周辺家庭と困窮家庭で「とても思う」がそれぞれ 50%前後と、一般家庭の 62.8%に比べて少ない。前回と比べて、「とても思う」は一般家庭で少なくなった一方、困窮家庭で多くなっている。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 自分は家族に大事にされていると思う[%]



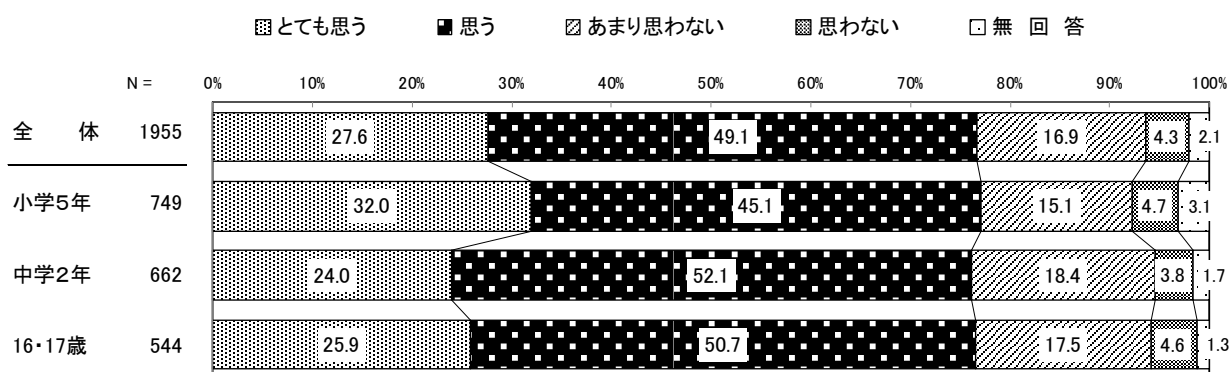
4) 自分は友達に好かれていると思う

自分は友達に好かれていると思うかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が 76.7%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が 21.2%となっている。

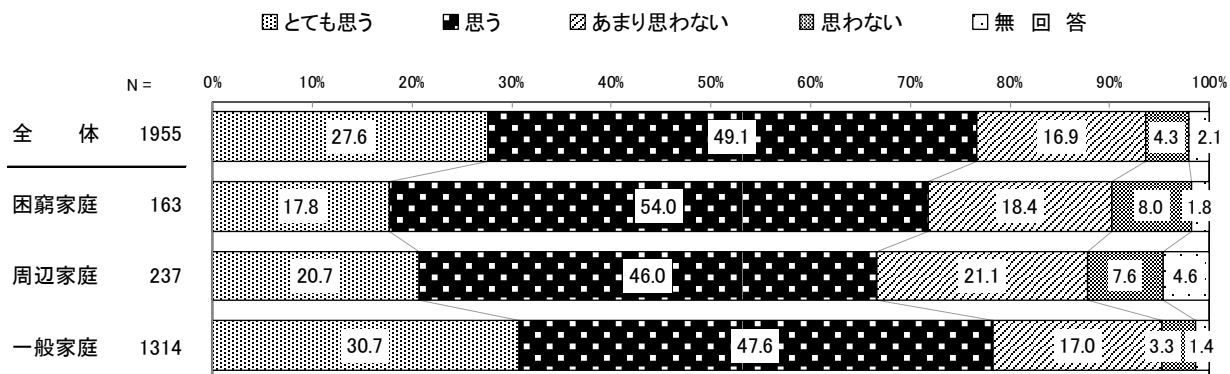
学年別では、「とても思う」は小学5年生が 32.0%で最も多く、他の学年では 25%前後となっている。

生活困窮度別では、周辺家庭と困窮家庭で「とても思う」が 20%前後で、一般家庭の 30.7%に比べて少ない。前回と比べて、一般家庭で「とても思う」、困窮家庭で「思う」の割合が多くなったが、「思わない」は生活困難家庭で多くなっている。

問28自身の気持ち ④友達に好かれている[%]

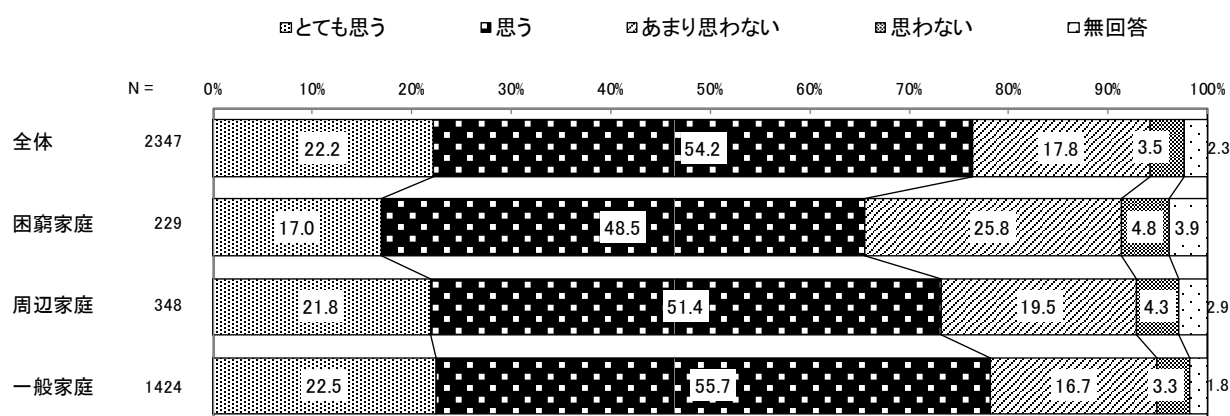


問28自身の気持ち ④友達に好かれている[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 自分は友達に好かれていると思う[%]



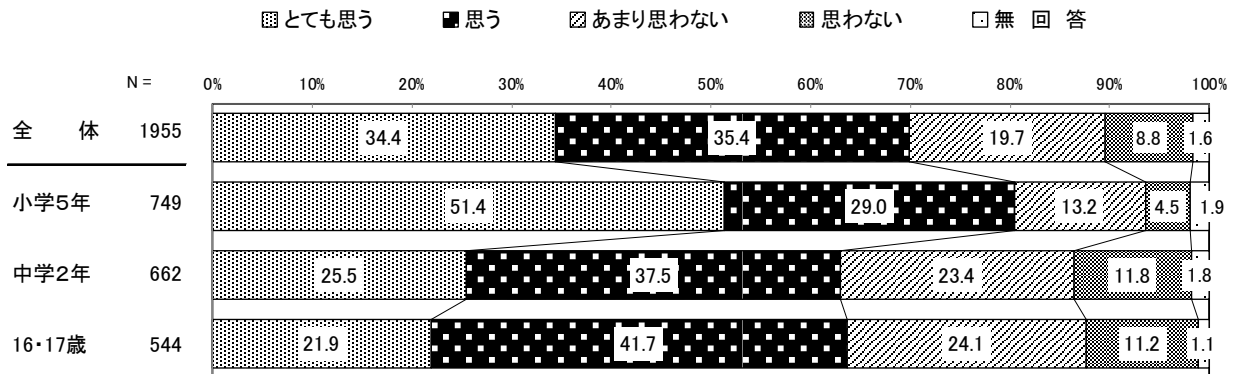
5) 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が69.8%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が28.5%となっている。

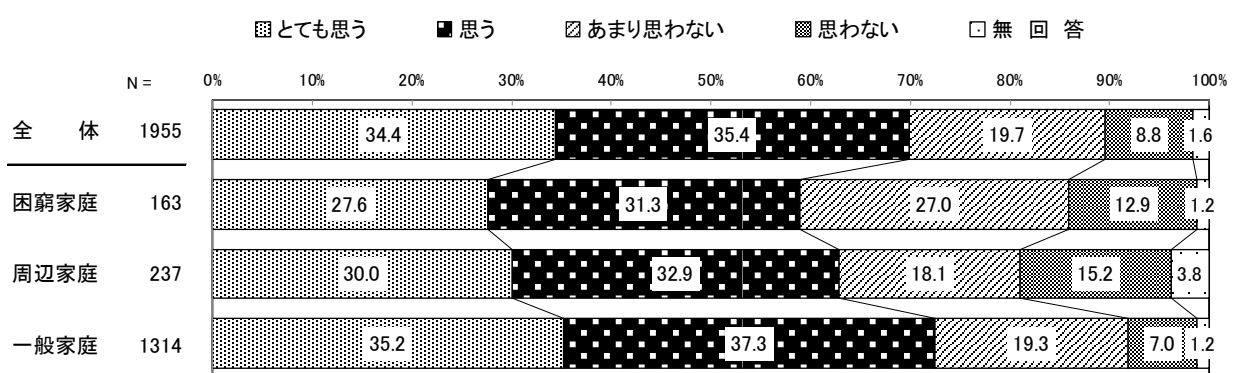
学年別では、『思う』は小学5年で80.4%だが、学年が上がると少なくなり、中学2年で63.0%、16・17歳は63.6%である。

生活困窮度別では、『思う』と回答した割合が困窮家庭で58.9%、周辺家庭で62.9%と、一般家庭の72.5%に比べて少ない。前回と比べて、困窮家庭と周辺家庭は『思う』が少なくなり、周辺家庭では「思わない」が多くなっている。

問28自身の気持ち ⑤自分の将来が楽しみだ[%]

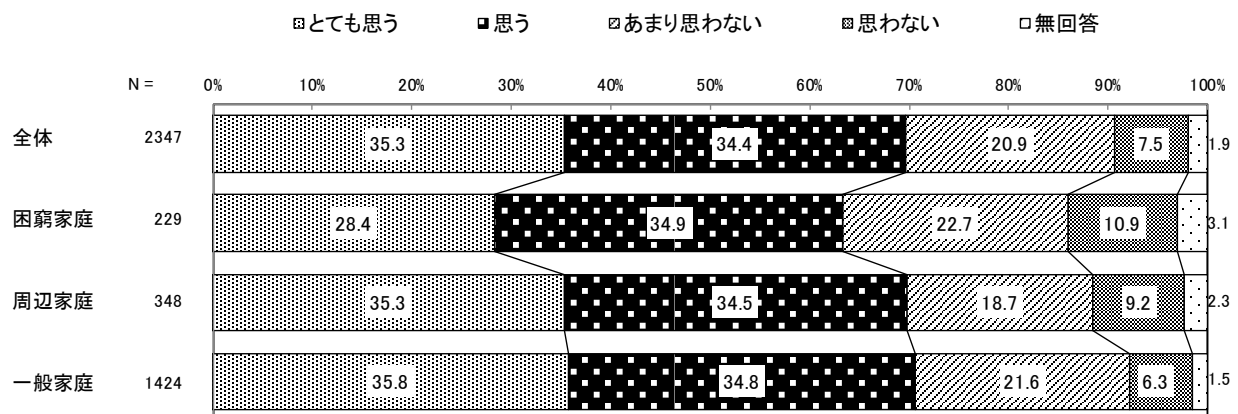


問28自身の気持ち ⑤自分の将来が楽しみだ[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 自分の将来が楽しみだ[%]



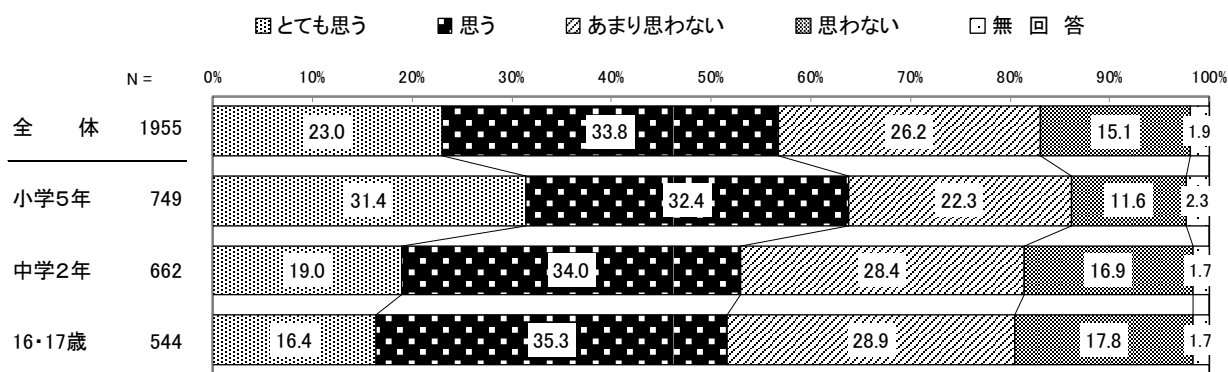
6) 自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が 56.8%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が 41.3%である。

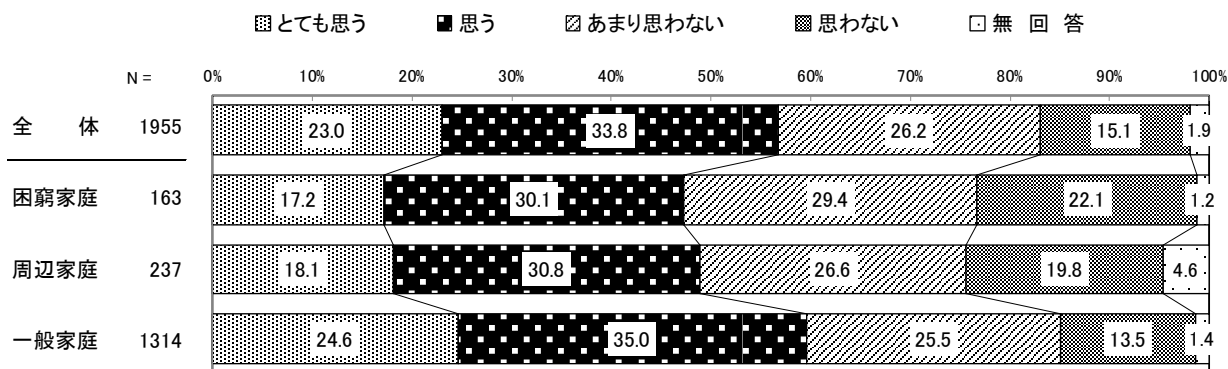
学年別では「とても思う」が小学5年で 31.4%だが、学年が上がると少なくなり、16・17 歳で 16.4%である。

生活困窮度別では、周辺家庭と困窮家庭で『思う』が48%前後と、一般家庭の 59.6%と比べて少ない。前回と比べて、困窮家庭で「とても思う」が多くなっている。

問28自身の気持ち ⑥自分のことが好きだ[%]

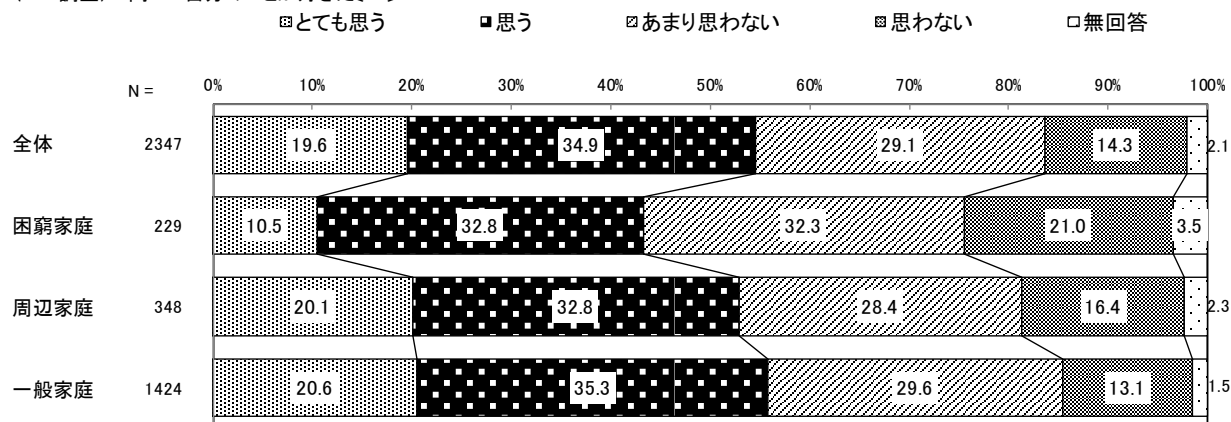


問28自身の気持ち ⑥自分のことが好きだ[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 問35 自分のことが好きだ[%]

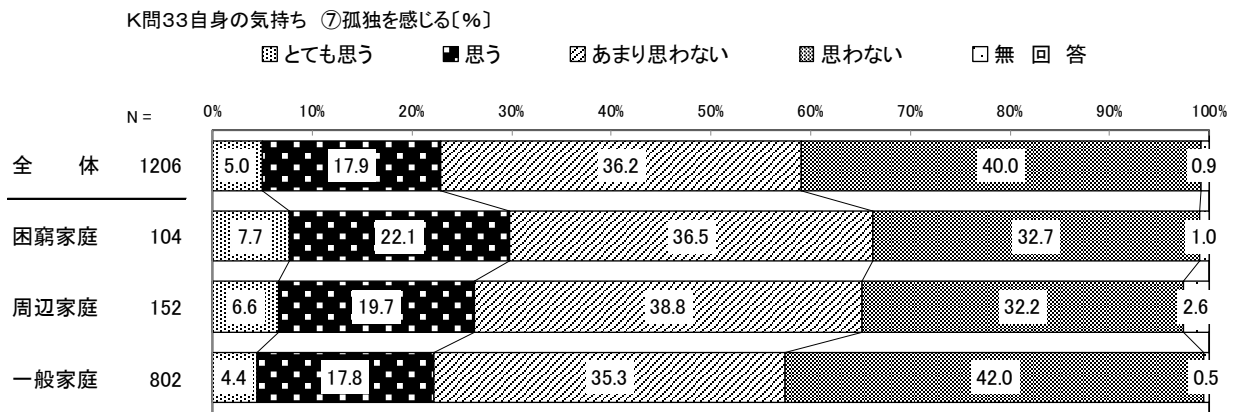
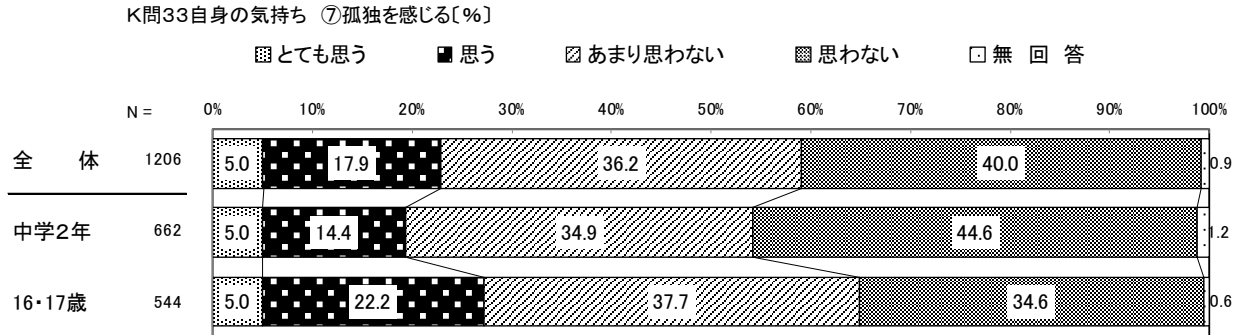


[孤独感]

孤独を感じると思うかについて、『思う』(「とても思う」と「思う」の計)が 22.9%、『思わない』(「あまり思わない」と「思わない」の計)が 76.2%である。

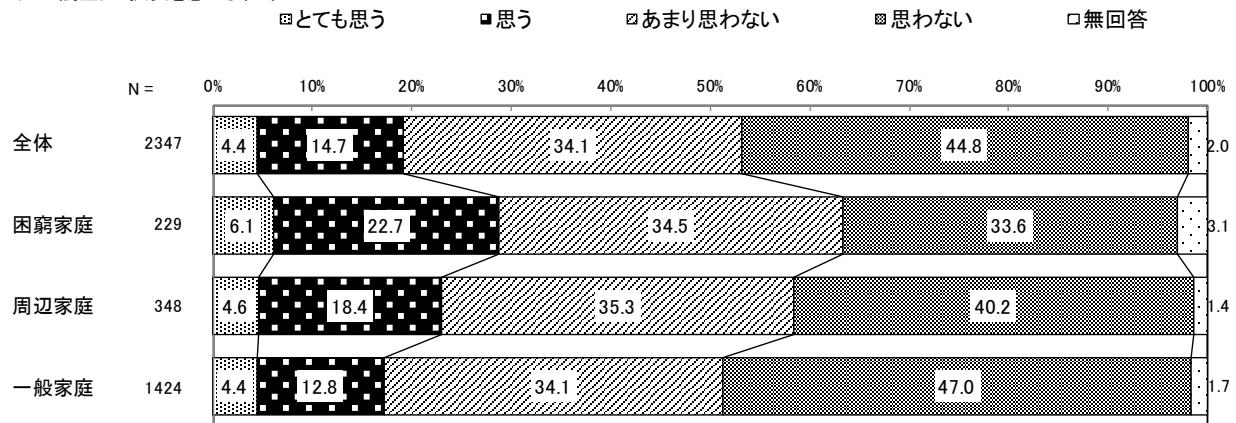
学年別では、中学2年は 19.4%、16・17 歳は 27.2%である。

生活困窮度別では、「とても思う」が生活困難家庭で一般家庭よりやや多く回答されている。



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 孤独を感じる【%】



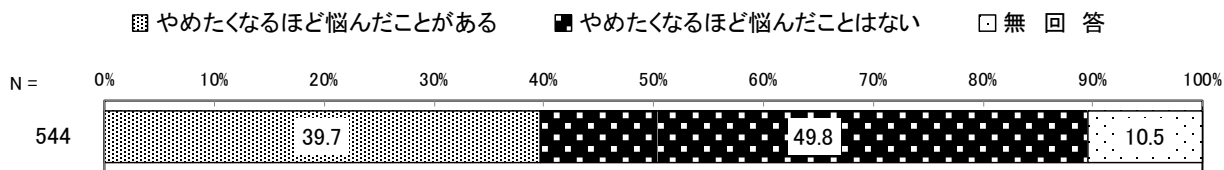
②今までにあったこと

K 問 34 あなたは、これまでに、以下のような理由で、学校をやめたくなるほど、悩んだことがありますか。その理由にあてはまるものがありましたら、すべて○をつけてください。(16・17 歳のみ)

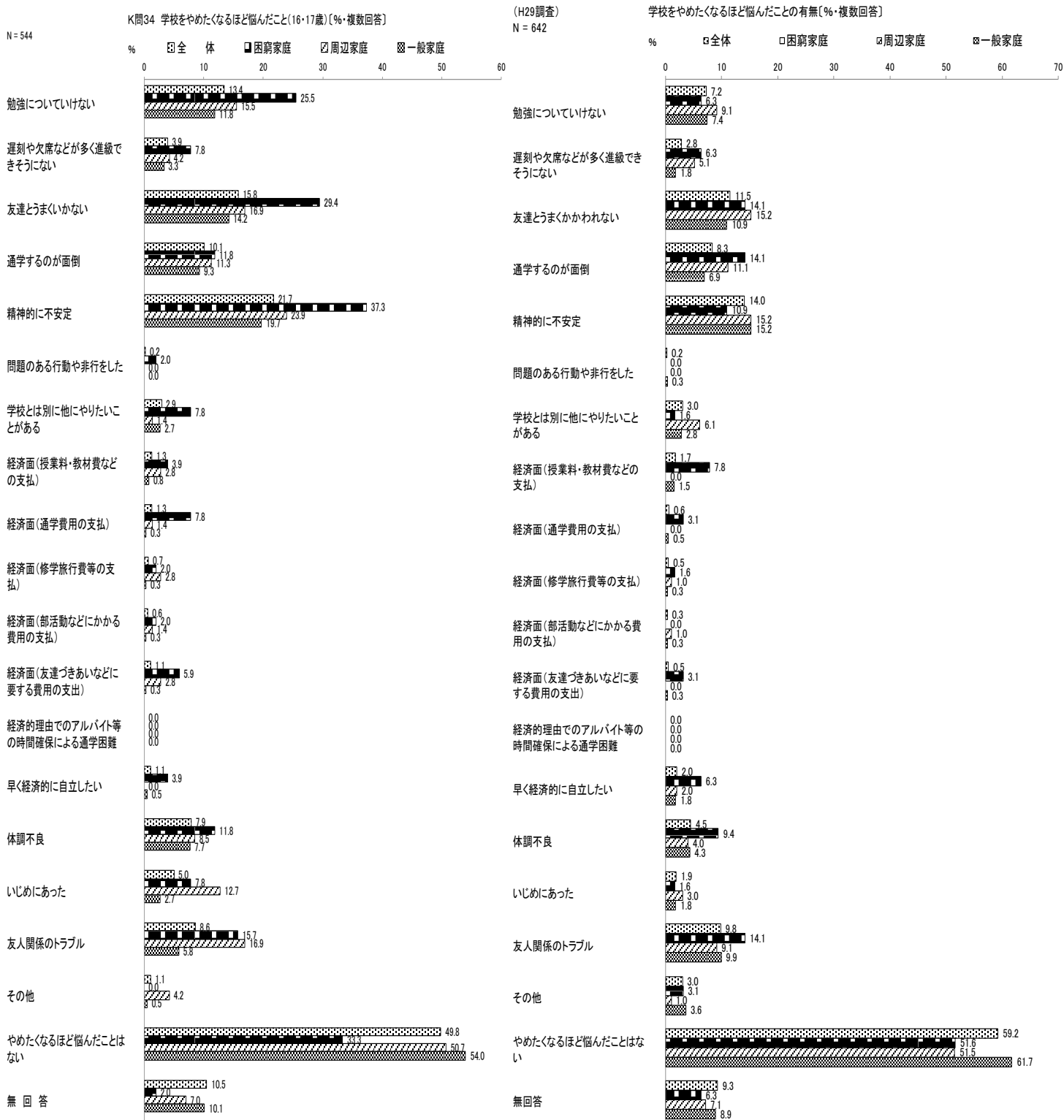
16・17 歳では、学校をやめたくなるほど悩んだことが「ある」が 39.7%、「ない」が 49.8%となっている。前回と比べて、「ある」の回答割合が多くなり、「ない」の回答割合が少なくなっている。「ある」を回答した理由としては「精神的に不安定」が 21.7%、「友達とうまくいかない」が 15.8%となっている。

生活困窮度別では、困窮家庭において「学校をやめたくなくなるほど悩んだことがない」の回答割合は、前回と比べて少なくなっているが、「精神的に不安定」や「友達とうまくいかない」が前回と比べて特になくなっている。

K問34 学校をやめたくなくなるほど悩んだこと(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]



問 29 学校に行きたくないと思ったことがありますか。(小学5年・中学2年)

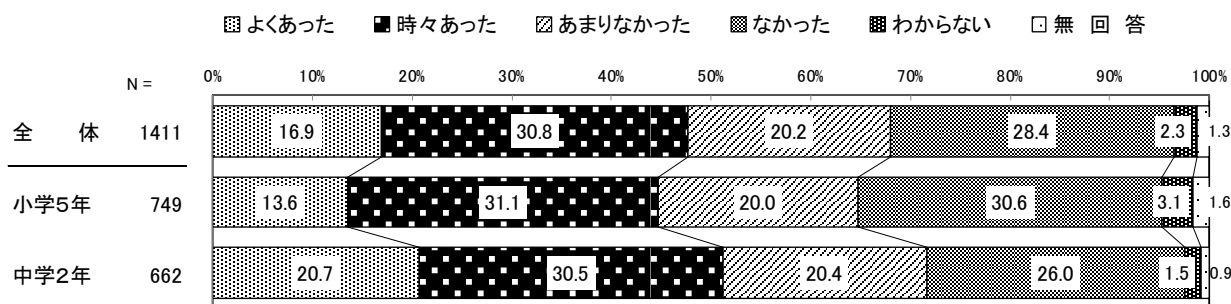
1) あなたは、学校に行きたくないと思った

小学5年と中学2年では、これまでに学校に行きたくないと思ったことが『あった』(「よくあった」と「時々あった」の計)は 47.7%、『なかった』(「あまりなかった」と「なかった」の計)48.6%となっている。前回と比べて、『あった』の割合が多くなり、『なかった』の割合が少なくなっている。

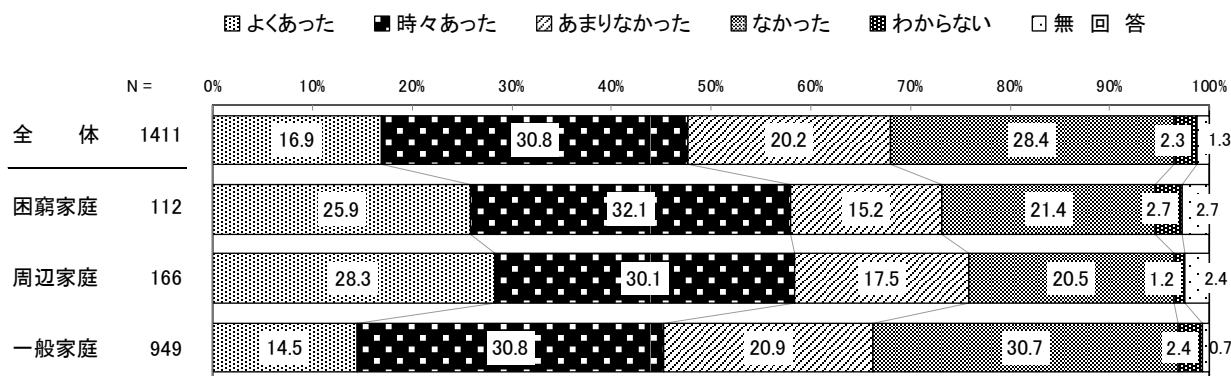
学年別では、小学5年と中学2年ともに『あった』の割合が多くなっている。

生活困窮度別では、前回と比べて、『あった』と回答した割合はどの区分でも多くなっているが、一般家庭と周辺家庭で特に多くなっている。

問29これまでのこと ①学校に行きたくないと思った[%]

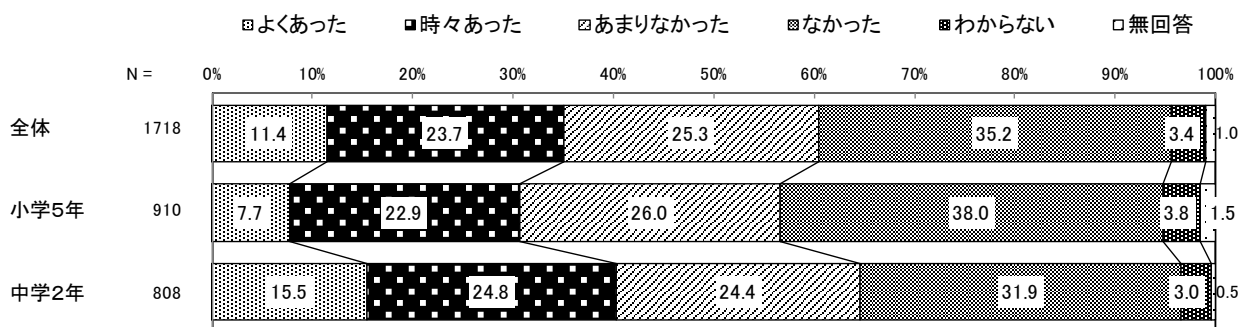


問29これまでのこと ①学校に行きたくないと思った[%]

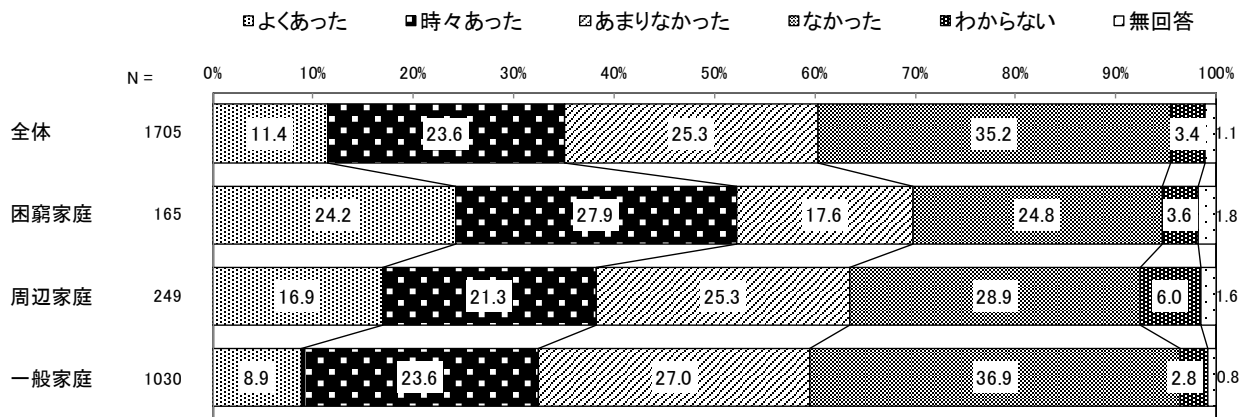


[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 学校に行きたくないと思った[%]



(H29調査) 学校に行きたくないと思った[%]

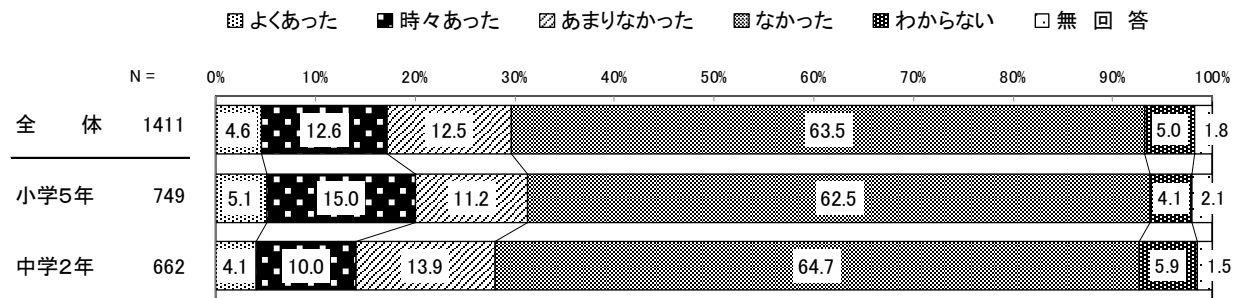


2) いじめられた

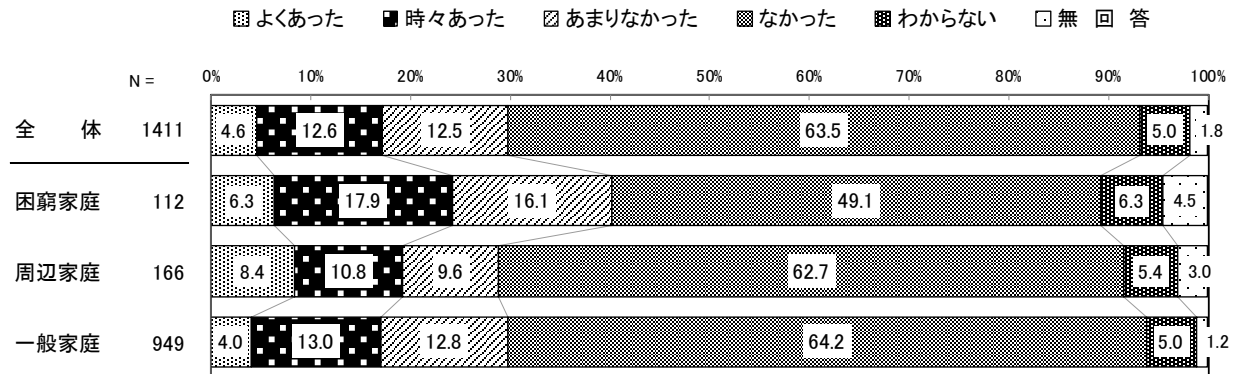
いじめられた経験について、『あった』(「よくあった」と「時々あった」の計)が 17.2%、『なかった』(「あまりなかった」と「なかった」の計)が 76.0%である。

学年別では、『あった』と回答した割合は、各学年で前回よりも多くなっている。

問29これまでのこと ②いじめられた[%]

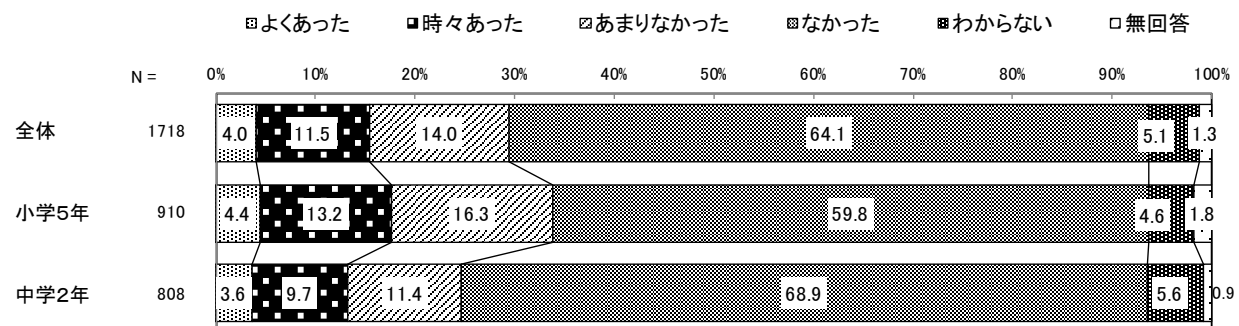


問29これまでのこと ②いじめられた[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 問37 いじめられた[%]



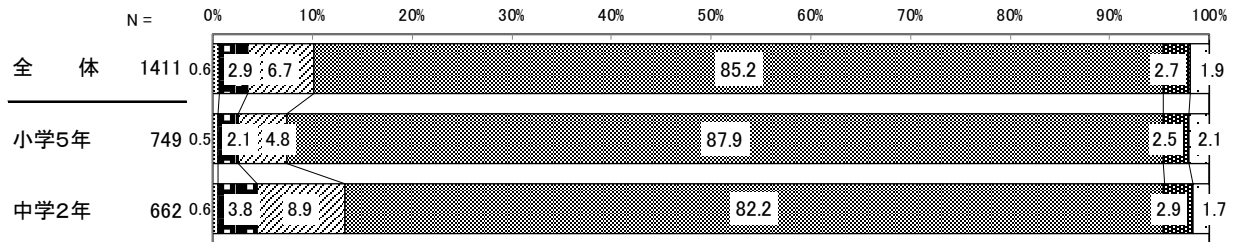
3) 夜遅くまで子どもだけで過ごした

夜遅くまで子どもだけで過ごした経験について、『あった』(「よくあった」と「時々あった」の計)が3.5%で、『なかった』(「あまりなかった」と「なかった」の計)が91.9%となっている。

学年別で前回と比べて、各学年とも『あった』の割合が少なくなっている。

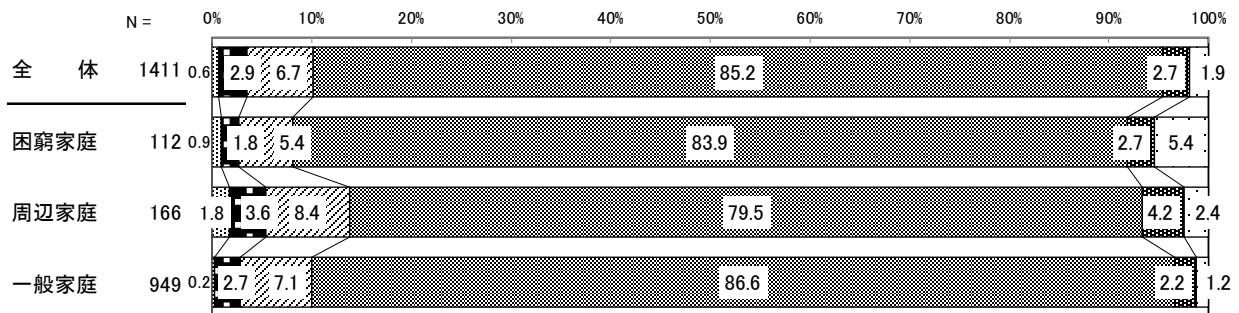
問29これまでのこと ③夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

よくあった ■時々あった □あまりなかった ■なかった ■わからない □無回答



問29これまでのこと ③夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

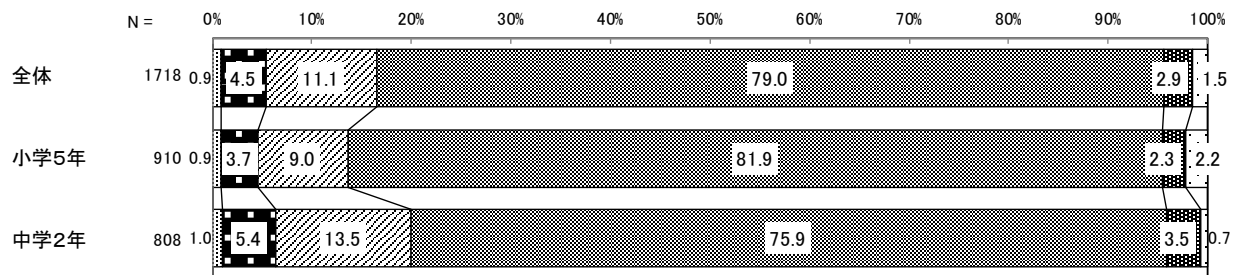
よくあった ■時々あった □あまりなかった ■なかった ■わからない □無回答



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 問37 夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

よくあった ■時々あった □あまりなかった ■なかった ■わからない □無回答



(8)悩みや相談(小学1年以外)

[悩みや心配ごと]

問 30 あなたは、自分や家族のことでなやみや心配ごとがありますか。

自分や家族のことで悩みや心配ごとについて、「勉強のこと」、「悩みや心配ごとはない」、「進学・進路のこと」の上位3項目が 30%を超えて多い。「友達との関係」と「自分の性格のこと」は、それぞれ 22%台となり、前回よりやや多い。

学年別では、「悩みや心配ごとはない」は学年が上がるると少なくなっている。中学2年では「勉強のこと」が 53.9%、16・17 歳では「進学・進路のこと」が 45.8%と多く、また「自分の性格のこと」は中学2年で 27.3%、16・17 歳で 19.7%と多く回答されている。

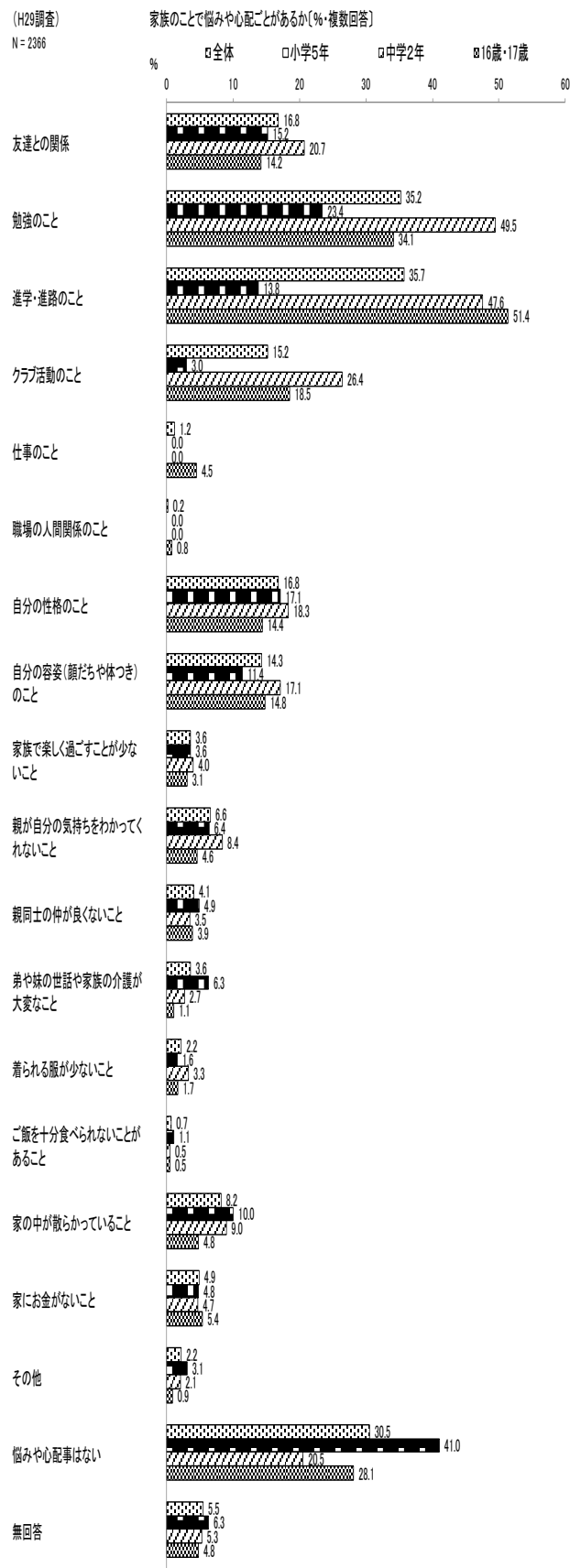
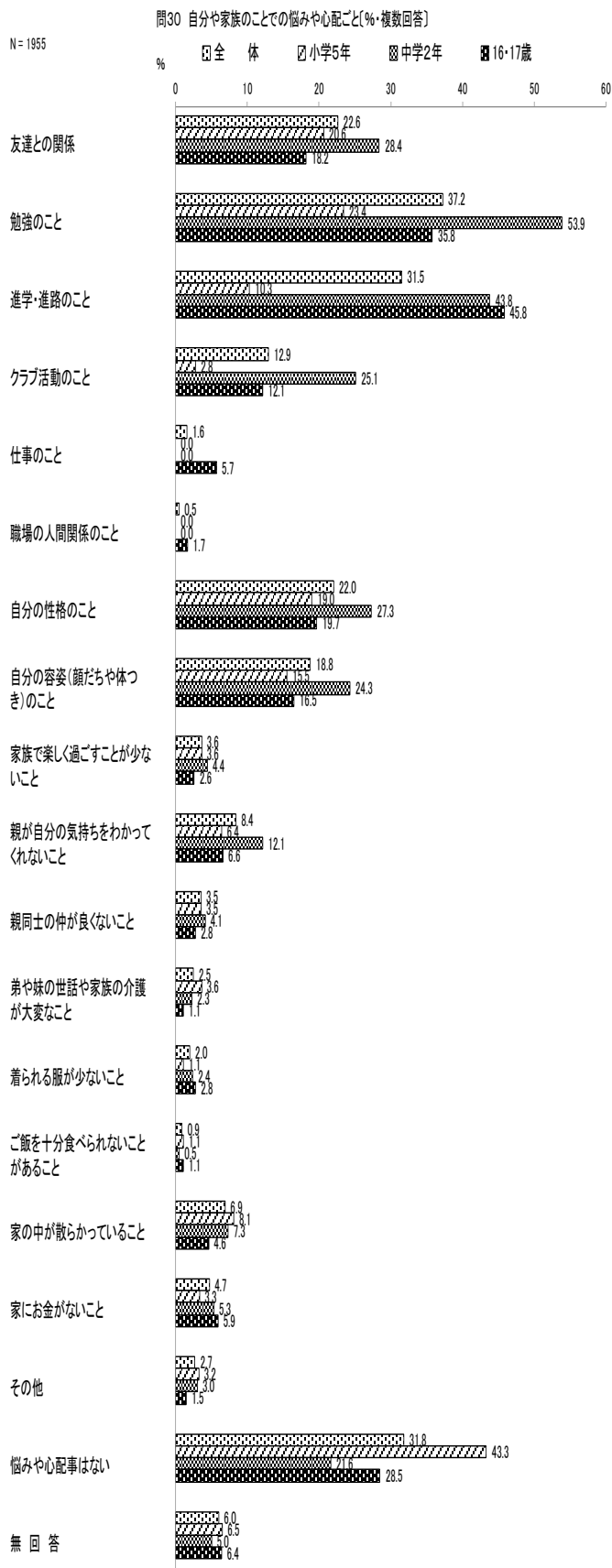
生活困窮度別では、生活困難家庭で「進学・進路のこと」は 40%を超えており、一般家庭と比べて多く回答されている。

悩みや心配ごと(上位5位)

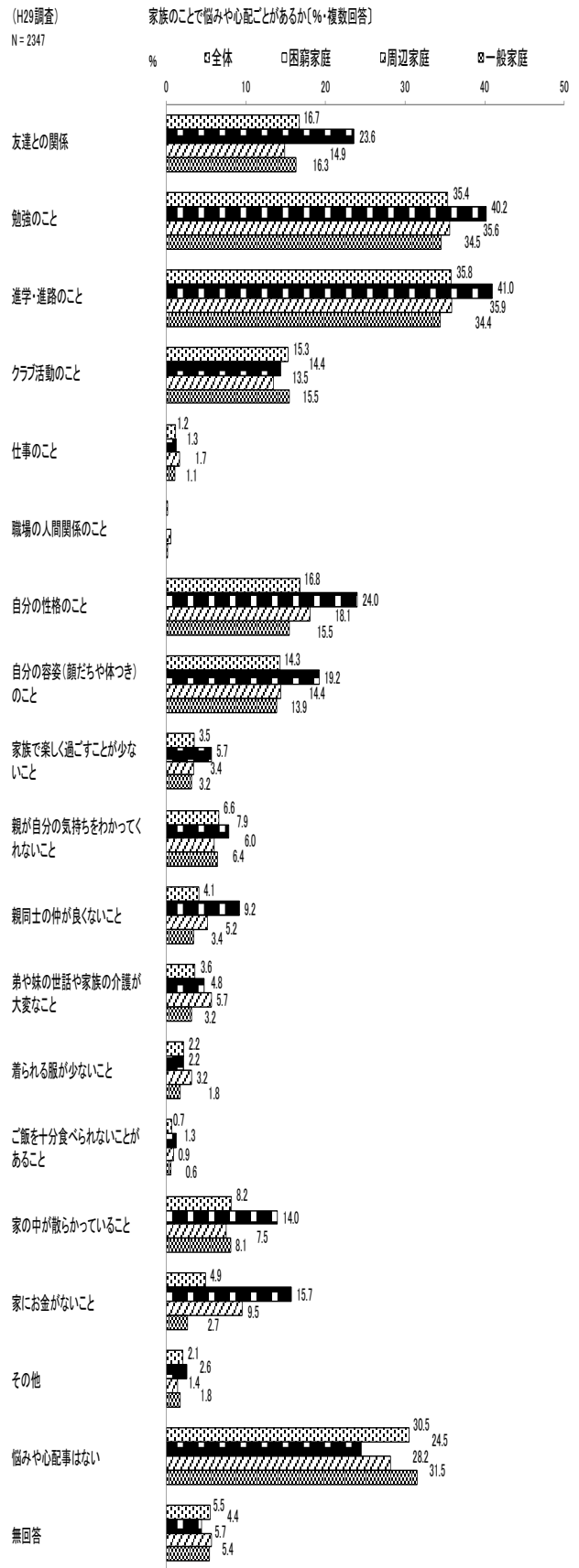
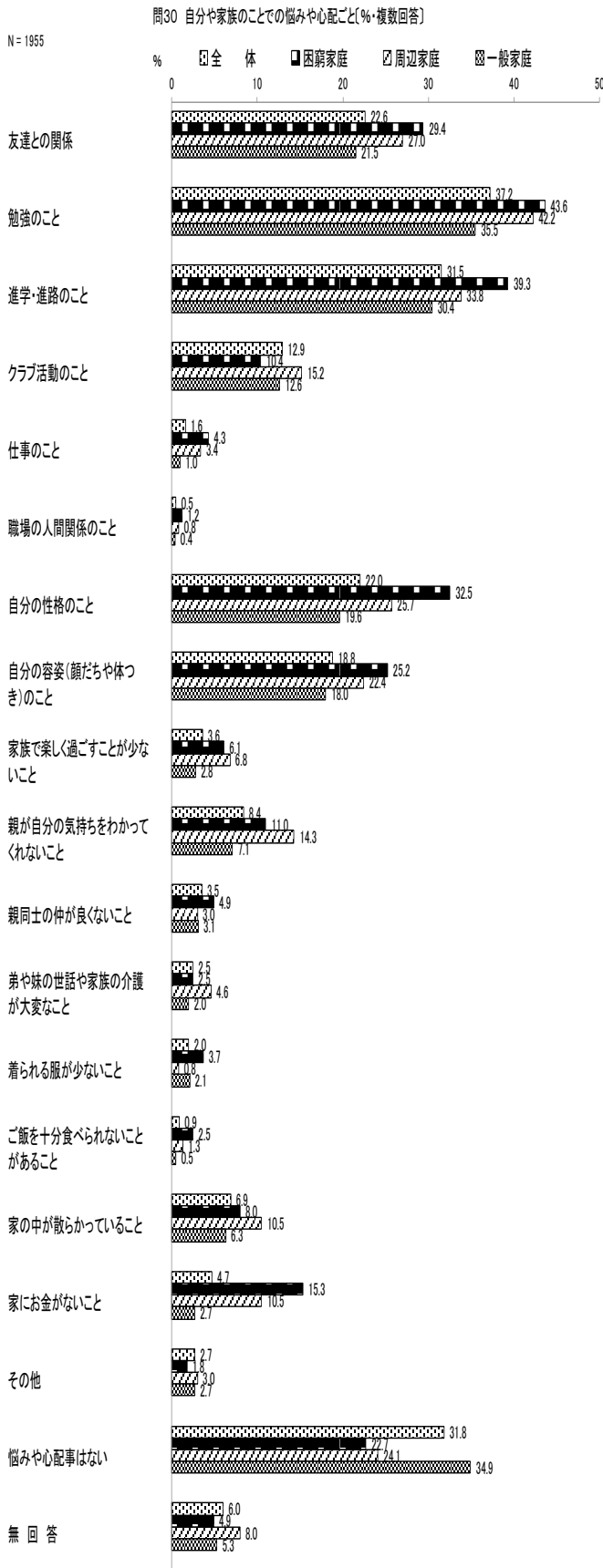
今回	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	勉強のこと (37.2%)	悩みや心配ごとはない(31.8%)	進学・進路のこと (31.5%)	友達との関係 (22.6%)	自分の性格のこと (22.0%)
小学5年	悩みや心配ごとはない(43.3%)	勉強のこと (23.4%)	友達との関係 (20.6%)	自分の性格のこと (19.0%)	自分の容姿(顔だちや体つき)のこと (15.5%)
中学2年	勉強のこと (53.9%)	進学・進路のこと (43.8%)	友達との関係 (28.4%)	自分の性格のこと (27.3%)	クラブ活動のこと (25.1%)
16・17 歳	進学・進路のこと (45.8%)	勉強のこと (35.8%)	悩みや心配ごとはない(28.5%)	自分の性格のこと (19.7%)	友達との関係 (18.2%)

前回	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	進学・進路のこと (35.7%)	勉強のこと(35.2%)	悩みや心配事はない (30.5%)	友達との関係 自分の性格のこと (16.8%) (16.8%)	
小学5年	悩みや心配事はない(41.0%)	勉強のこと(23.4%)	自分の性格のこと (17.1%)	友達との関係 (15.2%)	進学・進路のこと (13.8%)
中学2年	勉強のこと (49.5%)	進学・進路のこと (47.6%)	クラブ活動のこと (26.4%)	友達との関係 (20.7%)	悩みや心配事はない(20.5%)
16・17 歳	進学・進路のこと (51.4%)	勉強のこと(34.1%)	悩みや心配事はない(28.1%)	クラブ活動のこと (18.5%)	自分の容姿(顔だちや体つき)のこと (14.8%)

[参考: 前回調査結果]



[参考: 前回調査結果]

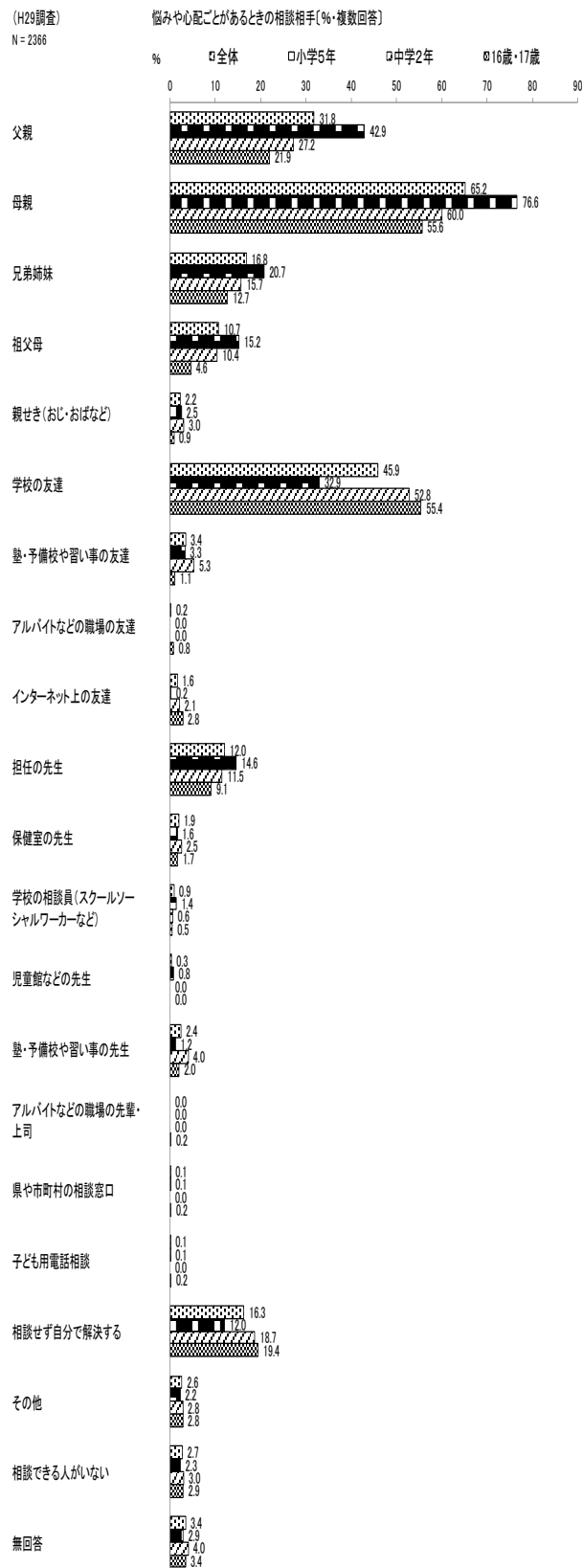
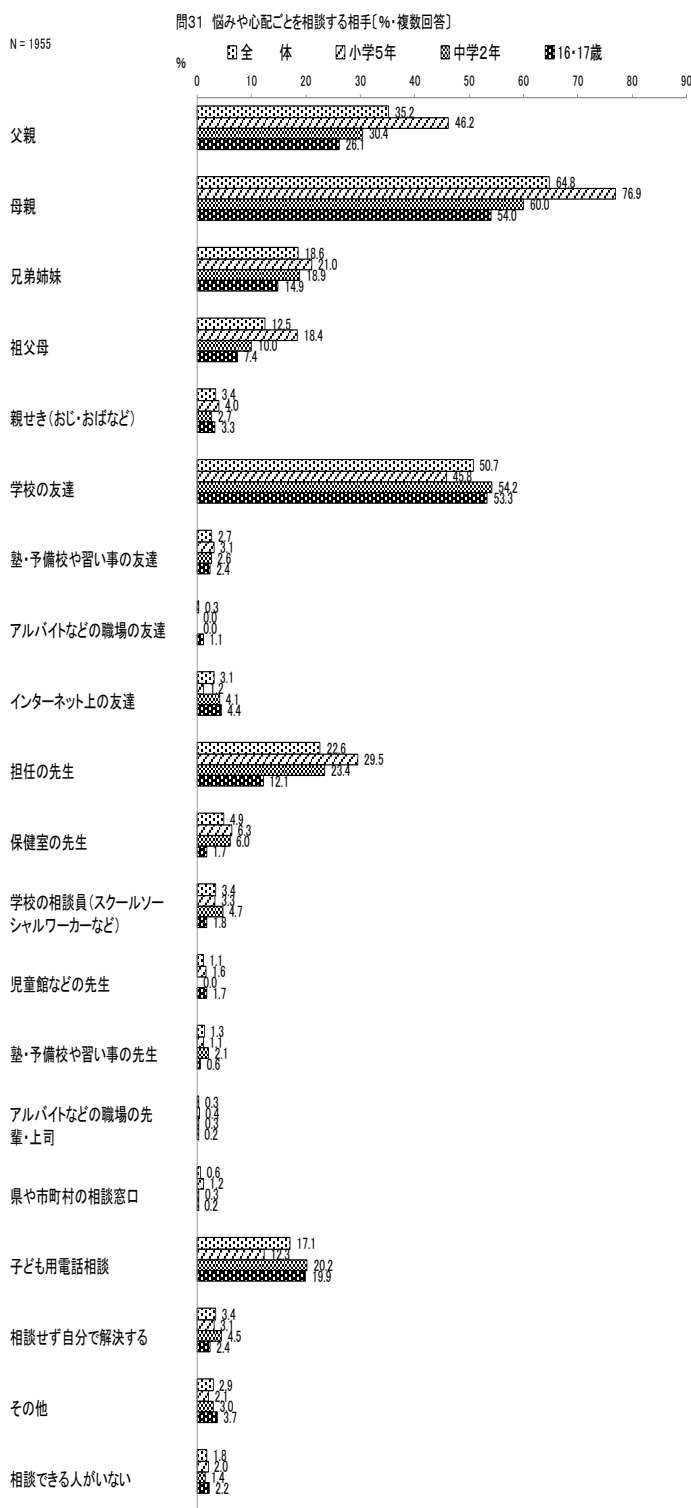


問 31 あなたは、悩みや心配事があるとき、だれに相談しますか。

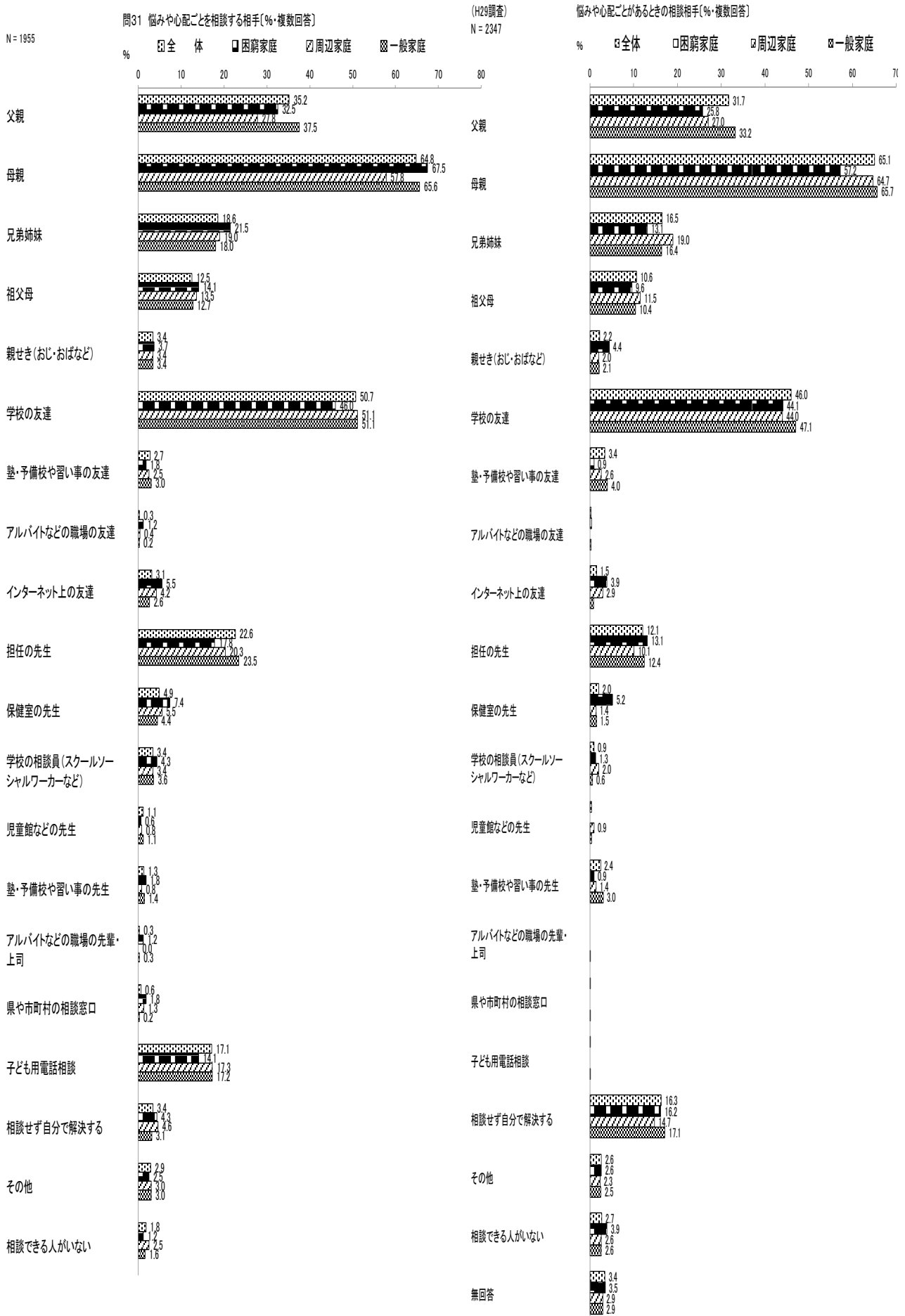
悩みや心配ごとを相談する相手は、「母親」が 64.8%と最も多く、次いで「学校の友達」が 50.7%、「父親」が 35.2%などとなっている。

学年別では、「担任の先生」が小学5年で 29.5%と最も多く、学年が上がるにつれ、その割合が少なくなっている。また、「子ども用電話相談」が中学2年で 20.2%、16・17歳で 19.9%と前回よりも多くなっている。

[参考: 前回調査結果]



[参考: 前回調査結果]



(9)サービスや支援策の利用・関心(小学1年以外)

問 32 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

1) 平日の放課後に夜までいることができる場所

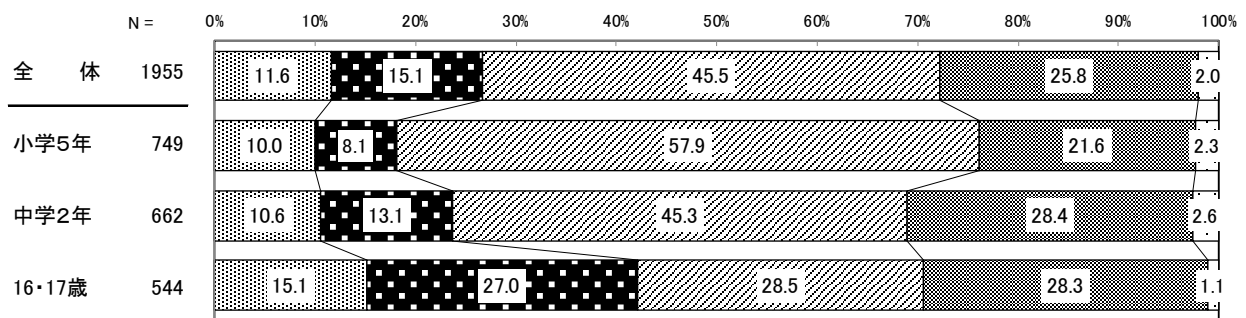
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)は 26.7%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)が 71.3%となっている。

学年別では、16・17歳で『関心がある』が42.1%と他の学年に比べて多い。

問32利用(意向) ①平日放課後に夜までいられる場所[%]

利用したことがある
 今後も利用したいと思わない
 無回答

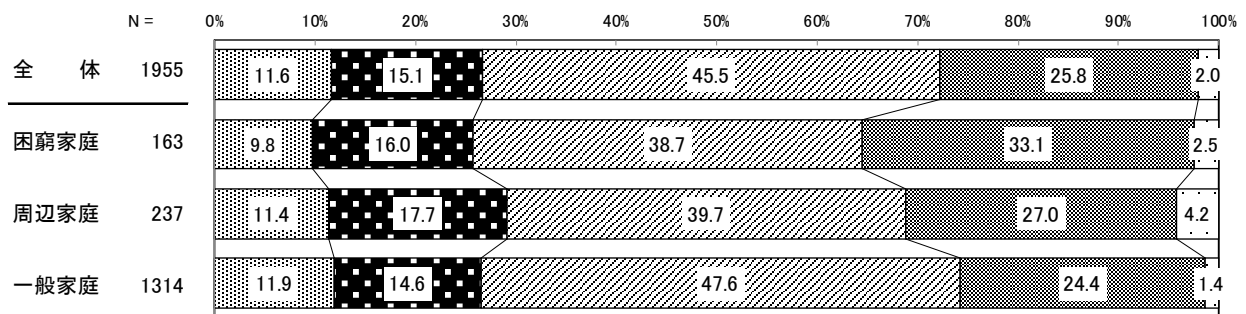
あれば利用したいと思う
 今後利用したいかどうかわからない



問32利用(意向) ①平日放課後に夜までいられる場所[%]

利用したことがある
 今後も利用したいと思わない
 無回答

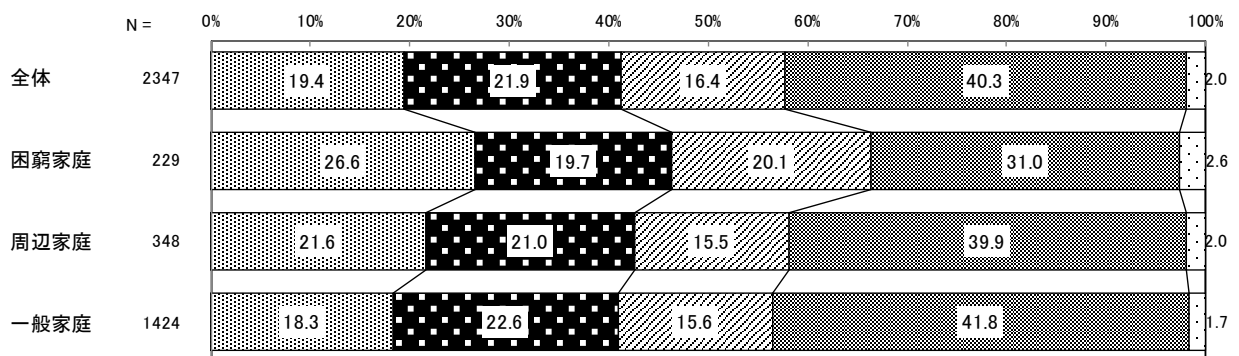
あれば利用したいと思う
 今後利用したいかどうかわからない



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 平日の放課後に夜までいることができる場所[%]

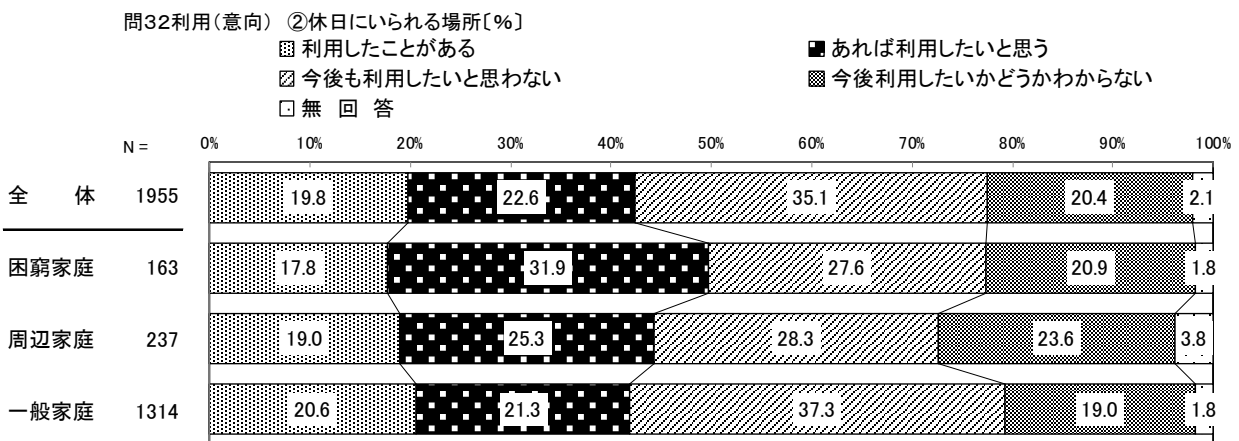
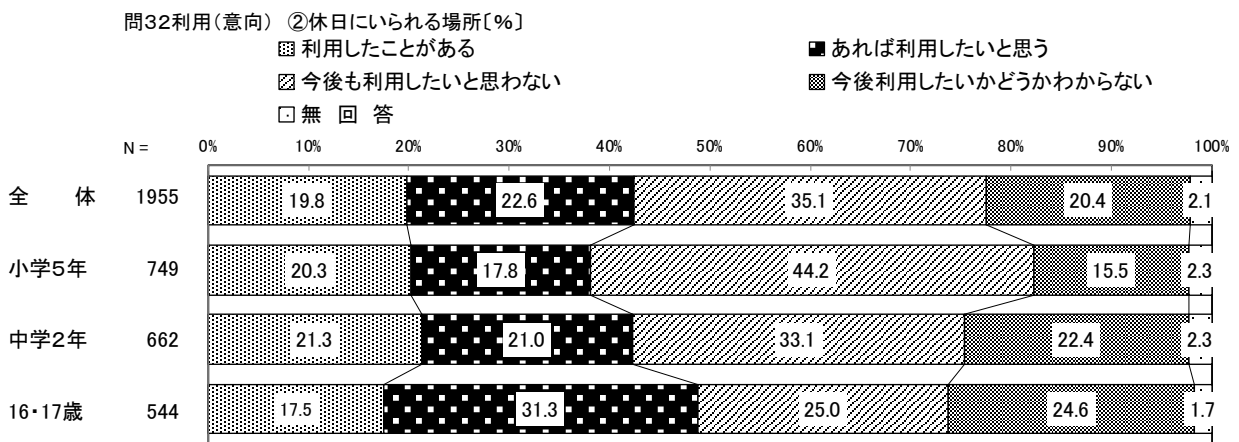
使ってみたい 興味がある 使いたくない 使う必要はない 無回答



2) 休日にいることができる場所

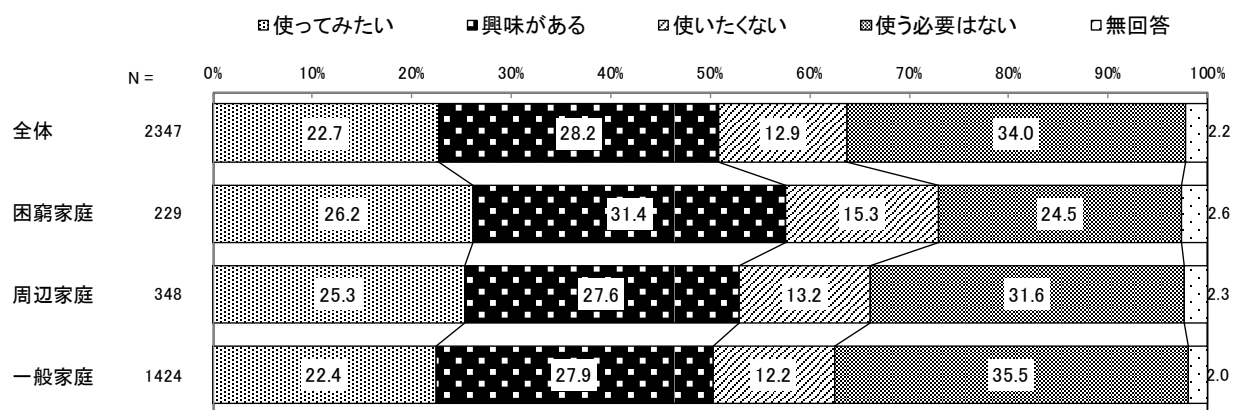
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)は 42.4%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうか分からない」の計)は 55.5%である。

生活困窮度別では、困窮家庭で他の区分よりも『関心がある』と回答した割合が多くなっている。



[参考: 前回調査結果]

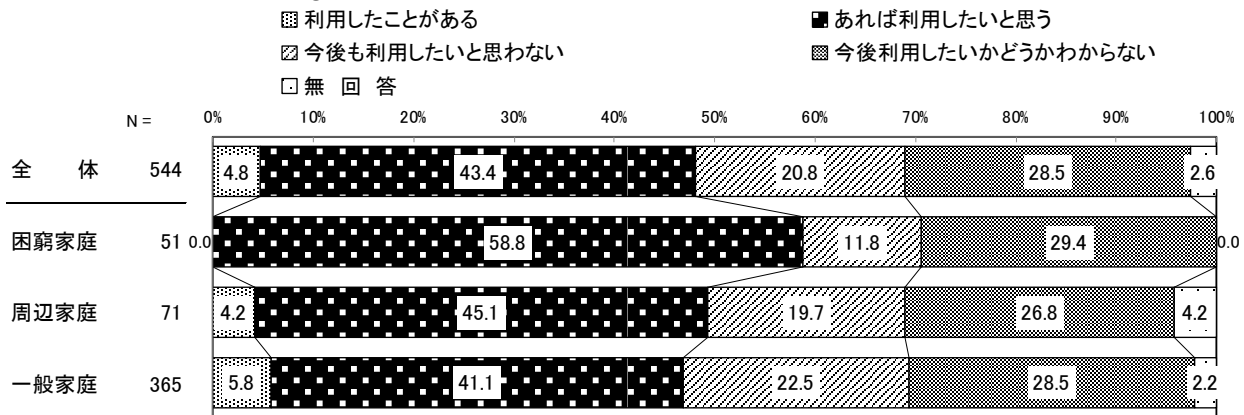
(H29調査) 休日にいることができる場所[%]



3) 学校における無料の給食サービス (16・17歳のみ)

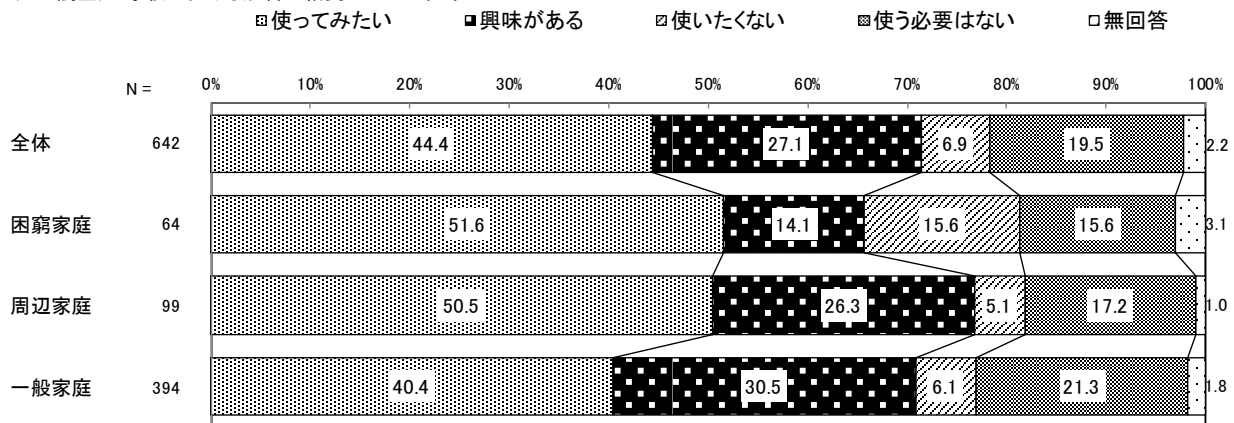
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)が 48.2%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)は 49.3%である。
生活困窮度別では、困窮家庭で「あれば利用したいと思う」が 58.8%と他の区分に比べて多い。

K問37利用(意向) ③学校での無料給食サービス(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 学校における無料の給食サービス[%]

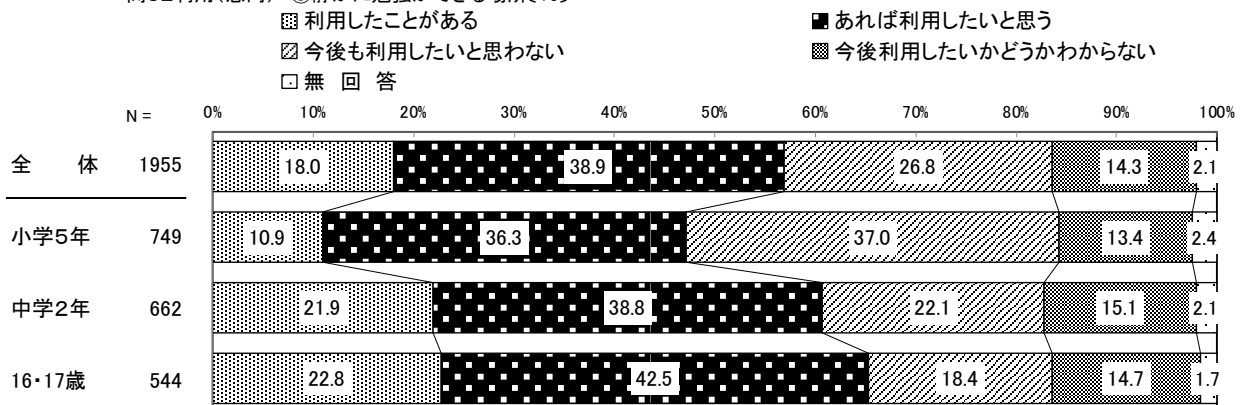


4) 家で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所

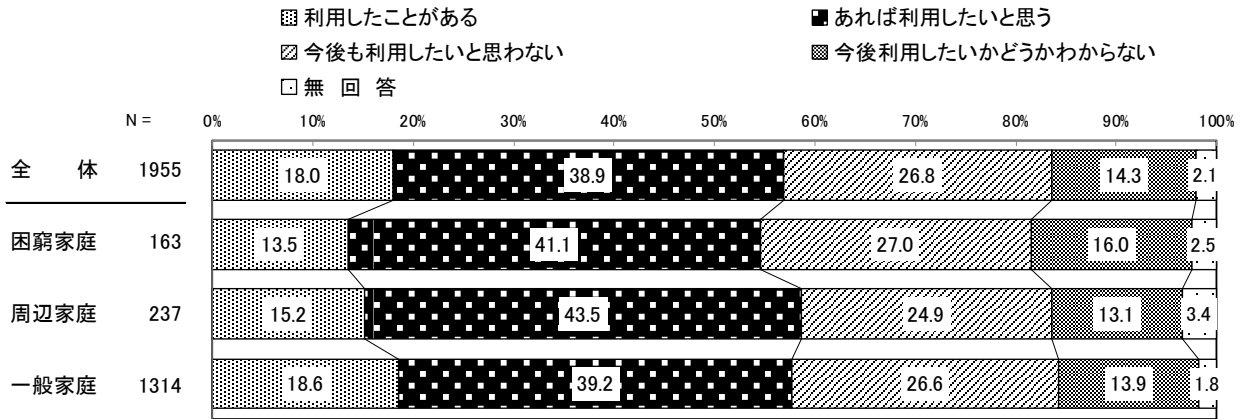
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)が 56.9%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)は 41.1%である。

学年別では、『関心がある』が小学5年で 47.2%だが、学年が上がるにつれ多くなり、中学2年で 60.7%、16・17歳で 65.3%である。

問32利用(意向) ③静かに勉強ができる場所[%]

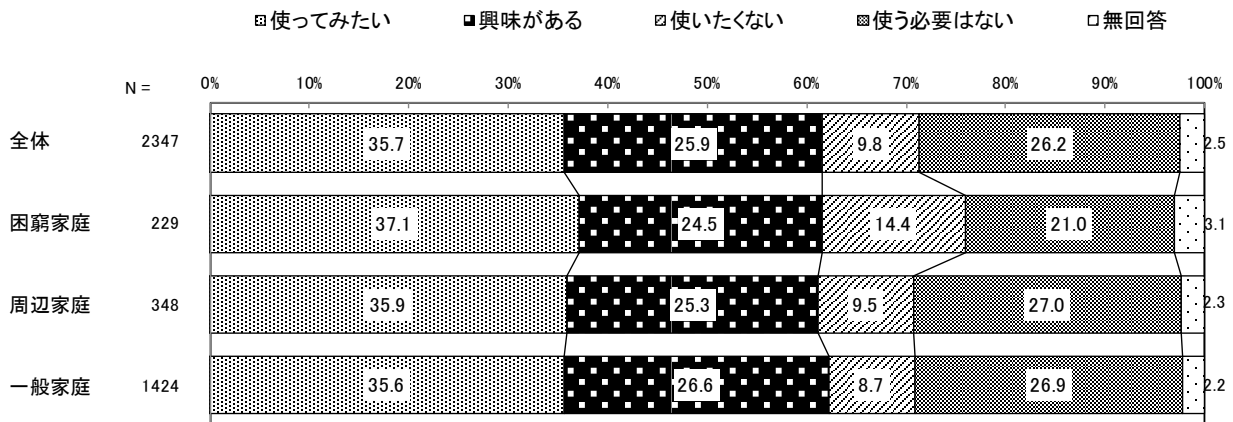


問32利用(意向) ③静かに勉強ができる場所[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所[%]

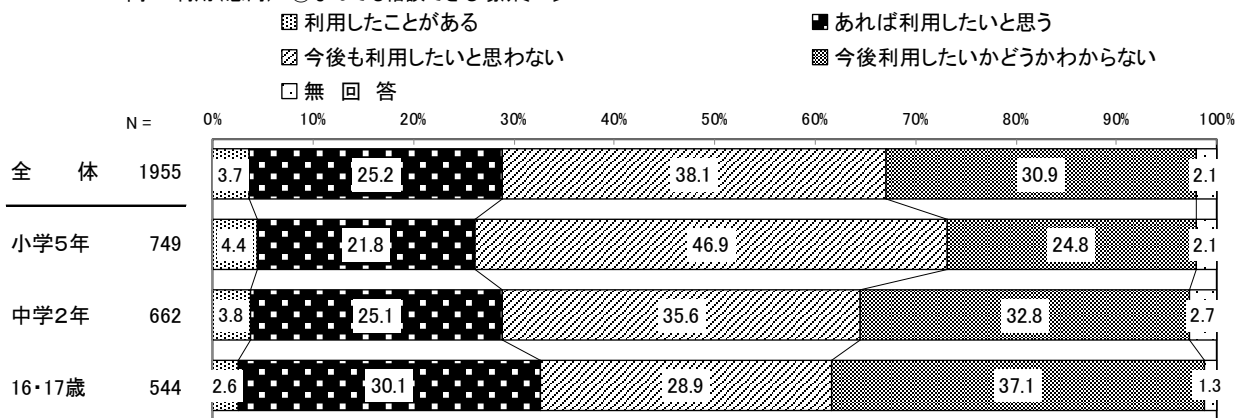


5) なんでも相談できる場所

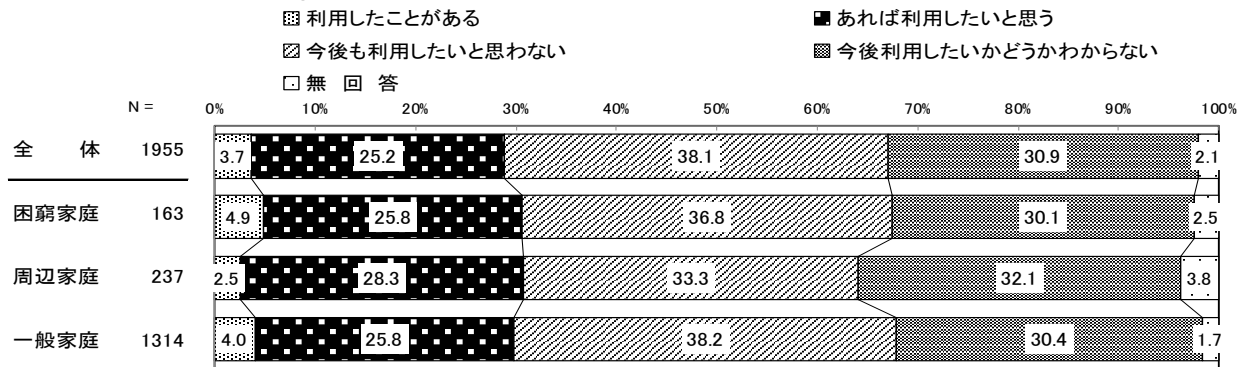
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)が 28.9%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)が 69.0%となっている。

学年別では、学年が上がるにつれ、『関心がある』と回答した割合が多くなっている。

問32利用(意向) ④なんでも相談できる場所[%]

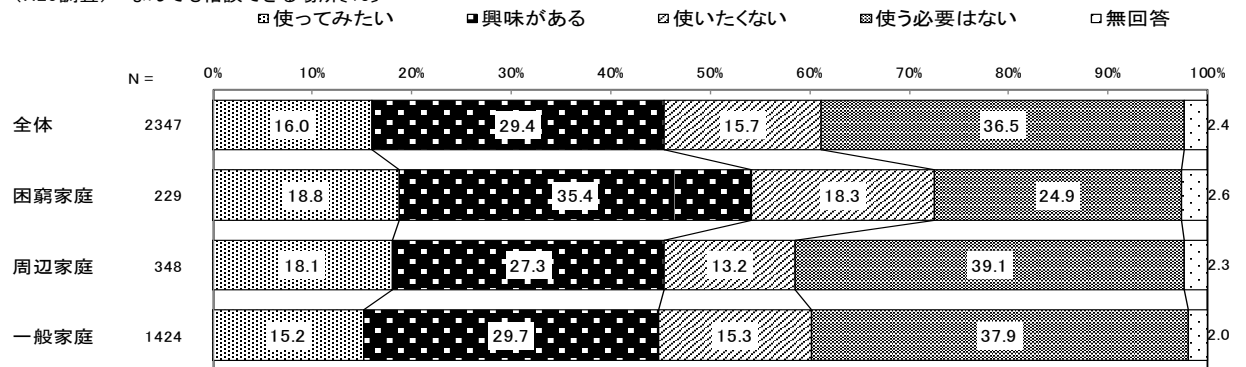


問32利用(意向) ④なんでも相談できる場所[%]



[参考: 前回調査結果]

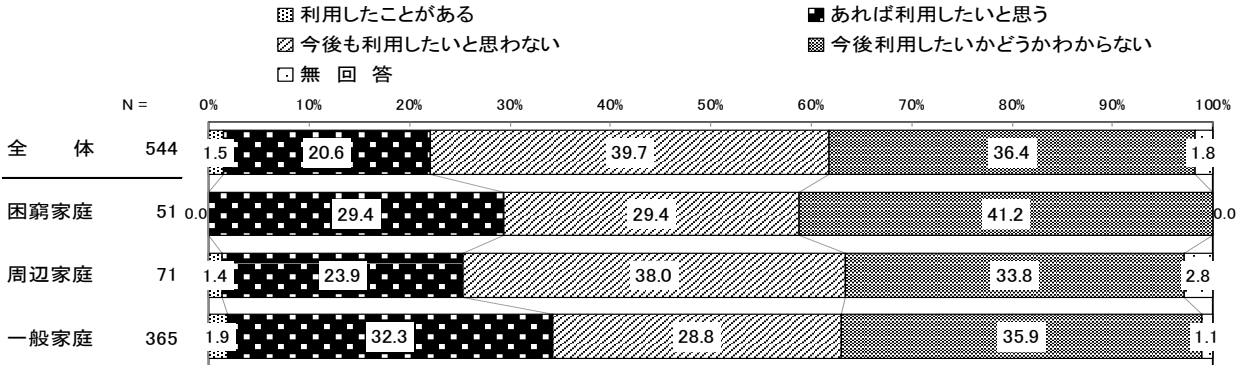
(H29調査) なんでも相談できる場所[%]



6) 低額・無料で通信教育が受けられるサービス (16・17歳のみ)

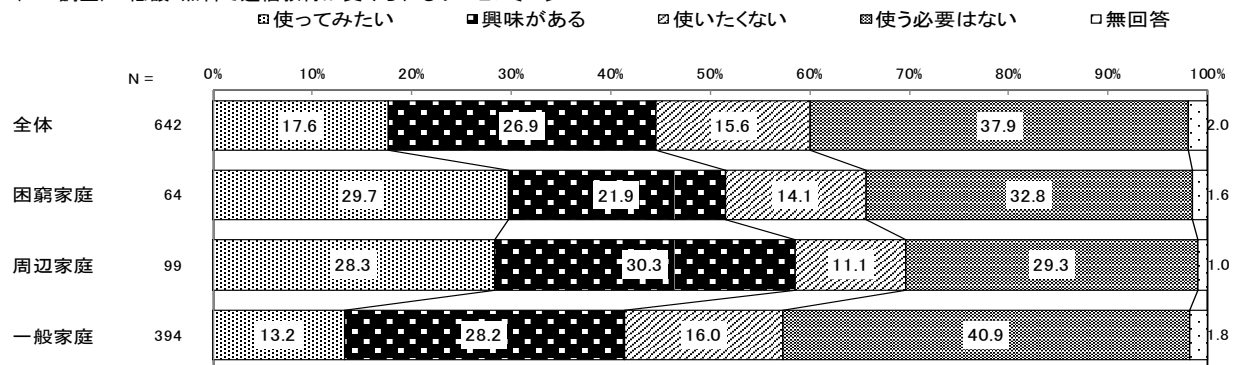
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)が 22.1%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうか分からない」の計)が 76.1%となっている。

K問37利用(意向) ⑥低額で受けられる通信教育(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

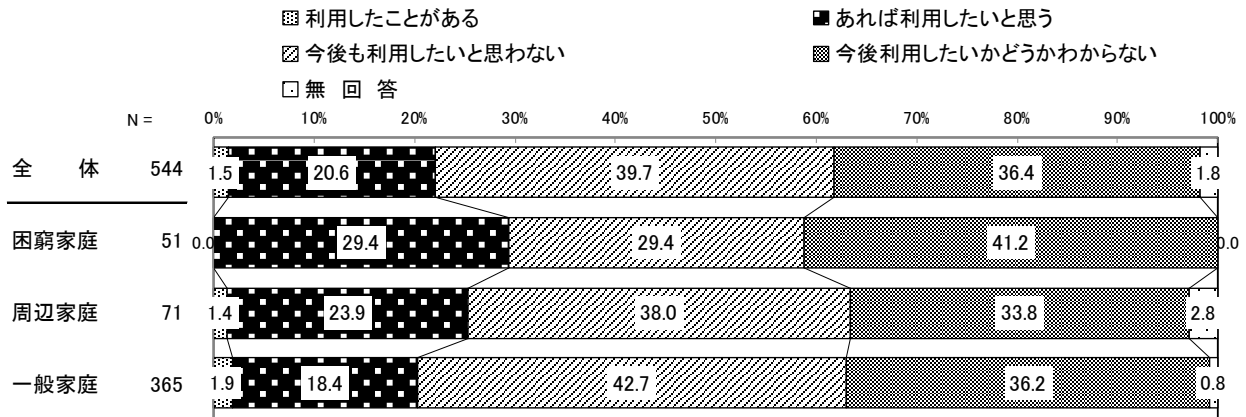
(H29調査) 低額・無料で通信教育が受けられるサービス[%]



7) 家から出て学校に通うことができる定額・無料の寮(16・17歳のみ)

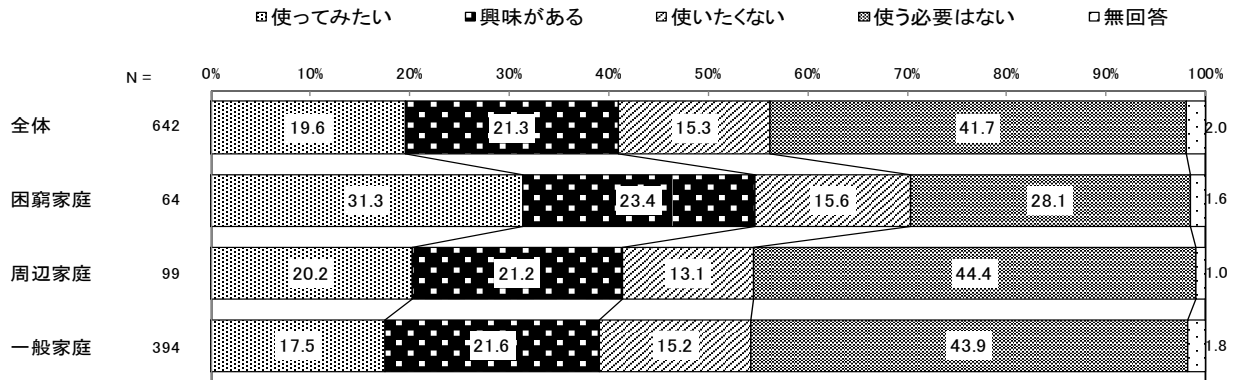
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)は 22.1%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)が 76.1%となっている。

K問37利用(意向) ⑦通学できる低額・無料の寮(16・17歳)[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮[%]



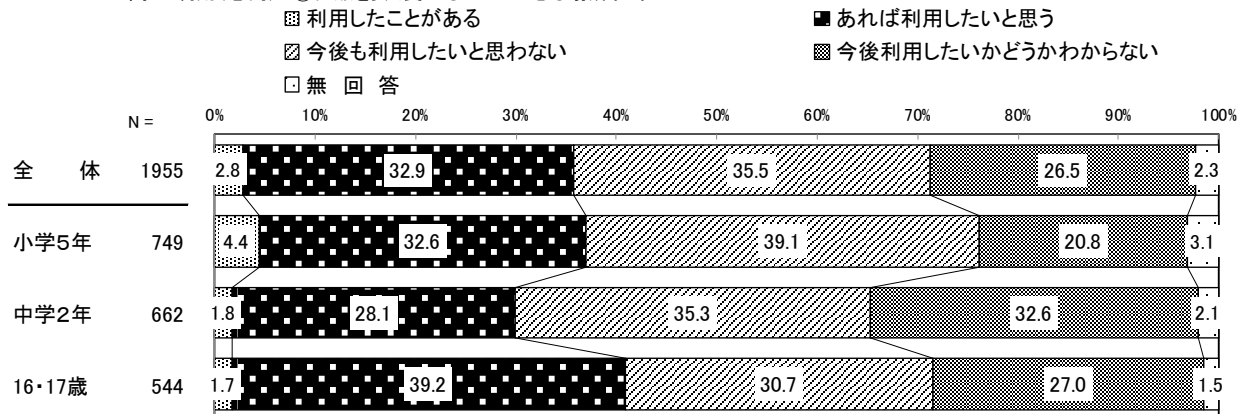
8) タごはんを無料か安く食べることができる場所

『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)は 35.7%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)が 62.0%となっている。

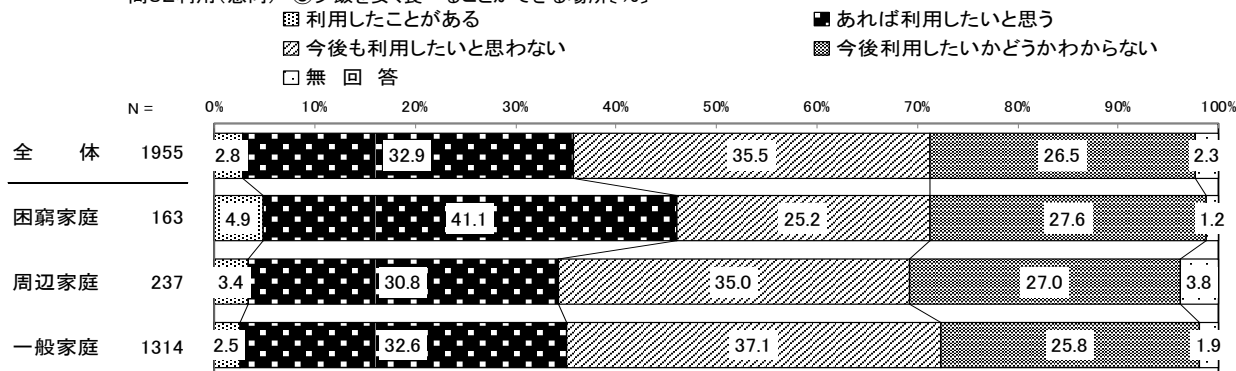
学年別では、『関心がある』が中学2年で 29.9%と他の学年に比べて少ない。

生活困窮度別では、困窮家庭で『関心がある』が 46.0%と他の区分に比べて多い。

問32利用(意向) ⑤夕飯を安く食べることができる場所[%]

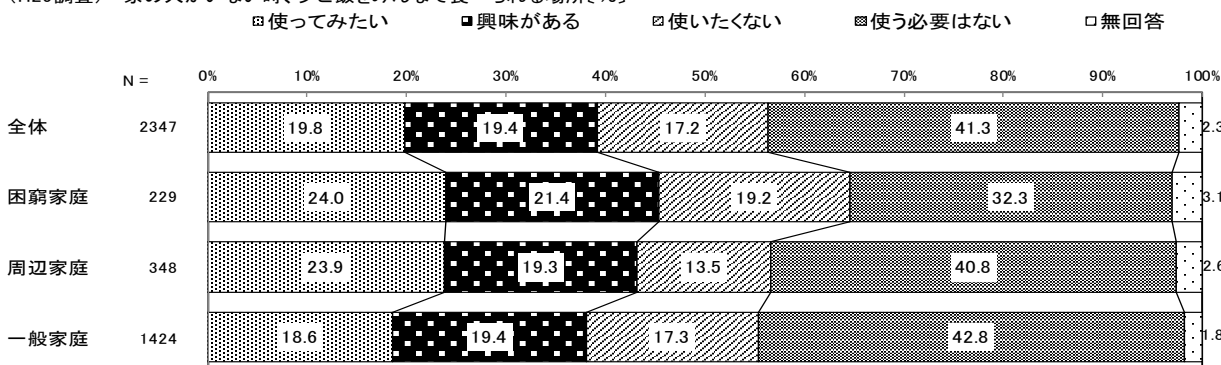


問32利用(意向) ⑤夕飯を安く食べることができる場所[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 家の人がいない時、夕ご飯をみんなで食べられる場所[%]

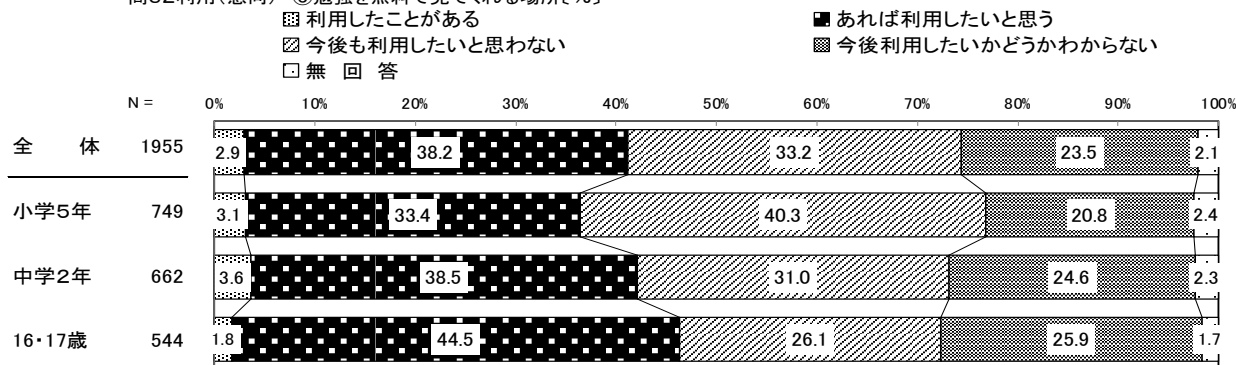


9) 勉強を無料で見てくれる場所

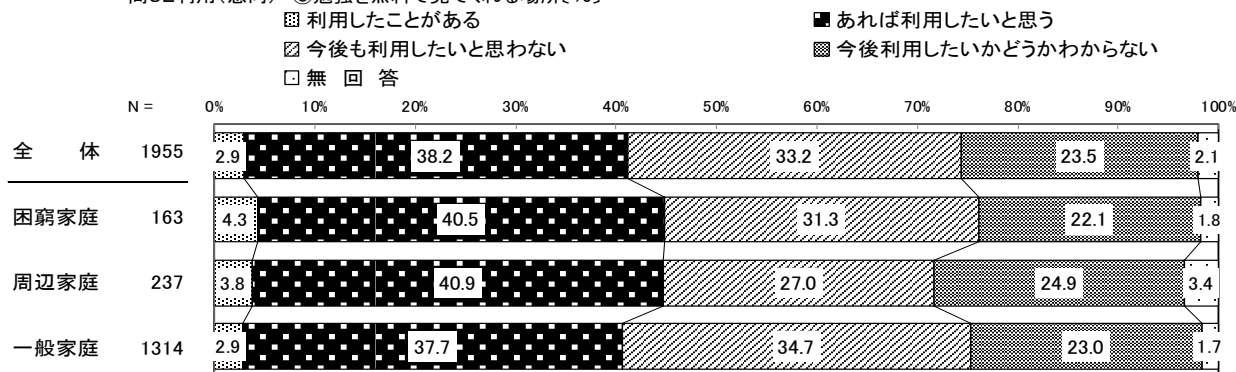
『関心がある』(「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の計)は 41.1%、『関心がない』(「今後も利用したいと思わない」と「今後も利用したいかどうかわからない」の計)が 56.7%となっている。

学年別では、学年が上がるにつれ、『関心がある』の回答割合が多くなっている。

問32利用(意向) ⑥勉強を無料で見てくれる場所[%]

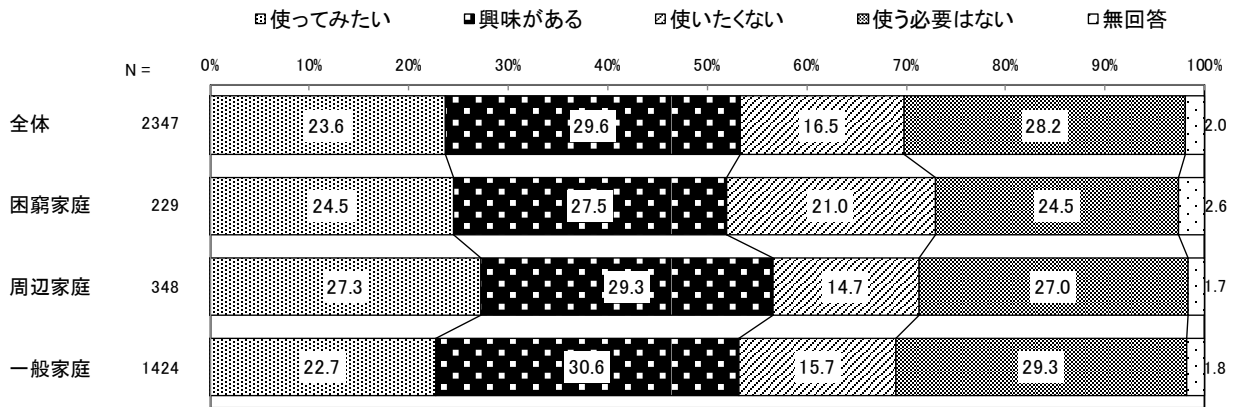


問32利用(意向) ⑥勉強を無料で見てくれる場所[%]



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所[%]

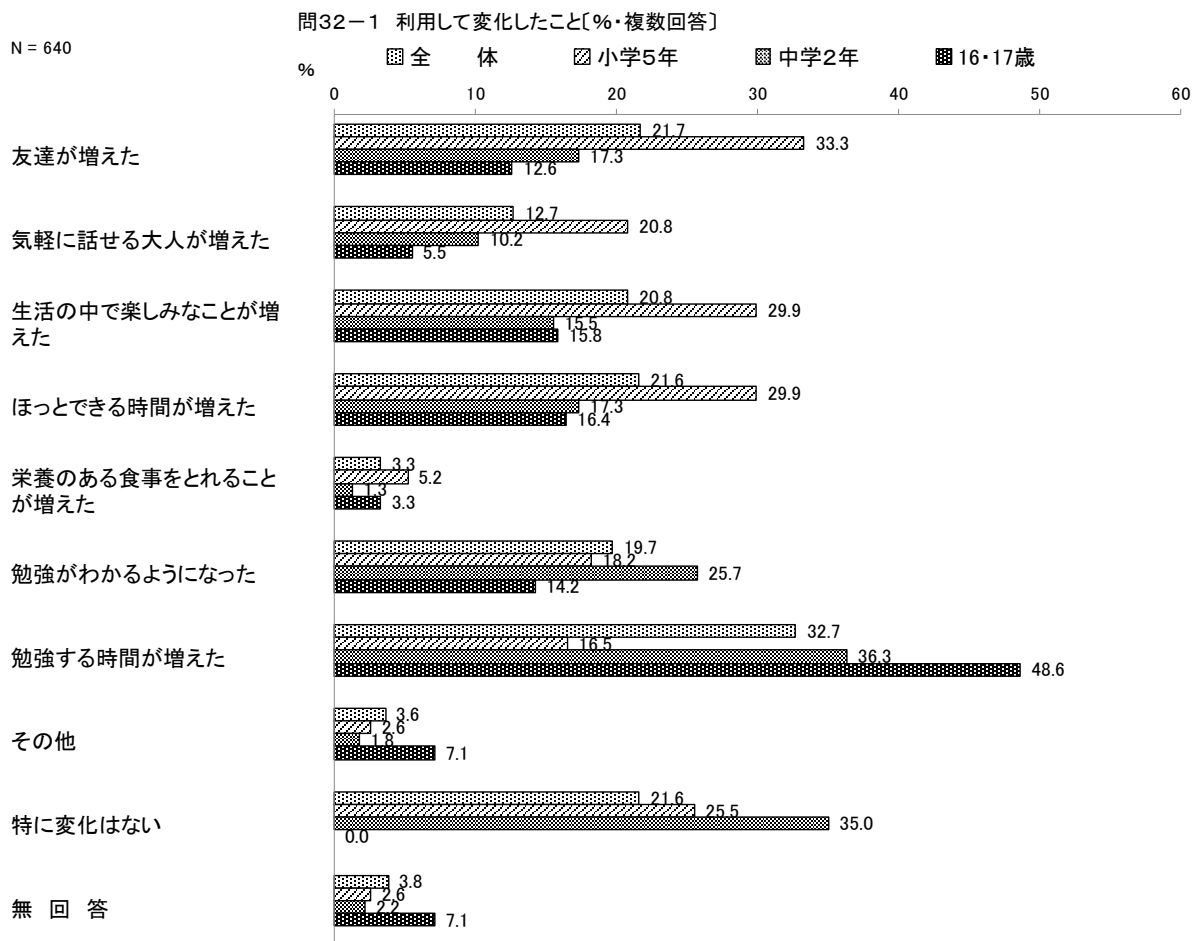


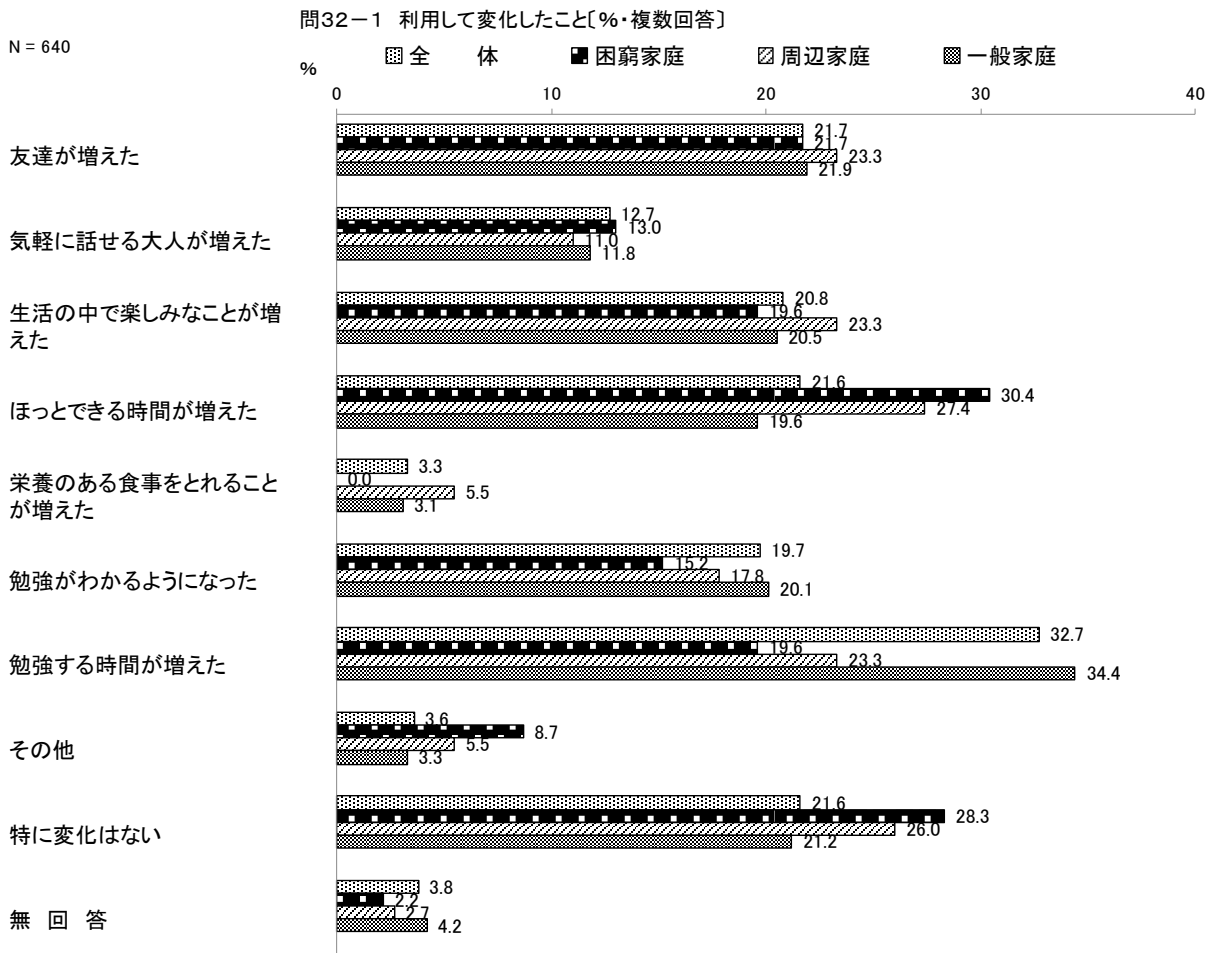
問 32-1 前問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

利用による変化について、「勉強する時間が増えた」が 32.7%と最も多く、次いで「友達が増えた」、「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとする時間が増えた」「勉強がわかるようになった」などがそれぞれ20%前後である。

学年別では、小学5年で「友達が増えた」が 33.3%、中学2年で「勉強がわかるようになった」が 25.7%、16・17歳で「勉強する時間が増えた」が 48.6%と他の学年よりも特に多く回答されている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「ほっとできる時間が増えた」が 30.4%と特に多い。



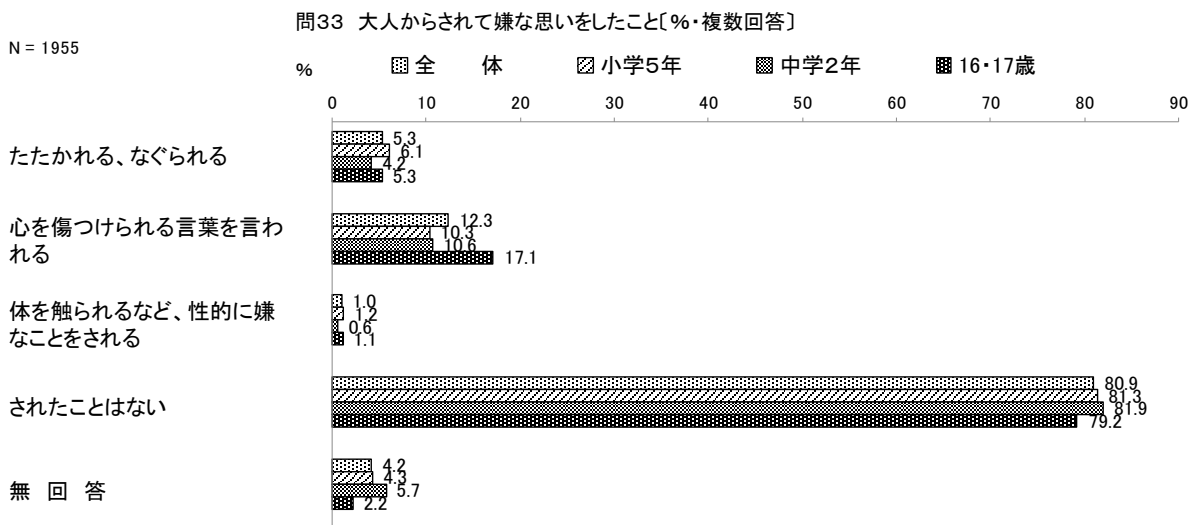


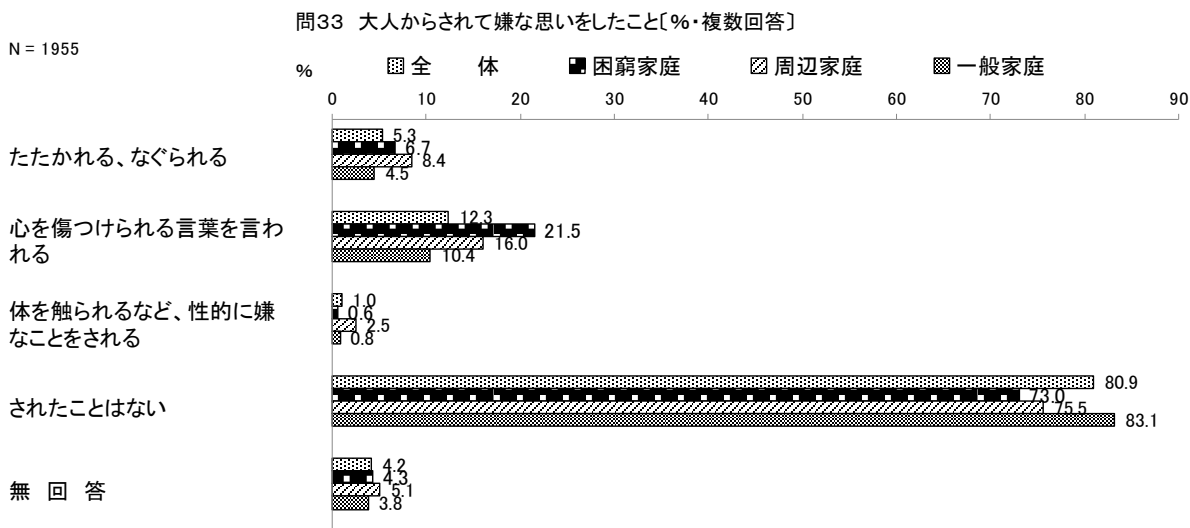
問 33 あなたは、大人から次のようなことをされて、いやな思いやつらい思いをしたことがありますか。

大人からされて嫌な思いをした経験について、「されたことはない」が 80.9%となっている一方で、「たたかれる、なぐられる」は 5.3%、「心を傷つけられる言葉を言われる」は 12.3%が、経験があると回答している。

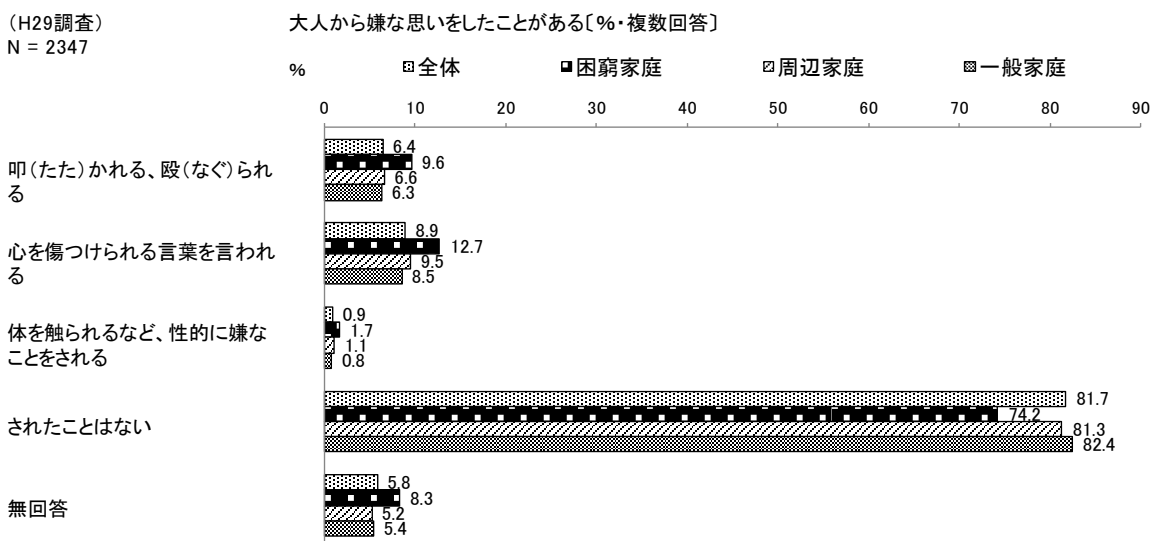
学年別では、16・17 歳で「心を傷つけられる言葉を言われる」が 17.1%とやや多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「心を傷つけられる言葉を言われる」が 21.5%と多い。前回と比べて、「心を傷つけられる言葉を言われる」が各区分でやや多くなっている。





[参考: 前回調査結果]

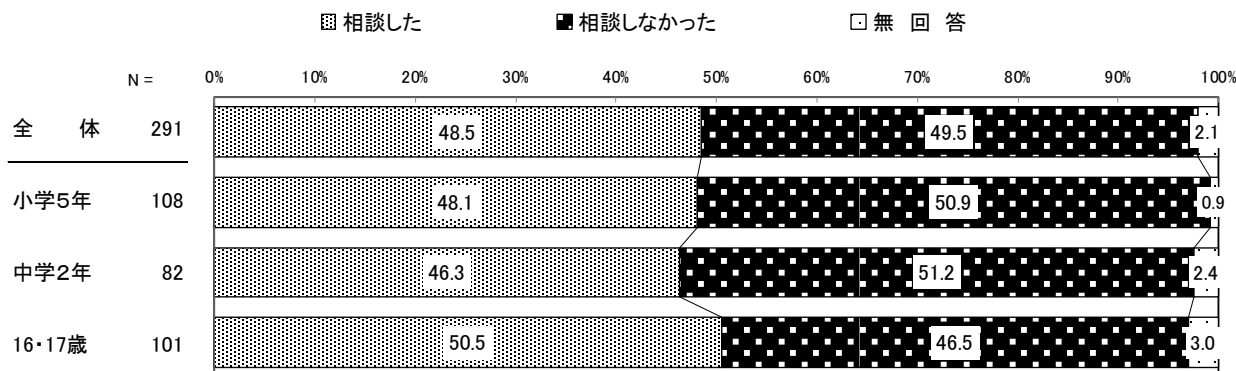


問 33-1 前問で1～3を答えた人にお聞きします。いやな思いをしたときに、だれかに相談しましたか。

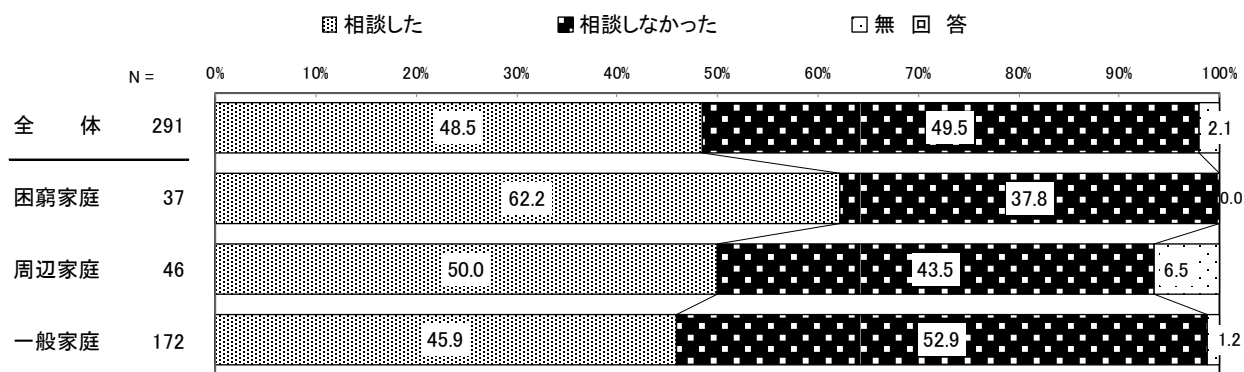
「相談した」が48.5%、「相談しなかった」が49.5%である。前回と比べて、「相談した」の回答割合が多くなっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「相談した」が62.2%と他の区分よりもやや多くなっている。

問33-1 嫌な思いをしたときの相談の有無[%]

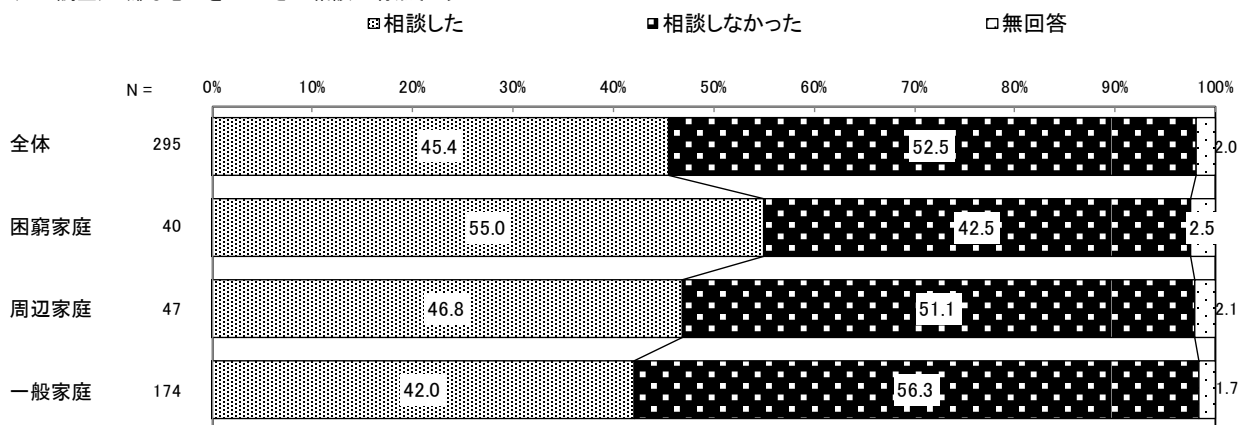


問33-1 嫌な思いをしたときの相談の有無〔%〕



[参考: 前回調査結果]

(H29調査) 嫌な思いをしたときの相談の有無〔%〕



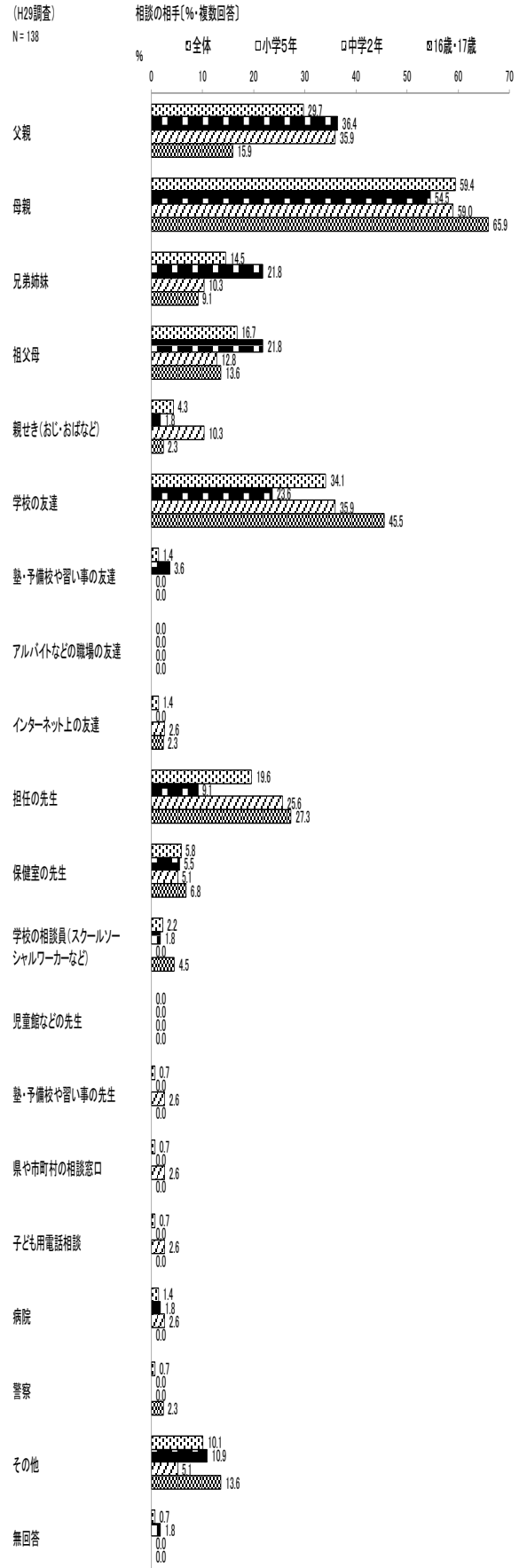
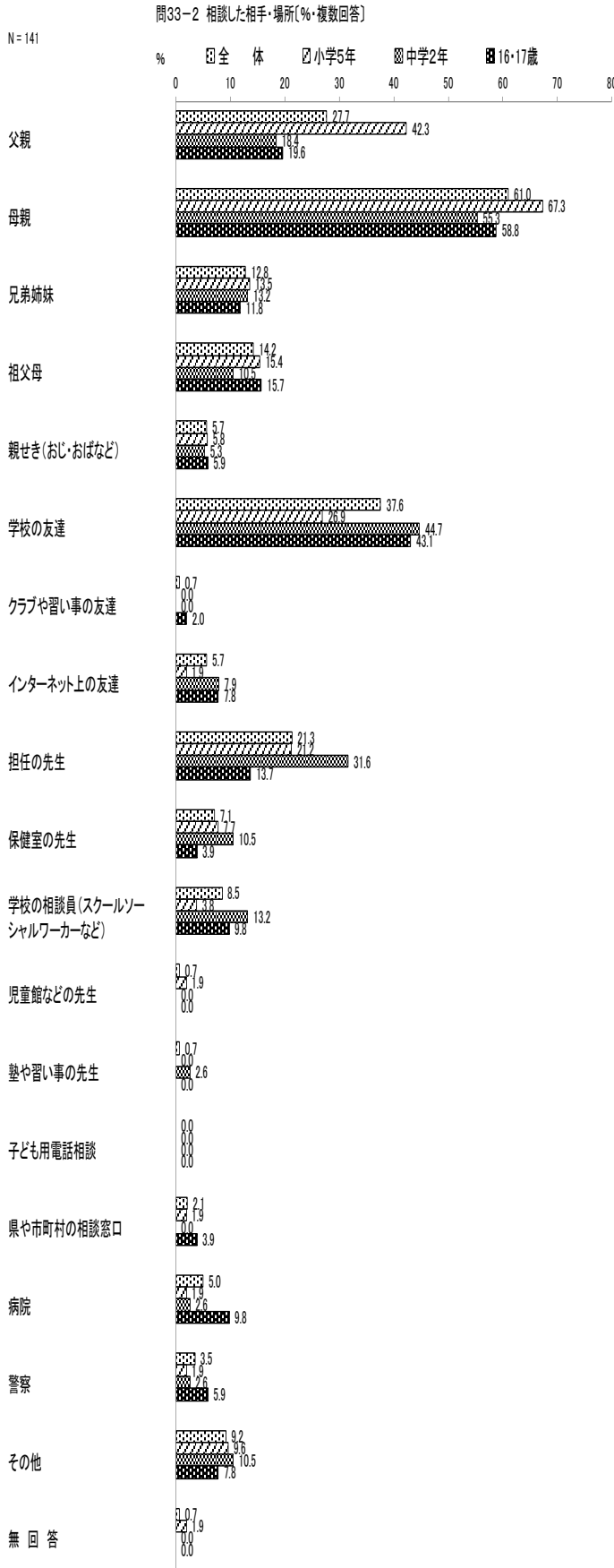
問 33-2 前問で1を答えた人にお聞きします。相談した人や場所を教えてください。

「母親」が61.0%と最も多く、次いで「学校の友達」が37.6%、「父親」が27.7%である。

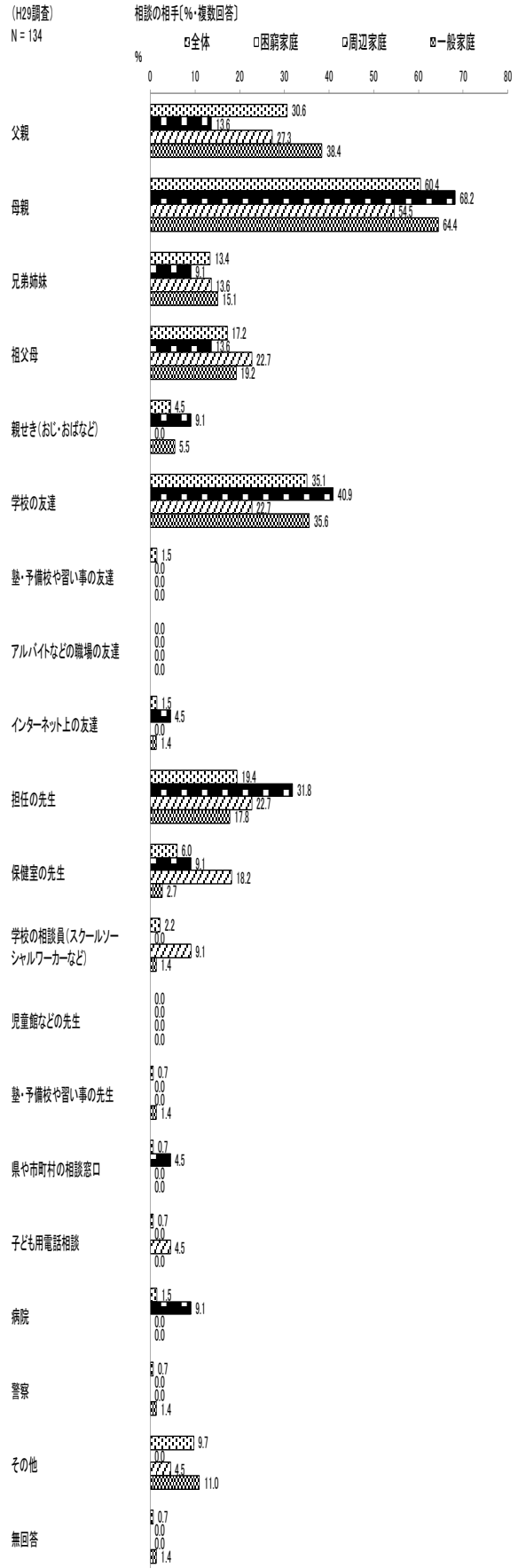
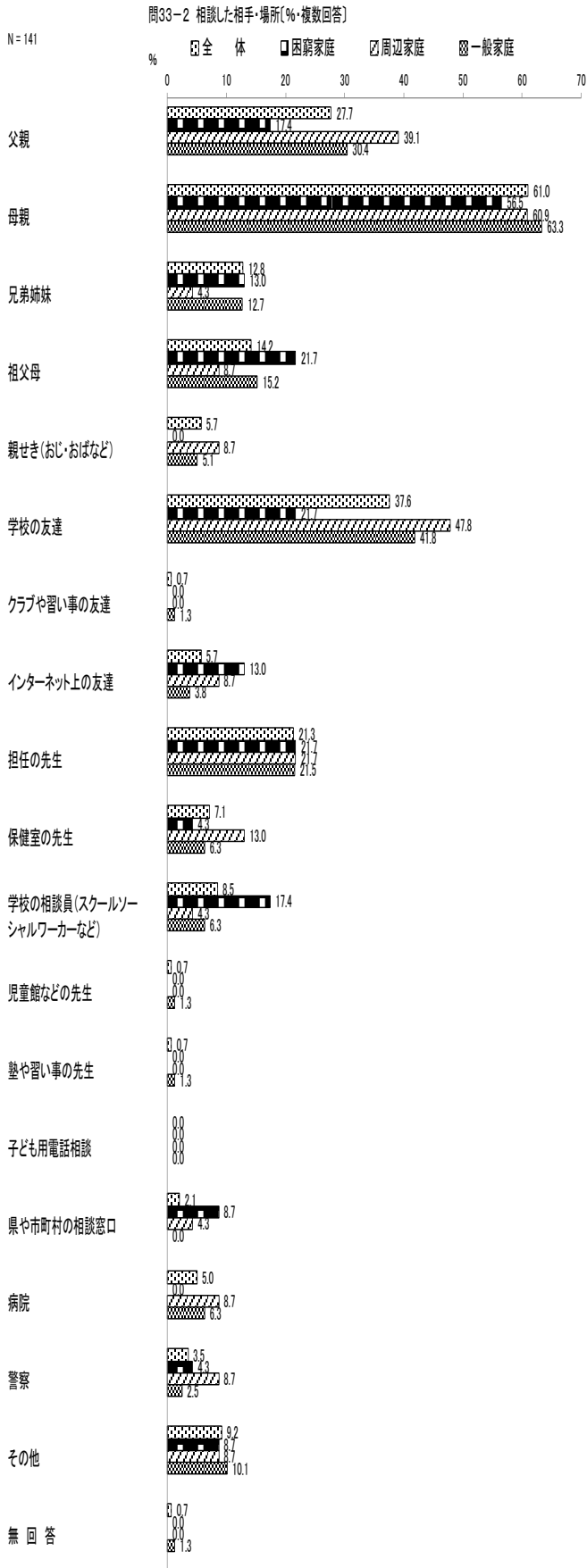
学年別では、中学2年は「担任の先生」が31.6%、16・17歳では「病院」が9.8%と他の学年に比べて多い。

生活困窮度別では、困窮家庭で「母親」、「父親」が他の区分と比べて少なく、「祖父母」が21.7%、「インターネット上の友達」が13.0%、「学校の相談員(スクールソーシャルワーカーなど)」が17.4%、「県や市町村の相談窓口」が8.7%で他の区分に比べてやや多い。

[参考: 前回調査結果]



[参考: 前回調査結果]



(10)新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響(小学1年以外)

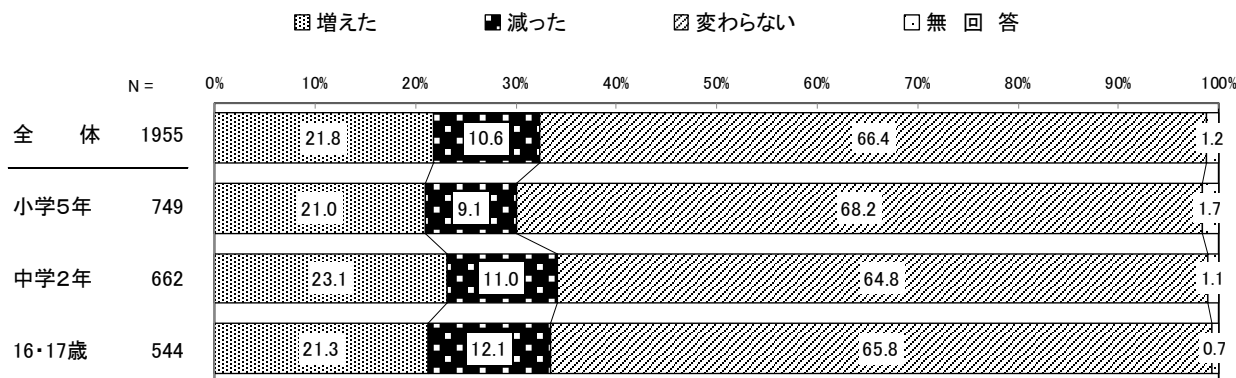
問 34 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。

1) 学校の授業以外で勉強する時間

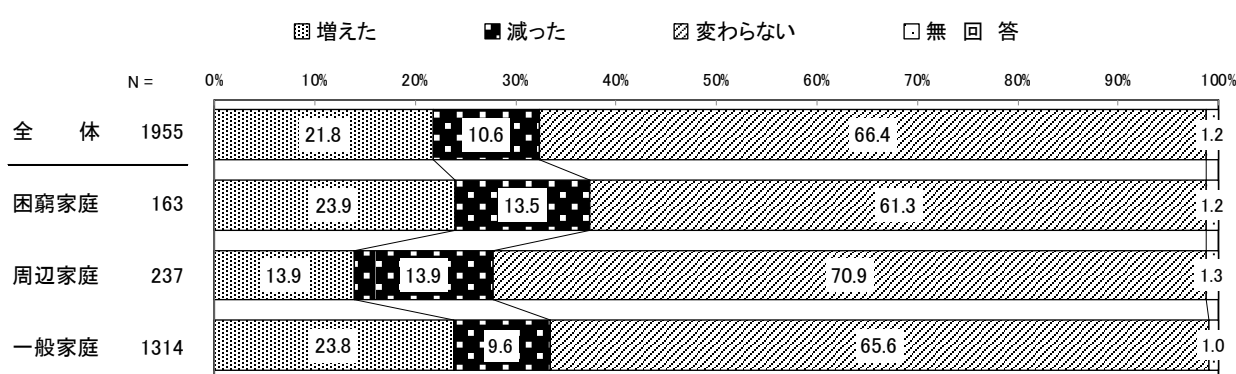
学校の授業以外で勉強する時間は、「増えた」は 21.8%、「減った」が 10.6%、「変わらない」が 66.4%となっている。

生活困窮度別では、「増えた」が周辺家庭で 13.9%と他の区分に比べて少ない。

問34感染症による変化 ①授業以外で勉強する時間[%]



問34感染症による変化 ①授業以外で勉強する時間[%]



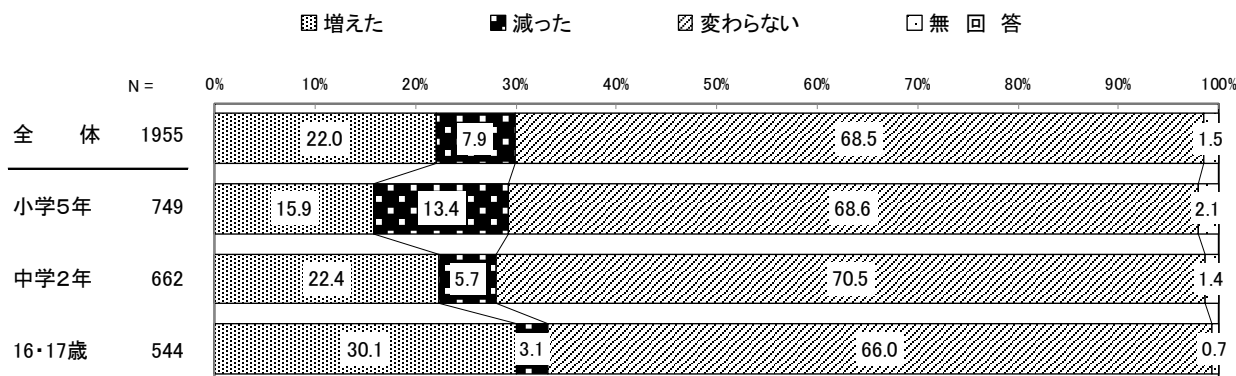
2) 学校の授業が分からないと感じること

学校の授業が分からないと感じることが「増えた」が 22.0%、「減った」が 7.9%、「変わらない」が 68.5%となっている。

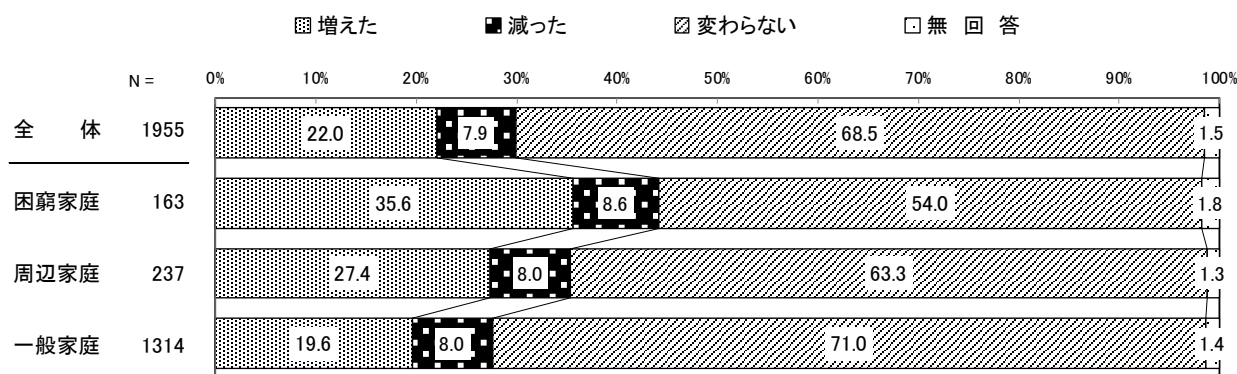
学年別でみると、学年が上がるとその割合が増え、16・17歳で 30.1%となっている。

生活困窮度別では、困窮家庭で「増えた」が 35.6%と他の区分に比べて多い。

問34感染症による変化 ②学校の授業が分からない[%]



問34感染症による変化 ②学校の授業が分からない[%]

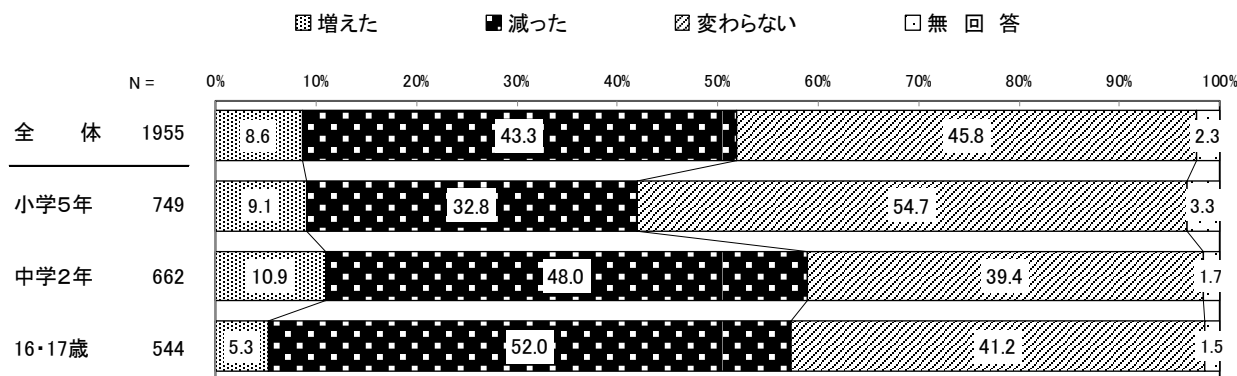


3) クラブ活動や部活動で活動する時間

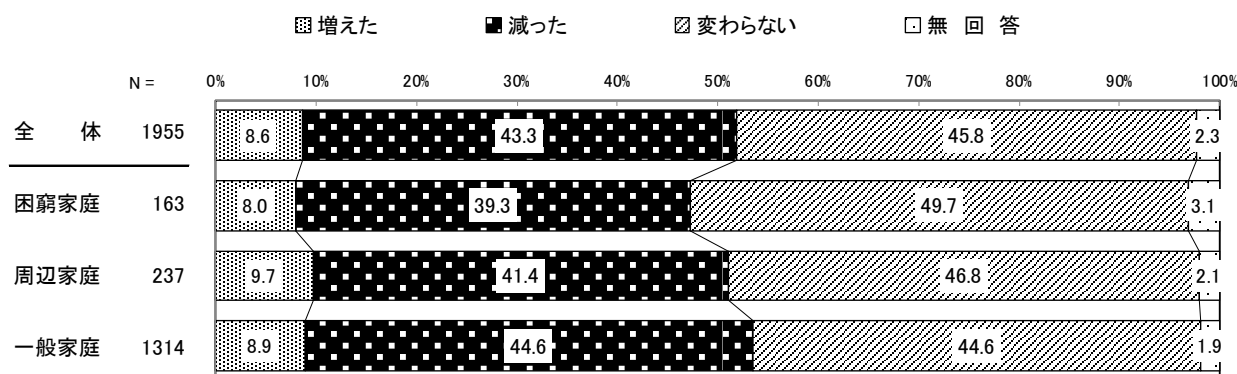
クラブ活動等の活動時間について、「増えた」が8.6%、「減った」が43.3%、「変わらない」が45.8%となっている。

学年別では、「減った」と回答した割合は中学2年で48.0%、16・17歳で52.0%となっている。

問34感染症による変化 ③クラブ活動等の活動時間[%]



問34感染症による変化 ③クラブ活動等の活動時間[%]

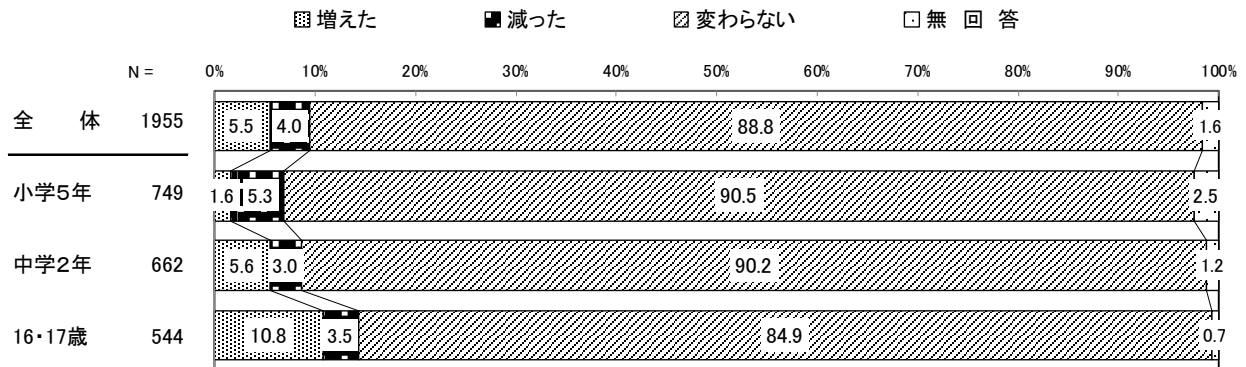


4) 食事を抜く回数

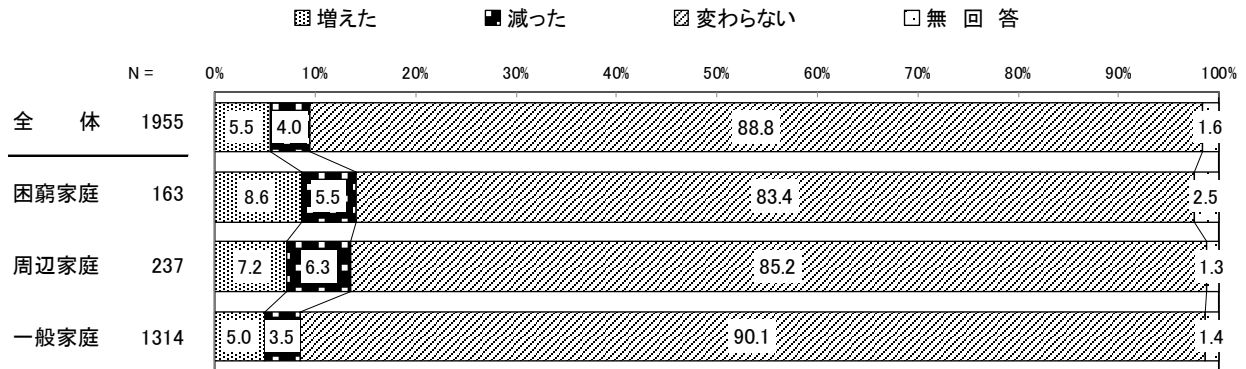
食事を抜く回数は、「増えた」が5.5%、「減った」が4.0%、「変わらない」が88.8%である。

学年別では、「増えた」が小学5年で1.6%だが、学年が上がると多くなり、16・17歳で10.8%である。

問34感染症による変化 ④食事を抜く回数[%]



問34感染症による変化 ④食事を抜く回数[%]

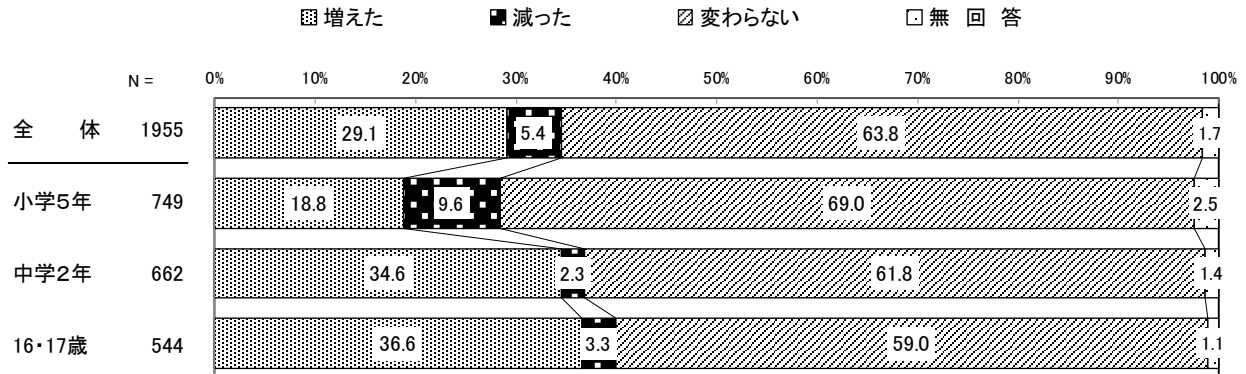


5) 夜遅くまで起きている回数

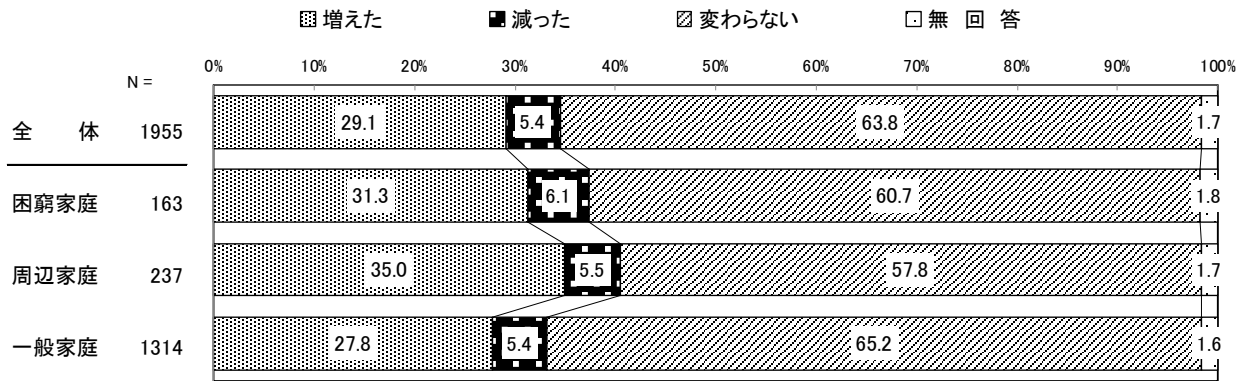
夜遅くまで起きている回数は、「増えた」は29.1%、「減った」は5.4%、「変わらない」が63.8%である。

学年別では、「増えた」が中学2年と16・17歳で35%前後となっており、小学5年と比べて多い。

問34感染症による変化 ⑤夜遅くまで起きている回数[%]



問34感染症による変化 ⑤夜遅くまで起きている回数[%]

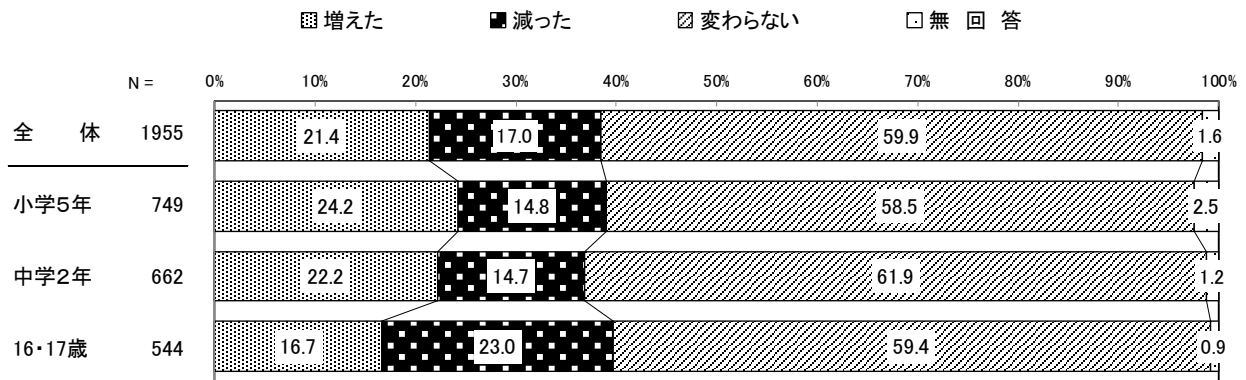


6) 親以外の大人や友達と話をすること

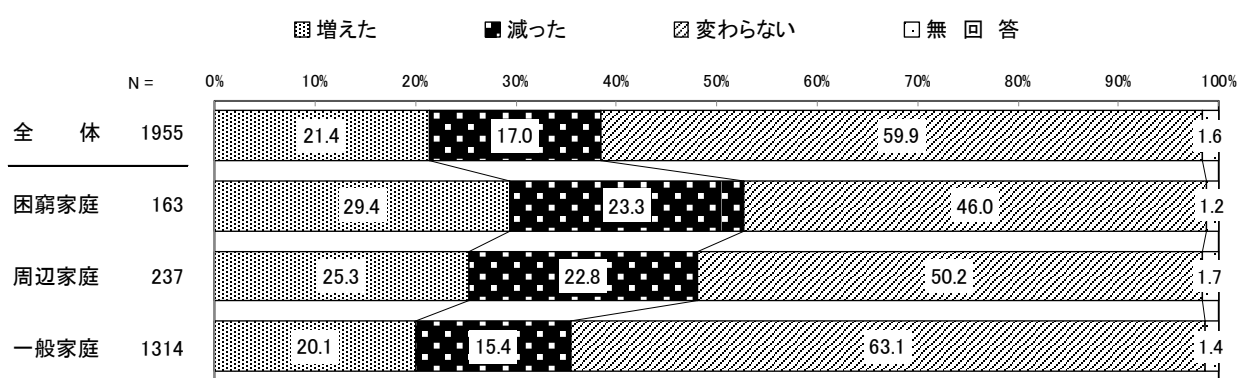
親以外の大人や友達と話をすることについて、「増えた」が21.4%、「減った」が17.0%、「変わらない」が59.9%である。学年別では、16・17歳で「減った」が23.0%と他の学年に比べて多い。

生活困窮度別では、周辺家庭と困窮家庭で「減った」が23%前後と一般家庭より多い。

問34感染症による変化 ⑥他の大人や友達との会話[%]



問34感染症による変化 ⑥他の大人や友達との会話[%]



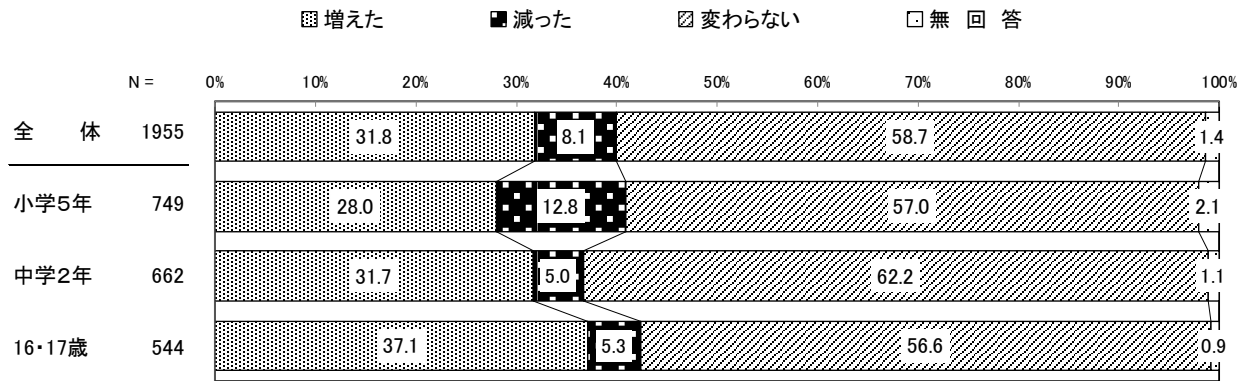
7) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

イライラや不安を感じたり、気分が沈むことについて、「増えた」が31.8%、「減った」が8.1%、「変わらない」が58.7%となっている。

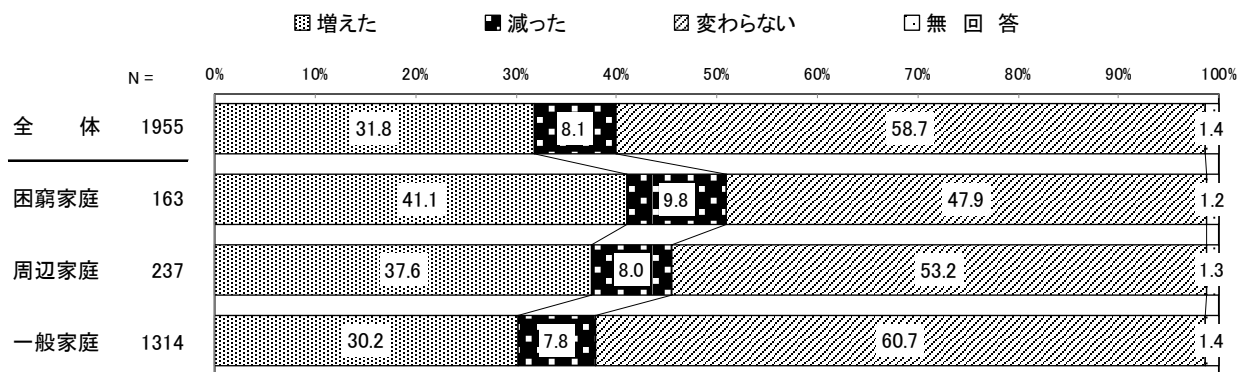
学年別では、「増えた」と回答した割合は、学年が上がるにつれ多くなっている。

生活困窮度別では、「増えた」が周辺家庭で37.6%、困窮家庭で41.1%と一般家庭に比べて多い。

問34感染症による変化 ⑦不安や気分が沈むこと[%]



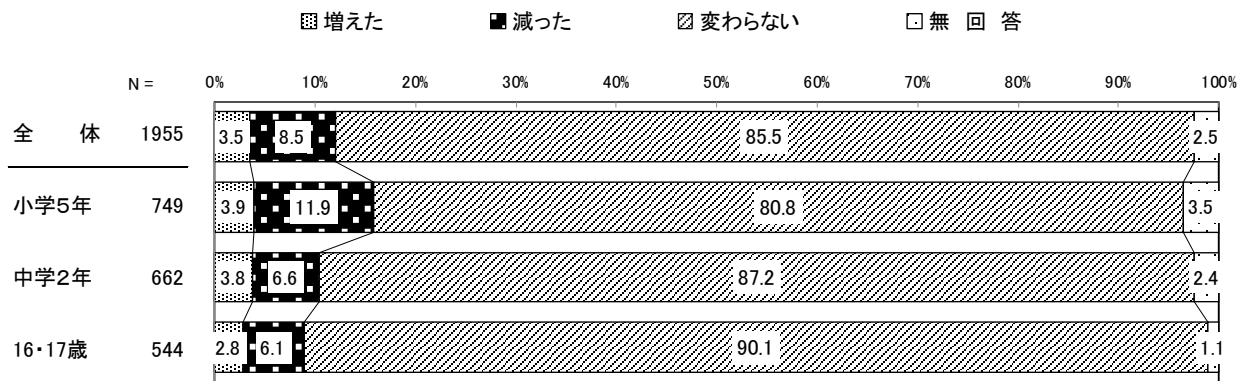
問34感染症による変化 ⑦不安や気分が沈むこと[%]



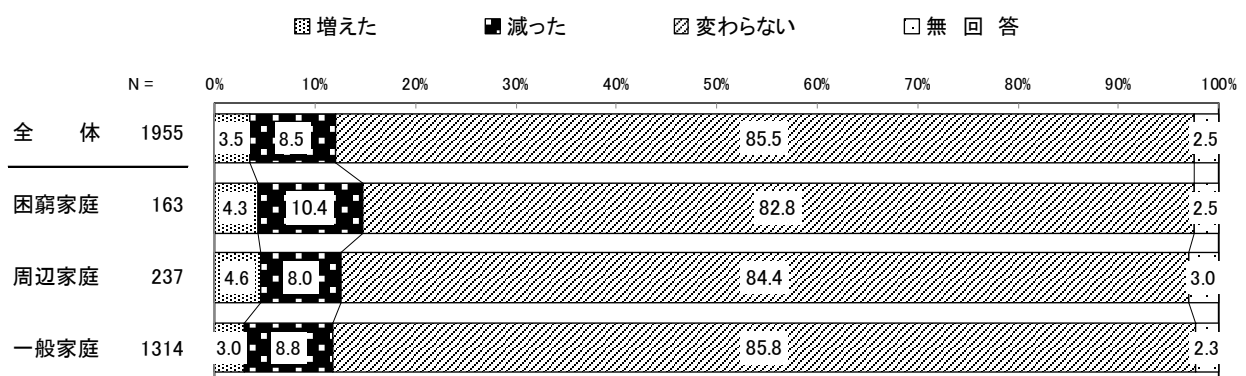
8) 親に叩かれる、きつく叱られること

親に叩かれる、きつく叱られることについて、「増えた」が 3.5%、「減った」が 8.5%、「変わらない」が 85.5%となっている。

問34感染症による変化 ⑧親に叩かれる、きつく叱られる[%]



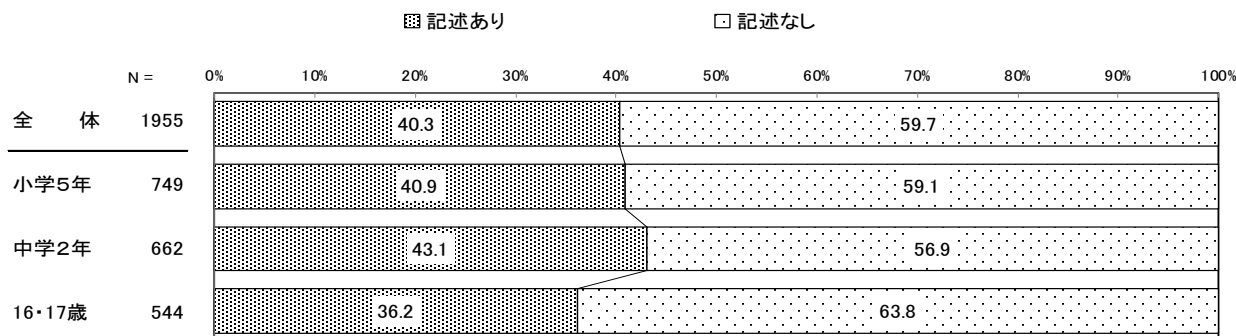
問34感染症による変化 ⑧親に叩かれる、きつく叱られる[%]



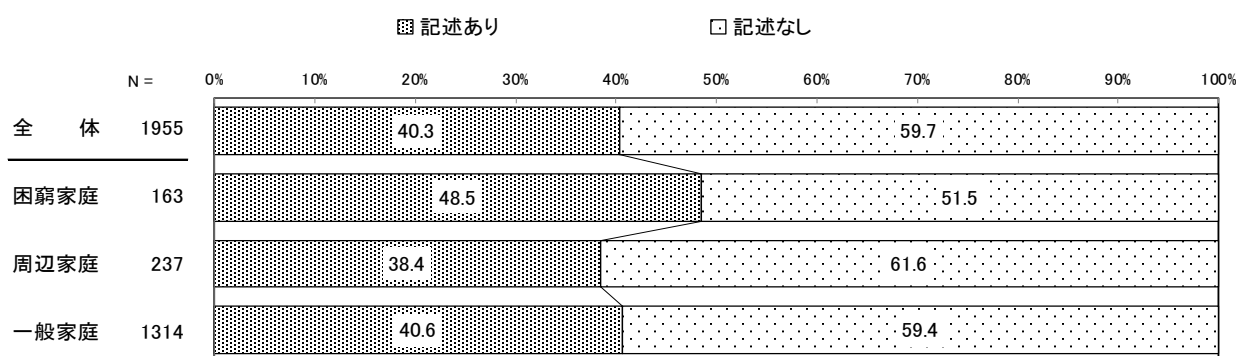
(11)意見等(小学1年以外)

問 35 あなたが、県や市町村に何でも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。また、日々の生活で感じていること、困っていることなどを自由に書いてください

問35 自由意見[%]



問35 自由意見[%]



[自由意見のまとめ上位7項目-小学5年]

順位	内容	件数
1位	<p>学校生活(学校施設、先生、給食等)に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の設備(水道、トイレ、プール、図書室や体育館等)をよくしてほしい。 言葉遣いが悪い先生がいる。先生を変えてほしい。 学校給食をなくさないでほしい。 給食で牛乳じゃない日もつくってほしい。 ランドセルが重い。 	79件
2位	<p>遊び場、体験、施設に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊べる緑地や林、公園、遊園地がほしい。 色々な人とたくさん遊べる場所(施設)ができてほしい。 美術館、水族館、動物園などをつくってほしい。 もっと体験できるものを増やしてほしい。 屋内で遊べる施設、みんなが使えるような快適なサッカーグラウンド、アスレチック施設などがほしい。 	57件
3位	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> PCR検査キットを無料で提供する。 ワクチンを無料でできることを増やしてほしい。 手洗いの仕方など、わかりやすくしてほしい。 マスクを外したい。 マスクはどのような時に外してよいのかはっきり教えてほしい。 地域のお祭りがコロナで減ったので戻してほしい。 親がずっと在宅勤務だとい。 	41件
4位	<p>環境、社会問題に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 県全体にWi-Fiを送る。 ポイ捨てを減らす。 ゴミを減らしてほしい。 自動車のマナーの徹底。 ねこ・くじらを殺さないでほしい。 SDGsのことで、もっと協力しあった方がいいと思う。 ガソリンや色んなものを安くしてほしい。 障害者の人たちもみんなと同じように差別なく、楽しく過ごせるようにしてほしい。 	22件
5位	<p>友達、友人関係に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達がなくて困っている。 どうしたら友達と仲良くなれるのかわからない。 友だちとの喧嘩、イライラをなくしたい。 男の子に話しかけづらく、何を話したらよいかわからない。 友達にふりまわされて疲れている。 友達にけられる。 学校の友達に体のことでからかわれていて困っている。 自分の名前に変なあだ名を付けられて困る。 同じ性別で、大人じゃない、同級生たちと自由に過ごしたい。 	21件
6位	<p>家庭(両親、兄弟、経済的なことなど)のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し親や家族が子どもの気持ちをわかってくれてくれるといい(もらいたい)。 お父さんとお母さんがこわく、ひどい言葉やよく叩かれる。 塾に行きたいけど行けない。 親の仕事のことだが、給料をあげてほしい。 関わりたくない大人との関わりを減らしてほしい。 	17件
7位	<p>勉強に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日学校で勉強がわからなくて勉強についていけないことが困っている。 勉強ができるようになりたい。 勉強がもっと得意になりたいので無料の勉強会を開いてほしい。 勉強を教えてくれる場所がほしい。 	13件

[自由意見のまとめ上位7項目-中学2年]

順位	内容	件数
1位	学校に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 先生を選べるようにしてほしい。 担任の先生の変更をしてほしい。 学校の校則を変えてほしい。 勝手にクラス替えをしないでほしい。 コロナ前と同じように学校行事をもっとしてほしい。 給食をもう少しおいしくしてほしい。 制服をもっと着やすくしたり、安くしてほしい。 夏休みをもっと長くしてほしい。 	61件
	施設(商業・娯楽・運動など)や居場所に関する事 <ul style="list-style-type: none"> もっと若者が安心して遊べる所やくつろげる場所を増やしてほしい。 もっと娯楽施設を増やしてほしい。 中学生が楽しいと思う施設が増えてほしい。 ショッピングモール等で買い物をしたい。 映画館をつくってほしい。 バスケットボールのコートを近くに増やしてほしい。 	
2位	学校の設備に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 中学校の校舎が古いので建て替えてほしい。 学校をきれいにしてほしい。 学校からエアコンのない教室をなくしてほしい。 学校の体育館にエアコンを付けてほしい。 学校の椅子と机をもう少し快適なものにほしい。 ガタガタして勉強に集中できない。 学校で使うインターネットの環境を整えてほしい。 	35件
	お金に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 高校・大学の無償化。 給食費の無償化を望む。 給付金が欲しい。 減税してほしい。 物価を安くしてほしい。 中学校や小学校のうちから「お金の使い方」を学べるようにしてほしい。 子育てにはお金がかかるので、もっと手厚く援助してほしい。 	
3位	授業や学習に関する事 <ul style="list-style-type: none"> もっとわかりやすい授業を受けたい。 定期テストをなくしてほしい。 英語の授業で、話したり聞いたり書いたりするのが苦手で、どうすればよいかわからない。 勉強でわからない事が多いから困っている。 宿題を減らしてほしい。 水泳の授業をなくしてほしい。 パソコンを使う授業を多くする。 リモート授業ができるようにしてほしい。 	30件
	道路の安全や整備、生活環境に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 道をもっと安全にほしい。 通学路の歩道を広げてほしい。 道路の舗装をしてほしい。 草がたくさんあって、通学路が歩きにくいと感じているので、草を刈ってほしい。 家の前の横断歩道に信号機を設置してほしい。 T字路のカーブミラーを増やしてほしい。 街灯を増やしてほしい。 道や家の敷地内にごみがたくさんあって困るので、呼びかけや、ごみを捨てられるものがあるとよい。 	
4位	いじめや不登校、人間関係に関する事 <ul style="list-style-type: none"> いじめをなくしてほしい。 仲がよくて気の合う友だちがほしい。 友人から陰口を叩かれるのがつらい。 友達と呼べる人がいるかわからない。 不登校の子どもにとって相談できる場所、教室に行きづらい子のための場所がはとも支えになるので、そういった場所がある学校がたくさんできてほしい。 	25件

[自由意見のまとめ上位7項目-16・17歳]

順位	内容	件数
1位	施設(商業・娯楽・運動等)に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 大型ショッピングセンター等を増やしてほしい。 若い人が好んで利用する商業施設をもっと増やしてほしい。 遊ぶところをもっと増やしてほしい。 若者が楽しめるような施設が少ないと感じる。 	39件
	公共交通機関に関する事 <ul style="list-style-type: none"> バスの本数を増やしてほしい。 土日バスを出してほしい。 通学時間帯の電車等の交通機関の本数を増やしてほしい。 電車の本数が少なく、通学に不便を感じることもある。 	
2位	勉強ができる場所・居場所等に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 勉強できる場所がほしい。 学校の近くに気軽に利用できる自習スペース(フリースペース)がほしい。 放課後学校にいらなくなってしまった時に、無料で居られる場所がほしい。 	31件
	道路の整備や街灯の設置に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 道路等のインフラをもう少し整備してほしい。 街灯を増やしてほしい。 自転車専用道路がほしい。 道路をきれいにしてほしい。 歩道が狭く、危険な道を少なくしてほしい。 	
3位	学校の設備等に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 学校設備をきれいにしてほしい。 校舎をきれいにしてほしい。 学校のトイレをきれいにしてほしい。 エアコンをつけている部屋を増やしてほしい。 エアコンをもう少し涼しくしてほしい。 	23件
	学校の授業や行事に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 夏休みを31日までにしてほしい。 学校行事を増やしてほしい。 教材が多く通学が大変なので、紙の教材を減らし、もっとタブレットを活用できるようにしたい。 リモート授業を増やしてほしい。 	
4位	進学や学費等に関する事 <ul style="list-style-type: none"> 私立高校の授業料を無償化してほしい。 大学授業料の支援金があればよいと思う。 母子家庭なので学費を免除、または支援金などの手当を増やしてほしい。 	19件